

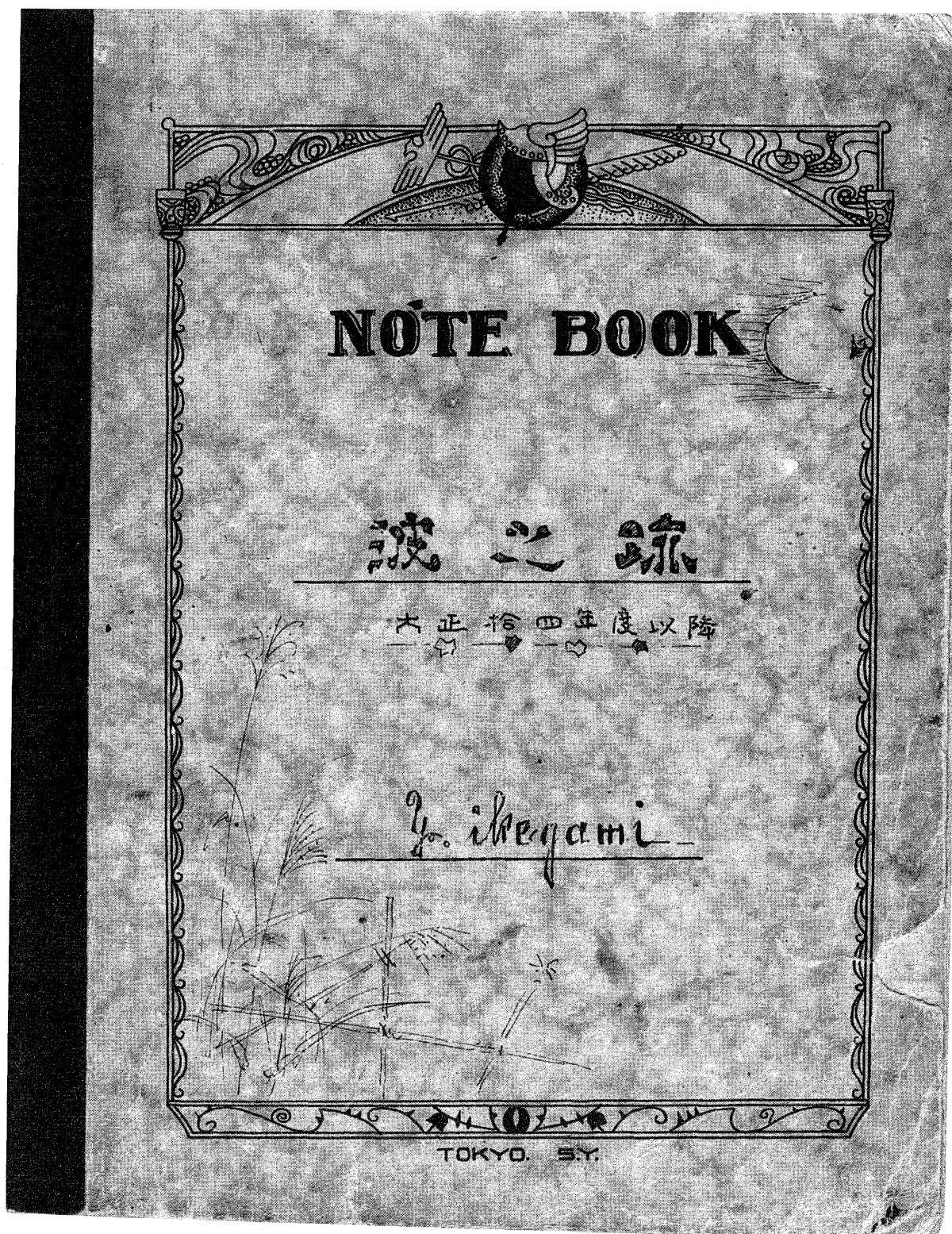
第 2 部

波 之 跡 Y.Ikegami

池上 キク

一行日記（日誌）「波之跡 Y.Ikegami」より

1925年（大正14年）から1971年（昭和46年）までの計4冊のノートから、池上キクによる抜書



植物関係及び教育関係の事項に周辺状況を加えた。抜粋の上、文章は、一部、まとめたり簡略化したりしている。文字は原文のままを原則としているが、数字は読みやすい表記に替えてもいる。私の非力に加え、文字が極めて細かく難読のため、誤記もあろうかと思われるが、ひとまずお許しいただきたい。（*）は、私の註である。

池上 キク

波 之 跡

Y. Ikegami

感想もなく潤色もなく、唯、事実を羅列せるもの。即ち単なる年表でしかないが、過ぎさったあとの回想のよるべまでにとものしてみる。（＊第一頁欄外）

1925年（大正14年）

3月

26日 卒業式。記念撮影後直ちに茶話會に移る。萬歳の聲で解散。山田、武本、三宮の三君と共に西山油田を巡遊した。長嶺から後谷へ。途中、鉄工場、ガソリンを見学して夕暮の春日山を辿って歸る。今此處で過去八ヶ年を回顧して見よう。

第一学年 担任、三宮操

旅行は宮川方面。雨にうたれて窓ヶ坂で丸山光行君に輔けられたのと、勝山校へ立ちよった場面は、明らかに思ひ浮ばれる。

例年の運動會には、赤い棒でサの字を書いた。学芸會には、入沢保夫君が十一フガタ（＊？）を朗讀して稱讃をはくしたやうだった。

第二学年 担任、三宮操

赤田の城址へ遠足した。

第三学年 担任、山崎キクエ（ちょっと遠藤廣平氏から三日ばかり）

体操、唱歌は町田文一郎先生から。白石君が去ってしまった。遠足には椎谷へ。学藝會には、遠藤、品田？両君が繪問答をした。

第四学年 担任、山崎キクエ

体操、唱歌、大須賀正次先生、理科、土田實先生。遠足は、番神堂。この時はじめて汽車にのつたのだ。学藝會には、あやめの繪をかゝせられた。

第五学年 担任、渡辺（＊二字不明）、修身、猪俣正雄

ノートをもって砂山へ松の理科に行ったのが思ひ出される。このころは地理がすきだったやうだ。遠足は彌彦へ。あの跡をたった鉄索が見えるやうだ。学藝會には品田、遠藤両君が水兵の母をやった。

第六学年 担任、猪俣栄徳

唱歌は安沢信次先生。体操の時、いつも相撲か馬乗りにきまってゐたやうに思はれる。大形木炭紙に展覧會出品の牡丹と山水をかいた。遠足は高田。そのころはまだ、各種の兵隊が居つたのだ。学藝會には、神の教へとか、動物愛護とか、あのころ

は随分奇抜視されたものだった。

高一学年 担任、猪俣正雄

地、理、体、図、歴等は、猪俣栄徳氏から。唱歌、町田、習字、堀左左右（＊？）門、農業＝町田先生。三学期に猪俣先生が石地校へ轉任されたので、地歴＝土田、理、体、図＝渡辺先生から。高町、勝山の生徒が入って来て急に同級生がふえた。旅行は新潟。展覧會には、選挙の結果、小林、池田、中野三君と私とで助け合ひをすることになった。

高二学年 担任、猪俣正雄

讀、理、地、体、図＝渡辺先生、書方＝遠藤先生、唱歌＝町田先生、農＝小山数（＊？）平先生。前学年の末期からはじまった理科趣味が高潮して来た。殊に、夏休前は化学を好んだ。遠足は長岡。学藝會には小林君がアルキメデスの話をした。

学校がひけてから、よく、仲間と豫習をしたものだ。安沢与一郎氏から植物の研究をかりて写したのは、三学期ころであった。

同級生の氏名を揚げれば、（＊自身を含め89名の氏名記載あり）

9月

（17日 尋准受験。柏中博物教室。物、化、歴、体）

（18日 全。國、作、教、習）

（19日 全。地、修、珠、算、兵）

11月

（8日 朝鮮から除隊して兄が歸る）

（19日 尋准實地受験のため長岡へ）

（20日 教育實地）

（21日 体操實地）

1926年（大正15年、昭和元年）

1月

22日 尋准免許状受領

5月

（31日 父と町へ買物に。衛生展覧會を見てかへる）

6月

2日 勝山校代用教員赴任（＊教員氏名、担任児童氏名記載あり）

（17日 午後4時、西山駅前へ五、六年をひきつれて職員全部、伏見ノ宮殿下御奉送。看護卒通る）

7月

- (7日 茶話會後、星野先生からオルガン曲を習ふ)
- (20日 高浜校にて北部教員協議會あれど行かず、刈羽校へ庭球試合に児童らをつれてくる)
- (31日 送別。宴を開いてもらった。大掃除後に)

9月

- (*13、14、15、16日 尋正受験(柏中校についでの記事)
- 24日 荒浜校へオルガン練習に。そして理科標本を見てかへる

11月

- 7日 刈羽校へ標本見聞に
- (14日 刈羽校へ行き、猪俣芳江先生からオルガン指導を受く)

12月

- (25日 天帝御薨去)

1927年(昭和2年)

4月

- 5日 ふる雪を冒して赴任(*中鯖石校)
- (6日 児童に挨拶をす。担任=尋五。(*児童59名の氏名記載あり))
- (17日 日曜で学校では青訓入所式があった。當直池田イネ先生と木村先生と3名で善根橋畔で芝を焼いた。春風ふいて、ねこやなぎが岸には輝いてゐた)
- (24日 蓄音機をならして夜をすごす。折からの暗電には閉口。注文の洋服がやっと出来た)
- (30日 北條第一校の北部教員協議會に出席。歸宅したら、29日にもらったばかりの犬が死んで居た。木村先生と埋めて墓をたて、やる。(平野薫の教育哲学の講演があった))

6月

- (10日 校長先生と共にプランコ修理。後、職員全部で捕魚に出、大漁々々。夜、役場の中村収入役も入りて大宴をひらく)
- (20日 兎をクローバの上で遊ばせ、与口、木村両氏と共に校長さんから寫真をとってもらふ。加納の子供四、五人(女子)と山深くわけりかへれば、すっかりくらくなくなつてしまった(木村先生とともに)
- (29日 魚とりに出、日蝕を見る。木村先生とぶらついて出て、縣道ばたの木にこしかけて彗星を

さがしたが、やっぱり駄目)

7月

- 2日、3日 郷土植物講習會。講師下條順一郎氏
- 8日 明日の実地授業の準備のため、フサモ採集に出、久ノ木の沼まで行く

8月

- (26日 尋五児童招集。アラジンの話をきかせてかへす)
- (27日 軍人分會があった。藍沢義仲が例の熱辯をふるふ)

9月

- (6日 一番上りで刈羽へかへり、11時の汽車で轉任地長島へ行く)
- (7日 児童に挨拶す。今日から、杉の入の能満寺(時の住職大宗謙成)に泊る。担任=尋常第三学年。(*児童全員の氏名記載あり))
- 23日 豆の試食會(植物採集後)。第二の校長(横山佐平)出席。私が金の林檎の話をして歸宅した)

10月

- 20日 台中の博物標本屋が熱帯生物の標品をもって来た
- (30日 兄と茸がりに入る(刈羽砂山))

11月

- (25日 柏崎へ万年筆の修繕に)

12月

- (3日 當寺にて幻燈會あり。西国三十三番、印度の仏跡等、道元禪師)
- (25日 大正天皇祭)

1928年(昭和3年)

1月

- (7日 汽車とまりて登校するを得ず、空しくひきかへす)
- (20日 米国モルリスビレーへやる紙挿を調製す。三年は、切抜細工等を出す)

2月

- (14日 スキー行軍。田中総裁の政見演説の蓄音機をならす)
- (23日 学藝會用の面をつくる。鳥、きつね)

3月

- (15日 寺で発句會。寺田先生と)
- (27日 牧謙功、大宗菊江、美代子の3名と春山を散策、雪をこいでマンサクをとったのもなつかしい)

4月

- 4日 別山校へ赴任
- (5日 児童に挨拶。担任＝尋三、出張＝六、四の図畫(*各学年全員の児童氏名記載)
- (21日 尋正、修身受験。悠久山に輕便にのって行き、歸りて加藤氏と阪上校の工産品展覽會に入る。悠久山では、裏池や動物園を)
- (22日 全。国語。文の作者を出されて閉口)
- (23日 全。図畫。ズックの寫生)
- (24日 全。体操)
- (26日 尋四以下の天長節唱歌練習。安沢先生が主になって)

5月

- 4日 文檢理科受験を決す
- 20日 荒浜校生徒、彌彦へ行き、引率者田村八郎、猪俣佐治郎氏なるより、植物採集に彌彦山へ行く。
- (28日 尋正体操実地受験のため長岡へ)

6月

- (6日 飛行機が來りて内郷村上空で一周して行く)
- (10日 一番で高田へ。講習會。猪俣佐治郎氏と吉田屋へとまる)
- 11日 講習會。猪俣氏と田口へ植物採集、関川發電所へ
- 22日 新聞に教員檢定合格者出る。同期尋正合格者の氏名、左の如し(*氏名列記)。因みに刈羽郡は、矢代、石井、池上

7月

- (5日 今日から細目研究會(讀、綴、算)が折々ひられることになった)
- (16日 算術研究會。病気のため宿直室でねてゐて出席せず。安達醫院へよったら膀胱カタルと診断。7月19日まで缺席する)

8月

- (7日 大正大学の青柳、山本両氏が來りてお伽噺をす。刈羽校で點呼あり)

9月

- (25日 敬老會。支那(*当時の一般用語)人の手品師が少年1人つれて長岡からくる)

10月

- (8日 産業期休業開始。立川先生と登校児童を指導)

11月

- (3日 明治節を挙行す)
- (4日 今日より四年と合同、大禮奉祝唱歌練習)
- (14日 午前、旗行列。午後、大嘗祭につき神社参拝。後、職員奉祝會をひらく。夕方、青年と合同で提灯行列。多岐神社より役場に至る)
- (24日 鶴田、三富、池上、安沢、矢代先生で高内城址へ奉幣に行く)

12月

- (10日 オルガン修繕。高田より調律師來る。宿直。北越キネマの活動(御大典)あり)
- (19日 汽車不通。再び学校へ戻ってとまる)

1929年(昭和4年)

1月

- 11日 顕微鏡がきた
- (26日 スキー講習あり。第五時に尋五、讀方に出、角をはやした王様の話をきかす)

2月

- (1日 染物講師小川嘉元氏來り、染物講習會開催と決定。氏の日露實戰話をきき、同車してかへる)
- 3日 植物標品、児童の図畫を整理。スキー大会が石爪の奥であった
- (15日 校歌披露音楽會。終って宿直室で大饗宴。三年伊比徳四郎、ミズレ独唱、全体・蛙の學者齋唱)
- (19日 汽車におくれて歩いて登校)

3月

- (13日 風とた、かって役場へ、東洋大学の佐々木斗奈美氏の思想善導講演をきき、に)
- (14日 第2時、前日の講師、佐々木氏の童話あり(星の世界へ)。午後、尋六、鶴田氏の南米地理の實地授業あり)
- (19日 陸軍記念日の話。鶴田先生がなさる)

4月

- (4日 生理プレパラート着)
- (15日 高内奉幣。大谷氏は学校林へ。大谷氏、エゾスミレをとってくる)
- (26日 宇都宮微笑(*?)氏來り、乃木將軍の話をする)

(29日 天長節。大谷氏と実習地、内越をめぐる)

5月

(12日 五年以上、新潟方面旅行。新聞社、新万代橋、醫大病院を訪れ、万代橋ぎはの吉田旅館にとまる。内野附近で歸校の兄に會ふ。もゝいろいろのれんげさうがにほってゐた)

(27日 海軍記念講話をする)

6月

(10日 今日より産業期休業)

11日 西粟生津小池村なる鶴田氏を訪れ、同氏と加茂方面の採集に出かけ、かへりて氏の宿に一泊。

12日 燕で鶴田氏と別れ、新津に至り小学校付近を採集し、津川に向ひ、津川より鉄道にそってかのせに至り、阿がの河原でミヤマシロテフを追ひ、トラフシメミを捕へて、サイダーでのどをうるほし、又徒歩し、津川駅前に泊す。あがの流、いとさびし。今橋のかけかへ工事中たりき

(30日 刈羽校手工講習会出席。シボリ紋、ドロノウォーク、芋版、銅板打出、筆立彫刻、假面、ローケツそめ、したん、里柿染等)

7月

6日 中川校の音楽講習会。雨上がりの上山田道はづれにコガネグモを採集

(10日 軍艦五十艦、寺泊に來り、サーチライトで照す。廣野訓導便乗)

(17日 白の夏服を注文。グラウンドの裏へ出たら、ラナモミがしげってゐた)

(24日 夜、北條氏とねずみ退治用に下の釜田屋へにぼし求めに行く)

25日 水泳に石地へ。授業一時限。ヒザラカヒ、アメフラシを捕ふ

8月

(19日 兄と尚正(*弟)と前の小川へ魚とりに出る)

(27日 青訓夜間演習の予定なれど雨のため中止)

9月

2日 鉱物標本整理に着手

(24日 マクニン、サントニンをのます。外でラジオ体操練習、應援練習)

10月

3日 高一兒童にザウリムシ、ケイサウを顕微鏡で見せてやる

(15日 文庫図書全部にペーパーをはる。長谷川巡查、訪問)

11月

(5日 軍隊歓迎をす。軍旗を拜す。体育、お話会)

(15日 霊行術、恐山燕雀氏來り、透視等をやる。青洲中学校と合同。理科「生物の自衛」について話す)

23日 新なめまつり、高等科参拝。大いに寒し。顕微鏡練習

27日 中川校打合会。尋四白川訓導、算術教授、成田先生、裁縫発表。

標本室へ入り、蝶の標品を見てくる

12月

(1日 日曜。汽車におくれ1時半登校。ペンキぬりを又やる。長谷川巡查、轉任の挨拶にくる)

14日 菌類図説くる

16日 顕微鏡のレンズくる

26日 プレパラート作製。羊齒、里イモ、竹等

27日 當直をすまし顕微鏡を下げてかへる

1930年(昭和5年)

1月

(1日 四方拜。式後、風邪の為、宿直室でねる)

(3日 一番下りで内野へ。武田氏、渡辺秀英氏と新潟へ。記念館、師範、中央食堂、松竹館。記念館で3人でとまる)

(4日 11時起床。附属、万代橋、栄校をまはって、武田氏方にとまる)

(5日 内野校を訪れ(長谷川、涌井両先生)、武田氏と共にかへる)

(9日 汽車、積雪のため、うまく進行せず。食塩電池成功す)

2月

2日 アンカウ、シシイカ等の解体等の標品をつくる

9日 つばきの茎の横断、海綿のプレパラート作製

(23日 学藝會会場準備。戸に大洋紙をはり、ミミズクとカモのついたポスターをかく)

3月

4日 文檢願書提出

(6日 レコードコンサート開催。放課後。レコードより曲譜をとらんとして苦心)

9日 來客ありし為、寺裏墓地の蕨類採集を試みる

(29日 甲戸、山崎竹治氏、ムササビを捕へて朝登校。中川校まで剥製屋照合に行く)

4月

2日 顕微鏡レボルベル到着

- (20日 午後0時。子供をあつめ、花まつりの歌練習。練習後、直ちに武田氏と共に子供をつれ、永安寺に至る。縣道より行列をつくり入場。君が代、花まつりの歌をうたひ、キャラメル二ヶづ、もらってかえる)

5月

- 1日 青訓あり。地理。裁縫室にて考古学の一端を話す
- (9日 午後2時下りで、受験のため新潟へ。寄居町阿部屋へとまる。ローランの聲と、ぎをんぶしと、いわしうり)
- 10日 図書館に至り受験票受領。直ちに万代橋を渡り、新潟駅に至る。駅員、駅長の説教をきいてゐる。古町の魚市をまはり、高校前に出てかへる。午後、物理研究。夜、風呂屋に行き、南山苑をおとづれ、北光社、目黒、万松堂へよる。目黒より日本植物誌を購入。水を一ぱいもらってかへる
- (11日 記念館を訪れズボンをきらし、栗林洋服店へ行って修理。ガス会社陳列品をみてかへる)
- 12日 教育大意、国民道徳要領受験。西越村相田辰七氏と知り合ふ
- 13日 終日、化学研究。夜、月の万代橋を見に行く
- 14日 博物受験。相田氏と菓子をかはんがため、古町に出る
- 15日 物化受験。白山校園をまはってかへる
- 18日 武田氏とトラックに乗って石地方面へ採集に行く
- (24日 中川校の個性教育講習会に出席。講師、沼垂校長石田信次氏)
- (28日 海軍記念日。学校長、若槻、武田、池上で講話。自分は兵器の変遷その他について述べ)
- (30日 産業期休業開始)

6月

- 8日 高内山路植物採集。池田屋へ本日よりとまる
- (9日 武田氏来遊。兩人で流星を見んとて灰爪十二社まで至る)
- 11日 植物系統学を枕に教室で眠る
- (17日 武田氏と荒谷方面、高田登山路をめぐるかへる)
- (20日 役場へ。安達助役の慰労会に出席。官報を見て豫試合格を知る)
- 25日 青訓、理科。五年の教室で顕微鏡を見る

7月

- 10日 一番上りにて文検理科本試受験のため上京。上田から一老人乗り、パンを貰ふ。秀雄(*兄)、

上野駅までむかへに出る。駅前の食堂でそばを食ふ。自動車にて神田中猿樂町7番地日新館へ行く。宿で秀雄と共にとまる

- 11日 秀雄と共に文部省に行く。途中、女子高等師範へよる。時間はやきため、受験票をとらずにかへる。名古屋市白川校の横井龍次氏と今日から同宿す。午後、再び文部省に至り受験票をとり、和田倉門より電車にて日比谷に至り、公園をまはり、宮城二重橋を拜して東京駅に出、省線電車にて水道橋へ出てかへる。晝食はライスカレーをとってもらふ
- 12日 筆記試験受験。同志21名、内女子1名。おはって島津の器械部へ行く。X線を見る。夜、横井氏と共に九段の靖國神社へまゐる
- 13日 横井氏と共に上野動物園、小石川植物園へ行く。晝食は上野の菊屋にて。小石川へ行く途中、一駅よけいに乗って引きかへす。朝は山越製作所をさがし、休日のため見学見合せ
- 14日 島津の標本部へ行かんとして道を失し迷ふ。9時半より午後5時半まで同志数名と研究をつづける。晝食に洋食をいたゞき、數多のプレパレートを見て、かへりにカルピスを一ぱいのんでかへる。夕は、法経科のもの数名と共に風呂に入り、実のにぎやかであった。今日は、背廣服にて出る
- 15日 朝、前の寫真館へ寫真をとりに行く。午後は、お茶ノ水の博物館(東京博物館)へ横井氏と行く。女の受験者も1名見えた。開化ドンブリを食し、氷水、氷しるこをのんでかへる
- 16日 口頭試問。第四室、近藤耕蔵(*?)物理、第一室、水野彌作・動植物、第二室、竹島茂郎・鑄物、生理、第三室、倉林源四郎・化学。をはって日本橋より銀座に出、明治神宮参拝に向ふ。神宮前にてライスカレーを食す。参拝後、省線にて水道橋に出、更に電車にて外手(*?)町に出、すみだ川を見て浅草公園に至り、氷をのんで花やしきに入る。水族館、人形ダンス(ウラシマ)を見、せんすを失ひ一本もとめて、地下鉄にて上野へ出、省線にて水道橋へ出てかへる。宿の前で水をのんで居ると、法経の連中來り落選を告ぐ。夕刻、法経の者、1名を残し他は淋しく別れて行く
- 17日 水道橋より横浜に至り築港を見、東海道線にてよこすかに向ひ、軍港、軍艦を案内していたゞく。軍艦は太かん。せん水てい、航空母艦も見る。同志のもの2名。ライスカレーを食し、帰宅。兄貴に送られ上野駅8時17分にて東京を去る。碓氷峠は夜の1時半。きりが深かった。地藏堂とかの女の人のり、長野へ

- (19日 徴兵検査予習のため刈羽校に出頭。大橋校長の時事問題をきく。整列一順位をきめ、記念撮影をしかへる)
- (21日 一番上りにて柏崎小学校へ徴兵検査に行く。荒浜村と合同。第一乙種と決定)
- (29日 雑記帳展覧会を開催す)
- (31日 大掃除。ナトリウムに点火し爆発す。慰労の宴を裁縫室で。島津より合格の報を受く)

8月

- 1日 文検植物科受験を決す
- 4日 妹と見日神社へ行き、レイシを採集する
- 7日 石川齒科醫のところに至り、帰途、再び中村動物園へよってくる。理科免状受領(7月31日付)
- 10日 高内山登山路の植物採集に出る。ハミズニハスギゴケ、ヒイロガサ、キヒダタケ等あり
- 27日 文検世界、文けん受験生へ、理科受験記發送
- 30日 石地海辺へ採集(海藻)。大崎、濱忠へ出てかへる

9月

- 1日 武田氏と灰爪から上山田へ散歩にまはる(ゼニゴケ採集)。夜、武田氏方にとまる
- (6日 役場へ児童をつれて投票練習に春日先生と行く。武田氏、胃腸カタルになり、看病のため学校にとまる。北條氏、夜、くる)
- 20日 宿直。荒谷方面まで採集に出、笹山の某氏より柿をいたゞいてかへる
- (25日 創立記念日。敬老会。受付をする。ひき幕の切れたのには困った)

10月

- 6日 武田氏と尾之内避病院附近へこけとりに。四年の生徒数名くる
- 7日 高内山へ奉幣、ギンリョウサウを得。奈良の蓄音機商来り、レコードコンサートをひらく
- 8日 本日から産業期休業。標品鑑定第一回發送。駒場農園
- 10日 一番で角田方面採集の予定で出發。曾根駅下車。雨に降られ、2時間許廻り(アギナシ、タウギリ)、新潟に至り各書店をまはり、進化論とイソップ物語を買って歸る。
- 18日 柏崎農学校へ学校長と共に刈羽郡博物学研究会に出席。岩田教諭の天然記念物の話、丸山校長の刈羽郡内の植物の分布についての話あって、後、学校下より変電所の所まで採集に出る
- 21日 理科用のうんかを児童と共に学校裏へ捕へに出る。蓄電池を中川までぶら下げて行く
- 25日 鯨波の蒼海ホテルへ慰安会。開会まで海岸を散

策(春日先生と共に)。ネヅミノヲ、センブリ、ダイモンジサウ等を得

- (30日 教育勅語御下賜記念式。多岐神社参拝)

11月

- 6日 夕刻、羊菌類採集にコートをつけて内越の沢に入る
- 10日 一番上りにて北鯖石校へ理科研究会に。終って柏崎へ出、渡甚へより、園藝植物の図説をもつかへる
- 17日 展覧会出品準備。校長、春日、池上3名で、白布につゝんだ出品物を刈羽校に運ぶ。石地の連中も亦。刈羽校を出て神明山の羊菌を採集し、六時の下りで登校
- 18日 柏崎農学校の理科研究会(花だんのつくりかた、水仙のかにつくり)に行き、丸山会長に鑑定標本を依頼し歸る
- 21日 刈羽校の出品物の撤回にいく。運搬数回。雨を侵して墓地方面の植物採集をやる
- 23日 雨にうたれて神社参拝。1時の上りで柏崎に出、図書館へ行き、西山油田地図を研究しかへる
- (27日 ピアノをひき、北條氏とおそくかへる)
- 30日 安澤誠治君、新発田十六聯隊へ一年志願兵として入営。柏崎駅まで送り、更に青海川に至り、上米山村より米山登山路方面の羊菌類を採集しかへる

12月

- 8日 2時の上りで柏崎農学校長丸山忠治郎氏を訪問し、標本を鑑定してもらふ
- 14日 放課後、石地海岸へ磯採集に行く。大きな水母が多く上がってゐたのは珍しい。暗くなつてかへる
- (26日 登校し、ねずみ四匹を解剖。得るところ大。終わって北條氏と宿直室で蓄音機をならし、みかんを食ふ)
- 29日 当直。藓類標本の整理

1931年(昭和6年)

1月

- 1日 式をすまし3時の上りで帰宅。直ちに金照院裏まで藓類採集に歩く。藓類数種を得
- 3日 午後、七分一谷、入ノ奥方面の藓類を採集。近藤源舜氏を訪れ、氏の邸内の藓類を見、夕食をいただいて歸る
- 6日 石地椎谷方面海藻採集。鎌田へ出、暗い道を歩んで帰校。終列車でかへる

- 7日 海藻標本整理
- 19日 笹岡氏より蘚類鑑定の承諾を得、直ちに荷造りす
- 23日 早引し、神明山方面蘚類を採集す
- 24日 石地へ海藻採集。笹岡先生より蘚類鑑定票到着す
- 31日 課業午前限り。雪を踏み、内越、尾之内の山を跋涉し、蘚類を採集す

2月

- 3日 1時上りにて西山下車。瀧谷山に至り、イハカガミをとりて歸る
- 21日 午後、石地峠までヘラハネデレゴケをとりに行く
- (24日 役場にて北吟吉氏の講演あり。全員出席す)

3月

- 5日 午後、石地海岸へ海藻をとりに行く。アカモクの生殖器を発見す
- 7日 農学校の博物研究会に出席(海藻、頸城の植物等)
- (25日 卒業式。終って茶話会(裁縫室)。中々盛会なり。余、感想をのべ、新霊交術をやり、歌をうたふ。伊比二三男、野中久年二君のすみつけゴッコは、おもしろい)
- 26日 残務整理に登校。大植物図鑑を、矢代先生、鎌田局よりもってきて下さる
- 28日 寺泊水産試験所訪問。分水の川原の蘚群痛快なりし。雨にうたれて彌彦に入る。神社参拝
- 30日 万年筆ペン取換えに出柏。序ながら三石まで海藻採集に行く

4月

- 1日 安田氏植物学各論隠花部の代金引換に鎌田局まで行ってくる
- 10日 学期始の宴会。途中抜け出て高内山麓へ蘚類をとりに行ってくる。メートル法記念日の準備
- 21日 青訓生と内越へ採集に出かける
- 25日 清四郎、甚一郎等一組のものに小使室裏の蘚をとらず(後日、飯柴永吉先生によりヒメヒロイチゴケの御鑑定をうく)

5月

- 3日 日曜。家にて顕微鏡の薬を調合す。花壇播種
- 10日 高内山へ採集に行き、甲戸谷へ出、ユシュヅへ出、天然瓦斯、石油噴出の井戸を見てかへる
- 16日 農学校へ博物研究会に。比角校へ寄って飯塚氏の標本を見せてもらう
- (23日 伊沢高田師範教諭の教育哲学の講演会あり)

- 31日 博物研究会。会場当別山校。朝、風邪のため汗ばしをする。佐藤先生より万事盡力してもらふ。午後、内越より尾頭部方面へ採集にまはる

6月

- 1日 螟蛾、いなごの卵をあつめる。夥しくあつまる
- (3日 本日より産休)(*産業期休業)
- 5日 鉢崎へ採集に出る。日新館へよって眼鏡を求めてかへる
- 27日 大昆虫図鑑を買ふ
- 29日 高町校の植物をしらべてやる

7月

- 19日 午後、島津の五十島氏より地衣類鑑定の報を受け、よろこんで早速うちへかへって標本をもってくる
- (20日 宇都宮微笑(*?)氏の乃木精神講話、安達校醫の衛生講話(寄生虫の話)あり)
- 22日 夕刻、篠田実等数名と内越の昆虫採集に出る

8月

- 9日 高内山麓へ植物採集に。クマヤナギを得て喜んで歸る
- (12日 午前8時より刈羽校に於て点呼あり。執行官、厚地與一少佐)
- 16日 朝、骨のプレパラートをつくるべく、牛骨を切ってみがく
- (23日 兄玄龍と、母をつれて長岡の上越記念博覧会に行く)
- 26日 日直の餘假に、毒壺と網をもって、はだかで内越の昆虫採集をする(前後2回)
- 28日 入ノ奥から大湊、宮川神社まで採集に出る。一ぱいの水のため宮川神社を訪れた労、まことに多とすべし。大湊で海水にひたり、西元寺へ出る道をまわってかへる
- 30日 寺泊水族館見学(第二会場。上越博)。自動車にて弥彦に至り、神社参拝、植物園見学。直ちに大いそぎにて登山。終列車でかへる。刈羽駅に至り宿直依頼の件を知り、又直ちに引き返して学校でとまる

9月

- (10日 早朝、徒歩にて薬師をこし、尋五以上、長岡の博覧会に行く)
- (11日 坂上校の教育博見学)
- 13日 日曜。内越へ採集に出る。中野の石油やぐら焼け、あはて、かへる
- (15日 子どもがみんな仲よくなって嬉しい)
- 18日 西越校話方研究会に行く。講師、東京コドモノ

イへ社荒川西峯先生。午後、先生のお話、実習。
植物標本を借り、遂に汽車に遅れ終列車でかへる

- (19日 日支交戦の号外出でたる為、古市まで佐藤先生と共に見に行く)
20日 後谷から田中方面まで採集に行ってくる

10月

- (5日 高内山、奉幣)
(6日 子供にはじめて割算を教ふ(珠算)。成績良好に付、痛快なり)
15日 北部青訓聯合演習。歸路、上山田峯づたひに採集してかへる
(16日 石地より歸る青訓生迎へるため、朝、佐藤先生と大津まで出る。柏商校生一名落伍。銃、背囊を駄までとゞけてやる)
19日 「別山植物分布」起稿
25日 小木城址及び脇野町方面へ採集に出る。往復徒歩。学校に泊る
30日 くもその他標本を根立廣吉氏に依頼せんため、午前4時まで標本の整理にかゝる

11月

- (2日 宿直。夜、解剖(蛙)を行ひ、組織の研究をなす)
(19日 児童をつれて展覧会見学に。石地峠にて学校長の満州戦況報告あり)
(23日 新嘗祭。戦捷祈願・・神社参拝)
29日 赤田、曾地峠方面へ採集に出る。蘚類数種、ミヤマシケシダを得てかへる

12月

- (5日 高田聯隊区司令官、秋山少佐の満蒙講話が役場である。高等科の生徒をつれて行く。混雑すること甚だし)
6日 入の奥へ採集に行く。ホウロオウゴケ採集
12日 植物標本レッテル改正につき、標品改造に着手
26日 別山博物調査目録完成す
27日 石地海岸海藻採集
30日 小風雨。竹の尻まで蘚類地衣の採集に出る

1932年(昭和7年)

1月

- 7日 鯨波へ採集に行く。イトマキヒトデ、アシ(*レ?)ヤガヒ、ベニエガヒ、キンフシノブ、水ゴケ、ガマの花等獲物多し
9日 青訓へ出て、動植物の起源について話す
11日 笹山の櫓までシロゴケ等の採集に出た。ナラキ

シダを得て帰る

- 20日 「動植物の名稱について」と題して、放課後研究発表をする。根立廣吉氏に依頼した蜘蛛、貝類、東京よりかへって來た
21日 放課後、石地海岸へ海藻採集に出る。薄暗い中、懸橋の岩上をとびまはる

2月

- 10日 宿直。夜11時まで電池の製作をす。塩化アモニウム電池、硫酸銅電池、成功す
(11日 紀元節。別山青年團辯論大会あり。最後に飛入として、小生、辯論について一言話す)
12日 以前、兄秀雄を介して横浜の福田正作氏に依頼し置ける海藻標本、到着す
16日 飯柴永吉先生より第二回蘚類鑑定票をいただく
(18日 満蒙独立国建設宣言さる)
(28日 夜、近藤源舜氏来る。くも其の他の標品を見ていたゞく)

3月

- 13日 甲田より石地海岸へ採集にまわる。甲田の奥でユキワリサウをとる。雨はなはだし
(16日 高橋伍長(石地)遺骨石地駅へ到着。出迎す)
(21日 柏商校安廣大尉の講演あり。午後2時より6時近くまで。(日支問題の解決と我が國防)
(25日 長々手にかけて可愛い、子供の卒業式)
30日 学校にて海藻標本の貼りかへをやる

4月

- 2日 石地より出雲崎まで海藻採集に出る。石地にてスギモクをとったことは嬉しかった。出雲崎より西越村を横断、山路をさまよい後谷へ出てかへる
9日 尾頃部までねこのめさうを自転車にてとりに行く
17日 峠ヤクシより宮本一吉生津一甲戸一尾頃部・・採集にまはる。岡村金太郎博士より海藻鑑定票受領
24日 刈羽神明山、見日神社採集。*Rumex Acetosera* L.(ヒメスイバ)を刈羽校側にてとる
(25日 突然、青訓に出さる。物質構造論について話す。唱歌室)
27日 靖国神社祭典につき休み。石地海岸に採集に出る

5月

- (1日 日曜。午後2時21分下りにて石地町凱旋兵士歡迎に石地駅まで全校生、日の丸をもって出る)

22日 石地海岸まで海藻採集に出る。石地町はずれより奥の池まで採集。別山へ通路なきため同じ道を引き返し大津へ出る。峠上にてシライトサウ、ヒメコバンサウを得たことは実に痛快であった

(25日 朝会体操があるのに遅刻)

(28日 北部教員協議会主催児童庭球大会。細川氏と一番上りにて刈羽校へ選手をつれて行く。刈羽、石地、二田尋高校を破り、遂に決勝にまで出る。帰途、選手其の他約二十名、小生宅に遊んで終列車でかへる)

30日 午後、メイガの卵の採集の監督に出る。西班、池上、大谷。灰爪—上山田—尾之内—大山—峠—吉生津。永安寺の下の家からツキヌキニンドウの枝をもらってかへる

6月

1日 採集したいなごの卵を火葬に附す。上り列車で関東地方採集の途につく。上越線にて

2日 東京着。神田表猿樂町風間旅館に投宿。直ちに上野公園に至り、科学館に入る。屋上にて天体望遠鏡にて金星を観測。其の他帝室博物館、水族館見学

3日 日比谷公園に至り、花壇展覧会、生花、水草展覧会をみて芝公園に向ひ、増上寺参詣。午後、雨にうたれて小石川植物園をまはる

4日 雨また降る。上野動物園、小石川植物園温室をまはる。夜、神奈川縣長津田に至り、久々に兄秀雄にあひ、学校で泊る

5日 兄上と江ノ島、七里ガ浜、稲村ヶ崎、鎌倉八幡、逗子、葉山等をまはり、主として海藻の採集をなし、湘南電車にて神奈川八景に、横浜の夜景をみて長津田にかへる

6日 常磐線にて筑波山登山。東京、青山師範の生徒、同道す。雨にうたれて岩根をつたっており(上りはケーブルカー)。全身ぬれて、土浦駅前にはやに投宿

7日 日光に至り高山植物園研究。自動車にて馬返しに至り附近採集。更に自動車にて中禪寺湖畔、戦場ヶ原をとほり、湯元にとまる

8日 湯元から馬返しまで高山植物を採集しながら下る。エレベーターにて華嚴の瀧、白雲瀧見学。東照宮を参拝して今市より栃木に出、夜の両毛線にて高崎着。駅前の越後屋にとまる

9日 高崎發。上越線ユビソに下車、採集。更にトンネル越して湯沢に下車、採集。越鉄終列車にて別山へかへる

(19日 高町校生徒と共に米山登山をなす)

25日 郷土植物採集を開始する。晝食休みに各通学団長をあつめて採集法を話す

26日 日曜になり、午後灰爪の山へくもを採集に行く
(28日 伊比トミ、小玉シズ、野中カノ等、放課後わざわざ、後谷まで植物採集に行つて草をとつてきて見せる)

7月

13日 明日の準備のため内越へ羊歯の採集に行く

14日 中川校との合同研究会(植物研究会)講師として、プレパラート、腊葉の研究、お話(分類と系統)をする

8月

(5日 登校。浜忠戦死者遺骨到着(6日)。7日、町葬のため、白馬登山の計画潰れる)

12日 一番下りにて採集に出る。巻駅下車。自動車にて峯岡の入口まで。徒歩にて五ヶ峠に向かう。道けんそのため角田登山を見合わせ。五ヶ浜からみぎはの岩根づたひに間瀬に至り、更に細路を辿つて野積より寺泊に出る。終列車に間に合はぬため自動車で大河津までとびつけ、やうやく搭乗

17日 黒姫山に金子卓三氏、弟八郎氏と三名で登る。帰路、山腹の清川の出壺を探つかへる。終列車で帰宅

29日 尾野内より宮本峠を越え三島郡宮本村の三島谷、折渡まで採集に出で、山背を越え、坂田より西山へ出てかへる

9月

(16日 軍歌練習)

(18日 旗行列、日暮まで。午後2時、役場にて凱旋兵士慰労会あり)

(23日 別山青年團、勞力奉仕をして校庭に大國旗の柱をたてる)

(25日 大國旗初掲揚、訓練旗樹立式、創立記念式、校庭にて挙行。敬老会の受付をなす。夜、真光寺に行き、金子、細川両氏と運動会の準備をなす)

10月

(2日 朝一番下りにて佐渡旅行の途につく。一行、佐藤校長、金子、大谷、細川、小生の五名)

(5日 11時ころ、細川先生宅(外海府村願)につく。就床2時)

(7日 早朝、おけさ丸にて出帆。天気よし。夕刻、歸校)

(13日 大谷、細川両氏と三名でライスカレーをつくつて十三夜の祝をなす。3名、学校に泊る)

(20日 校長、高田なる献納飛行機命名式に御出席)

(26日 御真影奉戴式挙行(午後4時より)。石地駅ま

- で奉迎す)
- (28日 高浜校にて北部教員協議会の研究発表会あり。金子氏、「日本語源の心理学的考察」なる題にて発表)
- (29日 教育勅語御下賜記念式挙行)

11月

- (10日 国民精神作興詔書御下賜記念式。式後、浜忠の三富伍長の満州實戦談あり)
- (13日 細川、大谷両氏と山芋ほりに尾之内から宮本峠、薬師峠をかけてかへる)
- 23日 終日、試験管台の製作にかゝる

12月

- (6日 勝山校にて細谷氏の満州講演会あり)
- 19日 大野勇、小池光義と内越の山へ蘚類の採集に出る
- (20日 慶三郎、算術帳の表紙にかえるをかくべく申し出、クレオンでかいてやる)
- 26日 柏崎高等女学校岩田作平氏訪問。堀久四郎先生も見える。午前中、学校にて標本を見せていただき、午後は、悪田新田なる岩田邸に至り、終列車まで腊葉を見せていただいて歸る
- 30日 宿直。竹類研究着手。校丁と、1時半まで竹につき論議する

1933年(昭和8年)

1月

- 6日 佐藤氏、校丁、小生3人で立村より後、各方面へシュンラン、ウスタビガのまゆ等を採集してまはる。ムラサキホコリカビ採集
- 28日 放課後、男生数名遊んで行く。花式図整理

2月

- (11日 青年団討論会あり。「和服論と洋服論」、「郷土開発論と海外発展論」)
- (27日 学藝会の踊り廃止云々の忠告書、村民某無名氏よりくる)

3月

- 2日 植物科中等教員検定試験願書提出
- (10日 陸軍記念日。午後、記念式)
- 30日 出雲崎より妙法寺駅まで春日にうたれて採集にまはる

4月

- (8日 出柏。森田醫院より眼鏡の度をきめて貰ふ。

左2.0D、右、平面瞳孔距離65mm)

- (22日 奉安庫地鎮祭)
- (26日 全校職員及び高二生徒、奉安庫杭打の手伝ひをする)

5月

- (12日 二番下りにて新潟へ。菓子展あり。昭和橋、白山小学校附近をまはって投宿。縣廳前、菊屋。縣廳へ受験票をとりに)
- 13日 午前8時より縣廳會議室にて文檢植物科應試。午後、鶴田秀一氏(専攻科)を營所通佐藤下宿に訪問。後、高等学校裏海岸まで散歩。新潟師範校記念館によってかへる。夜、古町花市、電氣館へ活動を見に
- (14日 午前、丸山忠次郎氏を松波町に訪問。午後、沼垂山の手なる新潟農園へチューリップを見に行く。川蒸氣にて新潟へ)
- (15日 尋三、四、寺泊方面、五以上、新潟方面へ、一番下りにて立つ。三、四年、大谷、池上。寺泊町舊跡、築港、水族館、大河津分水堰見学。5時、歸校)
- 18日 池田周治と灰爪裏山へ採集に出る
- 23日 大谷氏と灰爪の山へ夏川石をとりに行く
- (27日 海軍記念日)
- 28日 小木城址脇野町まで採集に行ってくる。甲戸にてマウセンゴケ採集
- 30日 尋三教室で青訓生に顕微鏡を見す
- 31日 苗代害虫採集。大谷氏と共に灰爪、上山田、尾之内、荒谷をめぐるかへる。避病院參觀

6月

- (5日 大谷氏と羽越方面旅行に出發。天氣、晴れ。石地—東三條(町見物)—新津—村上—桑川下車—川まで徒歩にて。笹川流探勝—温海下車。清野鉄臣翁訪問、博物陳列品見学—温泉地をめぐる新築鉄筋コンクリート温海小学校校舎を見学。(午後7時)温海乗車。月光の下、庄内平野に出、10時、酒田駅前に泊る)
- (6日 6時半起床。残雪の鳥海山のながめよし。7時、大阪行に乗車—村上下車、瀬波温泉見学—新発田新潟間、自動車にて—白山公園防空展覽会见学。終列車にて歸省)
- (13日 大谷氏と牧草園に立札す)
- 13日 東京の旅館より植物科合格の報を受く。早速、自転車にて役場に至り、白井氏より官報を見せて戴き、大喜びでかへる。合格者四名
- 14日 夜12時、長々の懸案、ムラサキツユクサの花粉末細胞の染色体を認む
- (16日 柏小学校阪田四郎氏を聘し、中川校と合同に

てデンマーク体操の講習会)

- (17日 高二生徒に萬國の王城なる話をきかす。夜、宿の方、ナツシロギクを地蔵尊よりもってきて下さる。夕刻、また、びの枝で小猫をざらす(*じゃらすの方言?))
- 18日 柏崎中学校佐藤春夫先生を訪問。博物標本を見せていただく

7月

- 1日 終列車上り7時15分石地発にて、文検(理科/内植物科)受験のため上京
- 2日 早朝上野駅着。タクシーにて植物園前に至り、徒歩、茗荷谷町六東郷館別荘に投宿(全所は、越後人の経営)。夕刻まで植物園及全温室を見学。後、浅草に至り、花屋敷、劇場(レビュー・ヴァライテイ、アパート騒ぜう記等)等を慰安にめぐる
- 3日 雨。文部省(一ツ橋のバラック)に受験票をとりに行く。それより島津製作所標本部に至り、夕刻まで腊葉及びプレバラートの研究をする。五十島鶴松氏にあふ。歸途、たのまれた用箋をさがしに神田に至り、日本大学、神保町をめぐってかへる
- 4日 省線田町駅にて下車。三田なる慶應大学に岡村周諦博士を訪ふ。博士採集の羊歯、禾本、莎草及び学校備付の海藻及び浸液標本を終日研究。岡山縣の笠原安夫(北條儀三郎氏によくいる)、平田猪久夫両氏また、見えらる。他、動物科で1名(晝食2人で校内食堂で)。歸路、日比谷公園、拓本省警視廳、兵器本廠及航空本部、参謀本部、陸軍省、司法省、海軍省、軍法會議所、文部省、外務省、内務省を見、桜田門より宮城二重橋前に出て、東京駅より上野に至る。松坂屋にてメロン一片。其の高價なるにおどろく。三年生へ絵葉書を送る
- 5日 高等師範学校(男子及女子)を見、大塚まはりにて目黒に至り、目蒲電鉄にて不動前下車。農林省林業試験所に至る。午後、上野博物館見学。星を見るべく上野駅より宿へ電話をかけ博物館迄行きしかど、本日は開館されず。よって浅草へ観劇に行く(ヴァライテ青春の唄)
- 6日 再び、三田に岡村博士を訪問す。同志10名。午前、予備試験問題解説。午後、細胞学の検鏡方面指導。帰途、三越、白木屋、日本銀行、鉄道省をめぐってかへる
- 7日 朝、山越製作所を訪れ、博物標本少なきため暫時にしてここを出、上野博物館の腊葉室に行く。一老人居り、標本研究の世話をする。全館食堂にて晝食。午後、引継いで研究。老人、疲れた

らし

- 8日 本試受験。早朝、小石川植物園に至る。同志18名中女子1名。抽せん番号八。第一室、中井猛之進博士。グロキシニヤについて。第二室、藤井健次郎博士。ミクロメーター・スピレム期細胞、顕微光学一焦点、実像、虚像について、マワウの茎の横断、ケトレー曲線の説明。第三室、山羽儀平博士。ギンリョウサウの營養、変色、マウセンゴケ、キューネの発酵さう置、原形質運動等。中井氏・安沢準一郎に、山羽氏・大谷盛雄氏に似たり。
- 受験後、一高、帝大をめぐって見学。上野動物園に至る。クモザルの敏活さにおどろく。オマキザル、マントヒヒ、コンドル等。後、浅草へまはり、レビュー(バライテイ)を見、大道にて記念撮影をやる。浅草蛇展らん会、蛇とり、全踊等を見る
- (10日 清水峠は月光ものすごく、早朝の魚沼は朝ぎりに包まる。5時半、宮内駅に下車。約1時間、町をぶらつく。8時半、石地駅到着、登校す。夜、大谷氏とビールにて小宴をなす)
- 21日 夕方、牧野博士講習会の準備採集をする。真光寺の竹、内越→尾頃部。採集のかへりに、学校長、祝合格の電報が島津より來し旨を知らせらる
- 22日 2時半、牧野博士講習会に出席すべく彌彦に向かふ。彌彦へ夕刻着。名代屋へ投宿。直ちに多宝山へ採集に向かふ。夜、神社参拝をなし、公園をめぐってかへる
- 23日 8時、彌彦、西小学校に至る(竹標本持参)。講師、牧野博士、新潟高校真保教授。開会の辞について老博士のお話あり。にこやかにやさしく快活に。先生、本年72才。9時近くより彌彦山の採集にかゝる。先ず学校の玄関口にて竹標本の御指導を仰ぐ。大花のムクゲに先生興ぜらる。神社→櫓(*棒?)清水にて昼食。会員80名。室屋政次、柏中佐藤春夫、丸山忠次郎氏を知るのみ。午後、中の茶屋で引返す。先生、盛んにミヤマアブラススキとキジムシロとをあつめらる。だれかの採集せるワラビの芽生えの大きいのに、先生、奇聲を発して喜ばれる。夕刻、新潟へ出、縣廳わきの西山旅館へ泊る。夜は古町見物及標本整理。新潟中学金沢氏、新潟女学永井氏、彌彦の地質の話を
- 24日 8時半、高等学校生物学教室にて、各員持参標本の御鑑定を仰ぐ。小生のもの約75枚。うち、別山産のササ、サハハコベ?の二品は、珍なりとて先生に献上する。先生、某氏の長岡悠久山のササを、頗る珍重がってもらって行く。晝食を高校の食堂にとる。了って図書館に至り官報

を見、文検合格者を知る。21日付。植物科、三好三朗（京都）、豊沢豊雄（香川）氏と小生の3名であった。安田氏の地衣類図譜にてモジゴケをしらべてかへる

29日 夕刻、宿の周治と灰爪の上へ採集に行く

30日 薬師峠の沢を小川づたいに採集する。それより宮本峠をめぐり、尾野内へ出てかへる

8月

（5日 大谷氏と学校でまくはうりの大食会をやる）

（10日 夕刻、高内山に行つて終列車にて刈羽にかへる）

11日 校丁と夕刻、薬師峠まで笹（ねまがりたけ？）採集に行き、日暮れてかへる

12日 校丁と高内山西麓なる熊の谷に笹二品の採集に行つて来る。暑さ強し

14日 日直。笹の腊葉、バラの芽ざし穂等をつくる

（22日 大谷氏と午前十時、別山出發。縣道づたいに國上へ行つてくる）

26日 細川氏と内越の山を採集にめぐつてかへる。岡山縣芝原氏におくるべく

29日 細川氏と学校のぶだうをもぐ。夕刻、文書棚の大整理。海府の海藻を2人でおす

9月

1日 文検動物科受験を決す

10日 夕刻、高橋進一氏の側山へササの採集に行く

11日 放課後、男先生、真光寺前の川へ魚つりに出る。小生、胴乱をもって採集。高橋虎獅氏、裏岸にやなぎ一品発見、河を涉つて之をとる

（18日 中等教育植物科免状を妹が宿へ届けて置いてくれた）

（23日 夜、多岐神社へ免状を持って参拝に行き、帰路雨にうたれて鉄道線路よりかへる）

30日 午後、尾頂部裏山を採集にめぐる。雷なりて雨ぱらつく。日暮れてかへる。4尺くらいのキノコログサが土産に一本

10月

4日 朝3時40分、強震あり。飛起きたり。午後、校丁と内越から尾野内方面の山めぐりをする。尾野内にて道を失ひ、難渋す。獲物は、ミヤマイタチシダやきのこの類。歸校五時半

5日 10時4分下り列車にて、第二師團長東久邇宮稔彦王殿下、石地駅御通過。五年以上、駅頭に奉送す

牧野富太郎博士よりネマガリダケ鑑定の御芳翰をいただく

（22日 宿直。午前2時まで高二地理教材「天気予知法」

を謄写す）

（30日 奉安庫の松の木植ゑ。大國旗鉄柱たてに学区全青年労力奉仕をなす。教育勅語御下賜記念式）

11月

5日 細川氏と二人で柏崎に出、江口校長宅を先ず訪れ、昼食を馳走になり、後、農学校の菊花展、満蒙資料展を見る。オホバボダイジュ、ヤナギ等を採集せんがため、四ツ谷裏の田圃道を歩く

（10日 国民精神作興詔書御下賜十周年記念奉讀式を挙ぐ）

（19日 細川先生と柏崎小学校の南部タカネ女史の独唱会に行く。高田師範の山崎光尚氏の伴奏にて、庭の千草、キンニヤモニヤ、叱ラレテ、アメリカの鳩、此の道、まちぼうけ、夕空はれて、シューベルトの子守唄、マダム・バタフライ等々、20曲ばかりやる）

22日 教室にて高浜土産のエボシガヒモドキの解剖をやる

25日 石地海岸へ午後自動車にて採集に行く

26日 朝、荒浜駅まで柳の採集に行き、高町校へ寄り、近藤一郎氏より新築の運動場やら鳥類其の他の標本を見せていただいて歸る。帰路は学校裏の沼地を横切り、ミヤコドリ（ユリカモメ）を調べて歸る。午後、別山校へ海藻標本をつくりに行く

12月

3日 日曜。終日、尋一教室にてミミヅクの剥製をやる。夜、教務室にて解剖研究

15日 内郷村強化団体發会式。於中川校。高等科児童を引率。縣社会課須藤氏の精神作興講話、高田聯隊区司令部の内山中佐、「昭和11年前後に於ける帝国の危機」の講演あり

岡山の検友笠原安夫氏よりの交換腊葉到着

18日 高内山麓くまのたにへ主として笹の採集に行つてくる。（東大中井博士に送る新種カリハザサ）

（23日 午前6時39分、皇子殿下御誕生あらせられる）

30日 満一年間の竹の研究ここに一段落をとげ、学校にて標本をまとめる

（31日 終日、不動さん佛だんの大掃除をやる）

1934年（昭和9年）

1月

3日 宿直。夜2時近くまで、にわたりの心臓の解剖

研究をなす

- 4日 午後より尋一教室にてうさぎの解剖をなす。終了5時。三尺の積雪をほって残骸を裏の樺の根本に埋む。夜、宿直。教務室にて晝に引きつゞき、うさぎの頭蓋骨骸骨、心臓等の解剖及び校丁に植物方言をたゞしたり、終了3時
- 8日 中井猛之進博士(東大)より笹類鑑定の芳翰頂戴(1月6日付)。左記学名をたまわる
- Sasaella Ikegamii* Nakai 刈羽ざさ
(1934.1.6)
- これが小生新種発見のスタート種である。しかも其の学名たるや実に光栄、歓喜の限り。誠にスタート種として慶祝すべき文字ではある。ここに深甚の謝意を中井先生に捧げるものである。
- (9日 夕刻近く、高橋宗治氏夫人の案内の許に笹山山頂の中野口式油井の自噴を全職員で見学に行く)
- (10日 青訓生に魚類、寄生虫プレパレート、刈羽ザサ等につき實見さす)
- 12日 雪を踏んで笹山へ竹採集にめぐって学校へ歸る。採集品の主なるもの・入口にて小生最近の発見たるカリハザサ、次にブンゴザサの叢、ヤダケの花、ナリヒラダケ、ハチク等
- 14日 夜、尚正と隣家遠藤吉郎方のハチク垣へ雪を踏んでハチクの変品(叢中に一品、葉裏有毛種)をとりに行く
- 夕刻は、自邸裏の土手なる笹の大採集を行ふ。以上二品は、乾燥次第、中井博士に送る予定(一ハヤハリ、ハチク。一々日本第二の産、トウゲザサ。中井博士より)
- 15日 午後、笹山へ笹をとりにまわる。雪をこいでまずシヤコタンチク(大野聡作方)をと、次に寺沢太郎君の家のわきにてイチゴ類、ネマガリ竹類似のもの一点ずつとり、更に笹山の山道を少々、辿る
- (*「ネマガリ竹」箇所に矢印で付記あり。「これは他日、中井博士(東大)によりナガバネマガリタケなる旨考定される」)
- 夜、兄玄龍と談じ、文検動物科受験をとりやめ高検植物科に変更す
- 17日 放課後、内越へ雪中ササとりに行く(ヤダケ)
- 18日 小生、青訓授業。海藻標本について
- (30日 父、病頗るよし。爐ばたにていろいろ話す。組合(遠藤吉郎氏)より百圓也借入れ拂ひの準備をなす)
- 31日 尚正と2人で雪中を竹採集に神明連丘をめぐる

2月

- (3日 1時上り列車で長鳥へ行く。先ず学校を訪れ、若井校長と共に能満寺を訪れる。五年ぶりの訪問。美代ちゃんも大きくなり、いさゝかながらの変りの中にも尚、昔ながらの俤をのこし、老僧大宗謙成氏、仲々元氣のも喜ばしい。11時ころまでろばたでよも山の話に時を過す)
- (4日 長鳥校を訪問。鑑物標本の整理をなす。午後、理科質疑研究に4時過ぎまで)
- 16日 汽車におくれて遅刻。笠原安夫氏からラウバイの生品が届く。校丁、荒谷より方言マルバザサなる珍しい笹をとってきてくれる
- 18日 日曜、石地―椎谷―鎌田―別山と笹の採集にめぐる。風雨強し。終列車に漸くまにあう。灰爪石地越のチマキザサ、大津入口のアズマザサの一種、大津部落ヤダケ、大津のお宮シヒ、椎谷観音下の笹、寺側のネザサ、蒲田峠付近笹4点。晝食、雨中、大崎の松林中にて
- 19日 午後一時間目を早引きして1時の上りにて猛吹雪の中、蒲田郵便局まで代金引換の日本植物総覧をとりに行く。5時の上り遅延し、荒谷奥まで校丁より聞いたマルバザサをとりに行く。粟生津辺の吹雪のため汽車開通の見込みなく、岡塚、青木店員及び荻野先生、小生等、池田屋に宿泊する
- 20日 夜、近藤源舜氏来る。竹標本をみていただき、雪成に珍笹あるのを知る
- 23日 日暮れて細川氏と共に出て、笹山、寺沢旭太郎裏の竹を採集する
- 26日 笠原安夫氏より標本がくる
- 27日 流行性感冒にての欠席児童多きため、課業午前限り。午後、雪中、ヒノキ、サハラの枝及びササ(フミヲザサ?)を内越にとりに出る
- (28日 兄玄龍、勤務演習を了へ松戸より帰る。小生へ土産にキンメイチクをもって来る)

3月

- (3日 夜、堀久四郎氏来たる。かねての依頼たる小生中等学校就職の件、佐渡相川中学校渋谷校長より採用の趣書信にて来たりたるを報せて行かる)
- 4日 登校。竹類を中井先生の許に発送せんとて着手すれど、頭重く苦しかりければ、宿直室にて休む
- (9日 病、やゝ快し。みかん一箱もって登校す。吹雪つよし)
- 16日 病やうやう治り、正午登校(9日欠席)。高二女生に織物標本を教室へ貼らす。中井博士に竹

1 1点送るべく、標本を整理荷造りする

- (2 1 日 相川中学校渋谷哲司氏より任用の旨、書信くる。夜、堀久四郎氏来遊)
- (2 3 日 四年の教室・小生別山校新任の年の教室・で、高二地理最後の授業をやる。六ヶ年、昔の児童の顔もしのばれて感深し。或は之が小学校教育最後の授業か)
- (2 6 日 卒業式。三年修業者名、次のとおり (男20、女26、計46)。(※氏名記載あり)。茶話会は、式後、女補、青訓もまじりて運動場にて。小生、「浪路はるかに」・南満州・をうたふ)
- 3 0 日 午後、雪の中、内越のオクエゾザサ、カリハザサ、笹山のナガバネマカリダケの採集をなす
- 3 1 日 雪をふんで上山田山上までフミヲザサをとりに行ってくる

4 月

- (2 日 佐渡相川中学校に赴任すべく石地駅発。9時、相川着。おもだかやに泊る)
- 4 日 新任式。清水先生宅に同宿。1 1時半ころまで語る。ミクロトームの研究をなす
- 6 日 石井先生の案内にて午前、樋口氏と共に役場に挨拶に行く。午後、グラウンド方面を採集がてら一巡してくる。ササ、コケー品、ツワブキ等
- (1 0 日 1 0時ころ登校、事務引継をすます。1 1時5 8分、石地駅發下り列車にて訣別。石地駅まで児童、職員、村民より送って戴き、桜井正治、西吉田まで同車。8時半、相川着)
- 1 4 日 夕刻、樋口氏と二人で鑛山の道遊まで遊びに行く。帰路、樋口氏、ユキワリサウを採集
- 1 5 日 日曜。2時半より夕刻まで春日岬方面へ採集に行く。イタビカヅラ、フクジュサウ、キバナアマナ等珍し
- 1 9 日 樋口氏と放課後、山の神グラウンドへ行く。途中、樋口氏と語り、校長の意見どほり文檢高教はとりとめることに決す。動物科に変更。・・それより山路づたひに採集し、フタバアフヒを得てかへる
- 2 7 日 靖國神社臨時大祭。相川小学校校庭にある忠魂碑を参拝に全校職員及び生徒、8時に出る。午後、金泉村へ採集に行く

5 月

- (3 日 午後一限、物化教室にて四年生の鑛物実習指導。螢石の燐光。小学生沢山遠足に來たりて測候所をみて行く)
- (7 日 正門前の畑にダリア、カンナ、チュベローズを夕刻までかゝって植ゑた)
- (1 0 日 雨の中、三年、農業実習。キャベツの植替を

なす)

- (1 1 日 放課後、一年及び二年生に顕微鏡実習の指導(数名)をなす)
- 1 2 日 遠足、一、二、三年。北狄の發電所まで。姫津の尖閣湾を九隻ばかりの小船に分乗し、観光する。發電所よりの帰途、珍草ヤマトグサをとる。夜1 0時、学校下まで関西旅行隊を迎えに出る。因みに尖閣湾なる名称は帝大脇水博士の命名(昨年)。チンガンドン、筍岩、メガネ岩、十五夜岩、ワシ岩、地藏岩等の勝あり
- 1 8 日 一年生を路傍草本研究に校前の小路に引率す。夕刻、四年生の某、ムカデを持参。解剖して見せる
- 1 9 日 四時間目に一、四、五年生と有田牧場まで郊外教授に出る。二、三年は、朝から青の峠へ野外教練に行く。牛舎裏にてクマザサ採集。みみずの解剖をなす
- 2 0 日 午前九時、佐中グラウンドへ練習に行く相中選手、滝本、樋口両先生と同車、小木に向かう。2時、小木着。城山見物。山中の採集を少しやり、4時半発の自動車にて歸る
- 2 3 日 別山校校丁店橋敬三郎氏よりの竹の花腊葉到着
- 2 7 日 昼食休みに側の谷に入り、ササの黒穂を採集す

6 月

- 1 日 新潟高校徳重教授の地質講習。沢根一相川(七浦)、渡辺芝先生と2人で出席。沢根・地図作製。断崖の向及傾斜・敷石走向の研究。二見校晝食。二見より船にて城ヶ鼻に至り先生の講話。それより舟にて二又岩、兄弟岩、青島・・橘まで舟で。橘海岸にて記念撮影。先生のそばをはなれずお教を願ふ。相川着・・夕暮。高田屋に渡辺先生と二人で徳重先生を訪れ、岩石顕微鏡の実地指導をお願いする。文檢動物科を鑛物科に変更する。徳重教授の熱ある御聲援に依頼す
- 2 日 午前、相川小学校の徳重教授の講演会に出席高千小学校北見秀夫氏と博物室にて談ず
- (5 日 東郷元帥國葬日)
- 6 日 午後、山の神へ全校生徒、孔子祭に参る。了って鑛山の運動会見学。後、単独にて町外れの川沿に奥の山まで採集に行ってくる
- 8 日 放課後、四年生2 2名と七槽のボートにて横島、一里島・・春日岬の三角島の岩石を採集する
- 9 日 一年生、野外教練。春日岬。貝沼先生。付添い、校長、宮本、池上。教練要項、連絡兵、伝令、天幕使用法、飯盒炊さん、距離測定等。付近の岩石を採集する。
- 夕ぐれまで五年生2名と音楽の話をする(博物

室)

- 10日 町民運動会。於、青野峠。解散後、一人にて沢根へ下り、海岸づたひに河原田に至り、佐渡中学附近にてサドザサ、アラシノ等を採集して自動車にて歸る
- 11日 北見秀夫氏来遊。放課後、2人で相川附近の採集をなす
- 17日 午前11時、佐中へ庭球試合に行く先生方と一緒に、仲田先生とタクシーにて河原田に至り、徒歩金北山に向かう。晝食、3時半、小川のほとり、きりの中にて。途中、シラネアフリカ、ズダヤクシユ、ザゼンサウ等珍し。仲田先生、白花のシラネアフリカを見つける。金北頂上は霧の為探し得ずしてかへり、妙見山をめぐる再び金沢村に下車。タクシーを拾って9時過ぎ相川着
- 24日 徳重教授の助手となって小川一達者間の地質調査(小生、クリノメーター係)をす。一行は近藤氏(写真)、全助手、北見氏、近松氏(図画写生)、小生と先生とも6名。小川まで自動車にてとばし、小川より小舟にて島々をめぐる。達者にて晝食。午後は歸帆につき、ビゼンパノオホセ、ハイマガキド(岩に波紋あり)等によって相川着は8時近かった

7月

- 1日 徳重教授、渡辺芳雄氏、近松氏、北見氏、近藤氏と自動車にて北狄に至り、小舟にて北狄湾の島々を巡歴。午後は、鷹の巣トンネル及び戸地の白岩、千疊敷の地質調査をす。トンネル附近の鏡肌、白岩の大瓶(*?)穴、千疊敷断層群等著し
- 3日 夕刻、甲斐、筋、三浦、3生徒と小学校の奥まで採集に行く
- (4日 東伏見大妃殿下御來湘。全校生徒、小学校側まで奉迎に出る。夜、自習終了後、生徒にオルガンをひいてきかす)
- (5日 午前、宮殿下奉送)
- 7日 放課後、中山峠旧道より沢根まで採集に出、沢根より自動車にて歸る
- 8日 徒歩にて達者より乙和池に上ろうとして道に迷い、北狄奥の溪流につれて採集し、北狄に出て歸湘。宿直に赴く
- (13日 御下賜金記念式あり。鑛山祭)
- (14日 防空演習あり)
- 19日 夕刻、松原勤、富樫両名、マムシを持参。よって浜にて之を放つ。夜、高田屋に新高の真(*真?)。以降も同様)保、徳重両教授を訪れ、真

保先生より腊葉の鑑定をして戴く

- 20日 朝、真保先生、学校へ寄られ、標本を見て帰られる。先生を商会前まで送り、歸途、鑛山入口に至り、アラネザサ採集。午後、水槽コンクリート作業下ぬり完了。夕刻、園藝部生徒と学校下のもちづるをとる
- (27日 朝、別山校訪問。終列車にて上京)
- 28日 上野駅前福龍旅館に投宿。上野科学博物館参観に行く。午後、同館にて竹の研究
- 29日 小石川植物園、上野動物園見学。夜、新宿見物をなす
- 30日 科学博物館地質学部研究室訪問。帝劇をみる。アイゴ
- 31日 島津製作所にて終日、標本の研究をなす

8月

- 1日 科学博物館にて竹の研究をなす。宝塚劇場に入場(茶壺酒壺、狂言棒しばり、大レビュー)。午前、地質調査所にて鑛物研究。水産講習所までタクシーをとばし、後、本所の震災記念堂、記念館拝観。目黒付近にて笹の採集をなし、夕刻千葉縣松戸に至り、金明竹を見、工兵学校、高等園藝学校付近を採集してかへる
- 3日 井ノ頭公園に至り、平山博物館見学。澁谷に出て上野にかへり、夕刻、夜は兄秀雄と松坂屋に至り、土産物を求め、夜の上野公園を散歩し、11時半、上野駅をたつ
- 6日 別山校訪問。店橋校丁と薬師峠まで笹の採集をなす。ウバユリの開花せるものをとる
- 7日 笹の腊葉作製
- 12日 尚正と2人にて笹採集に寺尾まで行ってくる
- 14日 別山校訪問。一人にて夕刻、後谷方面の笹の採集をする
- 15日 朝、灰爪の山を笹の調査にまはる。午後、店橋校丁、品川君等と砂田及び内越、熊之谷方面の笹の調査をなす
- (16日 午前、高町校へ鮎物標本の整理に行ってくる。山田先生、日直。ピアノを弾いて帰る。夜、近藤源舜氏招待)
- 19日 大谷氏と一番下りにて彌彦に至り、笹類採集。徒歩、間瀬越をこえ、間瀬に至り舟にて浦浜の勝をさぐる。徒歩にて辯天岬をめぐる沸石を採集し、石切穴に入り、午後5時、自動車にて出發。巻駅に至り、終列車にて歸宅す
- 27日 鎌田局まで自轉車にて理学界社よりの受験記投稿謝礼金をとりに行く(2.5円)。
- (27日 シズ(*妹)病氣のため高桑、曾田醫師来る。腹膜炎)
- (30日 午前正4時、シズ死亡)

9月

- (3日 朝下り一番にて刈羽駅發。石地駅下車、別山校訪問。二番下りにて寺泊に至り、水族館及び市内見物。4時、第二佐渡丸にて出帆、赤泊着6時半、小木港に下船、はりま旅館に投宿す)
- 7日 午後、五年小林新七、四年荻野、本間、二年石川、四年大倉君等と相川千疊敷の弁天岩の岩石採集をなす。赤玉、玉ズキ、メノウ、方解石、水晶
- 8日 放課後、後藤新七、佐藤守之、加藤寛、五年池田、三年遠藤悌二郎君と山の神有田牧場へ植物採集に行く。加藤、佐藤、クズの大根^{オキ}をほる。カンアフヒ sp. の採集。(ウスバサイシンなり)
- (11日 三年、血液循環の実験用蛙を二時間がかりにて鉤山一山之神をさがしまはる)
- 15日 去る3月16日發送の竹類標本の御鑑定を中井帝大教授よりいただく。中、椎谷産の新種次の如し
椎谷笹 *Arundinaria glabra* Nakai
- (16日 宿、留守。朝食に親子丼を求め、40銭の高價に一驚。午後、博物標本室の模様替を完了す)
- (18日 藤縄教官の満州事変記念講話あり)
- (19日 園芸部員、常德寺へサボテン苗をもらいに行く。「大花犀角」の大花珍なり)
- 21日 稀にみる大暴風雨あり。中井博士より下記新種御考定をいただく。
アラゲチシマザサ *Sasa Naigoensis* Nakai
(別山字荒谷、峠入口川ばたにての採品)
アシナガザサ *Arundinaria longipes* Nakai
(刈羽西墓地)
ケザサ *Sasa pubens* Nakai (別山、後谷奥の小道)
- 23日 四年村田勝太郎君と佐渡鑛山大立抗奥の沢を採集にまわる
- 24日 宿の一年甲斐正憲君と午後、二ツ岩、二ツ岩神社、中山鉤山、沢根と採集にまはる。沢根より自動車にて帰宅(七時半)
- 25日 一年生、羊歯採集。学校長同道
- (27日 快晴。11時半より3時半迄、郊外行軍)
- 30日 午前、四年佐藤と小川付近まで舊道採集。午後、一年甲斐、桜井と中山峠の黄鉄鉤、化石、竹の採集をなす

10月

- 9日 小林新七、遠藤悌二郎君と山の神大乘寺裏まで散歩に行ってくる。(イボタラウを採集。山の神の竹を採集)
- 14日 真野神社祭禮、奉納相撲あり。選手と同乗して神社参拜。それより小川に沿ふて真野の奥まで

採集に行く。(マメヅタ、蘚苔)

- (19日 善知鳥神社祭礼、午前、全校生徒参拝)
- 21日 一年、甲斐正憲、瀧本登志男と鹿伏方面の採集をなす
- 23日 朝2時間、四年生を引率、千疊敷の岩石研究に行く

11月

- 9日 午後、小学校の金子先生を訪れ、岩石及び腊葉の鑑定をなす
- 12日 下相川の川沿に岩石、蘚苔の採集をする。夕刻、前の大仏へ岩石の採集にゆく
- 17日 博物同好会数名と山の神東方の山地へ採集に行く(午後)
- 18日 博物採集会(五年池田、二年児玉、佐藤、加藤、一年磯部、中川、岩佐)。鑛山奥より彌助倒しをこし、乙羽の池まで
- 22日 午後、四年生をつれ、大佛、中山峠の地質調査に行く
- 25日 苔蘚採集。大佛奥→二ツ岩神社下(岩佐、甲斐、加藤、篠原)。夜、甲斐、筋・・指紋の研究にくる
- (28日 国中にて青訓との聯合演習あり)

12月

- 9日 渡辺芳雄氏と西三川村潮掛鼻のミオジブシナ有孔虫の化石の調査に行く。案内者西三川の松田與吉老。老人、サザエの浜焼をして饗す
- 10日 放課後、二年加藤と校地下付近の採集をなす
- 12日 夕刻、南沢奥まで採集に行ってくる。笹、苔
- 15日 午後、自動車にて戸中の平根峠へ行く。戸地小学校裏の川沿採集(ホテイシダ、ビロウドシダ、カブトゴケ、蘚苔)
- 16日 天気よし。内海府の黒姫、歌見方面へ採集に行く。相川着7時。コシノカンアフヒ採集
- 18日 前川文夫氏に内海府浦川産のカンアフヒを送る
- 21日 二年加藤、吉沢、バクテリアの培養基をつくる。一年岩佐、中山、松井をつれ、南沢―常德寺―支廳前まで採集にめぐる
- 26日 午前、武田氏と内野の砂山、河辺を散歩する。午後、新潟高等学校徳重英助教授を訪問。夕刻、渡辺芳雄氏、徳重先生と3人、高校裏の松林を散歩。徳重先生の御宅に寄り、御馳走にあずかる。夜、市内を3人で散歩
- 27日 終日、高校にて徳重先生のところに遊ぶ。岩石検鏡。夜、信濃川畔散歩
- 28日 天気よし。鳥屋野の逆竹の拜観に行く。(逆竹、ソメワケ竹)。ハチクの叢林。別山訪問・・学校、細川氏

- 29日 新潟高校真保一輔氏を訪問。終日、佐渡産標本及びその他の腊葉の研究をなす
- 30日 別山訪問。午後、校丁と尾之内の笹を調査してまはる

1935年(昭和10)

1月

- 1日 別山校の拜賀式に参列。午後、校丁と砂田、後谷方面の笹類調査にまはる
- 3日 快晴。尚正と大坪に行き、室星清一君を訪問。2人で北野山の笹類調査に行く。星をいたゞいてかへる
- 4日 別山校訪問。若月文男氏来遊。別山産カンアフヒを前川文夫氏に送るべく荷造。夜、細川氏のところに寄って帰宅す
- 8日 始業式。小林義郎君と大佛の岩脈調査。自動車にて沢根まで採集に行く。雪降る。一年甲斐、松井同道
- (10日 三年農業生南沢採集)
- (11日 四年農業生南沢採集。一年生水晶類実習)
- 14日 三年農業、山之神入口の土手へツワブキとりに行く。氷の干涉圈研究。羊歯類の陳列をなす
- 27日 吹雪の中、春日岬付近の採集をやる。鹿伏海岸にてフシツナギ採集
- (31日 四年、礦物吹管分析実験をなす)

2月

- 2日 鑛山奥の採集に行き、山峯づたひに雪道をたどり、遂に雪深くて進めず、空しくかへる
- (8日 雪中行軍。相川小学校側—二ツ岩—亀甲岩—沢根—大浦—相川)
- 20日 宿の甲斐君と小学校裏付近の地質調査にゆく

3月

- 10日 小学校にて日露戦争戦死者の慰魂祭が午後1時より神式及び仏式にて行はる。夕刻、蘚苔採集にめぐる
- 15日 児玉先生と達者川上流まで蘚類の採集に行ってくる
- 17日 新穂山中を川伝ひに採集する(オシャグジデシダ)、(水渡田ノ竹)。了って加茂湖の西岸台地より吉井に出て、8時頃学校へかへる
- 19日 大町、清水氏をさそひ、南沢、寺前碑上のスミレモの採集にゆく。夕刻、幼稚園付近川べりのニホヒスミレを採集す
- 21日 宿直。午前3時まで蘚苔の整理をなす
- 29日 別山校の店橋敬三郎氏と尾頂部の山道を採集に

めぐる

4月

- 1日 尚正と刈羽の金照院裏までアシナガザサの調査に行く
- 7日 黒木御所跡参拝。眞光寺附近、石田川上流の蘚苔の採集をなす
- 13日 四年生を千疊敷の岩石採集に引率。アメフラシ採集(小林四郎)
- 14日 中興—(田圃の中)—畑野—長谷(長谷寺)—後山—三宮—(順徳帝第二皇子墓所)—八幡—河原田(採集)
- 16日 中井先生より下記新種の考定を受ける
フタダザサ(二田笹) *Sasa Futadensis* Nakai (刈羽郡二田村大坪)
キタノザサ(北野笹) *Arundinaria Kinanoensis* Nakai (全右 北野)
アイカワザサ(相川笹) *Sasa Yahikoensis* Makino var. *glabella*, Nakai (相川南沢)
- 17日 中井博士より下記新種の御考定をいたゞく
アラゲサドザサ *Sasa Aikawensis* Nakai (相川南沢産)(*Arundinaria* に訂正)
リヨウツザサ *Sasa Ikegamii* Nakai (両津産)
- 28日 雨中、梅津発電所→アラネバ越の採集をやる。シラネアフヒ、ヒトリシヅカの群落美し

5月

- 6日 中井博士よりアラネバ産のてんなんしょうの新学名をいたゞく。園藝部、草花たねまき
サドテンナンショウ *Arisaema Sadoense* Nakai
- 12日 四年川島泰蔵君と採集行。梅津(化石採集。三年余田肇君案内)—アラネバ越—ドンデン原—ドンデン池—椿—両津。椿山中にて天南星をさがす。両津着、午後8時
- 19日 両津から自轉車を借り、梅津奥へ佐渡天南星及び孔雀羊歯の採集にゆく。両津—大平間、三年御器君と徒歩、自動車にて、それより吉井に至り、又自轉車を借りて、水渡田、細屋の笹の調査をなす
- (23日 一、二年、野外教練)
- 27日 学校長の海軍記念日講話。放課後、柔道室にて選手慰労茶話会。野呂和博君と南沢の採集をする

6月

- 2日 金沢村真保川上流植物採集
- (11日 前新潟高等学校長八田氏の文字と言語と題す

る講話あり。山の神にて全校教練あり。夜、野呂和博来遊)

- 14日 金沢まで夕刻、甲斐(二)、石井末雄(一)、野呂和博(一)、増川弘(一)と採集に行く
- 16日 午後、青野付近の採集にゆく。途中、三年澱内政雄君にあひ、附近の笹類採集後、青野峠の草道をこぎわけて7時頃相川につく。途中、澱内君より、納豆を枝にかけた塚、用水池の中央のせき、相川鑛山工夫28名の墓等の説明をきく
- 20日 一年野呂和博をつれ、鑛山大立抗附近まで、夕刻、採集に行ってくる
- (23日 相川町各種団体の大謀網見学)
- 26日 プラクトンネットを生徒につくらせ、夕刻、加藤寛、野呂和博、増川弘の3名とボートにて採集に出る

7月

- 6日 野呂和博君と有田牧場まで雨中、竹類の採集に行く
- 7日 徒歩にて両津より河崎村入桑まで採集
- 9日 小学校裏二子岩道のナラ採集をやる
- 19日 四年、岩石採集・下相川球類流紋岩・小雨中、朝の2時間にて往ってくる
- 20日 本間、荻野、遠藤、甲斐、野呂と海岸植物の調査をなす。下戸浜にて砂金採集の見学
- 24日 南沢奥まで野呂、増川、加藤と採集に行く(オホナンバンギセル採集)
- 26日 朝、野呂君に送られて相川發。樋口先生の自動車に乗せて戴いて正午、新潟着。南山園よりベゴニアを一鉢買って、樋口氏と小山病院入院中の渋谷校長を見舞ふ。それより湊小学校に立ち寄り、附近にて竹類採集。後、二葉町なる樋口氏の宅に着き、宿泊。夜、高校の真保一輔先生を訪問す
- 27日 自動車にて彌彦にむかふ。西蒲の佐潟のほとりを走り、ヤヒコ着。直ちにヤヒコ登山をなす。帰山後、前の城山に登る
- 28日 ヤヒコより國上村まで採集に行ってくる。終了後、細川氏を眞光寺に訪い、別山校に泊まる
- 29日 朝から日暮れまで尾の内―後谷―尾頃部―笹山と採集してめぐる

8月

- 3日 植物採集。大塚―赤田―五十土―成澤
- 10日 刈羽校に渡辺哲英先生、伊部鈴樹校長を訪問。午後、五日市の池まで採集に行く(マルバオモダカ、ヒシモドキ)
- 16日 朝5時49分刈羽發、東北旅行に出立。越後線一羽越線・大館町に午後6時着。町内見物後、

宿泊

- 17日 駅前忠犬ハチ公の像を見て大館出發。尾去沢に至り、山路約一里半、尾去沢鉾山に到着。庶務の小高根省三氏及び相中卒業生の本間一郎君の歡待を受け、終日、鉾山見学。本間君に花輪町まで送られ、自動車にて小坂に至り、夕刻、鉾山山地をめぐる同町に宿泊
- 18日 小坂鉾山見学。・都合3名、案内人について、露天掘から精鍊の状況を見てかへる。午後1時半出發。徒歩にて一人、採集がてら山路を十和田に向かう。湖畔の手前2軒ばかりは全く暗くなり難渋す。午後8時、湖畔の鉛山に出て吉田(*空白)氏の別館にとまる。月の十和田、中々に見事なり
- 19日 徒歩にて和井内に出て、遊覧船にて湖上の風景を賞し、子ノ口に至り、それより省營バスに乗りておいらせの溪流を下り、蕨湖、大町奎月の墓所等をすぎ、八甲田山麓の酸湯温泉に到着。東北帝大の植物研究所を訪ね、同夜は青森県の小学校の先生、東大工学部の(*空白)氏他学生2人と同宿
- 20日 同宿の4人と共に八甲田大岳に登る。葱ヶ平の清水からお花畑の景觀は実に美しく、又、麓のアヲモリトドの古木の林よし。万年雪をたづね、頂上にて昼食後下山。再び、植物園を訪れて笹の標本をいたゞき、省營バスにて青森に下る。途中、青森五聯隊の遭難記念像を遠く見、岩木富士を西に見、放牧の馬ものどかな八甲田の秋の裾野を走る。1名の酔漢、乗客をなやます。青森駅にて渡道の朝香宮、竹田宮兩殿下を奉迎。港湾見物後、投宿。夜、郊外まで散歩
- 21日 津軽に野呂助市氏(相川女学校教諭)を訪問。和博君との3名で夕刻まで西山の沼地湿原の調査をしてまはる
- 22日 大雨。先生、びしょぬれになって魚つりよりかへってくる。終日、標本製作
- 23日 出水の為、村民、半鐘を打ちならして前の山田川の堤防を守る。午後、和博君とみのを着て、西の杉山中の笹を探り、隣字のコモツチの池をまはってかへる
- 24日 和博君と館岡の大溜池畔をめぐる、帰路は田道に出、雨中、ザリガニをとってかへる
- 25日 和博君と海岸湿原より海岸に出、高山稻荷付近の大湿原を横断して牛潟の池に出て歸途は出水のため道を失ふやら、日暮れて8時やうやう歸宅する。どんぢゃか(筒木坂)通過
- 26日 田中の出水をこぎ、山田河畔に出、館岡をめぐる
- 27日 野呂先生及び和博君と大湯町出立。出水のため

道路に水あがり、林檎畑の被害を見ながら弘前に至る（自動車）。途中、一反旗をたてた白装束の岩木山登山の若者の一行を見送る。弘前より獨り、青森に向かふ。出水のため大釋加付近汽車不通、自動車連絡。浅虫下車。東北帝大の試験所、水族館にたちより、夕刻、浅虫發。夜、盛岡市に到着、北上川にそって散策。市内見物後、午前1時出發、仙台に向かふ

- 28日 松島駅下車。電車にて松島海岸に至り、遊覧小船にて雄島等見物。陸上では、五大堂、觀楓亭、三交ノ松、水族館、瑞巖寺をめぐり、發動機船にて塩釜に向かふ。塩釜より仙台に出、一風呂を浴びて、荒町に飯柴永吉先生を訪問す。夜、出立
- 29日 朝、猪苗代湖、磐梯山を眺め、若松市にたちより、白虎隊墓、若松練兵場、城址をめぐり、夕刻は別山にかへり、学校にて大谷、細川両氏と泊まる

9月

- 5日 野呂君を連れ、夕刻、鉾山の夕白沢までとりかぶとをとりに行く
- 7日 バッタの解剖研究
- 8日 西三川採集行。・下黒山—静平—新町。西三川の砂金山を見る
- 11日 蘚苔整理、稍完了
- 19日 南澤奥まで採集にまはってかへる
- (20日 中川登のもちきたれる白まだら蛇を加藤寛飼育す)
- 22日 日直。野呂君と標本室保存の古い浸液標本の整理をなす
- (23日 清水精一氏(土の聖者の名あり)の精神講話あり)
- 29日 両津附近の大平まで両津笹の採集に行く。夕刻歸校、標本作製

10月

- 6日 高千の鹿浦トンネル附近の採集に行く。オニアカバナ(ヒタチマイマイ)、クマツヅラ、ナンバンハコベなどをとる
- 10日 山の神へ採集に行く。夕刻、ニツ岩道へかしはの採集に行き、月影をふんでかへる
- 14日 標本整理。野呂和博來遊
- 17日 沢根に笹を採集し、野坂より二見海岸へ出てかへる
- 20日 苔類研究。図説をつくる
- 27日 雨中、西三川方面の採集を行う。羽茂—渡津神社—川茂—静平(自動車)—新町—新町郊外山

地

11月

- (1日 熱田神宮遷座式)
- 3日 明治節。園藝部員、鑛山俱樂部及び常得寺の菊花展にゆく。午後、小学校の成績品展覽會に三年鈴木卓、一年中原をつれてゆく。夕刻、小学校裏の土手へ加藤實、小林勝郎、甲斐正憲と採集に行く(木化石)。夜、松井秀夫、化石をもってくる
- 10日 小木→赤泊→新町採集旅行(8.5里)。卒業生榎谷善太郎君に会ひ、野崎鼻(枕状溶岩、柱状節理、玉髓脈)、赤岩の羽黒神社下まで案内してもらふ。赤岩—赤泊間、雨強し。赤泊→川茂→新町・日暮れ、途中駈歩にて漸く河原田行きの最終バスにまにあふ
- 15日 東日の記者來遊。ウミヘビの寫真をとって行く。午後、児玉先生と、生徒數名をつれて小川へ採集に行く(苔、アスナロヒジキ等)。日くれて歸校す
- 22日 高千方面の採集旅行に出立。服部旅館に北見秀夫氏を訪ふ
- 23日 北見氏と入川に沿って高千行鑛山奥まで蘚苔の採集に行く(ヒモカヅラ、ツリガネタケ、ツキヨタケ?、ワサビ搜索)。鑛山の鑛車に乗ってかへる
- 24日 午前中、北見氏の苔蘚の鑑定をなす。午後、西の沢まで苔蘚の採集に行く(ウチワテフチンゴケ)。夕刻、ハイアにて歸湘
- 25日 宿直。終夜、苔蘚の整理をす。舎生五年野村、佐藤、プレパラートの研究にくる

12月

- 1日 山本嘉作氏(石拓町)のところに下宿移転。午後、野呂と下相川へ採集に行く
- 7日 内海府方面採集。白瀬山中、オニヒカゲワラビ、オホバノハチヂヤウシダの群落あり。雨はげし。歸路、吉田校裏土手に笹の採集を行ひ、両津に小憩。歸湘途次、金沢に下車。くらやみに笹を採集
- 23日 野呂君をつれ、南沢、矢田(一年)のところに及び常得寺の花の研究に行く
- (24日 野呂君と農学校より購入の草苗及びカンナ宿根の冬囲いをなす。年末慰労金を戴く(廿円也))
- (26日 午後、児玉先生、三年児玉、二年茅原、一年野呂及び児玉先生の小学五年の子と一行6人にて達者山へフクジュサウをとりに行ってくる)

1936年(昭和11)

1月

- (1日 別山小学校の拝賀式に参列)
 (5日 登校のため新潟に出る。嵐のため船出ず。内藤旅館に八日まで泊まる。仲田先生同宿)
 7日 午後、高等学校に真保先生を訪問する。牧野博士全集をかりてかへる
 11日 東北旅行の採集品中、中井猛之進博士考定にかかる新種、本日、中井博士より通知を受ける
 Sasa kosakensis Nakai (小坂笹)・・・小坂産
 Sasa Makinoi Naii var. *humilis* Nakai (コオンクマザサ)・・・小坂産
 12日 日直。夜、中村正雄氏に送る苔類整理
 28日 中村正雄氏(宇都宮)よりの羊歯類標本到着

2月

- (4日 朝日新聞記者小野氏、笹の標本を見にくる)
 20日 中井博士より笹の鑑定票を頂く。次の禾本二品は、本田正次博士の鑑定(中井博士径由)
 ウラゲチシマザサ 佐渡河崎村羽二生・椎泊・産
 Sasa pilokurilensis Nakai (新種)
 オホコヌカグサ・サドオホカニツリ
 ・・・共に本田博士新称。日本初発見
 23日 日曜。終日、標本ばりをなす
 (26日 東京にて大不祥事件あり。高橋是清翁等重臣数名、青年将校に暗殺される)

3月

- 5日 笹標本の整理。中井博士より今般の大不祥事の感想をいたゞく。千畳敷へ放課後、児玉、仲田、樋口三氏と共にノリとりに行く。帰途、樋口先生と吹上浜へ岩石をとりに立ち寄ってかへる
 26日 野呂和博と午後、南沢の矢田大秀氏の温室を見、更に南澤沢を採集してかへる

4月

- (5日 本日も船出ず。終日、ラテン語獨習)
 6日 1時、相川着。入学式に参列。夜、高田屋に佐渡の地質調査に來島中の徳重新高教授を渡辺先生と訪問す
 23日 一年生を南沢へ採集につれて行く
 24日 二年生を山の神奥まで採集につれて行く。四年、鉾物採集。下相川一べんけいのはさみ岩一千畳敷
 29日 天長節。夕刻、金沢奥へ採集に行く

5月

- 1日 創立記念日。發火演習。善知鳥神社参拝。夕刻、一年生藤木嶺生をつれ水金沢奥へ採集に行く
 (2日 三年生、野外教練)
 24日 雨のため運動会中止。梅津ヘサドテンナンシヤウを採集に行く。シラネアフリ。羽吉の大桑撮影。羽黒神社参拝
 (27日 海軍記念日。渡辺先生の講話)

6月

- 2日 鉾山大立坑奥へ採集に行き、カウライテンナンショウを撮影してかへる
 4日 去る廿四日採集にかかるサイシン、左のとおり前川文夫氏より来信あり
 北國ウスバサイシン
 Asarum Sieboldi var. *pubinervis* F. Maekawa n. sp.
 11日 若松・新潟方面修学旅行(三年)出發。午後2時、若松着。東山に至り高橋館に投宿。それより單獨に湯川に沿って採集をなす(天南星)
 (19日 北海道に皆既日食あり。佐渡では八分二厘の部分食(午後3時半)。全校生徒を校庭にあつめ、寫真の古乾板を與へて觀察をなさしむ)
 (21日 標本陳列窓完成し、飾付をなす)
 28日 雨の中、野呂和博と青野峠より乙羽池、達者川上流一小川とめぐってくる。湖畔にて晝食。モリアヲガヘルの卵、樹枝にあり

7月

- 7日 仲田、大町先生及び大町夫人と三名で乙和池に行き、モリアヲガヘルを探る。歸路二宮へ下り、途中道なく難渋。窪田へ8時にようよう辿りつく
 8日 職員全部にて午後8時半から相川沖へ発動機船にていかつりに出る。午後12時かへる。プランクトンの採集をなす
 14日 日直。終日、苔藓の整理をなす。夜、児玉先生と下戸町まで鑛山祭につき町内巡視
 (15日 夜、仲田、宮本先生とサーカスを見にゆく。カンガルーの拳闘、犬の算術、ライオン、豹の猛獸使などあり)
 18日 野呂和博をつれ下戸の田道を採集する
 19日 加藤實と霧の金北登山をやる。午前6時相川発、12時妙見着。1時金北着。それより吉井におり、中興へ山路をめぐって出てかへる。吉井山中にてオニノヤガラをとる

8月

- 1日 午前1時出帆の佐渡丸にて直江津に向ふ。月夜の海面、琴浦方面の夜の段丘、米山沖の朝ぼら

けなど頗る印象的なり

- 2日 午前7時、汽車に搭乗。松本に向ふ。途中、長野で下車し、善光寺参詣。松本駅前登山案内所で登山計画を打合せ。駅前の店にてピッケル、靴などを求めて筑摩電鉄により島々に出、それよりバスにて約2時間、梓川に沿ひて上り(途中、雨激し)、上高地に至る河童橋付近にてケシヤウヤナギを見、西糸屋に宿泊す
- 3日 案内人、安曇村島々、斉藤冠吾君をやとひ、午前8時半、槍ヶ岳に向つて出発。肩の小屋にて一泊。風強く、霧深く、時折強雨あり
- 4日 朝、強雨あり。後、雨、濃霧も晴れ上つて一望千里の青空となり、同宿の一行、槍の頂上によじ登る。御岳、乗鞍、煙をふく焼岳、穂高、笠、水晶、赤岳等南より西にそびえ、遠くは白山、立山、剣岳、はては越後の妙高、戸隠、浅間、八ツ岳、富士、赤石等の山々、くっきりとあらはる。天候の急変を気づかひ、穂高の縦走をとりやめ、途中、草花をカメラにおさめて元の道を下る。上高地に出、宿にかへる。夕方、大正池まで散歩に行く。夜、温泉ホテルへ入浴に行く。本日、穂高に学生の遭難あり。2名中、1名死亡
- 5日 ひとり霧中、焼岳にのぼる。途中のツガ(?)林、頗る美し。小屋に至りて味噌汁をすゝりて一憩(店主、島々の齋藤廣衛氏)後、霧中をひとり頂上にのぼり、噴気孔を見、やうやく路を探し出して中の湯に下る。途中、笹の大群落頗る美なり
- 6日 バス及び電車にて松本に出、諸用をすませて城址に至りて城址見学。信濃鉄道(電車)にて大町に至り(大町の入口高瀬川のほとりにアルミニウム工場、紡績工場あり)、大糸線(汽車)に乗りかへ四ツ谷に下車。四ツ谷手前の大扇状地形面白し。雨降る。四ツ谷白馬館に泊る
- 7日 白馬登山。バスにて二股まで行き、徒歩。途中、猿倉、白馬尻の小屋にて一憩。カンザキをつけて大雪渓に登る。昨晚腹を冷やし下痢の気味あり、いさゝか難儀なり。葱平のお花畑に出、村營小屋にて晝食をとり、霧中、頂上近くの白馬山荘に至りて泊まる。途中、ウルップサウ美し。小屋は頗る混雑なりき。夜に至りて天よくはれ月光明らかに星輝き、連峯の夜景、頗る佳。富山市の火、かすかに見ゆ
- 8日 朝、頂上に登る。見晴らし頗るよし(立山、戸隠、槍、妙高等)。ライテウのめす、子供を四匹つれて遊ぶ。頗る可憐なり。植物をあさりつつ、杓子、白馬槍をへて唐松に向かふ。途中、コマクサ、コバイケサウ、チャウノスケサウ、ミヤ

マアヅマギク、ハゴロモグサ等美し。不歸の嶮にかゝりて難澁す(ムシトリスミレ、ツガザクラあり)。唐松岳に至り、霧中、唐松小屋に下りて一泊。10時近くに小屋に辿れる登山者ありたり

- 9日 大黒銅山跡をとほりて祖母谷に出る。途中、ガキの田といひる湿地あり。大阪の3人連とあとになり先になりして下る。祖母谷近くなりて強雨にあう。祖母谷に出、温泉の自然湧出を見、川原の野中の浴槽に入り、後、大阪の一行と黒部川を夕刻、鐘釣に下る。途中、東釣鐘、猿飛のあたりよし。日本電力の発電所あり。鐘釣温泉にて4名同宿す。
- 10日 かねつりより河にそつて徒歩。東鐘釣山、錦シウ温泉をとほつて宇奈月を下る。途中、黒薙川の旧道のつり橋附近、草茂り通過困難。森石より日電の電車に乗りて宇奈月に出る。市中一巡、黒部鉄道により三日市に出、汽車にて一路、刈羽の自宅にかへる。
- 17日 伊毛の笹を見に行き、蒲田より後谷、長峯をめぐつてかへる(自轉車行)
- 20日 別山に夕刻行き、店橋敬三郎氏と後谷の林へクロベカニカウモリを採集に行き、氏をカメラにおさめてかへる
- 22日 自轉車にて井岡—北野—妙法寺—坂田—内方(池へ出る)—井岡—大塚と採集にめぐる

9月

- 13日 高千—大倉—矢柄—大倉—田切池—大倉越—石名越—馬首と採集にめぐる。途中、入川にて自動車パンクし、約1時間休憩(チャウジギク、ウメバチサウ、イハヒバ、イハジャカウサウ、アシグロタケ、ハダカホ、ヅキ)
- (18日 牧少佐の満州事變記念講話あり)
- 19日 午後、有田方面まで採集にゆく。夜、野呂、来遊
- 23日 五年遠藤悌二郎君と外海府をめぐる。相川午前6時半出発。途中、雨のため橋いたみ、片辺—後尾間徒歩(この間にオニアカバナの群生、影ノ神の勝あり)。大倉着9時半。それより矢柄、関と歩き、木の葉石、鏡岩、禪棚石を見、岩谷口の川原にて晝食。黒姫越をこえ4時半黒姫に出、歌見より自動車にてかへる
- (9日 須藤氏の海軍軍事思想普及講演(旅順閉塞實話)あり)

10月

- 11日 高千村石花採集。石花川を渡渉して採集。後、石花に引き返し、アラネバ峯に向かふ。途中、

芝生の美観、キヤラボク林、ナナカマドの紅葉、サンセウウラのすむ小池等あり。午後2時、頂上着。梅津に下りてかへる

(14日 元本校配属将校石川隆吉中佐(刈羽郡北條村出身)、満州討匪にて戦死されたる趣、新聞に見ゆ(*石川中佐の新聞切抜写真、添付あり))

17日 水津方面採集行。(晴)両津より山越にて赤玉に出、それより海岸づたひに水津に出る。途中、月布施にて相中四年生の浜田猛にあひ、片野尾辯天崎にのぼり神社参拝。水津より河崎小学校まで徒歩。日、全く暮る。それより自動車にのりて両津に出、相川に8時40分かへる(マタタビの実、ケンボナシ、オホキジノヲシダ等採集)

19日 村松中学校における縣下中女学校園藝科研究会に出席のため出島。加茂より電車にて村松に行き、赤土山附近を散歩。羊齒類の採集をなす。村松屋旅館に投宿。夜、町見物に出る

20日 作業研究会(村松中学校)。夕刻、新潟に出て宿泊。夜、信濃川畔散歩

21日 午前、新潟高校に真保、徳重両教授を訪問。午後の船にて佐渡にかへる

(28日 山之神孔子の廟に参拝)

11月

1日 午前、中川薬局主人と山之神ヘユキワリサウの採集(薬物試験用・・東北帝大高瀬豊吉博士)にゆく。午後、下相川の山に採集にゆき、歸途、学校にたちより、同化作用実験の準備をなし、渡辺先生と遊んで帰る

(3日。明治節。式後、高千村入川まで行軍。途中、雨降る)

(20日 山之神射撃場にて五年生の實彈射撃あり)

22日 高千村入川服部旅館に北見氏を訪ひ、2人にて外海府矢柄川上流に採集にゆき、雨にあひ、浜田様の山小屋にて火にあたり晝食をとる。入川に引返し、「理学界」、「植物及び動物」を借用してかへる

29日 野呂と鉾山の奥へ小川にそって羊齒類の採集にゆく

12月

16日 南沢、矢田大秀氏の温室を訪れ、サボテンの研究。山路をめぐりてかへる

24日 仲田先生と夕刻、山之神までユキワリサウの採集に行ってくる

26日 歸省の途につき、新潟高校に徳重先生を訪問。岩石プレパラートの研究をなす

27日 朝、徳重先生宅にゆき、先生と同道にて高等学校にゆき、岩石研究。晝食に都屋まで出て、自

動車でかへる。午後、佐渡産岩石、化石の研究。夕刻、十日町中学の地歴科教諭、小林國重氏來、3人にて夕食に出、諸處をたちめぐる。午後11時過ぎ、小林氏を月光の下、松波町まで送る。それよりひとりにて新潟中学校裏より旅館にさんぽがてらかへる。(縣庁前、西山旅館)高等学校に真保先生を訪れ、プレパラート、腊葉の研究をなす。夜汽車にて刈羽の自宅にかへる

1937年(昭和12)

1月

(2日 兄秀雄、東京(川崎)よりかへる。2人にて年始札をつくる)

9日 夕刻、加藤寛、野呂和博をつれ、中山峠トンネル入口の岩石採集にゆく

(14日 午前5時半より6時半までの寒稽古はじまる)

23日 顕微鏡試薬の調合30種、やうやく完成す(4日間)

2月

21日 雪を冒して青野峠より二宮村をめぐってかへる。ヒノキアスナロ採集(午前、学校にてプレパラート作製)

3月

1日 夕刻、顕微鏡實習用のイハヒメワラビの根茎の採集に山之神までゆく

7日 春日崎、二見、開方面をめぐってかへる。(カブセのツルアラメ、玄武岩、春日岬の方解石、開の池、シキミ等)

14日 小木の隆起海岸の見学をなす。自動車にて小比叡に至り(8時半)、それより峯づたひに山路を辿り、金田新田に出、更に大浦に下りて玄武岩、海藻(ウミウチワ)を採集。枕石浦に出て枕状溶岩、潜り岩を見、神子岩のドレライトを採集してそこに晝食。更に筍岩、玄武岩脈を調べて沢崎燈台下に出る。次に山路によりて深浦に至る。途中、ケネザサ採集。深浦—犬神—(鏡門崎)—強清水—(海岸づたひ)—宿根木—相馬床の(*不明)穴—(洞穴)—琴浦—(山路)—元小木—辯天崎—御所桜(海潮寺)—矢島、經島—小木着午後5時半

(23日 入学考査。朝おくれ、途中迄、渡部佐多雄君がむかへにくる)

4月

- (8日 宿直。新入舎生歓迎茶話會あり。「梅花詞」を吟ず)
- 11日 トクサのプレバート作製
- (17日 おそくまでひとり、花壇の整理をやる)
- 23日 夜、山口寫真館に至り、助手より現像の指導を受く
- 24日 第四限閱兵分列演習。放課後、仲田先生、野呂と3人にて南沢より二つ岩道方面へ採集にゆく。夜はじめて寫真現像の試験をしてみる
- 25日 日直。ゼンマイの中心柱のプレバートをつくる。寫真の焼付を初めてやってみる
- (27日 靖國神社臨時大祭。小学校庭の忠魂碑参拝)
- (29日 天長節。青野峠へ全校遠足をなす)

5月

- (1日 創立記念日。戦闘教練。善知鳥神社参拝。應援練習)
- 9日 廣島に於ける研究會に出場のため相川出發。上越線經由にて東京に出、上野に一泊す
- 10日 日比谷公園の花壇を見学し、宮城参拝。楠公銅像を拝し、タンポポを採集。9時の特急「燕」にて大阪に向かふ。大阪着午後5時。大阪城、夜の大阪見物
- 11日 急行にて宮島に至る。厳島に渡り、神社参拝。後、山にのぼり原始林見学。大谷、紅葉の両公園を見て、夜、廣島に出、縣教育會館にとまる
- 12日 高等師範学校附属中学校の研究會に出席。長田新教授の博物教授に関する講演あり。了って宇品港見学。宇品島の原始林見学
- 13日 前日分に引きつゝいて協議會。午後、京大川村多実二教授の本能の分析と題する講演あり。晝食休みに市博物館の應用理科展を見る。了って広島城、浅野泉邸見学。比治山に出(堀内氏同道)、御便殿参拝。夜は、京都から来た劇團を見にゆく
- 14日 全國博物教員大会に出席。午後、岸谷教授の細菌の生活史、仲佐教授の成羽地質の研究に関する講演、會員研究發表あり。畠山久重氏：難波の植物、寺崎留吉氏：生理教材の取扱、その他、御所の左近の桜の研究、カブトガニの習性研究等あり。了って江波公園の植物見学、カキの養殖地見学をなす
- 15日 協議會。了って秋吉調査班に加はり、已斐附近の花園見学。市内已斐駅出發(一行25名)。「徳山燃料廠(*?)、岩國錦帯橋」一行のうち一部は山口に下車し市内見物。吉岡女史の銅像をみ、湯田温泉に至りて一行に會して一泊
- 16日 自動車にて秋芳洞に至りて、洞内見学。秋吉台

見学。長者森まで行きてひきかへし、途中、岩石、植物を採集してかへる。自動車にて小郡に出、解散。小郡郊外を採集の後、山口線にて長門峡に至りて溪谷の見学及び植物の採集。夜汽車にて石見の浜田に出(途中、月の海岸よし)、一泊。直に女師の丸山巖氏を下宿に訪問する

- 17日 丸山氏來訪。2人にて町内城址に採集に行く(コップアフヒ、ムサシアブミ等)。後、女師校に立ち寄り、9時20分の汽車にて出發。10時、京都着。市内見物、11時2分京都發、歸途につく
- 18日 午前11時直江津に着き、塚山に下車して附近採集(ミツバツツジ、スゲ)。夜9時半、相川にかへる
- (30日 仲田先生と乙和池より達者をめぐってかへる。仲田先生、寫真をとって歩く。途中、牛にあひ大困り)

6月

- (5日 山砲兵及び全郡中学校、青年学校の合同演習あり)
- 11日 放課後、職員一同松岡農場ヘイチゴを買ひにゆく。農場付近にサドオホカニツリあり、山之神より戻って採集す。夕刻、山之神にてやぶさめあり。拝観する。
- (13日 金沢村近藤福男氏を主とせる佐渡山岳會に伍して妙見山登山をなす)
- (18日 生徒用の顕微鏡四台到着。学校長にプレバート若干お目にかく)
- 23日 夕刻、野呂和博と常德寺の裏山へ採集に行く
- 27日 雨に打たれ外海府岩谷口より山居池をめぐり眞更川まで植物採集をなす

7月

- 3日 仲田先生と下戸海岸までハマニンニクの採集に行く
- (19日 歸宅。途中、別山校にたちよる。夕刻、母について神明山まで行く)
- 20日 簡閱点呼応召に二田小学校に至る。執行官金山少佐。終わって附近を採集し徒歩歸宅
- 21日 相川にかへる。船中にて京城師範に入った川嶋泰藏君にあう。(関屋附近川沼にて採集。電鉄にてかへる)
- 31日 採集旅行出發。午後4時半相川出發。小木に至り、權座屋にて汽船を待つ。午前1時、廣橋、佐藤兩父子に見送りを受けて小木港出帆

8月

- 1日 早朝、直江津に下船。汽車に搭乘。信州八ヶ岳

山麓の松原湖にむかふ。途中、日支事変のための應召兵、各駅より出發する。小諸より小海線に乗り換へ、松原湖駅に下車。途中にて松原湖に至りて散策。それよりひとり夕刻の道を本沢温泉に向かふ。途中、ギバウシの花ざかり。又、針葉樹の美林等なかなか美し。8時頃、漸々電燈をたよりに温泉にたどりつき一泊。ここは硫黄泉にして温度極めて低し

2日 ハケ岳登山。温泉をたち、夏沢峠より硫黄岳に至り河口跡を見学。横岳の險にかかる。横岳は、山稜狭く、馬背の如く、西側は急断崖につき、付近にはチャウノスケサウ、コマクサなどの高山植物夥しく咲きほこり、岩上にアワモチゴケ、チヅゴケを見たり。それより赤岳に至り、次いで赤岳の急崖を下りてキレットにかかり権現嶽に至る。それよりこく蔵岳を越えれば、高山植物又著しく、密林をすぎて編笠岳に登る。歸途、密林中に道を失ひ、やうやう小淵沢下りの道を得、シモツケ、キスゲなどの咲くすそのを下り、日暮れて漸々小淵沢に至る。汽車にて甲府に出、駅前宿泊

3日 朝、市内の城址に至り、次いでバスにて昇仙峽に至る。約2時間半。午後は、またバスにて吹苗川を渡り、御坂峠を越えて河口湖湖畔より吉田町に至る。直ちにバスにて西湖、精進湖、本栖湖(丸木船見学)、青木ヶ原を見てひきかへし、山中湖に至る。夕刻、湖畔に遊ぶに水面、鏡の如くに静かにして、富士は紫に眠り、実に形容の詞なし。吉田駅前に泊る

4日 富士登山。馬返までバスにて行き、それより單獨登山。稀に見る快晴にお山は繁昌。頂上おはちめぐりをなし、御殿場口に下る。途中、宝永山の火口を見学。砂走りをまっしぐらに下る。太郎坊近く火山礫の中に点々とフジアザミ、フジイタドリ、オニタデなど点在し、実に見事なり。箱根火山の構造は、途中にて模型の如く美しく見ゆ。混雑の自動車にて御殿場に出、駅前にとまる

5日 朝、神社の附近を採集。オホウマノスズクサ等を取り、バスにて箱根に向かふ。アメリカ村、長尾峠より仙石原に出、湖尻より小汽船にて湖上遊覧、箱根町に下船。関所跡、杉並木を見、バスに乗りて小涌谷に至り、駅にてかねて依頼の小田原林野局の植物採集許可証を受け取り、日取りの都合上、午後は小田原に出、酒匂川に沿って「ししそが」駅附近まで採集をし(クグ、コミカンサウ、水草類、ハマスゲ、カラスウリ等)、自動車にて国府津に出、海岸のケカモノハシをとりて又バスに乗り小田原へ出、電車に

て宮ノ下に戻りて宿泊

6日 強羅よりケーブルにて早雲山に上り、大涌谷の噴湯を見学。後、神山、駒岳の採集をなす。駒岳は全山草原にてヒメノカリヤス、シモツケサウにおほわれ、美しきこと限りなし。歸路、周回路をめぐり、途中、雷雨のため湖尻に下り、徒歩にて仙石に至る。雷雨ますます激しく、為に自動車にて宮ノ下へ(明星館)

7日 乙女峠より金時山登山。それより仙石原に出、早川に沿って上り、ハコネヨシを採集。養魚池附近を採集してかへる。(オニスゲ、タニヘゴ、サンセウイバラ等)

8日 蘆ノ湯より湯ノ花沢に至り、新羅三郎義光の舊跡笛塚を訪れ、急坂をよじて硫黄山に至り、硫黄山地獄にたちよりて双子山登山をなす。山頂にて待望のハコネコメツ、ジを採集。歸路は曾我兄弟の墓、六道地藏精進池より舊道に出、畑宿にてカンアフヒを採集。日暮れる。一外人の自動車に乗せて貰って夜の道を一路横浜に出(午後9時)、川崎の兄秀雄の宅にたちより、直に東京に出て上野にとまる

9日 兄秀雄と上野駅の高山植物展を見、次に小石川植物園、上野動物園を2人にて見物。それより小生1人博物館に立ち寄り、夕刻は又兩人で川崎小学校より川崎大師、多摩川畔を散策す。夜は神田の書店をまはり、夜汽車にて刈羽にかへる

31日 歸校の途につく。雨のため白山駅に2時間半休憩。英語研究をなす

9月

12日 中井先生の依頼により、両津—アオネバ越—入川とアヲヤギサウの一種をさがしまはる。入川は道が流失して渡渉30回。入川にて北見秀夫氏のところに立ち寄り、相川に帰る

(14日 出兵兵士見送りに生徒を連れ、熊野神社へ)

19日 腹痛下痢になやみつ、内海府ドンデン越にアヲヤザサウ属の新種採集に行く。西回りにてドンデン池畔に出、歸路東谷を下りてようよう枯幹をみつめてその根を採集して帰る(*Veratrum sadoense* Nakai シュロソウ)

29日 四年生をつれ、下相川へ地質研究にゆく

10月

(5日 天野相川裁判所判事の違法週間に関する講話)

(13、14日 防空演習。燈火管制、宿直)

13日 千疊敷へ四年生を引率、地質野外授業

19日 国民精神総動員強調週間。旗行列、善知鳥神社

- 一山之神大山祇神社迄。午後、道遊奥まで採集にゆく。ナガバヤブマラ、カラスウリの採集
- 20日 園芸部員をつれ鑛山奥まで羊歯の原葉体を取りに行く
- (27日 健康増進に関する講話(鑛山病院の佐藤氏)。若月文雄氏標本室訪問。上海陥落祝賀旗行列を小・女学校と合同にて行ふ)
- 31日 午後、小川山中を散歩する。下相川海岸にて萩を採集

11月

- (2日 實彈射撃。四、五年生、山之神射撃場にて)
- (8日 夜、大原陥落提灯行列に参加)
- 14日 加藤實(五年)を伴い佐渡山岳會の畑野伊泰儀山へハイキングに参加。帰途、月夜美しく加藤と河原田まで歩く。イハナシ、ハンノキを採集
- 28日 朝、一年生田畑、小林、注文のカラスガヒを採集して届けに来る
- 29日 吉井村吉井須田久蔵氏、注文のカラスガヒを採集してとゞけに来る

12月

- 5日 吉井村須田久蔵氏、来遊。顕微鏡を持歸り、下宿にて藓類精査開始
- (7日 南京陥落旗行列(夕刻)。戦闘祝賀會(於小学校)(夜))
- (14日 南京、完全に陥落す)
- (24日 北支にて戦死せる相中卒業生渡辺鎮治君の遺骨を出迎えに午後7時下戸に至る)

1938年(昭和13)

1月

- 15日 雪中行軍(相川—中山舊道)(藓採集)—沢根—曼陀羅寺—(山越)—橘(常福寺晝食)—春日崎—善知鳥神社参拝)
- 22日 田代善太郎氏より小泉教授鑑定の笹種名報知あり。新種次の如し
- Arundinaria praeumbrans* Koidz (?)
- こしのこちく(?) (新潟湊小学校)
- A. Kariwaensis* Koidz. ないごうしの(別山産)
- A. Koshiensis* Koidz. こししの(別山)
- Pleioblastus Koshisimoni* Koidz. こしめだけ(刈羽)
- Arundinaria yessaensis* Koidz. えつさしの(佐渡、刈羽村十日市)
- A. yessaensis*. var. *supra-pinosula* Koidz.

(別山)

A. glabra Nakai. var. *pilosa* Koidz. けしひやしの(鎌(*?)田)

Sasa Naigoensis Nakai var. *depauperata* Koidz. ひめあらげちしまざさ(ヤヒコ)

Sasa Kariwaensis Koidz. こしのおほばざさ(ナイゴウシノ)(別山)

- (27日 四、五年生、雪中、山ノ神にて戦闘訓練。付添いに行く。夕刻、田畑伍長の遺骨出迎に全校生下戸へ)

30日 夕刻、山ノ神へ竹の採集にゆく(日曜)

2月

- (2日 寒風にさらされ全校生、山之神グラウンドにて查閲練習)
- (11日 紀元節。善知鳥、金刀比羅、大山祇三社まゐりをなす)
- 21日 相川小学校の宮本美治校長を訪れ、デスマスチルスとカルカロドンの標本をかりてくる。これは、大正14年來行方不明なりし珍標本なり
- (23日 四年生主催、五年生の送別豫餞會開催。「四年上町オーケストラ、石塚、石井のマンドリン、ヴァイオリン、高野、梶井の現代松の廊下、湊元先生の詩吟及び独唱、僕の独唱、浪路はるかに」等)

3月

- 13日 日曜、海岸散歩。千疊敷にてスギモク採集。卒業生余田肇も来遊。それより下相川のチシマザサを調べて歸宅
- (15日 夜、理髪舗にて独塊合併に関するウイーンよりのヒットラー總統の演説をきく(ラジオ、10時))
- (18日 小学校に日支事変戦利品の展覽會あり。全職員にて見学に行く)
- 27日 野呂和博と小川の奥へ1日採集に行く。野呂、ウバユリを掘ってかへる
- (28日 歸宅。途中、病氣療養中の澁谷校長を新潟市関屋田町の御自宅に訪問(樋口先生居あはす))
- 29日 雪成、寺尾、瀧谷、入和田と笹の採集をなす
- 30日 礼拝より徒歩にて田沢、尾之内、荒谷と笹を採集の上、別山峠の店橋敬三郎氏の病氣見舞いに行く
- 31日 神明山へ笹、藓の採集に行く

4月

- 16日 野呂と南沢へ採集に行く。午後7時、日支事変戦死者遺骨七柱出迎
- (23日 午前、小学校に日支事変戦死七勇士の町葬あ

り。全校参加。午後、浪花節語りの上海慰問

談あり。夕刻まで五年生と庭球に戯れて歸る)

(26日 靖国神社大祭。小学校の忠魂碑参拝)

(29日 天長節。善知鳥神社参拝。後、閲兵、分列)

30日 夕白沢大立抗へ採集行

5月

(13日 明治大学古賀氏の精神講演あり。午後、三校
武道選手推戴式。鷲津中将の支那事変の現況
講話あり)

(17日 凱旋遺骨二柱を熊野神社にて迎ふ)

(22日 宿直。出征兵見送りのため、午前3時50分、
舎生を起こす。五十嵐大工について相川博物館
(校前)の造作を湊元先生と共に見にゆく。
夕方、徐州陥落の旗行列をなす。夜、提灯行列)

6月

(2日 五年生、関西、関東方面修学旅行出發。越後
線經由で刈羽油田見学の豫定のところ雨のため
とりやめ、柏崎町新道屋旅館にて休憩。夕刻、
汽車にて京都へ。(※京都、神戸、大阪、奈良、
伊勢、名古屋、東京、日光の見学先記載あり。
9日 水上發上越線經由にて相川に午後10
時かへる))

7月

17日 夕刻、鉾山奥まで採集にゆく

(21日 集團作業開始。上級組は鑛山山中より樽材の
運搬、下級組は校庭の土もり、土俵移轉)

(24日 午前3時半、不時呼集。出征看護婦の見送りを
なす)

(25日 早朝、山之神大山祇神社参拝。午後四時半、
集團作業終了式)

8月

7日 米山登山。谷根より青海川に下りてかへる(鉾
崎より上る)

9日 入和田へ笹の採集に行く

11日 井岡一赤田一弓返峠一曾地一花田一新屋敷一割
町と採集してまはる

14日 千葉鴨川町の長狭中学の浅野貞夫氏来訪。同氏
を刈羽神明山、別山油田(灰爪、笹山)、別山
山地等を案内。笹の採集をなす。夕刻、兩人に
て峠の店橋敬三郎氏を訪問

17日 刈羽新池より西元寺一十日市一野崎一いかり一
阪田一新保一十日市一刈羽田地と採集をなす

(22日 午前4時半、出征兵士見送り)

9月

(3日 自治委員及び二年生を集めてラジオ第二体操
の指導をす)

(4日 日曜。午前4時半及び正午の二回、出兵兵士
の見送りをなす)

11日 午前10時より吉井村に採集に行き、須田久蔵
氏を訪れ、2人で吉井、新保の笹を採集をなし、
日暮て千種に出、村上洪吉氏を訪れ、3人にて
シヤコタンチクを調べ、中興、植田旅館にて夕
食。9時半のバスにて相川にかへり、生徒と共
に戦死者の遺骨を迎ふ

18日 昨日、拂曉戦の際、紛失せる葉莢を五年生二
分隊して北狄に至りて搜す。自動車にて監督に
行き、午前10時、12發を拾ひて解散。後、
北狄奥へ採集に行く。モリアラガヘル(?)を
とり逃がす。帰校後、プレバートの製作

24日 縣下中等学校博物科研究發表資料(フロラ抄
録・・・佐渡のフロラ、蘚苔目録)を寄宿舎に
て中山俊英以下舎生6人の手をかりて印刷。午
後9時半終了

25日 午後の船にて新潟へ。夜、明日の研究發表の要
綱を真保先生にみて戴く(二葉町の御自宅に)

26日 中等教育研究會博物研究會(於新潟中学校)。夕
刻、1人にて関屋郊外へ採集にゆき、日くれて
かへる(ヌマガヤツリ、サハシラン、ミヅワラ
ビ等) 夜は図書館へ行く

27日 協議會及研究發表會(小生「佐渡フロラ抄録」
發表)講師水野弥作氏講演。午後、醫大病院に
立ち寄り(瀧本先生、佐渡へ一旦歸へらる)、
高校に徳重教授を訪れて、歸途、学校依頼の買
い物をすまし、徒歩にて鳥屋野方面へ採集に行
き、「アザミ採集」。午後の汽船にて佐渡へ。自
動車が中山峠にて故障し、午後12時やうやう
下宿にかへる

10月

2日 標本箱作製手傳(五十嵐與吉氏)に午後、登校。
四箱、本日亦完成せず

5日 吉井村の須田久蔵君、採集せる植物を携えて来
遊。午後9時半まで

(6日 銃後強調週間講話「生産經濟のブロック完成
と日支事變の關係」を全校生に講話す)

(15日 課業2時間後、徒歩にて国仲、國府川口にグ
ライダーの見学にゆき、待つこと3時間。あ
っけないグライダーの飛翔ぶりに全校生呆然。
5時半出發、夜道にて、7時、相川につく)

16日 佐渡中学生坂井敬君、腊葉の鑑定依頼に來り

19日 靖国神社臨時大祭。善知鳥神社参拝。午後、鑛
山奥まで採集に行く

- (21日 皇軍廣東入城)
- 23日 植物採集行。吉井に至り、須田君の宅に立ち寄り(同氏留守)、加茂湖畔に出て河崎村をめぐりて帰宅
- (27日 郡中等学校青年学校聯合演習に四、五年生参加。徒歩にて金沢小学校に至りて休憩。記念撮影。午後3時より演習開始。貝塚一吉井本郷にて野襲戦、陣地攻防戦。終って佐渡中学に引き返し一泊。30分の睡眠をとる。(午後、6時35分、漢口陥落のサイレン聞ゆ))
- (28日 払暁戦。石田川を渡渉。終って河原田グラウンドにて閲兵、分列。相川にかへりて善知鳥神社より羽田まで漢口陥落祝賀旗行列に武装のまゝ参加)

11月

- 6日 白瀬一小野見越一金剛山一和木と採集
- (14日 早大、山本忠興博士の講演あり)
- (23日 朝香宮殿下奉迎。熊野神社前。24日朝、奉送)
- (25日 朝、新井石龍禅師の「禅の三心」について講演あり)

12月

- (21日 東京日日新聞の丸山記者の時局講演)
- (25日 八幡村八幡神社へ皇軍の武運長久祈願並びに耐寒行軍)
- (30日 出征兵士見送。午前5時、善知鳥神社前。10時半より正午迄、モンペイ坂及び上町の雪掘作業(町内生徒))

1939年(昭和14年)

1月

- 1日 四方拝。学校長宅に職員一同招待さる。午後、入営兵見送り。顕微鏡實習(タンゲル氏孔)
- 5日 吹雪の中、南沢より矢田のところまで顕微鏡實習材料の採集に行く
- 6日 日直。堀川氏に送る蘚苔標本の整理。夜、顕微鏡實習。インドゴム木の葉の鐘乳体の成分決定
- 7日 午前6時半、入営兵見送り。吹雪の中、下戸まで海岸採集。
- 9日 宿直。地衣、蘚苔、腊葉の整理、午前3時まで。寒氣頗る強し
- 10日 終日、蘚苔番号の總整理にをはる
- 13日 猛吹雪の中、鑛山夕白沢へ地衣の採集に行く。佐藤清明氏に地衣、堀川芳雄教授に蘚苔(800点)発送
- 15日 下相川・千疊敷へ採集に行く。何もなし。文献

刊行会の植物原書到着す

- 16日 佐渡産蘚類標本全部を県産目録編集の資に高田農学校岩崎二三氏に提供。今夕發送
- 17日 日宿直。杉本氏、浅野氏にやる標本の調整、午前3時まで。瀧本先生來校。測候所の斎藤帝、物化をならひにくる
- 19日 刈羽産の笹新種 *Sasa epiticha* Koidz. ウハゲヤヒコザサ、植物分類誌上に發表あり)

2月

- (7日 雪中行軍)
- 19日 南沢へ採集に行く
- (24日 湊元先生と校舎裏の土手に出て語る。20日の事件につき警察特高來校)
- (26日 入営兵士見送)

3月

- (5日 小田、五十嵐、満州高工合格の電話あり、夕刻、知らせてやる)
- (10日 西山少佐の記念講演あり。午後、小学校に於ける戦没者慰霊祭に出席)
- 17日 下相川へ地衣の採集に行く(夕刻)
- 18日 午後、南沢寺町へ地衣の採集
- (28日。歸省(刈羽へ))
- 29日 神明山へ地衣の採集をなす
- 30日 東京市へ
- 31日 科学博物館、神保町めぐり、川崎市に至り、大島アパートに秀雄兄を訪問、宿泊

4月

- 1日 帝大・小石川植物園へ。再び、川崎にかへりて宿泊。秀雄兄とニュース映画見学
- 2日 熱海附近採集。午後10時35分上野出發、歸校の途につく
- 13日 蘚類標本の整理。五年野呂和博來たりて手伝う
- 15日 野呂和博をつれ、夕刻、鑛山夕白沢に採集に行く(ユキワリサウ、ヤマエンゴサク、ミヤマカタバミ、地衣類)
- (18日 下宿の三毛猫死す)
- 23日 松ヶ崎小学校の吉原校長、植物の研究に夜、來訪
- 30日 小佐渡經塚山へ採集に行く

5月

- (2日 午後9時5分父死亡)
- (3日 午前2時、父死亡の電報を受け取り、直ちに登校、校務整理。午前4時半、相川出發。午後1時半、刈羽着)

- 9日 新潟市郊外鳥屋野にてスゲの採集
- 15日 中山峠、植物採集
- 21日 南沢、植物採集
- 28日 外海府関越を採集。クマガヒサウ、オホサクラサウ、ツバメオモト、ツルカコサウ等満開。日くれて両津まで歩き、白山屋に泊まる

6月

- 4日 小林茂治先生と金北登山
- 5日 午前4時50分、石井潔君の出征見送り。放課後、全校マラソン練習。吉井村須田久蔵氏、植物標本を習ひに来る
- 7日 夜、松ヶ崎小学校長吉原氏、植物の研究に来訪される
- 10日 全校マラソン。春日崎より二見村行。記録をやる。後、自転車にて高学年の途中監視をなす。終了後、春日岬附近の海岸植物の研究
- 11日 町内各種団体の運動会。接待レースに出る。午後2時間会場を離れ、夕白沢ヘツタウルシの木の観察に行ってくる
- 18日 須田久蔵氏と吉井村長江川上流へ採集にゆく。コギンリヨウサウ採集

7月

- 2日 夜、吉原正秀氏腊葉研究に来訪
- 8日 松ヶ崎に於ける博物研究會に出席のため考査監督2時間後、相川發。午後5時、松ヶ崎着。松ヶ崎小学校長吉原正秀氏と共に裏山の採集をなす
- 9日 松ヶ崎採集（吉原氏と共に）。男神山、白ツ（*フ？）のたき附近、オホコメツツジあり。平雲寺にて晝食。西龍寺の住職に強制され、午後4時半迄全寺にて馳走になる。夕刻、谷づたひに採集してかへる。夜、電灯暗くて標本整理不可能
- 10日 研究會。松ヶ崎、赤泊、岩首の小学校の職員50名。植物の文学的研究につき講話をなす。夕立あり。松ヶ崎校にたちよって吉原氏宅にかへる
- 11日 雨のため、午前、腊葉の鑑定。午後、雨を冒して吉原氏と岩首村へ採集にゆく。マタタビ、ビワ、ホタルブクロ、カヤ等
- (19日 燈火管制)
- (21日 午前4時半出發。全校生、二見村大浦尾平神社参拜行軍)
- 26日 暑休の採集行の許可願八通營林署に發送。加藤寛、学校の標本を見に来る。夜、松本大、野田繁來遊。松本大を送って11時半家にかへり、柏崎の高女生妙見山遭難の報に接し、夜、ひと

りにて夕白沢を上り、ヤスケだほふし下にて下山の一行に会い、いづもや迄送って解散は午前5時

8月

- 4日 夏季研究旅行出發。新潟市にて事変博覽會見學。汽車にて上州沼田に至り、それよりバスにて鎌田に入り、夜道を徒歩、土出の古中温泉に泊る
- 5日 土出出發。強雨について尾瀬峠より尾瀬沼に出、長蔵小屋に立ち寄り、午後4時、また雨風について尾瀬原温泉小屋に至る
- 6日 尾瀬原研究。雨のため浸水深く、引きかへし富士見峠に向かひ、菖蒲平の湿原を見學。古中にて下り、夜道を白根温泉まで徒歩す
- 7日 白根出發。丸沼、菅沼、金精峠を採集。日光湯元に泊る
- 8日 湯元發。湯の瀧を見學。戰場ヶ原を横り（*横切りの意？）、中禪寺立木觀音に参詣。雷雨を晴らして富士見峠を越し、夜道を足尾に出る
- 9日 足尾銅山見學。足尾線を途中下車し、強雨の中を採集。水沼より夜道を徒歩梨木温泉に至る
- 10日 赤城登山。雨強し。夜道前橋に下り、10時半宿につく
- 11日 標本整理の上、伊香保に至り榛名登山。湖をめぐる夜道を下りて伊香保に投宿
- 12日 伊香保發。沓掛に至り附近採集。沓掛泊り
- 13日 浅間登山。小諸に下りて投宿。雨はげし
- 14日 小諸發。途中、野尻湖に立ち寄り田口まで徒歩。夜汽車にて刈羽の自宅にかへる
- 24日 全校水泳。於千疊敷。カブトクラゲ、サルバ、海藻の採集をなす

9月

- (1日 震災記念日。熊木先生のお話)
- 24日 鑛山大立坑迄採集に行く。カハヤナギ、サハヒヨドリ、マルバハギ、ハウチハカヘデ等

10月

- 1日 石花川上流にタウヒレンの調査に行き、片辺より山越にて戸地發電所に下り（雨あり）戸地—北狄に出てバスにてかへる
- (5日 査閱官東海林大佐の歓迎宴、清新亭にあり。終了後、ピアノを借りて練習する)
- 7日 女学校に寄り、植物参考書を閲覽。夕刻、春日岬へハチヂヤウナ、地衣の採集に行く
- 14日 真野宮奉納相撲に本校生徒出場。全校生、行軍をかねて見物應援に赴く。途中、新町にて地衣を採集。後、1人にて御陵に参拜、真野宮に出づ。相撲に物言ひがあり時間を取り、夕刻7時、

相川に着く

- 16日 野呂及び三年生をつかひ、クノップ氏液を使用の水耕試験を行ふ
- 13日 川村松蔵氏、ツチアケビを採集してくれ、二年北、曾我に手伝はしめて撮影す(裏土手にて)
- 29日 小林先生と吉井に至り、須田君を伴ひ河崎村両尾越より水津方面へ採集にゆく。自動車に遅れんとして羽二生迄半道駈歩をす
- 30日 夜、野呂和博、一年の瀬下善松と腊葉の研究に来る

11月

- 19日 高千村石名より、山越にて馬首に採集。頂上より壇特山への道あれてやむなく引きかへす。両津まで徒歩
- (20日 國体の本義輪講。学校長)
- 23日 吉原正秀氏来訪。標本研究

12月

- (1日 興亜奉公日。善知鳥神社参拜。粗食日。防火日。相川署長の講話。午後、下宿生の部屋の点検(瀧本先生と下町まはり)。夜、若林博士のところへ血圧計の研究に行く)
- 3日 血液型の研究に若林博士訪問。小田、野田、石井、小林先生同道。池上(A)。新調の標本箱出来てくる
- 10日 日曜。野呂、北森、太田、小田、石井、小林をつれ、若林博士訪問。採血及びレントゲン研究。夜、野呂に遺傳の講義をなす
- 30日 夜、野呂和博、松柏類の葉の解剖、遺傳学の研究にきていく
- 31日 日、宿直。菊地政雄氏に腊葉を送る。佐藤清明氏よりのブラジル植物・蘚類の整理をなす

1940年(昭和15年)

1月

- (3日 帰宅のため両津に出、乗船するも、新潟港口浪強しとて出帆中止。むなしく相川へ引き返す)
- (5日 大町(桜井)氏と市立中学校仮校舎に至り、それより越後線にて刈羽へ)
- 7日 刈羽小学校の標本を整理してやる
- (8日 相川に帰る。海荒れ、また自動車事故のため、三浦氏と中山峠を雪の中、徒歩す)
- 14日 女学生新聞の原稿「動植物名漫談」清書

2月

- (6日 雪中行軍。北狄往復)
- 24日 若林博士、野呂和博と兎の心臓鼓動記録実験を博物教室にて行ひ、五年生に公開す

3月

- (1日 興亜奉公日。善知鳥神社参拜)
- (10日 陸軍記念日、小学校の忠魂碑参拜)
- (24日 勤労炭焼作業に宮本先生と行く)
- 23日 小林哲夫を手傳はせて標本室の整理をなす
- 26日 終日、標本の整理をなす
- 30日 相川出發、午後8時半上野着。松本大出迎。神田の神保館に泊る
- 31日 午前、小石川植物園訪問。午後、松本大と東日天文館、上野公園等で遊ぶ。夜、熊木准尉(近歩二)來たり泊る。1日朝、営門まで送る

4月

- (1日 松本大を連れ、吉見百穴、長瀨の見学に行く)
- 2日 神田島津講堂にて開催の日本植物学会に出席。中井博士、堀川博士に会ふ。夜、湊元克巳氏のところに泊る
- 3日 全前。夕刻、芝浦の川口印刷所に湊元氏を訪問。青年学校教科書の校正を手伝う。今夜も湊元氏宅に泊る
- 4日 植物学会の見学旅行に参加。午前7時45分東京駅出發。中井博士、本田博士参加。興津園芸試験場見学後、バスにて清水港に到着。次郎長の墓、日本平、龍華寺の大蘇鉄、高山樗牛の墓、三保松原、羽衣の松等見学後、三保松原の三保園に泊る。夕食後、11時半迄座談。寺崎留吉氏、中々に元気なり。寺崎氏、木村陽次郎氏と同室
- 5日 朝、木村陽次郎氏、本田博士等と海岸を散歩。ナツミカン、夥しく汀に打ち上げられて居る。久能山東照宮参拜、増の萩原菴園見学。静岡駅に至り、汽車にて沼津に出る。バスにて木負^{キセウ}に至り、ミカンの原木(天然記念物)見学後、修善寺温泉に至り、菊屋別館に泊る。雨、強し。参加者、中井、小倉、本田、亘理、篠遠、荒井の諸博士。木村陽次郎、津山、寺崎、野口ツタ、和田文吾、木島均、水野
- 6日 朝食後、見学團は解散。更に有志をあつめて八幡野のリウビンタイ自生地の見学を行ふ。参加、中井、亘理、荒井、津山、寺崎、水野、池上。伊東經由、八幡野に至り、溶岩台地のカギカヅラ見学(ヤマモモ、マキ、サカキ、タイミンタチバナ、オホシマツツジ、サカキカヅラ、アラカシ等をとる)後、晝食。後、八幡社のリウビンタイ、桜の大木を見学。3時解散。荒井養老

- 氏と下田に至る（途中、今井浜にて自動車を待つ間、採集）。下田町平野屋に泊り、荒井博士と植物学教室のことなど12時過ぎまで語る
- 7日 荒井氏は石廊崎に向けて出発する。午前中、下田付近を採集。唐人お吉の墓など訪れ、正午出帆の橘丸にて大島に至り、岡田港に上陸。バスにて元村に至り、それより採集しつつ波浮港に至りて福屋に泊る
- 8日 波浮出発。バスにて間伏に至り三原山に登る。途中、馬を使ひ、むし湯に入りて岡田に下り、3時出帆。7時半。東京芝浦に下船。川崎に至り秀雄兄の許に泊る
- 9日 午前、大島アパートにて標本調製。午後、上京。荏原区戸越町に松本大を訪れ、採集品を荷造り。大と上野に出、10時半の夜行にて東京をたつ
- (10日 両津港上陸。転任帰郷の木方氏と同氏見送りの小林氏に波止場で会ひ、青木旅館でしばらく遊んで夕刻、相川へかへる)
- (18日 朝、鑛山病院に入院中の幅野今朝松を訪問。午前11時、全校生徒に見送られて相川立出。瀧本先生、山本様母、須田久蔵君、両津港まで見送らる。新潟に至り、桜井先生宅に宿泊。市中渡辺義治校長訪問)
- (19日 登校（白山浦、市立中学校）。下宿を探しつつ、真保先生、小林豊吉氏等訪問)
- (21日 学校町三番町桜井方に下宿)
- (22日 新任式。本日より授業をなす)
- 25日 弥彦国上方面植物採集

5月

- 5日 東蒲原日出谷一豊實植物採集
- 10日 大矢先生と小俣使丁、清水給仕の4名で農場に至り、草花の植付をなす
- (13日 弥彦行軍。巻より雨中を徒歩)
- (14日 軍艦天龍見学)
- (15日 体育日。終了後、市グラウンドにて庭球をなす（全職員）)
- 19日 護国神社参拜。午後、大屋先生と鳥屋野潟へ採集にゆく
- (29日 全校野外教練。青山方面)

6月

- 1日 皆川英世、本日より助手勤務。放課後、皆川を連れ砂山へ松の採集にいく
- (5日 海軍人事部へ全校生徒を連れ、講演及び映画見学に行く)
- 3日 矢代田より金津油田、新津方面へ採集にゆく
- (9日 全校行軍。昭和橋より鳥屋野、酒屋をめぐり亀田をへて沼垂に至る)

- 16日 中條、櫛形山脈・菅谷方面へ苔類の採集にいく。菅谷寺に詣で、バスにて新發田に出てかへる
- 19日 二千六百年銃後強調運動に関し、榎原神宮に式典あり。秩父宮殿下の詔書御奉読の中継を全校控所にて拜聴。
午後、高等学校に真保先生を訪問。苔類の文献を借覧す
- 23日 加茂より三條五十嵐川畔まで苔類の採集を行ふ
- (24日 縣庁前で高松宮殿下御参迎)
- (28日 満蒙開拓義勇軍280名の出發壮行会（於市グラウンド）)
- 30日 赤谷（内倉川）苔類採集

7月

- (7日 午前7時半、三笠宮殿下を新潟駅頭に奉迎。8時半より支那事変三周年記念式挙行。午後1時より二年生を引率。三笠宮台臨の日本青年動員北部大會參觀)
- 8日 農場手入れ。後、皆川をつれ、海浜植物の採集をなす
- 10日 皆川をつれ、鳥屋潟まで自転車にて採集に行く
- (17日 公會堂において執行の戦没三勇士の市葬に生徒代表大谷以下4名をつれて参列す)
- (22日 勤労作業。関屋砂山の射撃場の手入れ)
- 25日 東北苔類調査旅行出發。赤井谷地見学。徒歩にて猪苗代湖岸を採集。夜9時、猪苗代町にたどりつく
- 26日 磐梯山登山。裏磐梯に下り、五色湖を経て川上温泉に出て一泊
- 27日 雨をついて吾妻山に登り、議場に至り道けわしきため引返し、砂利船に乞ひて秋元湖を横断。輕便鉄道にて川桁に出、郡山に至りてとまる
- 28日 湯殿山ホテルに至る
- 29日 午前4時半出發。湯殿山を参拜。月山にのぼり、みだが原を経て羽黒山まで強行軍。9時半、羽黒山ホテルに辿りつく
- 30日 午前、羽黒山ホテルにて標本整理。羽黒神社の長い階段を下り、バスにて狩川駅に至り、本日は最上川にそって大曲に出る
- 31日 角館を経て生保内に至り、国見温泉まで採集をなす

8月

- 1日 秋田駒岳の採集。田沢湖に下りて、湖畔に一泊
- 2日 弘前市に至り、夜、弘前城址を見学す
- 3日 百沢に至り、水なき炎熱の道を採集。百沢の雪溪、お花畑をへて岩木山に登る。頂上、雨はげし。嶽下りの峻路を下り、嶽温泉に泊る
- 4日 汽車にて五所川原、鰯ヶ沢、深浦、椿をめぐり、鳥海山麓の遊佐に至る

- 5日 鳥海山採集。蔵岡道を選び、1500米の河原宿に至る
- 6日 河原宿を出発。山形の結城氏一行と前後しつつ山頂に至り、テウカイフスマなど採集。千蛇ヶ谷の雪溪、鳥の海をへて二の瀧下りの道を選び、日暮れて難澁を続け、10時近く漸々遊佐に辿りつく
- 7日 米沢に出、林泉寺迄採集に行く
- 8日 米沢線沼沢に下車。伊佐領迄採集。15日の採集旅行を済ませて午後9時新潟にかへる
- (10日 日直登校。点呼準備につき刈羽より電話あり、急遽帰宅。直ちに学校に至り、点呼準備。理髪。書類調製等にて午前3時近くになる)
- (11日 簡閲点呼。於刈羽小学校。執行官中村貫一中佐。夕刻、新潟にかへる)
- 12日 日直。高木仟氏恵送の標本を整理す
- 19日 営林署への報告書調製
- 24日 田代善太郎氏、彌彦へ採集に来られ、伊藤至氏宅に泊る。よって、夜、同氏訪問、一泊
- 25日 田代先生、伊藤君、小生3名で彌彦山へ採集に上る。午後5時半、西吉田迄田代先生と同車してかへる
- 28日 吉原正秀氏と新潟の砂山へ採集に行く
- 29日 吉原正秀氏と沼垂郊外へ採集に行く

9月

- 1日 吉原正秀氏と東蒲原豊実へ終日採集に行く
- (2日 「國体の本義の輪講」開始)
- 9日 放課後、吉原正秀氏と関屋郊外の田園へ採集に行く
- (14日 行軍。寺尾一黒崎一大野)
- (15日 白山小学校における満州国承認八周年記念講演、映画大会に大黒先生と共に二年生を引率して臨席す。(午後6時半)
- 22日 姫川に沿って採集を行ひ、信州島温泉に一泊
- 23日 島温泉出立。山の坊より白馬岳の見ゆる小瀧へ通ずる山道をとほり、根知駅まで採集して午後10時新潟にかへる
- (25日 全校生徒映画観覧「スタンデ(*?)イ探検記」)

10月

- 1日 彌彦の伊藤至氏、植物研究に来訪、一泊してゆく。防空演習開始
- 8日 関屋砂浜へ野外教練。皆川助手とアラミドロ採集
- (10日 大屋先生、皆川助手、一年生仲田と夕刻まで水道内の畑でタイナの移植をなす)
- (13日 大政翼賛、三國同盟市民大會及行進(於市グラウンド))

- 14日 午後、彌彦の伊藤至氏植物研究に来る。八時半、白山駅にて氏を送る
- (15日 映画観覧に全校生徒、東宝劇場に行く。「燃ゆる大空」)
- 18日 靖国神社臨時大祭。遥拜式。午後、皆川助手を伴ひ、福島潟へオニバスの採集に行き、夜九時帰宅
- 20日 日直。伊藤至氏、植物研究に来訪
- (30日 教育勅語渙発五十年記念式挙行。式後、白山神社参拝。学校敷地(埋立)まで行軍。午後、大竹座へ全職員にて映画の下見分に行く(風の又三郎、忠僕直助)
- 30日 夜、伊藤至氏、植物研究に来泊

11月

- 3日 明治節。朝鮮行の腊葉整理
- (11日 二千六百年奉祝堤燈行列に全校参加)
- 14日 内川定七氏、アザミ、スミレの研究に来訪
- 16日 夕刻、彌彦村麓の伊藤至君訪問、一泊。植物標本鑑定
- 17日 小雨、角田山採集。伊藤至君と2人にて福井より上り、頂上にて長者の接待を受け、五箇に下り、日暮れて角海の峠を越えて岩室に出、バスにて新潟に帰る
- (19日 満州開拓記念音楽會(公會堂)。旭、生田目先生と生徒の付添に行く)
- 23日 東蒲原採集行(馬下一白崎)
- 24日 伊藤至君、植物研究に来訪。午前、学校にて組織学研究。午後、砂山に至り、海岸松、カウボウムギ等研究
- 25日 ヤシの果実(海南島土産)を割り生徒に試食さす。桜井久一氏より藓類の新種通報あり。
- Thamnium nipponense* Sak. ,
Rhacomitrium Ikegamii Sak.

12月

- (1日 興亜奉公日。市内中等学校生は、農用の灰あつめをなす)
- 10日 桜井久一氏より藓類の新種通報あり
- Thamnium mizuroforme*, *Plagiothecium sadoense*, *Anomobryum erythronerve*.
Philonotis Ikegamii.
- 22日 山形高校加藤寛君来訪。午後2時、港まで送る
- 24日 学校にて藓類新種の製図をなす
- Webera acaulis*, *Plagiothecium* C(*L?)
axum, *Helodium japonense*
Brachyodontium? *Nipponicum*, ...
(K.Sakurai)
- 28日 夜、伊藤至氏、皆川助手来宅。麦の胚、其の他

の研究をなす

29日、30日 伊藤至氏宿泊。植物の研究をなしていく

1941年(昭和16年)

1月

- 1日 四方拝。午後4時の大阪行きに乗りこみ、紀伊方面採集旅行に立
- 2日 和歌山市に至り、城址、紀伊三井寺、和歌浦を見学。海南市に出、山越に採集。この辺、みかん畑多し。夕刻、雨となり、加茂郷駅より汽車にて御坊町に至りて、泊る
- 3日 バスにて日高郡三尾村へアカウの自生状況の見学に行く。三尾村龍王神社の御神木につき神主の説明を聞く。それより徒歩にて御坊まで採集。途中、松林にて採集。標本をとりまとめて御坊局より発送。夕刻、田辺町に赴く。南方熊楠先生を訪問。坂泰官林の紹介を受け、コースを変更。田辺町吉田旅館にとまる
- 4日 田辺町の海岸を採集。10時、田辺営林署に至り、大江属多羅尾署長に面會。坂泰官林調査の援助依頼。午後、バスにて朝來(アツソ)より富田川(大うなぎ生息地)に沿って1時間、二川村福定に至り、営林署の事務所に宿泊す。日暮まで福定附近の植物採集
- 5日 営林署軌道線に沿って苔類の採集をなしつゝ、日暮に坂泰官林事務所に辿りつき宿泊。寺井主任、池田技手の厚遇を受く
- 6日 営林署員の案内をもらって坂泰官林、坂泰谷の苔類を採集す。坂泰事務所どまり
- 7日 雨をおかして富田川上流、太泰谷、宮代谷等に立ち入りつゝ、軌道線を下り、再び福定事務所にとまる
- 8日 晴。福定をバスにて出発。瀬戸鉛山に至り、泥板岩岩脈、漣痕、ハマユフ自生状況等見学。採集をつづけて京大臨海実験所に至りて同所見学。後、熱帯植物園、白浜神社附近等採集。白浜の砂浜に出、湯崎にて宿泊
- 9日 潮岬採集。橋杭岩見学。紀伊椿駅より汽車にて那智に至り駅前宿泊。月の海岸の景勝よし。
- 10日 那智山採集。月影をふんで駅まで徒歩、新宮に出る
- 11日 バスにて熊野川べりを上り宮井に至り、それより徒歩にて採集しつゝ、本宮に向ふ。午後7時、本宮に到着せるも、前年の大火のため旅館なし。一老婆の案内を受けて月夜の熊野本宮に詣で、神主の取りはからひにて内庭に入りて参拜。そ

れより請川(ウケカワ)にひきかへして投宿

- 12日 萬才峠を越え、熊野川畔志古に出る。峠をのぼりつめれば果無山脈の眺望あり。珍しく一陣の吹雪にあふ。志古よりバスにて新宮に帰り、藺澤(キゾノ)の浮島を見学。又、附近の森を採集(コマウセンゴケ等)。今晚は木ノ本に至る
- 13日 木ノ本よりバスにて808米矢ノ川峠の嶮を越えて尾鷲島に出る。附近果樹園、公園等を採集。こゝにて採集を打ち切り、夕刻發の汽車にて名古屋に出、午後10時、中央線經由にて新潟にかへる(14日朝11時半着)
- 17日 日直。伊藤至氏、紀伊の生植物研究に來校
- 22日 皆川助手と海岸に出、それより松林に入りて教材用の地衣を採集す
- (24日 全校生映画見学「美の祭典・・・ベルリン・オリンピック、水上」)
- (31日 雪中行軍、雪合戦)

2月

- 6日 夜、伊藤至氏、植物研究に來泊
- 9日 藓類新種13種の製図完成
- (11日 紀元節。式後、全校生、市の建国行進に参加)
- (19日 木炭の空俵回収・・・本校担当區域、入船小学校付近)
- (20日 松ヶ崎村の飛行場まで全校行軍)

3月

- 8日 伊藤夜間中学校長の台湾旅行談あり。東京の本屋、安(*笹?)岡久彦氏の標本と図書を賣りに來訪す
- 28日 夜行にて新潟出發。房総採集旅行
- 29日 朝、千葉市に下車。鋸山を採集。鴨川泊り
- 30日 長狭中学校に淺野貞夫氏を訪問(留守)。徒歩にて清澄附近袋倉の谷を採集。天津町泊り
- 31日 東大演習林事務所に至りて入林証をとり、清澄山採集。本沢、一杯水沢、アヤマ沢、眞根沢、独鈷山採集

4月

- 1日 清澄寺を訪ひ、妙見山、淺間山見学採集。東大作業所の標本見学。それより尾根づたひに郷台苗圃を徑て龜山村に下り、木更津町(防空演習中)に泊る
- 2日 朝、證城寺狸塚訪問。東京に出、植物園、博物館、動物園をめぐり、夕刻、小石川小日向台町の桜井久一博士を訪問。藓苔研究につき會談。それより神田をまわり、夜10時半上野出立、帰途につく
- (9日 鶴木老翁の指示を受け、農場の鋤入れをなす

(三年生) 吉原正秀氏来訪)

- 23日 全校鍛錬行軍、鳥屋野湯めぐり。皆川助手と教材用のヤナギ、タンポポをとり生徒に配給
- 27日 伊藤至氏と津川へ採集に行く(津川—諏訪峠—鹿瀬)。ヒメコマツ、イハウチハ等採集

5月

- 10日 一年生、彌彦行軍。巻駅より徒歩。彌彦に至り、神社参拜、彌彦登山。皆川助手と二年生教材の羊歯の採集をなす。伊藤至君、駅まで見送らる。午後5時10分白山着
- 17日 皆川と砂山を採集。高等学校に立ち寄り、二葉校附近まで赴く
- (19日 全校生徒招魂社参拜。休業)
- 21日 三年生若干名を指揮、校庭にクロバーの種子をまく。「國体の本義」輪読會当番
- (22日 「青少年学徒に賜りたる勅語」御下賜記念日。海軍人事部の長田少将佐の講演あり)
- 24日 寺崎留吉氏、図鑑製作の資に新潟のイソスミレ所望あり。皆川助手を伴ひ、関屋海岸へ採集に行く
- 25日 午後、吉原正秀氏(来迎寺国民学校長)植物研究に来訪(日曜)
- 26日 國体の本義輪読會。終了後、大屋先生と鶴木農場へサクラサウの植付けに行く

6月

- 1日 岩船郡湯沢温泉より鷹巣、片貝まで、荒川に沿ひ植物採集。行きは、中條まで、大屋、今西両先生同乗(白鳥山ハイキング)
- 12日 伊藤至君来泊、植物研究
- 13日 伊藤君と朝、商業学校附近の採集をなす。夕刻、同じく砂山へ採集に行く
- 14日 全校生徒、灰の蒐集(沼垂方面)。独逸ライプツヒへ注文の植物学書一包到着す
- (18日 全校夜行軍。乙班(一、二年生)附添。新潟—阿賀野川畔—亀田—新潟(午後9時出発、午後4時50分歸校)
- 21日 一年生、父兄会。夜、伊藤至君、植物研究に来訪(文檢本試準備)
- 22日 日直。伊藤君、午前中、プレパラーの研究。皆川助手、硫黄の実験
- 25日 伊藤至君を高等学校の温室に案内(外來植物の研究)
- 29日 東蒲原津川へキンギンボクの調査採集に行く(角嶋—津川—麒麟山—白崎)
- Lonicera ramosissima*, var. C (*?) o (*a)
siantha Koidz. n.var.

7月

- (7日 午後、支那事変四周年記念式及び市内行進(全市学生)。
- (17日 大竹座へ全校映画見学「潜水艇一号」)
- 19日 伊藤至氏来訪。夜、昭和橋まで散歩に出る

8月

- 1日 守門山植物採集許可証未到着のため、採集旅行一日延期。登校し、長岡営林署と電話にて連絡をとる
- 桜井博士より新種通報。 *Madotheca Ikegamii* Sak. (越後、日出谷産)
- 2日 越後山地の苔類調査旅行出発。長岡営林署に立ち寄り、悠久山に至り、それより徒歩にて古志成願寺のヒカリモを研究。荷頃村一の貝より栃尾に出、日暮れて栃堀にとまる
- 3日 守門山登山。保久札小屋経由、再び栃堀に下山、宿泊
- 4日 汽車にて浦佐に至り、毘沙門堂参詣。八海山麓大倉に至り、神主の家に泊る
- 5日 八海登山。くさをりを伝って城内村に下り、下泉に泊る
- 6日 越後湯沢より八木沢に出、三国街道を上って清津川沿いに赤湯温泉に至る
- 7日 赤湯より赤倉山の笹道を採集。午後3時、苗場山上に至り、日暮れて八木沢に下る
- 8日 清津溪谷を下り、小出より山越に七ツ釜に出、月影をふんで倉俣村山崎に至る
- 9日 飯山鉄道を利用して関山に出、高原を徒歩、燕温泉にとまる
- 10日 朝、雨激し。妙高登山を決行。頂上に至れば、晴れてアルプス一望におさめて眺望絶佳。前山より池の平への笹道を下り、妙高温泉に泊る
- 11日 妙高温泉を出發、刈羽の郷里にかへる
- (17日 生徒非常召集訓練)
- 21日 皆川助手と関屋のガラス工場見学及び植物採集
- (30日 夜間中学との離別式。終って校旗を先頭に、途中、白山神社に参拜、新校舎に行進。閱兵分列。午後、防火講演及び焼夷弾防火實演(警察)あり)
- (31日 日曜。新校舎に至り、理科教育方針の立案浄書をなす)

9月

- 7日 角田山へオオヒナノウスツボ採集に行く。角田笹研究
- (19日 明治天皇行幸遺跡参拜)
- (22日 鳥屋野湯まで全校行軍。一年森、腹痛を訴え、学校までしをつてかへる)

23日 岩船郡間島へ採集に行く

10月

(3日 関屋農場の整理、返却。夜行軍。松ヶ崎より阿賀野川を上り、横越より亀田に出てかへる(全校)。月夜)

4日 午後、高等学校訪問。植物文献の転寫をなす

5日 小泉博士より新種通報
角田笹 (池上命名) *Sasa Kakudensis* Koidz.
間島笹 *S. Kaihunourana* Koidz.

11日 来迎寺に吉原正秀氏を訪問。夕刻、附近の山を採集す

12日 吉原氏と共に郡殿の池、山新田方面の採集をなし、夜遅く小千谷をめぐりて、来迎寺にかへる

(17日 鳥屋野村大字下所嶋24番地筒井常親方の貸家へ家うつり、荷物の發送。夜、家庭防火團の消火演習検分)

18日 本日より下所島の家へ引きうつり、標本類の整理をなす

24日 朝、新潟出發。米坂線、仙山線經由にて仙台に至り、多門通、宮野館に投宿。途中、作並温泉附近の採集

25日 東北帝大理学部生物学教室に於て開催の日本植物学会に出席。夕刻、動物園見学。後、月影をふんで青葉城を訪問

26日 前日同様、学会出席

27日 仙山線山寺に下車、採集。寺崎留吉翁同車。米坂線小國に泊る。紅葉美しく、峯に雪あり

28日 荒川に沿って採集しつつ下り、片貝にて乗車、下関に下車。湯沢の苔類の追採をなし、5時、新津に至る。それよりバスにて小合村長尾次太郎氏(草生園)を訪問。中井博士案内の打合せをなしてかへる。月夜

(29日 登校、麦まき(二年一組))

30日 羽越線平木田駅にて中井猛之進博士を迎へ、小合の草生園へ案内す(マンリヤウ属の研究) 新津駅前美好館に同博士と共に宿泊。長尾氏の招待宴に出席。後、12時まで、朝鮮植物の鑑定を受く

31日 朝、中井博士と記念寫真をとり、土産の菓子を町中あさり、10時5分發上野行にて加茂町まで先生を送る。11時より加茂農林学校に於ける縣主催の研究会に出席

11月

1日 全上の研究会に出席。午前、協議研究。午後、督学官丹羽鼎三博士の主として農業教育に関する指導、講演あり。午後4時終了。バスにて新

潟にかへり、旭、桜井両先生の視察報告會に出席

2日 小泉博士の依頼により、彌彦山へヤヒコザサ、コシジザサの調査に行く。伊藤至氏の病状見舞いに行く

(3日 明治節。終了後、体操祭(合同ラジオ体操、蹴球、マラソン))

(9日 藤下家との結婚式)

(15日 全校生映画參觀「若き科学者」。夜、一年、河辺廣男来遊)

(30日 旭先生と大竹座へ映画「愛の一家」の下検分に行く)

12月

(8日 日本空軍ハワイを空襲し、9日米英両国に對し宣戰の大詔下る)

17日 新種通報中井博士
Aconitum septemrarpum Nakai (妙高トリカブト) 妙高産

(24日 成績會議。臣民の道講讀)

28日 午後2時、姫路行列車にて四国蘚苔研究旅行に出立。今西先生、京都まで同車

29日 姫路下車。白鷺城見学。直に汽車にて宇高連絡、松山に至り、バスにて久万泊り

30日 途中迄バスを用ゐて面河溪採集。面河村若山泊り

31日 岩屋山採集。月光の下、下黒岩迄歩く

1942年(昭和17年)

1月

1日 雨。上浮穴郡落出の甌穴を見学。蘚苔の採集。午後、バスにて越智町に至り、横倉山麓採集。夕刻、快晴

2日 雪。横倉山は雪のため上まで登れず断念して、須崎町に至り営林署訪問。山本氏の斡旋にて徒歩、朴の川山国有林事務所に至りて泊る

3日 朴の川山蘚苔採集

4日 全上。主任岩本鹿太郎氏事務所に出勤

5日 岩本氏のすゝめにより、下ル川山官林の採集をなし、午後7時半、月影をふんで須崎町に至りて泊り、標本荷造り

6日 早朝、汽車に乗り、途中下車し、大歩危を採集。徳島に至り、日出武敏氏の出迎を受け、宇高連絡線及び小松島港の夜の汽船出ぬため、日出氏宅(撫養町)に泊る

7日 早朝、徳島まで日出氏と同車。8時、小松島港に至りたるも船待ちとなり、11時半の船で出帆。夕刻、神戸に上陸

8日 前日午後8時40分大阪発青森行に乗車。途中、
汽車事故のため一時間、立往生。為に新津駅で
の連絡断たれ、バスにて午後3時、漸く学校に
つく

(24日 白山偕楽館に於て大高教諭入営壮行会)

2月

(4日 耐寒行軍。大野方面)
(11日 紀元節。式後、白山公園に於ける奉祝市民大会
に全校参列、市中行進)
(13日 スキー(砂山)、雪中行軍(大形村国民学校往復。
吹雪はげしく、一年羽賀腹痛を起こし、せ負
ってかへる)
(15日 新嘉坡陥落し、18日、第一次戦捷大会祝賀
及び市中行進に全校参加)
(25日 ピアノ到着す)
(26日 大黒先生と映画の下検分は大竹座に赴く(次郎
物語))

3月

4日 一年生、兎の解剖実習
6日 中学校理科教授要目改正講習会に出席のため仙
台に赴く
10日 青葉城址の採集と齊藤報恩会博物館の見学。午
前10時40分の汽車にて帰途につく
(17日 勤労作業。小麦の施肥)
(18日 全校映画観覧「大東亜撃滅記」)
(26日 午後、職員有志と宮本武蔵の観覧に赴く)
(28日 宿直。今西先生より應召の趣、電報あり。学
校長留守宅に連絡をとる)
30日 高等学校に真保先生を訪問。文献轉寫。夜、偕
楽館にて今西先生送別の宴

4月

(6日 工業学校兼任となり、挨拶に赴く)
11日 二年河辺廣男、夜、研究に來訪。帰途、沼垂ま
で送る
12日 河辺をつれ、鳥屋野潟まで採集に行く
15日 工業学校新任式及び一年生授業
(18日 米機来襲のため臨時隣組の集会あり)
(22日 全校映画観覧「江戸最後の日」)
(24日 行軍。飛行場往復)
26日 岩野俊逸氏と鳥屋野潟まで採集に赴く

5月

(4日 警戒警報かゝり、島田先生と2人にて宿直を
なす)
9日 体操大会(市グラウンド)。午後、岩野氏と
砂山へ採集に赴く

17日 岩野俊逸氏、植物研究に來る

19日 朝、全校生、護国神社参拜。日直。岩野氏、研
究に來訪

(22日 全校徒歩行軍)

(30日 御遺骨奉迎。第五班生徒。(草野、池上))

6月

7日 東蒲原郡三川村中ノ沢へ採集に赴く
(8日 大詔奉戴日。灰あつめ)
13日 午後、女子工藝学校に岩野先生を訪問。岩田先
生寄贈の腊葉の研究。夜、岩野君、植物研究に
來訪
14日 日曜。午前、全前岩田先生の標本研究。午後、
岩野氏、研究に來訪
(22日 食料増産。小麦の刈取を行う)
(29日 彌彦夜行軍(上級組))

7月

12日 顕微鏡を下げ、皆川助手、岩野氏と3名で、鳥
屋野潟まで水生微生物の研究に赴き、日くれて
歸る
(22日 昭和橋東詰にて焼夷弾演習あり。生徒、職員、
見学す)

8月

2日 立山、黒部の植物調査のため出立。夕刻、富山
県藤橋に至りて泊る
3日 称名滝より弥陀ヶ原を経て立山に登り、室堂に
泊る。宿の混雑甚し
4日 雨あり。地獄谷、雄山をめぐり立山温泉に下り、
軌道線に沿い、夜道、藤橋に下る
5日 富山電鉄により宇奈月に出、徒歩黒薙に赴き、
日暮れる。温泉満員のため営林署山本恒造氏の
心づくしにて署の宿所に一泊す
6日 黒薙の沢を採集し、午後、電鉄を利用、小屋平
に至り、徒歩祖母谷に赴く。営林署小屋に泊る
7日 清水岳登山路(百貫山)の採集をなす。驟雨あ
り
8日 唐松岳登山路を採集し、午後、祖母谷を立ち、
魚津に下り、夕刻、埋没林見学。魚津泊り
9日 魚津発。途中、青海及び能生白山神社社叢見学。
筒石まで歩き、汽車にて刈羽へかへる
10日 信越線まはりにて新潟に至る
11日 高等女学校に於ける理数科教授要目の講習に出
席。午前、堀川芳雄博士と會談
12日 全右。午後、堀川教授を海岸へ案内する(植物
生態研究)。他の講師は、途中、砂丘上まで
同道
13日 午後、堀川先生を彌彦山へ案内する。西吉田に

て岩橋氏、出迎同道

- (20日) 学徒錬成大会閉会式に参列(総合グラウンド)。宿直)
- (23日) 夜、川祭の花火を見に登校)
- 27日 三年生、防空訓練。夕刻、岩野俊逸氏来訪。学校前の草地にて莎草類の採集をなす
- 30日 岩野俊逸氏と中蒲原郡村松近郊の白山へ採集登山を行ふ

9月

- (11日) 全校映画観覧「マレー戦記」)
- (13日) 下所島部落の護国神社勤労奉仕作業(土運搬)に参加出席)
- 20日 岩野俊逸氏と二王子山へ採集に赴く。雨はげし。19日、山麓の神主の家に夜遅く辿りつき、宿泊。翌朝、雨をついて登る。新潟着11時
- (25日) 夜、行軍。大野方面)
- 26日 午後より夜にかけ、岩野氏、蘚苔研究に来る
- 27日 日直。岩野氏、研究に来訪。皆川助手、顕微鏡実習。蘚苔の整理をなす

10月

- 2日 学校の水田ヘカヤツリ類採集に岩野君を案内する
- 5日 夕刻、岩野君と鳥屋野村内へ採集に赴く
- 6日 岩野君、腊葉を見に学校に来る(宿直)
- 10日 吉原正秀氏、植物研究に来訪。鳥屋野村を採集
- (11日) 三年生、護国神社の勤労作業に奉仕(土運び)。雨あり)
- (13日) 山ノ下方面鍛練行軍)
- 14日 笠原安夫氏依頼の雑草種子の採集を行ふ
- (16日) 靖国神社臨時大祭。庭球大会)
- 21日 工業学校野外教練行軍につき、寺尾より砂丘の採集を行ひ、女子工芸校に岩野君を訪問してかへる
- 22日 夕刻、岩野君と沼垂までイガカヤツリの採集に赴く
- 27日 上京。川崎市大島アパートに秀雄兄を訪問。宿泊する
- 28日 全国中等学校博物教育大会(上野科学博物館)に出席。博物館備付の服部新佐氏の苔類標本の研究を終日行ふ
- 29日 全上。理博、大塚彌之助、林博、金平亮三氏の講演あり
- 30日 博物館にて、引き続き苔の研究
- 31日 日本植物学会(上野科学博物館)に出席

11月

- 1日 全上。午前中、川崎のアパートにて苔類文献の

抜粹を行ふ。山内繁雄博士の講演あり

- 2日 新宿御苑、目黒林業試験場の見学あり
- 3日 終日、文献抜粹を行ふ。夜、國吉市義氏、植物鑑定依頼に来訪す
- 4日 午後、科学博物館へ文献返済に赴く。秀雄兄と夕食を共にし、後、神田の書店をめぐり、夜汽車にて新潟にかへる
- 5日 朝、7時半、新潟着。6時、長女出生の報を受ける。夜、久保田産院に赴く
- (15日) 強歩大会。亀田めぐり、40軒)
- 16日 苔類文献の整理

12月

- (18日) 寒稽古開始。午前6時より白山国民学校に於て)
- 30日 服部新佐氏より一ヶ月借覧の苔類原著、うつしをはり本日返送

1943年(昭和18年)

1月

- (1日) 式後、宿直。キク(*長女)病重く、三條医師の来診を受ける。妙法寺の母、キクの看病に来る)
- (2日) 朝、三條病院に入院させ、一家ひきうつる)
- (9日) キク退院。一家引き上げる)
- (10日) 岩野氏来訪。刈羽の母、見舞いに来る)
- (14日) 救護法訓練)
- 17日 岩野先生、植物研究に来訪
- (19日) 全校映画観賞「開戦の前夜」)
- 29日 耐寒行軍、山ノ下方面。服部氏苔類モノグラフをうつしとるため、山本先生よりタイプライターを借用。仕事にかかる

2月

- (2日) 米英レコード回収運動に関する打合会(於沼垂署)に出席)
- (11日) 紀元節。三、四年生、市の奉祝行進に参加。附添に赴く)
- 14日 山本先生のタイプのテープをとりかへに町に出、岩野君を訪問する
- 15日 四国産蘚類新種の通知あり(桜井博士より)
Fissidens Ikegamii Sak.
- (17日) 午前7時、三年二組引率、沼垂の防空訓練に参加す)
- (22日) 郊外大形村まで全校雪中行軍)
- 26日 岩野氏来たり、苔類文献の読み合わせをなす(タイプ)(宿直)

3月

- (4日 全校、映画「航空戦機」観覧)

4月

- 1日 約三ヶ月借覧の倉敷研究所の苔類原著2冊、服部新佐氏苔類ノート一冊、やうやう転寫を終る
(17日 公會堂における陸軍諸学校生徒募集に関する講演、映画(比島戦記)會に全校参列)
19日 三年羽賀春三を伴ひ、岩野氏と羽生田の郊外大沢の鍾乳洞見学。護摩堂山の採集等をなし、9時、新潟にかへる

5月

- (5日 全校映画観覧「シンガポール總攻撃」)
14日 警戒警報発令。大黒先生と2人にて宿直す。村尾使丁の手伝ひにて苔類標本包紙調整
(15日 四年生、勤勞奉仕作業。中蒲原郡両川村松田農場、牛糞運搬作業)
(19日 靖国神社祭典。工業学校生徒につきそつて参拜。午後、市立中学に、飯田中将の講演あり)
(21日 聯合艦隊指令長官、山本五十六大將戦死の報あり)
23日 岩野君と北蒲原金塚より櫛形山脈の採集をなし、荒沢に下り菅谷まで歩き、バスにて新発田經由、新潟にかへる
(30日 アツツ島の我が守備軍山崎大佐以下、二万の米兵来襲をば半ヶ月に亘りて支え、遂に茲に全員玉碎す)

6月

- 2日 工業学校二年生、海岸植物の研究
(4日 全校「海軍戦記」観覧)
(5日 山本五十六元帥の國葬。第三限遥拜式)
6日 小雨。菱岳、五頭山を採集。途中、隣組員上田氏同道
13日 東蒲原郡日出谷村實川方面の採集旅行を行ふ
22日 衛生教育研究會、縣立高等女学校。高田中学吉川先生と岩野君、池上、3名にて馬場機械店訪問
24日 全上。新潟醫大見学。講演、「環境因子の検討」及川教授、「脳解剖」平沢教授。「細菌学」伊藤教授、生理学「反射運動」横田教授、病理学「結核」赤碕教授
(26日 縣下体育戦技訓練大会)

7月

- (22日 午前4時、間島(岩船郡)薪とり作業に四、五年生、船にて出立。上海府村間島の仲雲寺に宿泊)

- (28日 南方戦線陣没の郷土勇士の御遺骨250柱を夕方、新潟駅頭に奉迎)
(30日 甲種飛行予科練習生生徒募集に関し職員會議。渡辺義治校長より全生徒出願強制の方針發表あり、波紋を生起す)

8月

- 5日 飯豊山植物調査に出立。福島県山都より入り、山麓御沢小屋に泊る
6日 飯豊山頂に至り、神社裏小屋にて一泊す
7日 山頂付近採集。大日岳道残雪のため通過困難につき、午後1時飯豊温泉に下る。途中、道峻しく、日暮れ、河を涉りて10時、温泉に辿りつき、着のまゝにて泊る
8日 温泉付近泉源まで採集した後、強行軍にて米坂線玉川口駅に出て新潟に帰る
(10日 小林縣視学、縣練成会の港の勤勞作業に関し來訪する)
(11日 埠頭に於ける石炭積込み作業に出仕。四年生を指揮す)
12日 採集旅行に出る。信州、柏原に至り、野尻湖畔を採集し、一茶の旧跡を訪れて柏原に泊る
13日 黒姫山登山。帰路は戸隠下りにとる。笹藪道に難澁す。戸隠宝光社に泊る
14日 戸隠山の採集を行ひ、戸隠牧場に下る
15日 戸隠村中村に亡父のいとこ、池上貞雄翁を訪ひ、一泊
16日 池上翁の見送り、案内を受け、飯綱山に上り、鉄鑛泉、鳴岩を経て牟礼駅に強行。夜遅く刈羽へかへる
(24日 夕、防空演習あり。藤田、山本先生と水友社に於ける防空幹部指導會に出席す)
28日 岩野氏來訪。二人でビールを飲む
29日 岩野氏と東蒲原揚川村の日本平山へ採集にいく。道不良のため、山麓溪谷を採集してかへる

9月

- (11日 映画「世界に告ぐ」(英のアフリカ制覇))
(15日 満州国承認十一周年記念日。池田先生の講話(工業学校))
(16日 世界探検家菅野力雄氏の南方探検講話あり)
26日 渡辺助手を伴ひ、東蒲原川東村菅名山へ苔の採集に赴く
24日 日直。岩野君、顕微鏡研究に來る
(27日 午後、四年生を引率、本間教官と共に港の石炭荷揚げ作業に赴く)

10月

- 3日 笠原安夫氏、來泊(大原農業研究所)

- (4 日 満蒙開拓館合宿訓練 (四年生))
- (8 日 3 2 軒鍛練行軍。大形村より亀田めぐり)
- (15 日 比島独立宣言)
- 22 日 日本植物学会に出席のため午後2時、新潟出立
- 23 日 午前6時20分京都着。帝大植物園を見学し、帝大樂友会館に於ける学会研究発表会に出席す。小倉謙博士の葉の起源に関する特別講演あり。夜、倉敷市に至りて宿泊
- 24 日 大原農業研究所に笠原安夫氏を訪ひ、笠原氏宅に寄宿し、本日より全研究所所蔵の文献につき、苔類論文の調査並びに轉寫を行ふ。24日～28日
- 27 日 備中豪溪へ苔類の採集に赴く
- 28 日 23時半、倉敷出立。翌五時、京都に着き、午前中、比叡山を採集。琵琶湖畔に下り大津に出、11時半の青森行きにて新潟にかへり、29日早朝下車。登校出勤す

11月

- (3 日 明治節。式後、体操及び銃剣術大會 (ラジオによる))
- (4 日 今井先生と公会堂に於ける大辻司郎一行の演芸大会観覧)
- (6 日 職員旅行。防空演習終了後、3時半の汽車にて強雨を冒して津川に至り、本陣にて宴会。菱屋に泊る)
- 7 日 朝、津川發。日出谷まで汽車にて赴き、船にて鹿瀬まで下る。寒気、甚だし。發電所見学、1時半、鹿瀬發の汽車にて帰途につく。途中、津川に下車し、麒麟山へ採集に赴く。生田目、桜井両氏は寫生を行ひ、三名、日暮れて新潟にかへる
- (20 日 甲種飛行予科練習生入隊生遠藤正以下34名の壮行式挙行)
- 23 日 祭日。伊藤至君、病氣全快し植物研究に來遊。長中、岩野君來訪。午前、河辺、標本のことで来る
- (29 日 朝、甲種飛行予科練習生の出立を全校にて新潟駅頭にて見送る)

12月

- (3 日 寺尾、五十嵐浜方面へ、四年以下行軍)
- 4 日 卷中学校に於ける理科生物教育に関する傳達講習会に出席。講師、卷中木村氏、新商真保氏
- (5 日 藤島組長宅に於て、鳥屋野村の新潟市編入祝賀の宴あり)
- (7 日 海軍、廣田少将の講演あり)
- 25 日 朝、防空訓練に生徒登校。午後、海岸づたひに防波堤まで採集に赴く

- 26 日 村松中学校訪問。伊藤至君の懇請により岩石その他の標本の鑑定をなし、伊藤君の下宿に泊る
- 29 日 日直。伊藤至氏、理科研究に來訪。宿直。レピドジア属苔類標本を整理す
- 31 日 白山駅にて伊藤君を迎ふ。学校及び自宅にてブレパレート其の他研究

1944年 (昭和19年)

1月

- (1 日 四方拝)
- 16 日 伊藤君來訪。5時の汽車にてかへる。市内ヘルペその他の買入れに同道
- (20 日 拾圓増給の達しあり)
- (25 日 全校行軍。山之下方面)
- (28 日 寒稽古納會)

2月

- (19 日 児玉先生應召壮行宴)

3月

- (2 日 第一回卒業式)
- (4 日 海軍兵学校本間教授の生徒募集に関する講話)
- (7 日 海軍諸学校生徒募集に関する座談會 (新中)に出席。四年生、卒業式)
- (10 日 海軍経理学校教官東海林大尉の生徒募集に関する講演あり)
- (16 日 全校映画観覧「加藤隼戦闘機隊」)
- 27 日 日直。3月はじめより着手の苔蘚標本の包かへ、終了す

4月

- (1 日 勤労働員編成のため生徒召集)
- (2 日 海運会社の石炭荷役に勤労働員)
- (8 日 雨。全校白山神社参拜)
- (16 日 校庭の一隅の畑に馬鈴薯を栽培す)
- 25 日 靖國神社臨時大祭。遙拜式。伊藤至氏來訪、植物研究。5時、新潟駅に見送る。夜、家うつりの準備として腊葉全部を学校に送る
- (29 日 天長節。會食)
- (30 日 屋うつり。村尾使丁及び生徒手伝いに來たり。午後3時終了。水島町32の市営住宅にうつる)

5月

- (1 日 大野方面行軍。昭忠祭白山神社参拜。帰りて全校映画観覧 (「轟沈」—印度洋潜水艦作戰)
- (4 日 石炭荷揚勤労働員。臨港に赴く)

- (5 日 古賀聯合艦隊司令長官 3 月前線にて殉職の旨
発表さる)
- 6 日 大原研究所より去月 5 日借用の文献轉寫漸く本
日完了。速達す。夜宿直、貼込を行ふ
- (7 日 幼年学校入学試験模擬考査あり。(日曜))
- (8 日 港湾塩の荷揚作業に勤労働員。三年生)
- 10 日 工業学校一年生顕微鏡實習
- 14 日 日直。渡辺助手にユスリカ幼虫の染色体標本の
作製を指導。卒業生銅冶綱(醫專生)来遊。顕
微鏡を實習(染色体の研究)
- (20 日 米機南島島に來襲。警戒警報発令され全職員
生徒(夕刻)登校。清水先生と防護団生徒十
数名と学校に宿泊、警備につく。仲田、玉野
等炊出作業に午前 3 時までかかる)
- (22 日 全校行軍。阿賀野川東畔新崎の明治天皇御巡
幸御小休所拜觀)
- (26 日 高田中学校出身片岡老海軍大尉の講演あり)

6 月

- (4 日 勤労働員。日本通運会社、銑鉄積込作業。夕刻、
雨中、学校にてさつまいもの植込をす)
- 11 日 渡辺助手を伴ひ村松・白山裏谷(仙見谷-杉川)
へ採集に赴く。伊藤至君出迎あり。村松中学校
に立ちよる。歸途、伊藤君の下宿を訪れ、採集
品を分譲。夜汽車にてかへる
- (12 日 鈴木海軍少将の講演あり。小柳先生應召、壮
行式、壮行會(職員))
- (15 日 米機北九州を爆撃し、サイパンに上陸。午後
5 時 35 分警戒警報発令。本間定先生と宿直。
全職員登校。生徒(特設防護団)五年、早乙
女隆以下 15 名宿泊(校長室)警備にあたる)
- (18 日 午前、右警報解除になりたるも、夜 9 時 5 分
再び警報発令され、職員生徒登校す)
- (20 日 中央埠頭へ勤労働員荷揚作業。午前、諸荷物、
午後、銑鉄つみこみ)
- (24 日 父兄會。甲種飛行豫科練習生募集)
- 25 日 古志の鋸山へ採集に赴く。ゆきちがひとり、
約束の吉原正秀、岩野俊逸の両氏に鋸山頂にて
出會ふ
- 28 日 加茂町農村工業指導所の食料生産に関する講習
に出席。牧野富太郎博士の講演をきく。おはっ
て腊葉のご指導を賜はり、夕刻まで談話。岩野
俊逸氏同道。この日、加茂へは村松廻にて赴く
- 29 日 午後、伊藤至君を同道。再び加茂町に牧野先生
を訪問。農林学校校庭内を内川氏の案内で 4 名
にてめぐり、夕刻、先生のお宿まで先生をおく
り、後、伊藤君と神明の森をめぐりてかへる

7 月

- (1 日 夕刻、ナカ(*妻)を伴ひ、学校園地のじゃ
がいもほりをなす。雨強し)
- (2 日 夜行軍。出来島より亀田に出、阿賀野河畔づ
たひに本所、大形をへて翌 3 日 4 時半帰校)
- (4 日 警戒警報発令。藤田先生と宿直)
- (10 日 伊勢神宮、彌彦神社、白山神社の御神符奉戴式。
洋服の配給抽選を行ふ)
- 16 日 国上山採集の予定のところ点呼予習教育のため
中止し、渡辺助手と鳥屋野潟を採集してめぐる。
テナガエビ等とる。夜、万代國民学校にて點呼
予習教育(27 日迄)
- (18 日 サイパン島守備部隊全員戦死の大本營発表あ
り)
- (19 日 工業学校に出勤。考査監督。第三限、秋山弘
校長のサイパン島守備部隊全員戦死につきて
の訓話あり)
- (21 日 教練科石附先生新任式。内野町清徳寺をかり、
健民修練所開設)
- (26 日 石炭荷役。小野田先生應召により壮行式)
- (29 日 簡閲点呼。於新潟市立中学校。執行官山本二
郎大佐。萬代分會)
- (30 日 内野修練所主任を命ぜられ、自轉車にて内野
清徳寺に至り島田先生と引継を行ふ)
- (31 日 石炭荷役)

8 月

- (1 日 内野修練所へ赴任(午前鍛練行事。午後は午
睡と水泳(五十嵐浜))
- (4 日 生徒五名をつれ大野より馬車にて馬鈴薯
250 貫を修練所にはこぶ。内野駅に駅長を
訪問。切符購入につき便宜方を依頼す。警戒
警報発令燈火管制実施。清徳寺住持大原彰見
師と會食を行ふ)
- (7 日 夜、修練に関する精神講話を行ふ)
- (8 日 大詔奉戴日。詔書法捧讀式。大原住持の紙芝
居(芭蕉・蓮月尼・山崎部隊長)あり。夜、
服部校長來所。訓話あり)
- (9 日 新潟学園に森鏡壽園長を訪問。講演依頼。同
学園の朝礼、施設等見學す)
- (15 日 午後、本校の勤労働員生徒壮行式に參列す)
- (18 日 退所式。宮下町長參列。生徒は行軍にて、荷
物は杉田氏の好意による自動車にて引上ぐ)
- (20 日 登校。修練所事務の整理と県提出の書類整理)
- (21 日 始業式)
- 22 日 午後 2 時の船にて佐渡へ採集旅行に赴く。吉井
に須田久義氏訪問宿泊
- 23 日 須田氏は、金北山頂迄同道。それより峯づたひ
に石花越をへて高千村入川に下り宿泊。8 時

- 24日 入川口のオホアカバナを研究。それより入川に
そひて上り、ドンデン原より尾根づたひに小野
見の悪路に下り、小田に泊る。8時
- 25日 海岸づたひに外海府をめぐり、北鶴島より温石
石の沢に蘚苔をたづね、日ぐれに一村民と共に
再び北鶴島に下り（見立峠より鷺崎に赴く予定
のところ変更）夜道、願に出て泊る（8時半）
- 26日 朝、細川治作氏宅訪問。母堂に面會す。徒歩悪
路内海府をめぐり、両津町に7時半辿りつく。
途中、北小浦辺の悪路は殊に甚し。両津は宿満
員にて赤泊の人と同宿。夕食は食堂をたづねて
とる
- 27日 朝の汽船にて新潟にかへる
- (28日 五年礪江惇、渡辺保、渡辺隆他6名の甲種飛
行予科練習生入隊者の壮行式あり)
- (30日 三年生通年動員に関する父兄會あり)
- 31日 堀口九万一氏の講演あり。伊藤至氏來訪

9月

- (1日 三年動員生徒の壮行式)
- 3日 岩野俊逸氏植物研究に來訪
- 8日 伊藤至氏、植物研究に來訪。学校附近の採集を
なしてかへる
- (14日 西蒲原郡黒埼村黒島へ一、二年生農業手傳に
行く)
- (15日 早朝より前日にひきつづき作業巡視。午後2
時、國民学校にて終了式をすませ、行軍にて
大野駅に至り、電車にて全員歸宅す)
- (19日 警戒警報発令されたれど、まもなく解除さる
(12時25分~14時))
- (20日 航空記念日。午前3時より退避訓練あり。工
業学校に出勤)
- 22日 刈羽郡八石山植物調査のため岩野君を訪問。長
岡より岩野君同乗し塚山下車。夜道を歩き、夜
おそく横沢村猿橋の岩野君宅に辿りつき、一泊。
腊葉の研究
- 23日 八石山採集。久ノ木峠—善根—不動滝—佐之久
—石川峠—山横沢—猿橋。夜道を岩野君に送ら
れ、塚山駅に出てかへる
- (27日 工業学校生徒の課題(昆虫と腊葉)の整理を
夕刻まで行ひ、帰途今井先生を訪問。修練所
の会計整理を依頼す)
- (29日 夜九時廿分、五年竹石鉄雄、四年望月昇の両
名をつれ、生徒(四、五年生)動員先たる横
浜市磯子区釜利谷の海軍航空技術廠支廠に入
廠のため新潟を出立す)
- 30日 朝上野着。公園にて朝食をとり博物館見学。研
究室に奥山春季氏を訪問。植物研究。其の後、
宮城遥拜後、丸ノ内の官衙をめぐり日々谷にて

晝食をとり、横浜にむかふ。午後3時半、金沢
八景駅に下車。徒歩にて白山道寄宿に至る。藤
田、清水先生居らる

10月

- (2日 工廠に至り、藤田先生の紹介にて挨拶にめぐ
る。廠舎の金丸大尉、試作工場の田中主任、
栗山大尉、福世少尉、造修工場の野間口少佐、
矢野中尉、会計の西脇書記等。生徒は、五年
大倉・玉野組、四年羽賀・若槻組。目下、兵
器の作製に多忙を極む)
- 2日 夕方、白山道寄宿舎奥の谷へ採集に赴く
- (3日 ジフテリア患者のため古館軍醫來り。寮内の
消毒を行ふ)
- (4日 栗山専任輔導官の就任挨拶(拡声器)あり)
- 8日 東京小石川林町に服部新佐氏を訪問。苔類研究
につき談話。後、小石川植物園、神田の書肆を
めぐりて寮にかへる
- (9日 藤田先生と追浜病院に藤間、小山(共にジフ
テリア入院)を見舞ひ、夕方、追浜飛行場附
近に出て飛行場をみてかへる)
- 10日 金沢文庫を見学し、附近の丘を採集す
- 11日 柿ノ木寮を見にゆき、奥の沢を採集す
- (13日 藤田先生と五年生の補習授業(午後4時半~
6時。物象、電気)を參觀す)
- 14日 金沢文庫附近より海岸生物の観察を行ふ
- (16日 藤田先生、本校に帰ることとなり、五年菅原
宏一と共に八景駅まで見送りをなす。夕刻、
交替として牧野先生來らる。(四年坪崎正一を
つれて))
- (18日 五年小野卓治、ジフテリアにて追浜に入院。
工廠内適性配置に関し栗山大尉訪問)
- (19日 適正配置につき希望をきくところとなり、工
場内食堂に五年生をあつめて佐藤中尉立會の
もとに生徒に趣旨の説明を行ふ。栗田正治ジ
フテリア保菌者として強制入院となる)
- (20日 竹石鉄雄、鉄板裁断機にて右手指尖(三本)
を断截、古館軍醫の手当てをうく。夜は玉野
明を付添へて会議室に休ましむ。本人頗る元
氣なり)
- 22日 神武寺を採集して鎌倉に出、八幡宮、頼朝墓、
鎌倉宮、長谷観音、露座の大佛をめぐり、徒歩
にて採集をつづけて江ノ島に上り、日くれて電
車にてかへる。夜、台湾年少工、11寮の3号
室の東野正夫君と湯に入る
- (24日 編成がへ決定発表につき、栗山大尉を訪問す)
- (25日 夜、寄宿舎にて防空退避訓練あり。トンネル
に避難す。7時半より舎監をむかへ、輔導官、
職員の會食と懇談會あり)

- 28日 竹石の母を東京本郷・神明町の親族の家を探して送りとどけ、博物館にまはり苔標本の研究
 (29日 夜、慰安會(寸劇、唄、舞踊等)が食堂に催さる)
 30日 小野、栗田、ジフテリヤ病後休養に外泊、同車。博物館に苔の研究に赴く。奥山氏訪問
 (31日 牧野先生と夜12時より2時まで、四年生の夜勤状況の巡視を行ふ)

11月

- 1日 博物館へ苔の研究に赴く。13時半～3時、空襲警報發令され(米国B29偵察に侵入)、地階に佐竹義輔、今関六也先生と共に退避す
 2日 横浜西大口に秀雄兄を訪問。荷物を託して大山にむかひ、伊勢原より徒歩、日くれて大山町いづや旅館にとまる
 3日 風雨と寒さを冒して大山に採集に登る。紅葉美し。帰途、伊勢原、海老名、横浜の各駅にて、雨の中寒さにふるひつゝ、汽車をまつ
 4日 東京博物館訪問。服部新佐氏見え、種々便宜をうく。久内氏、津山氏見ゆ。秀雄宅にとまる
 5日 高尾山に採集に赴く。10時より11時まで空襲警報發令さる(八王子→浅川の間)。秀雄宅にて夕食。9時15分上野駅に出、30分発の汽車にのりこみしも、満員のためデッキにてリュックに腰を下してくる
 6日 朝8時、新潟着。家に立ちより朝食をとり、直ちに学校に赴き、学校長に状況報告。前田先生、召集解除となり登校さる
 (11日 映画観覧(一、二年生)。ニュース「比島沖海戦・神風特別攻撃隊」、「陸鷺の誕生」、「漫画フクちゃん」)
 12日 山本先生よりタイプライターを拜借し、苔類文献(服部氏よりの)轉寫にとりかかる
 (17日 渡辺恒彌助手、生物準備室にて捕らへたる鼠の解剖研究をなす)
 20日 伊藤至氏來遊、植物研究。(午後、動員生徒外山芳也外数名の病氣休養生徒の退廠につき協議一校長、牧野、藤田、清水、池上)
 21日 工業学校一年生、ミミズ解剖實習。帰途、本町通の島田医師を訪問、中島次郎の病状聴取
 (27日 會議(三年生浅平、動員出勤(新潟市内鑄造工場)中、盲腸炎のため死亡につき見舞弔意の件等)會議後、先日歸還の前田、小野田両先生の慰勞會(於校長室)をひらく。會議半ばにして前田先生に再び召集下令の趣、電話あり。12月1日入隊の由)

12月

- (6日 夜、警戒警報發令。特別防護団員及職員登校。

ガラス窓取はづし、その他防空要件につき會議)

- (12日 サイパン攻略に参加輸送船乗組、五年中田一次の父海軍軍属中田増次郎氏の自宅葬儀あり。横浜の動員先より賜暇歸郷の一次君の飯米配給の件につき市役所配給課を訪れて交渉。後、中田の宅に弔意を表す)
 (18日 連日のサイパンよりの米B29の夜間爆撃にそなへて當直員を2名とし、本日本間先生と泊る)
 18日 フェルドールンの苔類のモノグラフのタイプライター轉寫(服部氏より借覧の)大方終了す
 (24日 薪搬出作業後班出發(二ノ一組)。学校長(服部越)、池上、清水、西倉、武藤付添。先發今井先生、磐越線徳沢駅下車。一班は福島縣宝川に、一班は鳥井峠の新潟縣鳥井に分宿。直に福取一鳥井間にある薪材を雪中、鳥井峠まで運ぶ。宿舎、宝川、五十嵐悦治様方。校長、池上、清水、村尾、小林養護婦)
 (25日 前日にひきつゞき、吹雪の中作業。午後よりは更に奥の薪の搬出にかゝる。山本、桜井先生來る)
 (26日 鳥井峠上の柴を宝川部落まで夕暮おそくまで下す。奥の荷の整理。降雪甚だし)
 (27日 作業は全前。清水、池上、宝川国民学校前の集荷を生徒10名と共に数へる。(1100束)午後1時の汽車にて一行歸へる。新津駅にて、寒い中1時間半汽車を待ち、日くれて新潟着。駅頭にて解散)
 (28日 終業式)
 31日 日直。苔類標本の整理を行ふ

1945年(昭和二十年)

1月

- 1日 元旦。四方拝賀式。苔類検鏡
 (3日 宿直。防空にそなへて2名宿泊。池上、牧野)
 7日 29日以来の休暇中、宇井進蔵氏より惠與の標本をはじめとし、標本各類の大整理を行ふ。勤勞動員にて新潟滞在中の近藤源舜氏來遊。伊藤武夫氏への交換標本荷造
 (13日 隣組佐藤一氏應召となり、早朝新潟駅まで見送りをなす)
 (15日 四年生畑中潤をつれ横浜の海軍航空技術廠支廠に付添交替として出勤。本夕9時20分新潟駅出立)
 16日 上野着。警戒警報發令され敵機の來襲あり。博物館に立ちより奥山春季氏を訪問。植物研究。

夜、磯子区釜利谷町白山道寄宿舍に入舎

- (17日) 支廠内関係方面を挨拶にめぐる。羽賀、若槻、新潟高校第一次合格につき、造修工場に矢野中尉を訪れ手続を了す)
- (20日) 室本芳郎を徴兵検査のため急遽新潟にかへす。22寮に脳脊髄膜炎患者出たり)
- (24日) 縣動員本部神谷氏、全神奈川縣動員学徒聯絡本部長村瀬新發田中学校長の両氏、空技支廠へ視察に来らる)
- (25日) 縣動員学徒関係学校の連絡會議。於川崎市平間、三菱重工業川崎機器製作所。終了後、同工場に於ける新發田中学校生徒の作業状況視察。縣より慰問のモチを配給す)
- 27日 東京科学博物館に出る。佐竹、今関、奥山三氏とも留守。植物学雑誌の文献など整理す
午後三時、米国B29第五編隊の爆撃あり。館附近上野駅構内に爆弾及び焼夷弾若干の落下あり。別館全部のガラス飛散し去る。交通機関絶し、上野駅より徒歩。品川を経て大井町に至りて乗車す。途中有楽町附近の爆撃、火災のあと物凄く、猛火延焼中

2月

- (2日) 珍しく雪となる。今井先生出立。区役所出張所に至り、短期帰歸生に對する飯米支給手続きにつきて懇談。四年富谷達の病氣退廠の件につきて泉兵曹に依頼)
- (5日) 支廠爆撃部関係学徒付添職員と転導官との懇談会あり(爆撃部長舎図書室にて)。主として工場に残留する生徒數に関する件と卒業式に本校生徒をかへすことにつきて。業務主任司会)
- (8日) 県出身鈴木海軍少将(陸海軍同士会副会長)、本校生徒の勤務状況視察。教練檢定査察のため本校より菅野少佐、本間教官見えらる)
- (9日) 工員食堂に於て五年生教練檢定)
- 10日 全上、造修工場に於て四年生。午前、苔類文献転写のため寮にかへり、B29の来襲をみる。午後、空襲警報となり、廠内待避壕に2時間半をすごす
- 11日 紀元節式後、廠内広場に演芸会あり。警報発令のため中止。B29一機、悠々と飛行雲を吐きつつ、西方より廠の真上を通過。白煙をふきつつ南方海上に遁走す。
苔類ブラギオキラの製図ををはる。夜、寄宿舍に演芸会あり。手品など。神奈川県より学徒に於けるこの慰問あり。菅野少佐帰校
- (12日) 生徒の受験願書をととのへ帰校準備。関係方面へ挨拶にめぐる)
- (13日) 横浜西大口の秀雄兄を訪問、一泊す)

- 14日 警報発令のため出立おくれ、午後、東京科学博物館に立ちより、後、池袋の奥山春季氏宅へ同道して夕食をとり、夜汽車にて新潟へかへる。清水峠より、越路は稀にみる豪雪にて、汽車も3時間余遅延す
- (15日) 11時下車。午後登校す)
- (19日) 文化映画「日本刀」全校觀覽)
- 22日 相川測候所三寺光雄氏、佐渡の氣象と植物との関係調査につきて來訪

3月

- 2日 伊藤至氏、午後、植物研究に來宅す
- (6日) 倉田肇、輸送船に乗組み、比島ダバオ沖にて遭難。賜暇帰郷。本日、学校に來訪)
- (10日) 校歌制定式發表会。鶴飼先生)
- 21日 宿直。今井先生來遊。朝4時近くまで語る。「ブラギオキラ」図版の調整を行ふ
- (27日) 横浜の生徒動員先にて卒業式を挙げるため、切符の前日申告に半日新潟駅にたつ)
- (28日) 切符購入。午後、登校。21時20分、竹石鉄雄を連れて上京出立)
- 29日 東京着。上野博物館訪問。博物館は松井田近在、九十九村内出に疎開準備中。白水、中田、佐竹、今関、奥山氏に面会。上野神田間は、去る10日の夜間爆撃にて焦土と化し居たり。午後2時、釜利谷の空技支廠に到着。待合せの服部校長、小野田、牧野両先生と共に柿ノ木寮寄宿舍に至り、生徒全員をあつめて校歌の披露練習会を開く
- (30日) 午前、工廠に立ちより、後、追浜病院に入院中の渡辺信夫、坪崎正一を見舞ふ(沢口正夫附添)。午後3時より、柿ノ木寮寄宿舍に於て卒業式を挙行(校長、山本、牧野、小野田、西倉、池上)。來賓(総務部長、齊藤、福世、岡治、補導官)。式後、記念写真撮影。夜は寮において会食を行ふ)
- (31日) 校長、小野田、池上3名にて白山道寄宿舍を出立。玉野、中島同道。上野駅にて約6時間おくれで発車出立。翌朝4時、長岡駅に下車。7時、長岡を發って新潟にかへる)

4月

- (4日) 新学年の準備に職員登校)
- (5日) 午前、大掃除及び始業式。午後、入学式。一年生主任となる)
- (9日) 大詔奉戴式。白山神社参拝。五十嵐務の甲種飛行予科練習生入隊壮行式。三年生鉄工場に勤労学徒トシテ出勤ニツキ壮行式(南課長、工場より))

- (1 1 日 夕刻、隣組安沢始(市中三年生)予科練入隊につき水島町の氏神前にて町内の壮行式挙行)
- (1 3 日 警戒警報発令さる。防空訓練と新編制を行ふ)
- 1 5 日 創立記念式。午後、自宅へ村木久平来訪。疎開苔蘚標本整理
- 1 8 日 工業学校二年生、浜浦校前にて顕微鏡実習。水藻観察等
- (1 9 日 前田豊先生、台湾海峡に於て去る1月29日戦死の旨、内報あり。職員一同前田先生留守宅に参上、如来寺土田住職をまねきて回向を行ふ)
- (2 2 日 B29 1機、8時に新潟市上空を偵察。生徒、屋外に待避す)
- (2 4 日 古町、如来寺に於て、前田豊先生の追悼会をとり行ふ。村尾末作使丁、警備召集となり、夜、沼垂の自宅まで赴く)
- 2 4 日 空技支廠在勤中轉寫のジューガスのプラギオキラの整理をはる

5月

- (3 日 宿直。本日より暁部隊近藤隊、本校階上教室に寝泊することとなる)
- (5 日 暁部隊と本校生徒との対面式)
- (7 日 護国神社鎮座祭。午後2時、全校生徒参拝)
- (8 日 大詔奉戴日。白山神社参拝)
- (1 0 日 海軍特別幹部練習生に入隊の卒業生栗原、谷内、長井、福島の壮行式挙行)
- (1 3 日 隣組常会(長尾氏宅)午前0時経過警戒警報発令。直に防護団員は登校。1時、米機頭上通)
- (1 4 日 本間盛蔵先生、地区防衛隊長に応召。本日、壮行式)
- 1 5 日 自家製塩講習会に出席のため寺泊に赴く。汽車事故のため西吉田より徒歩。途中、彌彦麓の伊藤至君宅に立ちより、国上山を採集して夕刻寺泊に着き、美濃屋に投宿。受講のあひ客3名
- (1 6 日 10時より製塩実技見学。終了後、丘を越えて桐原駅に出て汽車にてかへる)
- (2 1 日 本校階上宿舎の暁部隊春山隊長の琉球戦についての講演あり)
- (2 2 日 青少年学徒に賜はりたる御勅語御下賜記念式。行軍(烏屋野村めぐり)、閲兵、分列)
- (2 4 日 夜0時半より3時まで警戒警報発令。敵機、偵察に来る。防護団生徒登校)
- (2 5 日 朝、B29一機偵察に新潟市上空をとぶ)
- (2 6 日 宿直。0時40分～1時20分警戒警報発令)

6月

- (1 日 本日より山下の新潟鉄工所鑄造課へ山本先生と学徒附添として出勤す)

- (4 日 入船工場へ賞與金を受けとりゆく。所長懇談。後、生徒の家庭訪問)
- (6 日 朝香大将宮殿下奉迎送に見玉、中村をつれて入船工場に赴く)
- (8 日 大詔奉戴式。家庭訪問)
- (1 3 日 夜、B29 8機、新潟市上空に來り、日本海に機雷を投下す)
- (1 4 日 諸事項連絡のため、午前登校す。午後、鉄工所に出勤)
- (1 6 日 午後、家庭訪問(*氏名列挙あり。以下同様))
- (2 0 日 生徒の飯米加配(1日60瓦)通帳を整理す)
- (2 8 日 8時～9時、警戒警報発令)
- (2 5 日 家庭訪問)
- (2 6 日 遠方待避訓練実施)
- (2 7 日 鉄工所に於て生物授業あり)
- (2 8 日 家庭訪問)
- (2 9 日 工員11名、朝鮮に工場疎開に附いて出勤のため壮行式あり)
- (3 0 日 日東工礦新潟工場へ山本先生と共に荒垣工場長を訪問。ガラス繊維工業を縦覧。夕方、交替引継に新任山本先生と学校長来廠)

7月

- (2 日 連日、夜半、警戒警報。空襲警報の発令づく)
- (5 日 学校にアヒルを飼ふことになり、西倉先生と中庭に小屋づくりをなす。
- (7 日 市役所へ製塩に関する打合せに赴く。夜間、警戒警報発令2回)
- (9 日 朝礼中、B29 1機來る)
- 1 3 日 顕微鏡及び苔類重要文献を疎開のため、刈羽の自宅に持ちかへる
- (1 6 日 米機が新潟港口にB29より投下せる機雷(磁気、音響、水圧)を本校駐屯の暁部隊が掃海引揚を行ひ、分解して生徒に公開す)
- (1 7 日 米艦載小型機(グラマン)若干、山の下及び松ヶ崎飛行場方面を襲撃す)
- (1 9 日 海岸へ製塩地域の決定区分に赴く。渡辺助手、予科練入隊。夜間より朝にかけて3回の空襲あり)
- (2 0 日 夜間來襲のB29、5機中2機撃墜3機撃破(新潟市制空隊)。内1機は夜空に赤々と火焰を吐き、火だるまになりて新津郊外澤海の畑に墜落せり。残骸は市グラウンドに公開展示さる。搭乗の米兵4名は焼死、7名は落下傘にて下り(内女子あり)捕らへられて新潟駅より護送さる)
- (2 1 日 桜井先生宅、強制疎開にてとりこはしとなり、資材の一部を生徒の手にて学校に運ぶ)
- (2 3 日 一年生をつれて関屋の電鉄駅へ、市の防空用

材の自動車積込作業に赴く)

- (27日 ナカと天神尾田圃道へ空襲退避路の見分に行く(夜))
- (31日 一年生一組を伴ひ、自然演製塩(鹹水製造)の準備に赴く)

8月

- (1日 夜、長岡市が空襲され、火焰、天をこがしたり)
- (4日 ピアノ及び図書を青山の浄水池倉庫に疎開することとなり、午前、軍のトラックに乗りて検分を行ひ、午後全職員と生徒若干にて搬出を行ふ)
- (3日 製塩作業中、機雷による船の撃沈をみる)
- (5日 終日製塩作業に従事し、背中に火傷をおふ。中村医院の手当をうく)
- (10日 中村校醫のもとにて火傷の手当をうけて居る際に米グラマン若干機、福島地区より来襲し、古町通、港等を機銃照射せり)
- 11日 標本及び標本棚を上村喜三郎氏の好意によりて妙法寺へ疎開することとなり、本朝、車にて白山駅にはこぶ
夕刻、知事布告を以て原子爆弾(長崎、広島に投下ありたる)の惨禍を避けんがため、警防団員をも含む全市民の退去が命令され、折から標本搬出作業後、始末に居あはせる村尾使丁の手伝を得て荷物をとりまとめ、8時、家を出立。学校に立ちより重要書類の整理、地埋、あひるの開放を行ひて、なかと徒歩にて青山をへて内野にむかひ、翌未明に内野駅より乗車、妙法寺に落付く
- (13日 刈羽にかへる)
- 15日 正午、特別重大発表あり。隣の遠藤宅にて、聖上陛下の休戦大詔の玉音放送をきく
年末計画の苔類図譜の製図の原案、やうやう形をととのへたり
- 17日 図譜の第一図(スフェノロプス・サキシコルス)出来たり
- (18日 刈羽を出立。新潟へかへり、自炊生活をつゞく)
- 21日 夜、上村雅一郎君来訪。腊葉を分譲す
- (22日 生徒を召集。休戦の大詔奉読式を举行)
- 23日 日直、宿直。片野軍医、村尾使丁等と雑談。学校は引きつゞき休暇がつゞき、その間、苔類の製図をつゞく
- 26日 伊藤至氏来遊す。附近散策、植物研究
- (27日 職員登校)

9月

- (2日 東京湾上のミズリー艦上にて降伏調印が行はる(重光外相、梅津参謀総長代表))

- (7日 本校駐屯の暁部隊の大部、復員となり、本日、出立せり)
- (8日 刈羽へ苔類文献及び標本をとりにかへり、ナカは妙法寺へキクを引きとりに赴き、翌9日2時、みんなで新潟へかへる)
- (14日 三年生若干をつれ、姥ヶ山国民学校へ疎開の生物備品をひきとりに赴く)
- (22日 白山国民学校及び公会堂が進駐米軍に提供されることとなり、全校にて搬出、清掃の手伝いにゆく)
- (23日 松ヶ崎飛行場を米軍に提供するため、全校、雨中、終日、清掃作業に赴く)

10月

- (5日 式部神社、祭典。三年生10名をつれ竹内式部の墓を参拝後、湊国民学校に於る祭典に参列)
- (6日 富永に入院の妙法寺の父を見舞ふべく切符を求めに白山駅に3時間半待ち、遂に空しくかへる)
- 10日 西吉田在の富永、草間病院に妙法寺の父を見舞ひ、後、11時より徒歩、弥彦山、間瀬越の採集を行ひ、バスにてかへる。吉田附近にて、つのごけを採集す
- (17日 一家して学校の畑へいもほりにゆく)
- 21日 日曜。苔製図。大橋寛来遊
- 27日 午後2時の汽車にて刈羽郡横沢村猿橋の岩野俊逸氏訪問のため出立。車窓より長岡の空襲罹災の状況を見、岩野君と同車。塚山よりバスにて赴く。2時近くまで腊葉研究
- 28日 快晴。浜海川上流より榎峠一原をへて植物採集を行ふ。ホシクサ等、苔類マキノゴケ、ミドリヒシヤクゴケなど
- 29日 6時半、岩野氏と共に出立。徒歩にて塚山駅に至り、汽車にのり帰校。午後より授業を行ふ
- 30日 刈羽より疎開の図書等8箱返送され来り。渡辺助手手伝ひて整理を行ふ。渡辺、宿泊していく。自炊

11月

- (2日 ナカ、帰宅。夕方、白山駅前のそばや迄、委託の荷物をうけとりに行く)
- (3日 明治節。国旗の掲揚は遠慮することとなる。進駐軍の体錬場に提供の体操場を借りて挙式。県立第一・第二工業、県中生等、全国各地に学生の同盟休校あり)
- 12日 服部新佐氏よりノートを借覧轉寫、約10日にて完了。本日返送す。(吉永氏苔類図等)
- (13日 快晴。二年生15名と渡辺助手を伴ひ、学校長浜の滑空機格納庫へ収納の製塩用具を学校

- へ運搬す。他の二年生は農耕。他全校生は山ノ下江風農場まで遠足を行ふ)
- (19日 全校映画観覧。松竹館の「狐がくれた子」)
- (23日 ナカ、妙法寺よりいもなど食糧品を昨夕はこびり、今朝、妙法寺へかへる)
- 23日 彌彦山、苔類調査。早朝、ナカと出立。西吉田でわかれ彌彦に至り、公園よりはじめて尾根に上り、間瀬に下る。カラクサシダ、ヲシダ、ムチゴケ類等をとる。日くれて間瀬より徒歩、和納まで出て、汽車にて10時半帰宅
- 25日 東蒲原五十島より村松にこす採集旅行を計画のところ、遠地切符制限のため、村松より逆コースをとりて五十島に赴かんとす。途中、川内村地内できのこをしらべて傘を失ふ。川ぞひに高石に入り、小雨の中沼越峠をこえ、道なきため熊渡に下りたるも、日くれて渡船動かず。川ノ口千代松氏の老婆の好意により切符をゆづりうけて、熊渡り仮停留所より下りに乗車。五泉、新津で長時間まち、新潟に12時にかへる。五泉駅には進駐の米兵多く居たり。この日の採集藓苔約80点
- 28日 宿直。工業学校よりかへりて飯をつくり、学校に赴く。彌彦及び沼越峠の苔を整理包装す。村尾使丁、渡辺助手泊る
- (29日 放課後、職員、中庭農場の麥植。 ナカ、キク、妙法寺よりかへり、夕刻、白山駅へ荷物をかつぎに赴く)
- 29日 四年生田村泰治の細胞のプレパラートなど、研究を指導す

12月

- 7日 戦争犯罪人として梨本宮殿下、近衛公はじめ、重臣、首脳、續々とマッカーサー司令部に逮捕拘留さる。国内は食糧事情頗る危急。石炭不足にて列車大制限を実施さる。服部新佐氏よりVerdoornのフルラニヤモノグラフ等を借りて轉寫にかかる
- (14日 考査開始。午後、川村、小野田、高橋先生と万代橋詰まで荷車にて職員購入の大根をとりて赴く。石塚喜三郎、級友をつれて立ちよって行く。夕刻、縣廳へ進駐軍食糧懇請に関する資料調製の報告書の通牒轉寫のため久保田視学を訪問す)
- (15日 進駐軍來り、体操場を球技場に使用のため器具室の開放整理を行ひ、職員之を手伝ふ)
- (17日 国家神道廃止の旨、マッカーサー司令部より指令あり。近衛文麿公連合司令部より拘禁指令あり。16日の出頭日早朝自決の旨、新聞に見ゆ。午後7時ころ、進駐軍憲兵隊の宿

舎たる満蒙開拓館より出火し全焼せり)

- (25日 流作場隣組長總常會(ふろや)に出席。町内會長選挙の發表(會長服部、副會長松鷹)。町内會の民主主義による運営、機構等につき協議す)
- (26日、27日 両日とも学校校友會設置に関し打合會あり)
- 30日 日、宿直。渡辺助手当直。服部氏より借覽のVerdoornのフルラニヤ、モノグラフの轉寫、修正。岩崎氏の越佐産藓類目録の整理等をなし、かたはら渡辺助手に化学方程式等を指導す

1946年(昭和21年)

1月

- (1日 四方拜挙式。年頭にあたりて御下賜詔書奉讀あり)
- (3日 夕刻、ナカ、キクを伴ひ、食糧、燃料の窮乏にそなへ、親許に寄食に赴く。夜、刈羽着。近頃、石炭大飢饉のため柏崎まで通しの汽車は上り下りとも各1日1回となり、交通難出來)
- 5日 ナカ、キクを妙法寺まで送る。妙法寺の書齋にとちこもり、前記フルラニヤ、ホロスチパイの論文を深更までつづけ、11日遂に完了す
- 8日 午後、妙法寺峠より雪をふみ、油田の湯小屋迄藓類の採集に赴く
- (19日 夜、妙法寺へ赴き一泊。翌20日、ナカ、キクを刈羽に伴ひ、帰宅の準備にかゝる)
- (22日 朝4時半におき、ナカと切符の購入、チッキの発送を行ふ)
- (23日 朝、刈羽駅より一家三人、帰宅の途につく。白山駅に下車。学校より車をかかれて荷物を水島の自宅まで運ぶ)
- (24日 午後より登校。職員會。民主主義化の時世に即應すべく、校友會の改組につき協議)
- (25日 始業式。民主主義に則り、級長選挙を実施す)
- (26日 級長任命式(於校長室)。午後、校訓修正につき協議(校長、島田、山本四、山本盛、小林、池上)。「和衷協力、國威を宣揚すべし。質實剛健、時艱を克服すべし。廉潔高雅、臣節を完遂すべし」、渡辺校長撰。改正案、「和衷協同、自主責任、廉潔高雅(質實剛健)」等)
- 27日 日・宿直。疎開外國苔類の整理等。渡辺助手に遺傳学を講義
- (28日 30日までの3日間、校友會(江風會)組織に関し、校長室にて生徒代表(小松、児玉以下各級正副級長)並に職員委員、打合會を開く)

2月

- (2日 訓育部指導方針につき打合せ。山本、小林、高橋、池上)
- 2日 服部氏より借覧のステファニ著へパチカイ、ヤボニカイの轉寫を約1週間にて本日終了
- (4日 江風會組織に関し、生徒委員と全職員との合同研究を行ふ)
- (9日 未明、懸立第二工業学校焼失)
- (11日 紀元節。校友會(江風會)創立總會を体操場に於て開く)
- (15日 江風會(校友會)科学班の總會をひらく)。物象教室(池上、牧野、大里)
- 21日 服部新佐氏より借覧の
Evans; The American species of Marchantia 及び Steph; Hepaticae Japonicae の轉寫をおはり、本日返送す
- (23日 刈羽に一家三名してかへる。切符制限のため関屋駅まで歩いて乗車し、8時刈羽着、宿泊。本日、吹雪。近藤源舜氏来訪す)
(比島方面最高指揮官山下泰文大將、マニラに於て絞首刑に處せらる)
- (25日 朝5時の汽車にて、單身、新潟へかへる。関屋駅より徒歩にて登校。授業を行ふ)
- (27日 新円交換制実施さる)
- (28日 進駐軍教育官本校視察。一部職員と懇談す(マッカーサー司令部の指令どほり教育を実施して居るか否か調査))

3月

- (5日 学校自治に関する委員會開催。山本盛枝先生司会。夜、河辺廣男、ケント紙をとどけてくれる。停電のため、お宮、操作場附近をめぐって家に入る。河辺、昆虫研究のことに、9時まで話をしておかへる)
- (11日 授業停止学科公民、地歴、修身の成績加算のため卒業判定會議を再開す。
縣立工業の授業囑託をやめ、市立工業の囑託を兼務することとなる)
- (22日 市内中等学校教員組合結成式。於縣立高女校)
- (25日 第4回卒業式)
- (29日 縣立工業学校卒業式に参列。記念撮影。夕刻、刈羽へかへる)
- 30日 山の脇へ叔母上のおくやみに赴く。帰途、金照院裏より苔類を採集がてら墓地に出、叔母上の墓に詣で神明山に下り、母上と共にかへる。
- 31日 赤田城址へ採集に赴く。それより曾地にまはり菊尾山中より吉井に下り、日暮れて中通校にたちより、妹とかへる

4月

- 2日 妙法寺に赴く。疎開標本の繩のかけかへをする。大坪鬼ヶ峯附近採集
- 4日 妙法寺にて終日、疎開標本の荷造をなす。夜、刈羽にかへる
- 5日 妙法寺に赴き、午後、中田代—油田校—小黑須—赤田山—ウス谷、カウシカ沢—妙法寺山(尾根づたひ)—北野にひきかへして山を下り妙法寺と、蘚苔採集をなす。夜、刈羽にかへる
- 8日 彌彦多宝山麓、間瀬、採集行。帰途は田ぼ道を和納に出る。苔蘚100包
- (10日 衆議院議員総選挙、万代国民学校。隣組一同にて投票に赴く)
- 14日 疎開標本の整理整頓を了す(終日)
- 16日 粟嶽山麓へ蘚苔採集に赴く。東三條よりバス→八木前—八木鼻の勝—南五百川—粟嶽南沢—歸途は峠越をして加茂川上流に出、満月の夜道を、9時、加茂駅に辿りついて乗車帰宅
- 21日 相川中学校卒業生石塚喜三郎、滝上両君来訪。米山—長嶺附近の採集、散策をなす。ヒメジャゴケの果あるもの沢山に採集す(製図用)
- (24日 江風會(校友會)の内容を全校生に説明し、班別委員選出を行ふ)
- 25日 学校よりの歸途、渡辺助手を伴ひ鳥屋野—米山まで、ヒメジャゴケの新苗につき研究採集を行ふ
- 28日 渡辺助手を伴ひ赤谷方面採集旅行に出立。新發田下車、赤谷行きの8時の汽車なきため行先を変更し、荒川より金鉢山下、山神社奥深く溪流に沿ひ苔類の調査に赴く。シャクシゴケの果ある標本を多量に採集(寫生図用)。帰途は月岡温泉を経、福島湖畔に出、日くれて天王新田駅よりかへる
- (29日 天長節。校友會(江風會)役員選挙。科学班、高見良作、上林進)

5月

- (1日 常会、荒木氏方。選挙の結果、長尾氏(正)、渋谷氏(副)に決す)
- (2日 市立工業学校(入舟町)兼任(毎木曜一、二年生物)本日、新任式)
- 9日 市立工業一、二年生、窪田町海岸砂丘へ海岸植物の研究
- (12日 ナカは、進駐軍の衛生検査にそなへ、道路はしに栽植の馬鈴薯などをとりはらふ)
- 17日 江風會生物班植物採集會。軽金属方面。八木一男、田部壽之助以下30名
- 19日 伊藤至氏採集のビラウドウシノケグサ(池上假稱)を研究し、京都帝大の大井次三郎博士に送

る

6月

- 1日 刈羽へかへる。石地駅下車。上山田五社神社境内のテガタゼニゴケを採集。礼拝駅まで歩く
- 2日 柏崎番神鼻に到り、イソニガナの採集を行ふ。それより東之輪、鯨波より河内に入り、劔野山を縦走して柏崎駅に出る
- (3日 一番下りにて新潟にかへり、直に授業。實務科生物教授要目立案の参考に、生徒の意見をとる。八木一男と教材園の手入、サツマイモ移植、校庭の雑草の研究を行ふ)
- 6日 工業学校のかへり、海岸砂丘の採集を行ふ
- 15日 校友會生物班員10餘名に(八木、村木、吉沢、清水など)渡辺助手をまじへ、鳥屋野湯まで採集に赴く
- 16日 市の健歩會(會長北濱病院長)に伍し、北蒲赤谷村の焼峰登山に赴く。大里先生他二年生杉田、福島、宮尾など同道。新發田駅にて三時間、車中にて發車をまち、12時すぎ東赤谷下車。登山採集にかかる。5時下山。一行約60名。テキリスゲ、ミヤマナルコスゲ等研究
- (28日 自然浜製塩に関する打合せ(市役所)。終了後、去る3月、宮古島沖にて戦死せる卒業生の渡辺甚五郎、竹石俊一兩名の市葬が明29日豊照校に於て挙行されることとなり、池上は卒業生の河辺、廣瀬君を伴ひ同窓會を代表して沼垂の渡辺家まで弔問に赴く)
- 29日 刈羽へ疎開の夜具類をとりに赴く。途中、曾根にて下車し鎧湯まで採集に赴く(ミヅハコベ)
- 30日 刈羽の寝間の大掃除を行ってやる。夕新潟へかへる。駅まで植物採集

7月

- (1日 職員協同畑の麥刈。白山駅から水島の家まで荷物の運搬。夕刻、さつまいもの補植)
- 4日 大橋實、河辺廣男と鉄道官舎附近にてツバメシミ、モンキテフの卵や幼虫を採集。兩名、水島の宅に遊んでかへる
- 8日 赤塚より越前浜に出(途中、佐潟畔採集)、角田岬をめぐり、五ヶ峠より巻迄採集行。午後より雨トナル。(ドイムギ、ミコシガヤ等)
- (12日 河辺廣男、アゲハ蝶の蛹をパラフィンにて固定し、ミクロト一の切片作製に來校す)
- 13日 北浜病院長石浜文郷氏の伝染病に関する講話あり。服部氏より借覧のKashy(*?)apのヒマラヤ・パンジャブの苔類文献(第二卷、約300頁)の轉寫を開始す
- (15日 進駐軍の指令に基き、市内の清掃強化が実施

され、学校も本日、大掃除)

- (16日 進駐軍兵二名巡視に來る)
- 17日 相川測候所三寺氏來訪(佐渡における気象と植物との關係研究)
- 24日 木曾御嶽、駒岳の植物採集許可証未着のため採集旅行に出立出來ず
- (25日 マッカーサー司令部指令の教員適格審査書類の調製をなす)
- 26日 木曾伊那方面採集旅行に出立。長野より朝鮮人ブローカー多数と同車。木曾福島に夕刻、下車。夜道を黒沢に向かひ、10時半黒沢につき、宿満員のため更に夜行軍をなし、途中、人家の軒下に休憩一睡
- 27日 四時半出立。御岳登山にかかる。七合の開山道場にてはんごう飯をたき、ひきつゞき登山。八合下のダケカンバ帯の路傍地上にて沢山のキセルゴケを採集。八合小屋にて一泊(一泊と朝夕汁各一杯にて32円餘)
- 28日 八合小屋未明出發。途中、ご來迎の莊嚴なる景にあひ、採集をつゞけて三ノ池、二ノ池をへて頂上に至り、午後2時下りにかかり、王滝口を選んで日暮れ、8時半、中の小屋にとまる
- 29日 御岳下り、途中清滝にたちより、ハスノハイチゴ等採集。正午、大滝につき、標本を二ヶの小包につくり、その發送。それより軌道線を辿りて上松に下る。途中日くれて、9時すぎ上松につく
- 30日 早朝、寢覚床見学。ひきかへして朝食後、霧をについて駒岳に登る、途中より雨となり、更に風強くなる。五合小屋にて避難一泊。めしをたき、床をつくりて眠る。夜半、物凄き暴風雨となる
- 31日 霧をについて駒岳登山。頂上の木曾小屋にひとりどとまる。中岳の宮田小屋から伊那町の小池金義、酒井実夫の兩名、頂上にきたり。3人にて、はひまつをあつめて小屋にかへり、火をたき語る。酒井君、雷鳥をとりにがす。日くれて、兩名を頂上におくり、宮田小屋下り口にてわかれ、小屋にかへってとまる

8月

- 1日 頂上にて、宮田小屋から上ってきた伊那町の一行小池君等13名にあふ。一行にわかれて中岳をへ、宝劔岳の嶮をよち上る。それより駒飼池、農池附近のお花畑を採集し、伊那道を下る。途中より又、雨となり、又、下方は道の手入なく草木がしげり、下山に難渋す。日くれ、9時ころ伊那町について泊る
- 2日 電車にて天龍峽に至り採集。午後1時、ひきかへして上諏訪に至り、湖畔を採集。下諏訪の温

泉に泊る

- 3 日 和田峠を採集し、和田に下り、バス、電車にて大屋町に出る
- 4 日 軽井沢より熊の平に至る碓氷峠を採集す。切符制限のため軽井沢に下車。切符購入にならび、9 時、直江津に至る。0 時 50 分迄駅にてまち、大阪發青森行きの汽車超満員のため、しめた扉の外に立ちつかまりて、途中、柏崎、長岡だけ停車、新津に 4 時すぎにつく
- 5 日 新津より島田先生同車。帰宅後、直に登校。二年生招集日。中庭の農耕を川村先生とやる
- 6 日 6 日より 13 日まで採集標本の調製にかゝる(水島の家玄関にて)
- 8 日 八木一男来遊。郊外へ採集にまはる。(ヤマゴボウなどをおしばにする)
- 9 日 二年生佐藤、荏部、高田、腊葉をならひに来、附近を一緒に採集す
- 13 日 海岸植物採集をかね、水泳に寄居浜へ。工業学校卒業生の渡辺敏明君、製塩工場に居り塩をくれる
- 14 日 刈羽へ墓参旁、食糧事情緩和のためとまりにかへる。途中、出雲崎駅に下車。小木城山の採集をなす
- 15 日 母上、英泉(*甥)と 3 名で神明山へ墓参。ならがしは研究
- (16 日 横浜の一家三名帰宅。みんなで墓参をなす。妙法寺の藤下義趣氏を招待。キク来泊。夜、みんなで学校へ踊をみにいく)
- 17 日 夕刻、キクを伴ひ妙法寺に赴く。大塚堰で休憩。ハッカ等採集
- 18 日 内方をまはり、大塚堰附近を採集して刈羽へかへる
- (21 日 いけんどの若、病重く、護摩祈祷のためごま木割をなす)
- 21 日 服部氏より借覧の苔類文献をうつしつゞく
- 22 日 神明山より裏の田をかけて採集にまはる
- 25 日 服部氏より借覧のカシャップのヒマラヤ苔類の文献大冊、やうやううつしをはり製本をなす
- 28 日 彌彦山、採集行。伊藤至氏同道。頂上より野積に下り麓に出、伊藤氏宅にとまる。苗場の採集物など研究
- 29 日 伊藤氏、標本の研究。四近の採集。4 時出立、伊藤氏同道。田道をへて彌彦に至る。公園に珍しくヒマラヤシダの毬果をみつけしも、高くして、また時間なく、惜しく駅頭にわかる
- 30 日 鉄道官舎うらのオランダハッカを採集

9 月

- 3 日 午後、八木一男以下有志数名をつれ、工業用水

わきの沼へサジオモダカなどの採集に赴く

- 6 日 キクを伴ひ米山方面へ採集にめぐる(リクシヤ等)
- 7 日 上村雅一郎君、植物研究に来る。附近採集
- 8 日 岩船郡勝木八幡宮の社叢を見学採集。それより徒歩にて府屋一鼠ヶ関山中を採集してかへる
- (9 日 宿直。12 時迄村尾使丁と話す。午前 3 時半、暴風雨、雷雨となり、校舎一巡)
- 10 日 有志をつれ、山之下物見山まで採集に赴く
- 11 日 生徒と山之下標本の整理。同化作用準備。村木の蜂研究、高見の顕微鏡寫眞の指導
- 16 日 生物班有志と工業用水わきの沼地を採集す。トリゲモ等
- 22 日 生物班八木一男以下 12 名を伴ひ、北蒲原郡鳥坂山へ採集に赴く。中條下車。はじめ川ぞひに谷間に入り、後、鳥坂登山。胎内川に下り、平木田駅に出て乗車。夜八時半、新潟にかへる
- (25 日 河辺廣男、ミドリヘウモンを孵化せしめ、幼虫、卵殻を顕微製図のため学校に来る)
- 28 日 午後、八木一男を伴ひ、女池方面を採集してめぐる。河辺廣男、ミドリヘウモンの幼虫製図に来る
- 30 日 生物班有志にて鳥屋野潟まで採集に赴く。ミヅワラビ等採集。ヲギ、ス、キ、アシ

10 月

- 1 日 東道劇團の「ドンキホーテ」演劇が宮浦校にあり、全校職員生徒観覧。4 時終了後、生物班有志八木以下数名をつれ万代島を採集してかへる。アギナシなど採集
- (9 日 隣組常會(池上宅)。就任挨拶、選舉名簿の件、衣料品配給)
- 13 日 八木一男を伴ひ、新津—丸田—矢代田間山地の採集を行ふ。朝、強雨あり。丸田の農家にてモミの毬果をみつけ、乞ひて両名にて之を採集す
- 17 日 神嘗祭休日。苔類製図の規格を改めて修正製図にかゝる
- (20 日 日曜。一家して学校内の畑のいもほりに赴く)
- (26 日 刈羽へかへる。兄の依頼の漢文大系 2 冊(左氏會箋、毛詩尚書—2 冊にて 130 円。考古堂より)をとゞける。刈羽では本堂玄関の上棟にて源七大工他世話人数名みえ、祝宴あり。27 日午後かへる)

11 月

- (3 日 明治節並に新日本憲法發布式典。八木一男、佐藤忠司来遊。毬果の製図などをしてかへる)
- (10 日 刈羽にかへり、玄関工事落成御開扉準備の手伝いをなす。仏器破損の修理掃除など)

- 17日 角田山採集行。八木以下生徒9名。一番上りにて白山駅立、終列車にてかへる。巻一稲島一角田山一角田浜一稲島一卷。帰途、巻町の蝶類生態学研究者横田栄三郎氏宅にたちよる
- 20日 黒崎勝蔵、數種を持参。福島、赤原等生物班員、夕刻まで標本製作にかゝる。植物組は廊下裏の實驗畑に角田山より持ちかへった種苗などの植込みをなす

12月

- (1日 2時下り運休のため山之脇に至り、ナカに電報を打ち、神明山をへてかへり、いも、米の荷造りをなし、夕方、刈羽をたつ。途中、西倉先生、西山より同車。雨はげし。昭和橋は工事のため通過困難なるにより、重荷を負ひ万代橋をめぐってかへる)
- 7日 岩野俊逸氏、高等学校に於ける昆虫の會に出席のため新潟に來り、7、8両日泊りて植物の研究をなして行かれる
- (12日 刈羽へかへり、13日10時出立。いもの重荷を負って新潟にかへる。途中、西吉田駅にて2時間半、寒い待合室にて汽車の連絡をまつ)
- 20日 八木、村木、佐藤、坂井など來り、宿直室にて生物の研究をしていく
- (26日 廣島に於ける軍需品払下げは注文取消しとなり、本日、生徒に返金す)

1947年(昭和22年)

1月

- (6日 ナカ、キクと妙法寺をたち、刈羽にかへり、荷物をつくり(いも、大根など)、夕方、出立。9時、月影をふんで新潟の寓居にかへる)
- (11日 教員ストライキ問題に関し、職員打合せあり。卒業生山岸、浜田、三国來遊す。生物班員、昆虫標本の整理に熱心なり)
- 12日 午前、八木一男、佐藤忠司來遊、附近採集。午後、寄居浜より突堤燈台まで海藻採集に赴く。八木、高田、佐藤、荻部、穂刈同道
- (22日 教員ゼネストに関し、生徒大会)
- (23日 全上。父兄會結成、教員組合運動(ゼネスト)に関する件等)
- (31日 11月1日決行豫定の全官公廳ゼネストに對し、マッカーサー司令官より中止命令が下り、夕食をとり待機中の職員一同解散す)

2月

- (1日 水島町總代改選の件、その他に関し、隣組常會をひらく)
- (11日 紀元節。式後、協議會。生物班員、展覽會準備。宿直)
- 16日 日曜。八木一男、佐藤忠司の兩名、展覽會出品用の腊葉額縁の調整に來る
- (22日 伴讓二、農業実践大学の講師招聘の件につき來訪)
- 28日 生物班、展覽會準備

3月

- 1日 實務科生徒修了式。生物班展覽會準備終了。河辺廣男、蝶の標本の出品に來る
- (5日 服部校長、市會議員出馬の件につき、おそくまで職員協議す)
- (10日 校友會の学芸會あり。四年藤山灌一等の電波爆破實驗、朗読、独唱等あり。女学校の熊倉先生のハーモニカあり)
- 12日 女学校の生物の先生、生物班展覽會をみに來る
- (15日 四年生進級會議。本年は六・三制の学制改革を考慮して原級留置生徒をつくらず)
- 22日 服部氏より借覽の *Annales Bryologici* を2冊(1.2)、2月17日より轉寫にかゝり、本終了して製本す
- 27日 生物班村木、八木以下10數名をつれ、大野、平島まはりにて採集を行ふ。夜、里吉氏宅に組長常會あり(連合自治會總代選挙の件等)
- (29日 日直、宿直。シャツ分配のため全校登校)
- (31日 一家して古町の交通公社へ切符を買ひにゆく。選挙名簿閱覽、不在投票に関し市役所に立ちよる)

4月

- 1日 白山發上りにて一家歸省。出雲崎駅にて下車。西越より出雲崎町に出、海藻を採集。石地、椎谷(觀音堂、不動堂)附近採集。宮川に出、宮川神社の杜叢研究。蘚苔採集。瀧谷窓ヶ坂にてユキワリサウ、ワウレン等の採集をして刈羽にかへる
- (3日 家に護摩供行あり)
- 11日 学校より歸宅の途次、下所部落を生物班有志と採集(コリヤナギの花等)。天神尾をへてかへる。堀久四郎氏、來泊す
- 12日 堀先生、白山發一番にてかへられるため早朝出立。第二限にて放課。縣立女学校における新学制傳達會(工業校長秋山先生)あり、全職員出席。午後は腊葉の名票整理、じゃがいもの地ごしらへなどする

15日 家庭訪問。八木一男をつれ、沼垂山木戸より山之下物見山池までレンゲウ、ヤナギの花などの採集

(16日 家庭訪問)

(17日 工業学校からのかへりみち、家庭訪問)

(18日 家庭訪問)

(19日 夕刻、家庭訪問)

20日 伊藤至氏、植物研究に来る。三時、白山駅に送る。参議院議員選挙。家庭訪問

(21日 雨風。家庭訪問)

(23日 家庭訪問)

(24日 午前、市立工業授業。午後、家庭訪問)

(22日 家庭訪問)

(26日 家庭訪問)

27日 鳥屋野湯めぐり採集行。佐藤忠司、佐藤秀夫、渡辺徳明、大沢英一郎、玉井忠衛同道。紫竹、笹口に出てかへる

(29日 天長節、式後、服部校長の市議選挙につき、岩田、武藤先生と、白山、古町方面へ街頭宣傳に出る。古町十字路にて服部校長の街頭演説あり。教員組合員の演説あり。岩田先生も台に上る。をはって校長はかぢ小路にうつり、河原先生の演説あり)

(30日 午後1時半から3時まで大川前廣川アパートわきにて武藤先生と服部候補の看板を立て、街頭宣傳にあたる。五時、宮浦学校へ市議、縣議の投票に赴く)

5月

(3日 憲法發布記念式。式後、縣立女学校に於ける教員組合支部總會に出席(服部校長市議に第一位にて當選につき、選挙委員太田、山名先生等の経過報告))

4日 伊藤至氏来訪。生物班員をつれ、伊藤氏と醫大の25周年記念學術展覽會をみに行く。1時半みをわり、伊藤氏と招魂社墓地にて植物を研究。さらに白山浦にヤナギを研究。2時50分、白山駅に伊藤君をおくる

(5日 午後、二葉國民学校出火す)

7日 店橋敬三郎、河辺廣男君来訪。帰宅後、雨中、米山方面へボケ、ハナズハウ類等の採集に赴く

11日 生物班員八木、吉沢、村木以下20名と(彌彦の伊藤至氏をまじへ)彌彦山採集行。北の谷から上り、雑木林を難行して肩の尾根に出る。アカネスミレ、ネコノメサウ類、コアツモリサウ等をとる。歸途、吉田駅にて汽車まちの一時間を附近の採集にあてる

15日 新制中学校の入学式。自分は市立工業の採集に赴く。宿直

16日 新制中学校生徒と本校生徒との對面式

3時すぎ、河辺、昆虫(蜂)の服部氏、高校生川上、中静両君など生物準備室に来訪。大沢以下の生物班員にピアノをきかす。八木一男、鳥屋野湯までオニナルコスゲを採集に行ってくる

23日 鉄橋附近採集。ワスレナ草

24日 生物班員、砂丘採集

25日 寺泊町までフタバネゼニゴケの雄株の採集に赴く。大河津一本山一寺泊一引岡一大河津。車中にて工業学校卒業生の野上君、元市中給仕の飯田君にあふ。笹類など採集してかへる

(28日 遠足。三年生は出来島から輕金属会社の渡船にて團九郎にわたり、青山淨水池を見学。それより砂丘に出て晝食、関屋競馬場にて解散)

29日 工業学校二年生、蛙の解剖研究

6月

1日 八木、大沢、木戸をつれて金津滝まで採集に赴く

2日 發明會館に本田正次博士を招聘して座談会あり。ツバキの新種等について話あり。おはって真保先生、本田先生、醫大の高木博士等と懇談

3日 本田博士を彌彦山に案内す。西吉田より徒歩。一行10数名。伊藤至氏も昨夜の電報にて連絡がとれ、同道す

8日 羽越線水原駅下車、バスにて出湯に至り、松平山南谷の魚止滝奥まで採集に赴く。ユキツバキの研究など。歸路は水原まで徒歩。途中、雷雨あり

14日 高田、大沢をつれ上所嶋鉄橋附近まで採集。卒業生外山芳也、沼まで同道す

15日 八木以下10名の生徒をつれ、矢代田の護摩堂山へ採集に赴く。曇天、少雨あり

22日 八木、大沢、渡辺をつれ、山之下より阿賀野川口に出、松ヶ崎海岸より阿賀野川畔を採集。新崎、本所、新發田舊道をとほってかへる。山之下では木戸、昆虫採集に來りて同行

26日 高等学校に真保、江村先生を訪問す。文献、製図法等の調査研究のため

28日 職員會議。伊藤至氏、植物研究に來校。強雨

7月

4日・新潟高等学校の真保、江村両教授を訪問する。(市立工業よりの歸途)

12日 午後、やひこ山採集。イッポンワラビ、竹笹の調査など。麓村の伊藤至氏宅に一泊

13日 早朝、やひこを出立。やはぎ駅に出、汽車、バスを利用して三條より八木前に至り、栗ヶ岳にのぼる

- (14日 六・三制完成実施請願運動のため、高橋先生と午後6時より9時迄古町十字路に出て、他校の人々と共に通行人より連名請願書に署名をして貰ふ)
- (16日 父兄後援会(物象室にて)。會則変更、会費値上、六・三制請願等)
- (17日 籠球、野球小会。生物準備室で学期末成績表作製。卒業生笠原得郎君来る。外山芳君、白山採集行の飯米持出(三升)の證明書をとゞけに来て遊んでいく)
- (18日 辯論小会。夜、高柳氏宅にて衛生委員に関する隣組の協議あり)
- (19日 午前、近藤明、荏部、佐藤猛等来り、一しよに庭球をする)
- (22日 登校。強雨を冒して村木康三、昆虫図鑑を借りに来る。生物準備室の掃除をしてかへる)
- 26日 白山採集行出立。直江津一郷津一谷浜間採集。金沢に夕刻つき、城址兼六公園をめぐりて止宿
- 27日 朝、金沢出立。電車、汽車、バスにて白山山麓白峰に至り、それより徒歩にて市ノ瀬に到て(3里半)とまる
- 28日 白山登山。二合目より雨となり終日強雨あり。雨ををかしてのぼる。八合、一ノ腰前に道に迷へる二学生あり(金沢の商業学校二年生と三年生)。遭難の危険あり。九合の室堂小屋までつれていく。みんな雨にずぶぬれなり
- 29日 早朝、白山頂上までの採集を行ひ、朝食後、下山。前の道を逆にとり、金沢に夜9時到着。駅前にとまる。頂上は、霧と風強く、はじめの予生地定の飛驒下りの道は、手入わるく、霧のため危険。舊道また同様のため、新道を逆降す
- 30日 午前5時、金沢出立。買出し(米の)の人達多く、汽車混雑。途中下車にて、市振の神社社叢及び高田春日山の竹笹類の採集をなして午後11時、新潟にかへる

8月

- 1日 東北の蔵王山採集行のため飯米持出證明を貰ふため縣廳を訪問し外山芳也君に手續方を依頼す。外山、白山校わきまで送ってくる
- 4日 白山の植物の腊葉づくり
- 5日 蔵王山採集旅行出立。米坂線經由、山形市どまり。途中、坂町、米沢附近採集
- 6日 山形出立。バスにて半郷まで。それより徒歩。蔵王の山の家(トッコ沼畔)にとまる。途中、笹類調査。高湯本線にて一憩する。山の家から熊野岳まで採集にいつてくる。山形市立中学の女生徒、若き先生についてのぼる。7時、山の家にかへる。夜、女生徒の演藝会がある。せま

き二階の一隅に眠る

- 7日 天氣よし。熊野岳から刈田岳に上る。火口湖(おかま)、緑の水をたたえて淡い紫褐の岩に映えて美し。霧がかゝり、さいのかはらのすそのの廣い中を下り、遠刈田に下る。途中、河辺にてはんごうにめしをたき、来あはせた営林署員と話す。雨となり、遠刈田温泉のなかのやにとまる
- 8日 遠刈田を出立。バスにて東北線白河に出、郡山經由の新潟行にて夕刻、新潟にかへる
- 10日 蔵王のおしばづくり
- 15日 一番上りにて帰省。三島郡大河津駅附近採集。後、汽車にて與板町に赴き、與板道下の笹類を調査して西越に下り、出雲崎駅より乗車して刈羽にかへる。出雲崎駅に田中幸宣君にあふ
- 17日 刈羽神明山の笹類を調査す。刈羽に滞在中、「竹笹便覧」の総整理を行ふ
- 20日 午後、妙法寺に赴く。鬼ヶ峯、妙法寺峠の笹を採集
- 22日 白山公園のミヤコネザサを調査す。開港八十年記念の記念祭が行はれ、町は「だし」や踊で雑踏。夜は花火でにぎはう
- 23日 前日にひきつづき川びらきの煙火にぎはふ。半年來の「竹笹便覧」の稿を一應まとめる
- 25日 伊藤至氏、植物研究に來訪
- 29日 午後、佐藤忠司、玉井忠衛両君來遊。米山一長嶺方面を採集してまはる
- 30日 北蒲原郡金塚山中へ、佐藤忠司、玉井忠衛両君(三年生)をつれて植物採集に赴く。雷雨あり。神社に雨やどりをする。宝塔山の南沢を採集し、帰路、北の沢に入り、驟雨にあふ。それより大桜峠に出、笹を研究し、二軒茶屋をめぐり金塚駅に出てかへる

9月

- 2日 午後、生物班有志とウマノスダクサ等の採集に網河原方面に赴く
- 3日 信濃川畔に顕微鏡をもち出してプランクトン、デスミッドの研究を行ふ
- 4日 市立工業学校の授業をすまし、11時半、渡し船にて山ノ下にわたり、物見山の沼を採集。それより砂丘を松崎に下り、子供達に船に乗せてもらって通船川をわたり本所に出、泰平橋をわたり松崎近くの阿賀野川河原に下りて、オトギリサウ等の採集研究を行ふ
- 7日 河辺、吉沢、八木、高田の4名と村松の白山へ昆虫、植物の採集に赴く。朝、加茂町明神森を採集し、電車、大蒲原駅から城ノ入の沢に入り、天狗の庭、大滝まで採集を行ふ。雨ふる。歸路

は溪流の岩づたひに下る。停電にて電車が遅れ、加茂町まはりにてかへる

- 13日 岩野俊逸氏来泊す。夕方、学校附近の沼へアギナシ等を採集にゆく。夜、植物研究
- 17日 八木以下数名の生物班員と網河原、とやのの採集を行ふ
- 23日 午後2時の汽車にて彌彦行。西吉田より伊藤至君と同道。やひこ山けやき清水北の谷へ採集にゆき、日くれて彌彦村大字麓の伊藤至君宅にとまる。夜、植物研究
- 24日 伊藤君と彌彦山より間瀬に下り、野積をまはって8時半、伊藤氏宅にかへる
- 25日 伊藤君と國上山を採集。雨となり國上寺より大河津分水土手に出、ホシクサ類などを調査しながら伊藤君宅にかへる。4時の汽車にて新潟にかへる。やひこ駅前の森の中のオホミヤマイヌワラビを調査する(汽車待ち時間)

10月

- 2日 工業学校二年生をつれ、砂丘の生物研究を2時間行ふ
- 5日 八木、渡辺、大沢、吉沢をつれ、羽生田より山を越え、五泉まで植物採集を行ふ
- (8日 公會堂のわきにて天皇陛下奉送迎)
- (9日 朝、市役所前にて工業学校生徒とともに天皇陛下奉迎)
- 20日 生物班員13名をつれ東蒲日出谷へ採集に赴く。日出谷駅前附近の山林中を採集し、鉄橋を渡り、越戸峠をこして鹿瀬に下り、津川に至る。途中、木戸、一行をはなれ、廣瀬、吉沢と鹿瀬まで引返し、更に津川駅に引返す。木戸は津川駅に待っていた。他の連中は八木の指導にてキリン山の採集をして津川駅に出る。8時、新潟駅下車
- 21日 師範学校生徒2名、植物研究に来校
- 23日 醫大に於ける自然科学研究発表会に出演準備につき、生物班の村木(とんぼの翅脈異常)、吉沢(蝶の産卵習慣)、清水(蝶の鱗粉)、八木(砂丘植物)の4名、自宅へ来訪
- 25日 同研究発表の準備及び発表練習などをする
- 26日 醫大に於ける下越中等学校生徒の自然科学研究発表会に赴く。この日、村木は生物部門の一位、又、総合成績として市立中学校は一位となり、面目を施す

11月

- 2日 八木、大沢をつれ、加茂へ採集に赴く(明神ノ森一長福寺一山新田一加茂)
- 16日 6時半、新潟出立、塚山下車。岩野俊逸君と千

谷沢、武石村山中を採集。横沢の岩野君宅にとまる

- 17日 午前中、岩野君の蘚苔標本の鑑定。午後、中里附近を岩野君と共に採集。それより単独にて小千谷峠頂上トンネルそとまで採集に赴く
- 18日 横沢を8時に出立。岡野町、門出、田代、松代をへて、徒歩、松之山温泉に至る。この日雨がよく、田代からはみぞれとなり、更に雪とかはり、松之山は積雪二寸。電燈をたよりに6時半、温泉につく。衣服が水びたしとなり、寒さはげし
- 19日 7時半、松之山出立。雪の峠を外丸に下る。積雪、六、七寸。10時2分の汽車に漸々にしてまにあふ。飯山鉄道を川口に出、1時間半ばかり、川口附近を採集し、笹などをとる。7時、新潟にかへる

12月

- (9日 午後、前進座の市川氏の演劇に関する講演あり)
- (11日 学期末考査はじまる。電力不足にて夜間3回(90分)の停電が行はれるので考査は午後1時から)
- 25日 日直。生物班員勉強に来校
- (26日 前進座の演劇「ヴェニスの商人」(河原崎権十郎氏主演)をみに白山小学校に赴く(生徒有志)(*河原崎権十郎の新聞切り抜きの顔写真貼付あり))
- (27日 新制高校実施の準備委員として打合せに登校)
- 28日 大沢英一郎、標本研究に来る

1948年(昭和23年)

1月

- 1日 巻町の「トウマル」の鳴聲(ラジオ録音放送)にて明く
- (2日 一家して刈羽へかへる)
- 4日 内方の廣川豊栄氏、植物研究のことについて刈羽へ来訪
- 8日 「竹笹便覧」の第三稿完了
- 11日 妙法寺へ赴く。二泊。苔類原記載の研究
- 14日 午前、伊藤至君、植物研究に来る
- (16日 大東文化学園の中沢希男教授と学生畔上鉄三君の中国文化に関する講演會)
- (20日 訓育部會、物象教室。投書箱設置の問題にぎわう)
- (23日 教員組合の生活実態調査に関し、礎小学校に赴く。大和百貨店に梅毒展覧會あり)

(24日 辯論大会。三年根本一之、一等)

2月

- 2日 服部新佐氏より借覧のエヴァンス氏の
Acromastigum. のモノグラフ178頁の轉寫を
了し、製本
- (5日 キクをつれ、古町東宝へ、映画「石の花」(ロ
シヤの作品、天然色)の觀覽に赴く)
- (14日 全校、映画觀覽。「忘れられた週末」花月劇場)
- (22日 日曜。午後、古町東宝前にて大関助手と共に
新制中学校建設募金を行ふ。女子工藝校と合
同。本日の街頭献金1600円。7時半、ナ
カ等を白山駅に出むかふ)
- 24日 服部氏より借覧の *Annales Bryologici* Vol.
Ⅷの轉寫ををはる
- (29日 日直。生物班員、展覽会の準備に終日作業)

3月

- 2日 生物祭(展覽会)を應接室にひらく
- (7日 日曜。午後、木工、踏台づくり)
- 9日 伊藤至氏、生物班の展覽会をみに來る
- 10日 服部氏より送られた苔類文献2冊(アンナレス、
ブリオロギキ)の轉寫にかかる
- 18日 昨秋來、桜井久一氏に交渉の苔類文献「スペシ
ス ヘパチカルム」一万円にて譲渡する旨、來
信あり。購入に決す
- (19日 進級會議。新制度へのきりかへを考慮、全員、
進級承認。(10時より5時迄會議))
- 25日 彌彦山採集行。本野、佐藤、渡辺、玉井同行。
伊藤至氏、ヤヒコにて待ちあはせ。山裾の蘚苔
を採り、午後は東側の山をめぐる。公園にてカ
ハモヅク、神社境内にてクロサンセウウラ、シ
ミズゴケ等研究。山岳部にて昨夜登山の大里先
生の下山に、神社前にて遭ふ
- 26日 採集蘚苔の整理。カハモヅク標本の作製。大沢、
本野等、準備室に來遊。アツベの描画装置を注
文す(高木典雄氏斡旋)
- 27日 学校にて研究。生物班員も來たり、研究。運動
場裏に馬鈴薯の植付をなす。附近住家の人、農
地のことについて來たりうるさし
- 29日 大沢、八木、玉井、佐藤(秀夫)、(忠司)來遊、
植物研究
- 31日 高木典雄氏より借覧の「シムボラエ、シニカエ」
の轉寫を了し、本日、返送

4月

- (1日 信越線塚山下車、雪をふんで長鳥一笹小屋—
成沢をへて赤田に出、刈羽にかへる)
- (2日 明日のごま供行の準備を手傳ふ)

4日 アンナレス、ブリオロギシ轉寫をつづける(補
第Ⅱ卷)

- 5日 廣川豊栄氏來り、兩名にて刈羽から雪成、西元
寺を経て勝山校に立ちより、滝谷、入和田山中
を採集
- 6日 英仙君と稲場山の桃の伐截作業に赴く。長次郎
わきにてナリヒラダケの花採集
- 9日 先般、桜井先生に送った苔類文献代一万円の書
留未着のため、駅前郵便局及び新潟郵便局に赴
き、調査申請をなす
- (10日 新制高等学校開校式)
- 11日 日直。午前、大沢君、植物研究に來る。午後、
渡辺恒彌君來遊
- 17日 桜井久一氏宛の一万円為替券在中の書留便、逆
送されて來り。新潟局に赴きて再發送をなす
- 19日 近藤明、東京みやげに寫真とこがねむしの文鎮
をくれる。服部氏より借覧のアンナレスブリ
オロギ補Ⅱ、172頁の轉寫ををはる。(3月
30日よりうつし)
- 25日 北蒲原郡金鉢山下(山神社の谷)へオニシバリ
の研究に赴きたれど、オニシバリは、山をきり
ひらきしたため、なし。オホキジノヲシダ、フモ
トシダ、シラネアフビ、イハウチハ等を取り、
又、本田博士に送るため、山ツバキの採集をな
す。八木、本野、佐藤忠司の3生徒同道す
- 28日 服部氏に図書及び蘚類標本を送るため新潟郵便
局に赴く。桜井先生より一万円の苔類文献スベ
シスヘパチカルム到着し、新潟駅へ受けとり
に赴く
- 29日 日出谷の越戸峠へオニシバリの研究に赴く(鹿
瀬—發電所—越戸峠—津川キリン山)。玉井、
大沢、高田、亀井同道

5月

- (1日 メーデー。醫大グラウンドに集合。市内行進。
野球場にて大会)
- 2日 赤谷、湯ノ平谷へ採集に赴く。東赤谷より日曹
会社の輕便鐵道にのせてもらひ、一里ほどおく
の同鉱山迄赴き、あと溪谷を渡渉。帰途、新發
田にて1時半汽車まち、市内散策
- 5日 工業学校授業兼任の件につき美旗校長と懇談。
午後、鳥屋野湯へツルカハズスゲの研究に赴
く。八木、佐藤、玉井同道。7時、学校にかへ
る
- 9日 長岡悠久山採集。午後1時より2時まで長岡高
等学校に於ける縣体育聯盟の山岳部委員会に大
里先生と共に出席。議長、新發田商高廣瀬校長。
内川定七氏、鈴木繁三氏(柏高)もみえらる。
11時半より14時まで日食あり(礼文島の

金環蝕)。 栖吉川の堤防上で晝食をとりながら之をみる。 午後、会の終了後、戦災復興の長岡市街をとりぬけて信濃川畔にて出、長生橋（新鉄橋）を渡り西長岡まで採集に赴き、6時20分、長岡をたってかへる

- 15日 服部研究所より寄贈の蕨類標本集小包が破損してきたため、新潟局まで出頭して之をうけとる。
- 16日 八木一男、玉井忠衛を伴ひ、東蒲原郡西山日光寺へ採集に赴く。帰路は旭滝に下り、溪流を採集して下る。前日、日本平へ登山に赴いた山岳部の清水、橋倉など五十島駅から乗車する。津川駅で卒業生の三條俊郎君（小須戸の中学生を旅行に引率）にあふ
- 20日 定時制高等学校入学考査。午後、鳥屋野湯ヘスゲの調査に赴き、軽金属前をまはって夕方かへる
- 26日 高等学校一年生修学旅行。岩船郡鷹ノ巣温泉行。越後下関下車、徒歩。帰路は片貝駅まで歩く
- 29日 伊藤至氏、植物研究に來校。生物班生徒と共に鳥屋野神道寺の湿地まで採集に赴く
- 30日 東蒲原郡綱木植物採集。白崎—綱木—赤谷、赤谷炭鑛山、新發田郊外

6月

- 5日 午後12時半白山駅出立、巻に下車。和納まで堤防の上を採集する。和納より乗車、西山駅に下車し、窓ヶ坂をこえ、宮川神社社叢を採集。大湊に出、砂丘をこえて刈羽にかへる
- 9日 八木以下数名の生物班員をつれ、関屋砂丘ヘイソスミレを採集に赴く。イソスミレはなくなつてゐた
- (13日 運動会準備係（川村、牧野、若槻、池上）職員競技・・・蹴球リレー、かりもの、鯛つり等)
- 14日 北魚沼郡堀之内採集行（八木、佐藤、玉井、渡辺同伴）。途中、関口先生（新中生妙高旅行）、相沢始同車。芋川へ川をこいで上る。雨はげし。水バセウ、ホノキ花等の採集にぎはふ
- 19日 西頸城郡青海町附近採集（山地）。かくに旅館にとまる
- 20日 西頸城黒姫山採集行。山麓は草深く、頂は残雪がたにまにあり、山頂の石灰岩の侵食著し。日くれて青海町にかへる
- 21日 黒姫山東麓の福来ヶ口石灰洞まで採集に赴く。岩壁に *Preisla Quadrata* Nees (アカゼニゴケ) をとる。帰路、青海海岸に出、ハマネナシカヅラ、ハマウツボの群落などを見る。この日、青海電化のスト行進あり。午後4時半、青海發。直江津乗かへ（大橋容君にあふ）、夜11時、新潟にかへる

- 24日 長嶺小学校へ、学校附近の植物の指導に午後赴く。市内数校の職員参加
- 27日 刈羽へ米をとりて赴く。西山下車。滝谷、西元寺、雪成山地を採集して家にかへる
- (28日 河原、市島、池上の3名にて指導主任の原案をねる)
- (29日 協議会。指導主任の原案を池上発表する)
- (31日 P.T.A (父母と教師の会) 原案審議。於校長室。樋口先生主任。委員集合)

7月

- 4日 枅口一水氏を首班とするいけばな同好会員約30名が加茂明神の森にあつまり植物研究会をひらき、講師をする
- (7日 市立工業学校の授業を終了し、美簾校長、矢野先生と談話。離任)
- 8日 考査代休。朝早く枅口一水氏、植物をたづさへて來訪
- 11日 本野健太郎君一人をつれ東蒲原郡豊實の高陽山へ植物調査に赴く。山麓に營林署の道路開鑿作業あり。シヨウキラン等採集
- 18日 希望者はインターカレッジ見学。春日町にゼニゴケ採集。佐藤忠司、佐藤秀夫協力
- 19日 吉沢一、ゼニゴケを多量にとづけてくれる。河辺君來る
- 21日 小田島、高山、橋倉來校。大里先生と越後三山登山の予定とのことにつき、同道を約す
- 22日 越後三山登山に出立。大里先生、バス事故のためみえず、小田島勇、高山良平、橋倉壯美の三名をつれて五日町に下車。大崎口より八海山に登り、千本檜の小屋にとまる。夕刻より雨はげし
- 23日 中岳に向つて出立。大日岳、丸岳をこえた下り道にて、大里先生追ひつく。協議の上、一行は前進し、大里先生は千本檜まで引きかへして、小屋、里宮の人々との連絡をとった上、更にひきかへして後を追ひ、オカメノゾキをすぎ五合近くにて追ひつく。雨はげしくなり、日くれ、雪溪より草原を上って10時、小屋（中ノ岳）につく。火をたき夕食をとり、3時就寝
- 24日 終日雨はげしく、小屋に滞在する。夕刻より夜にかけてはれ、見はらし素晴らし。一同、中ノ岳頂上に上る
- 25日 笹藪をこいで駒ヶ岳に上る。下りはツキギの嶮をこして大湯温泉に出てとまる（11時40分）。途中、ふきぐの嶮より雨となり、又川の徒渉、橋のおちたところの連絡などに苦心して、夜道おそく、大湯に辿りつく
- 26日 大湯よりバスにて小出町に出、汽車にて新潟に

かへる。途中、長岡にて連絡をまち下車。夕刻、新潟着。大里先生は、一番バスにて大崎の里宮へ荷物をとりまはって、後の汽車でかへる。

29日 火打岳登山につき、八木、佐藤、渡辺と協議。8月2日と決定

30日 標本整理に登校。八木、佐藤、渡辺、植物採集許可證が高田営林署よりとゞき、よろこんで報せにくる

8月

1日 八海三山の標本整理。八木、渡辺、玉井、佐藤来訪

2日 火打、焼山採集行。朝五時、新潟駅出立。八木、渡辺同伴（近藤明、金井、荻部、横田、花沢等、妙高、田尻方面キャンプ行。田口下車）。12時、田口下車。杉野沢より笹ヶ峯牧場にむかう。途中、五八木の森にてヤドリギ、ホザキヤドリギ等を採集。夕立あり。日ぐれに牧場事務所に到着してとまる

3日 火打山登山。黒沢の川をこえ、十二曲より笹藪はげしく、火打の肩ノ池附近まで採集をつづけ、時間と笹藪道の都合にて、こゝよりひきかへし、富士見平や針葉樹帯をゆっくり採集し、日くれて牧場にかへる

4日 笹ヶ峯新林道を採集し、後、焼山の谷へ川原をさかのぼって採集に入る。フジナデシコ、フジアザミ、イワウツギ、タヒツリワウギ等々、採集物豊富

5日 牧場を出発し、途中、採集をしながら妙高山の裾野を下り、杉野沢から苗名の滝に入りこみ採集をつづけ、大荷をひっさげて田口駅に下る。5時15分發車。直江津駅にて、立山がへりの岩野俊逸氏、富川龍太氏（柏高）、乗りあふ。鉢崎駅では米山かへりの新潟女子工芸校の先生、生徒がのりこみ、知己相あつまりてにぎやかなり。夜11時半、新潟駅につく

6日 火打山の標本整理。佐藤、玉井、見学に来遊

7日 腊葉製作用の新聞紙を出すため、豫備標本の整理に学校に赴く

10日 日直。生物班員登校。高田営林署への火打山採集報告書をつくる

17日 佐藤忠司、玉井忠衛、三面採集旅行の件につき来訪。水島町附近採集。夕刻、尾崎先生来訪

19日 岩船郡三面村採集旅行。午前5時新潟駅發。尾崎富衛先生と生徒、佐藤忠司、玉井忠衛同伴。村上駅8時半下車。臥牛山を採集し、尾崎先生の御親類に立ちより小憩。11時出立。三面川にそって奥に入る。三面前の峠にて日くれ、佐藤、玉井よはる。9時半、三面着。高橋善六氏

宅にとまる

20日 三面川にそって溪谷へ採集に赴く。夜、月美しく、盆踊をみに出（踊にならず）トネリコを採集する

21日 三面の宿から鮎の土産などを貰って9時出立。小國に向ふ。峠の上よりトラックに乗せて貰って小國駅に出る（トラック2時間、50円也）。午後2時、晝食をとり、4時15分の汽車にて坂町に出、乗継時間をホームでまつ。その間、尾崎先生と水を貰ひに出る。汽車は混雑せず、9時半新潟につく

（22日、23日 両日、川祭。煙火あがる。23日の夜、9時半、煙火のをはり近くに万代橋のらんかんがくづれて観衆多数が信濃川におちこみ、死傷者、行方不明者多数出せり）

（26日 高等学校教員再教育、傳達講習会。基礎理論（師範男子部長）、教育心理（女学校教諭）。会場、縣立女子高校。軍政部のライト氏の講演あり）

（27日 全上。職員会議の方法につき公開デスカッションあり。軍政部教育顧問メーヤー女史の講演あり）

29日 全上。C.I図書館長カードウェル女史の学校図書館に関する講演あり。をはって伊藤至氏、水島の宅まで植物研究に来る

（30日 登校。生物研究授業の件につき服部校長と話す）

9月

1日 3日まで、前の講習会の後半開講。理科教育—石崎先生。永井先生と女学校中庭の植物をみる

3日 講習会ををはり、午後、座談会あり。をはって伊藤至氏と白山浦より信濃川にそひ、関屋まで採集

4日 登校。三面の標本の整理を行ふ。生徒は花月へ映画観覧、「セントゴメリーの鐘」。尾崎先生、佐藤忠司（午後）来遊

5日 日曜。午前、流しの下水修理。午後、佐藤忠司をつれて山ノ下の沼地へ採集に赴く。マルバオモダカ、タチモ、マルバサワトウガラシ等。日くれてかへる。（行きはバス。砂丘の入口にて雨にあひ、肥料舎に雨宿り）

8日 午後、鳥屋野潟採集。八木、佐藤、渡辺、亀井、吉沢。ムカゴニンジン、ミヅトンボ、コモチゼキシヤウ等をとる

（13日 高柳氏宅にて隣組常会あり、出席す。自警團の組織等）

（16日 宿直。暴風雨。五十嵐、高田、遠藤にピアノをきかす）

19日 彌彦山採集行（べんけい草属植物の調査）。晴天。

伊藤至氏同道。間瀬に下り、岩壁にてベンケイサウ採集。間瀬海岸にてバシクルモン調査。間瀬峠をこえ石瀬にて伊藤君とわかれ、日くれて田んぼ道を和納に出、6時50分の汽車で新潟にかへる

- 22日 全校映画観覧「セントゴメリーの鐘」花月劇場。歸途、佐藤、渡辺、佐藤（忠）等と万代橋しもの河畔採集
- 23日 キクをつれ刈羽へ日がへり旅行。砂丘をめぐり長次郎裏のナリヒラダケの花を採集
- 24日 中井先生より来信（新種エチゴルリサウ *Omphalodes Laevisperma* Nakai その他）馬場機械店に顕微鏡注文に赴き、神田製本屋に K.Müller の Lebermoose 2冊の製本を依頼し、家にかへって再び学校に赴き標本の整理などをする。服部新佐氏より借覧の *Annales Brioligici* vol. X の轉寫ををはり、本夕、荷造する
- 26日 平木田一蔵王山採集行。佐藤忠司、佐藤秀夫、渡辺徳明、亀井良成、吉沢一（八木一男は汽車におくれ二番汽車で來、おひるすぎ蔵王山中で出あふ）午前中は平木田のイダテン山の用水地湿地を採集。午後は蔵王山の谷深く入る。午後から雨がはげしくなり、一同雨にすっかりぬれ、混雑な羽越線にもまれて8時新潟にかへる。ヌカボタデ、ダンドボロギキ等採集
- 30日 関屋の硫酸工場見学（第四中学生徒、尾崎、棚辺、北神、若槻先生）。歸途、尾崎先生と植物採集。渡船にて出來島にわたってかへる

10月

- 3日 日曜。曾我洋二の家へ病氣見舞に赴く（馬越）。歸途、鳥屋野潟をめぐって採集。夜は教育委員選挙の街頭宣傳。7時～8時半、牧野先生と鳥屋野部落をめぐり。
- （8日 文化祭。音楽、劇等。午後3時より醫大に於ける高校自然科学研究会設立に関する打合会に出席。高校生徒職員等約50名参集。をはって、高木教授の反側發汗の反射運動について座談あり。日くれてかへる）
- 10日 北蒲原郡村松浜の湿地帯へ植物研究に赴く。中條駅下車。徒歩
- 13日 醫大の高校自然科学同好会研究發表會に関する打合せに、村木、八木、清水をつれて出席
- （16日 一年生を物象教室にあつめて東山旅行の話。予科練入隊生の卒業資格認定の申請書を終日かゝってつくる）
- （18日 一年生、若松地方へ修学旅行。新潟6時5分發、翁島下車。猪苗代湖畔に出、晝食（生

物班員は附近の採集）。15時50分、若松行に翁島より乗車、若松下車。日くれて東山温泉に辿りつき宿泊）

- 19日 快晴。朝、亀井他数名の班員と植物採集。飯盛山見学、採集。正午、若松をたち、4時半、新潟にかへる
- 20日 代休。腊葉づくり
- 24日 菅名山大蔵の谷へ採集に赴く。村松一早出川—大蔵谷—五泉。五泉—村松、勝山君同道。9時半、帰宅
- 30日 岩野俊逸氏來泊。植物研究。清水、高田、明日の發表練習（物象室）
- 31日 岩野氏は高校の昆虫同好会に、小生は醫大の下越高校自然科学研究会の研究發表會に出席のため、兩人、バスにて出立。本校の發表分は、清水久雄（二年）の笹魚の研究、高田信（一年）の帰化植物の研究の二題である

11月

- 1日 夜、安倍基祐君の案内で加賀鉄商店（醸造）技員、アミノ酸醬油のことにつき研究に來る
- （6日 中根式速記術講話）
- 7日 三條郊外から本成寺山中へ採集に赴く。雨はげし
- 10日 下越高校理科講習会。研究授業。池上一生物（清水久雄の笹魚の研究）、化学—牧野先生（硫酸製造）、石崎先生司会。午後、醫大の生理学教授高木健太郎氏の「生物現象の測定」と題する講演
- （12日 マラソン大会。校門で整理係をする。東京裁判判決。死刑、東條大將以下7名、禁囚16名）
- 14日 日直、宿直。標本整理。生物班員登校。籠球試合あり
- 20日 10時の汽車にて出立。塚山駅下車。菅沼部落へ蘚類の調査に赴き、峠をこえ、澁海川を渡って千谷沢、七日町、新町をへて猿橋の岩野俊逸氏宅に日くれて着く
- 21日 岩野君と森光山中より法末—七社權現—小千谷峠と、日ぐれまで採集をする
- 22日 八石山、なた池、はゞ岩（*?）等へ採集にゆき、猿橋峠を日くれて岩野氏宅にかへる
- 23日 岩野君と終日、標本研究。顕微鏡鑑定等。夜、停電と、小國に火事あり。2時まで研究
- 24日 8時、岩野氏宅出立。途中、岩野氏同道。武石より千谷沢—池ノ平に入り、午後より雨となり、片貝に下り、來迎寺迄歩き、夜汽車にて新潟にかへる
- 26日 服部氏より借覧轉寫のアナレス、ブリオロギキ、

12月

- 4日 籠球大会あり。第四中学校生徒廿五名と山ノ下東洋合成会社の硫安製造の見学をなす(尾崎先生、牧野先生、池上)
- 10日 4月、高木典雄氏に依頼しておいたアツベのカメラルシダ到着す
- 11日 彌彦採集行。12時半出立。晴天。伊藤至氏宅にとまる
- 12日 伊藤至氏の標本を研究。3時半、伊藤氏に送られてかへる
- (19日 夕方、刈羽へかへる)
- 20日 沢庵漬大根を荷造りして運動店へ出す。神明山へ採集に赴く。夜、新潟へかへる
- 21日 八木一男にカメラルシダによる蘚類製図の指導をなす
- (23日 東條大将以下7名の戦犯の絞首刑が巣鴨拘置所に於て行はる)
- 25日 午前、十周年記念式典委員会。午後、佐藤、八木、蘚苔の研究に来る。けんび鏡台交換のため、オリンパスの舊けんび鏡と1万円現金をもって、夕方、馬場機会店を訪問
- 26日 午後、八木、佐藤、蘚苔の研究に来る
- 28-31日 本年度採集品の部類わけ整理を行なふ
- 31日 中井、大井、木村三博士に標本小包を發送する

1949年(昭和24年)

1月

- 1日 春以来の標本の整理を28日よりつけ、1日深更漸々終了
- (2日 終日、手紙かきをする)
- 3日 晴天、山の下砂丘より阿賀野川土手まで採集に赴く。キノコ類あり。帰路は日くれ、雨となる
アンナレス プリオロギシの轉寫をつづける
- 9日 学校に立ちより12時半の汽車にて妙法寺へ赴く。妙法寺に三泊。前記文献の轉寫をつづける
- (12日 雪に道のない鬼ヶ山峯をこえて夕方、刈羽へ。風邪にて2日休養)
- (15日 ナカ、キク、刈羽に来る。夜汽車にて、3人新潟にかへる。白山-新潟駅のバス混雑す)
- (23日 日曜。衆議院議員選挙。最高裁判所判事信任投票。宮浦中学校)
- 24日 服部新佐氏より借覧の「アンナレス プリオロギシ」第十二巻の轉寫ををはる
- 25日 ステファニ氏のイコネスペパチカルムのカヤゴケ属の轉寫ををはる。夜12時半、山本先生宅

の前に酒酔の一青年居り、山本先生によばれ、2人で大通りまで件の男をつれていってやる

- 30日 日曜。竹笹標本を整理して小泉博士に送る

2月

- 3日 佐渡高女の本間健一郎氏、生物科視察に来訪
- 5日 伊藤至氏、「彌彦植物誌」の原稿を携へて來訪す(午後)
- 6日 馬場主人、注文の顕微鏡(19,500円)をとづけに来る。尾崎富衛氏、標本箱の見学に来る。夕方、学校へ新着の顕微鏡を持参して性能検査を行ふ。夜、亀井良成(一年)來遊。9時半、鉄道官舎附近まで送って行く
- 7日 顕微鏡測定。本日、珍しく雪降る
- 11日 中井博士より植物検定票が送られて来る(年末整理腊葉分。新変種2、新品種2、日本初発見5、縣内初発見25)
- 14日 約一週間を費やして新着顕微鏡の倍率表を測定、調製。本日、完成す
- 16日 大井次三郎先生から植物検定表が送られて来る
- 21日 服部氏よりステファニ氏の苔類原図及び苔類文献エヴァンス氏のもの他4点の小包到着

3月

- (5日 高等学校第一回卒業式。卒業生、曾根、中島、相馬、中田など遊んでゆく)
- 8日 伊藤至君、植物研究に來訪。白山駅までおくる
- (13日 日曜。生徒の病氣見舞)
- (14日 夜、櫛谷健爾、根本一之の両君、10時まで遊んでゆく。新潟駅前までおくる)
- (16日 宿直。近藤明、荻部富雄、佐藤猛來遊。夕食辯当をたべてすぐかへる)
- (18日 入試問題作製委員会(於女子高校)。7時半までかゝって問題の作成浄書ををはる。市立高校では舊制中学校五年制卒業式並びに併設中学校の卒業式が行はる)
- (21日 近藤明、荻部富雄、午後、生物準備室へ來遊。ピアノをきかす)
- 27日 柏崎高校の首藤馨君(相中卒業生)友人と2人で來訪
家庭訪問。帰路、とやの湯の畦を採集。神道寺に出てかへる
- 28日 教務部會議。新学年の事務分掌。午後、尾崎先生の腊葉鑑定
- 29日 服部氏より借覧のステファニ氏イコネス105枚、別刷論文四部の轉寫ををはり本日返送

4月

- 1日 刈羽郡内郷村内越一尾頂部を採集。峠の店橋敬

三郎氏を訪問（ベンテンザサ、オホバザサ、ヒメクルミ、サクラ等の分布について）。甲戸、立村、笹山をめぐり、アズマザサ属の調査をしてかへる（刈羽へ）。

（ 2 日 明日の護摩の準備手傳）

3 日 米山山麓植物採集行。鉢崎一胞姫神社社叢—吉尾—（峠）—鉢崎

（1 3 日 学校、映画観覧、「エールリッヒ博士」（花月劇場））

（1 6 日 八木、亀井等、生物班新聞「とやの」の印刷をなす）

1 7 日 岩船郡寒川採集行。尾崎先生、渡辺前助手、八木、佐藤、渡辺、玉井、高田、小黑、福島、大谷、坂井、高橋。6 時 5 分新潟發。9 時半寒川着。海藻採集後、川にそって溪谷苔蘚を採集。帰途、海岸にて休憩。6 時の汽車にてかへる

1 8 日 佐藤忠司、寒川採集品中に「クマノチャウジゴケ」を見出し、夜、報告に来る

2 3 日 生物科授業要項、本日完成し、八木の手つだいを借り印刷（800 枚）する

2 4 日 服部氏へ返礼する羊歯標本（ミシガン大学ステア教授行）を整理する

（2 5 日 青年文化講座刊行の執筆委員として越佐会館に赴く。服部校長、樋口、山本、山田、阿部先生も出席。生物科は木村卷農校長、阿部（縣女）、金沢（縣高）、池上の4 名のところ、阿部氏辞退、金沢氏欠席（代、菅原氏）。執筆ひきうけ手がなく、菅原氏と金沢先生のお宅へ依頼に上る）

5 月

（ 1 日 メーデーに職員参加。帰途、石崎、樋口先生と本校對新商の野球を暫くみてかへる）

5 日 南蒲、八木鼻、笠堀峡植物採集。尾崎先生、八木一男同道

7 日 高田信、亀井良成、植物研究に来訪

1 2 日 伊藤至氏、午後、植物研究に来訪

1 3 日 青年文化講座編輯打合せ。古町青柳階上（生物科、國語科）。生物科、江村、木村、金沢、菅原、池上

1 4 日 佐藤忠司、渡辺徳明をつれ、山の下沼沢地—大形へ植物採集に赴く。帰途、雨にあふ

1 5 日 学校へ植物標本の製作、整理に赴く

2 1 日 鳥屋野潟採集行。佐藤、八木同道。清五郎の湿地及び姥ヶ山の湿地の蘚類など研究

2 8 日 尾崎先生と岩船郡女川採集行。大島駅下車。湿地の採集に半日費し、夕方、女川校につき標本を整理の上、更に南中の山中へ日ぐれまで採集に赴く。山岳部の清水久雄、小田島勇の両名、

大里先生に伴はれて縣山岳会の光兎山登山に参加のため女川校に参集。伊藤至氏全。河原にて夕食をつくり、女川校どまり。夜、日本山岳会新潟支部の藤島玄氏の光兎山についての講演あり。講演中途に新發田高校生のキャンプファイアについて村の青年から叱責があり混雑する

2 9 日 光兎（コウタ）登山。尾崎先生、伊藤至氏と共にしんがりになって採集してゆく。晴天。頂上のたにまには、なほ、残雪あり。4 時、女川校をたち、急行軍にて大島駅へ出てかへる

6 月

4 日 東蒲、御神樂岳の沢へ採集に赴く。尾崎先生と佐藤、八木同道。津川より入り、バスの都合にて太田に下車。柴倉川の沢に入る。尾崎、池上、豊川小学校にとまる。室川のつり橋下ではんごうをたき、日ぐれまで裏山を採集。宿直の佐藤正明先生及び来あはせた御令弟弘二氏の厚遇をうく

5 日 高谷坂から善入山を越え、一蟬ヶ平に出、広谷川のおく、みかぐらの眞裏まで採集にゆく。帰路は八田蟹をめぐって太田の豊川校にかへる

1 2 日 枅口一水氏主催の生花の先生、生徒たちの南蒲、大沢植物研究旅行に招かれて同道。大沢の鍾乳洞見学

2 4 日 工業用水沼地へ八木、亀井をつれて採集に赴く（蘚苔）

2 6 日 二王子山の北谷（北蒲、菅谷村石川川上流。帰路は全村水谷区に國有林を下って加治まで徒歩）採集行

7 月

7 日 伊藤至氏植物研究に来遊

9 日 二王子採集行。佐藤忠司君同伴。赤谷線米倉下車。車野原湿原を午前中採集。ミズゴケその他。寒地植物沢山。午後は板山から南俣へ越し、二王子神社妹背滝に至る。帰路は田貝から長峯原を横切って下田屋に下り、途中から駆足をし、五十公野山をこえ、辛じて新發田駅の終汽車にまにあふ

1 6 日 朝、枅口一水氏、クサレダマを携へ、研究に来訪

2 0 日 終業式（午後）。夜、枅口氏、キハダの研究に来訪

2 5 日 飯豊登山（縣高校体育連盟）の植物講師として出立。市高よりは里先生引率にて小田島、吉川、八木参加。日本山岳会新潟支部長の藤島玄氏、三條高校伊藤至氏も参加。當番は縣立新潟工業高校の若槻先生。6 時 5 分、新潟發。磐越

- 線徳沢下車。途中トラックを利用して彌平四郎につき民家に宿泊。一行40餘名。八木一男を伴ひ、東の谷ブナ原始林に採集に入り、歸途驟雨となり峠の上で樹下に雨やどり。夜、藤島玄氏の講演あり
- 26日 早朝立。新長坂より飯豊登山にかゝる。途中、植物の解説等をしつゝ、三國岳にて晝食。4時半頂上につき、更に西岳への途中まで植物をみ、ひきかへし、頂上下の湿地にて夕食をたく。頂上の小屋にとまる。寒気甚だしく、生徒は火をたいて夜をあかす
- 27日 朝、小屋前にて30分ほど植物に関する講演をなし、直に下山にかゝり、途中、10名ばかり熱心に採集するものを指導しつゝ、三國岳に12時15分前につき晝食。12時15分立。三國岳の岩場を下りて地藏小屋の道を川入に下り、川入の民家(*空白)に一同宿泊。夜、座談会あり主人(*空白)氏の話などあり。夕刻迄は植物の鑑定をなす
- 28日 早朝、小田島、吉川、八木等と川上の炭酸泉を見学。6時半立。長途山都駅まで重荷を背負って下る。伊藤氏同道。駅にて解散となる。12時43分乗車、新潟にかへる
- 29日 登校。標本整理。佐藤、玉井、渡辺等の生徒來る

8月

- 4日 白馬岳採集行立。尾崎富衛氏、亀井良成君同伴。夕刻、大糸線小滝に下車。採集にかゝり、日くれて平岩につき、街路のトンネルに宿泊
- 5日 5時半起床。平岩に出、トラックに乗って白池に至り、池畔採集—ウキミクリ等の採集—ウド川畔にて晝食をたき、八丁坂を採集。9時、蓮華温泉につく
- 6日 5時半起床。梅の森にて飯をたき、急坂をのぼり天狗の庭を經、大池畔に至る。池畔にて夕食までつくり、小蓮華山の採集にかゝり、途中日くれて清らかな月光をあび、9時すぎ白馬岳頂上の小屋にとまる
- 7日 相かはらず天気はよし。5時半起床。葱ヶ平上に採集に赴き、御來迎をあふぎ、ひきかへし頂上より蓮華山を採集して下る。天然記念物監視員下川頼人氏にあひ、苔類調査の便宜方等について申し出あり。他日を約す。3時、大池畔にて炊事。再び採集をつづけて蓮華温泉に日ぐれに下る。8時半、荷物をとゝのえ平岩へ夜道を下る。途中、佛法僧さかんになく。12時、うど川畔で炊事。白池に下り、清い月光をふんで
- 8日 平岩に長途下り、朝4時、前のトンネルにて休

憩睡眠。5時、再び重荷(標)をせおって3人、駆歩をまじへて小滝駅に出、ようようにして一番汽車をとらへて新潟にかへる(14時)

- 9日 終日標本調製
- 11日 白馬標本調製
- 12日 全上
- 13日 終日標本調製。伊延氏行の標本を整理する
- 16日 標本整理(白馬岳分)。八木一男來訪。尾瀬旅行につき、尾瀬植物の研究
- 17日 佐藤忠司君をつれ、八十里越植物採集。只見線大白川に下車。採集をつづけて五味沢に至り、長岡営林署事務所により石塚誠二氏より國有林内の地理をきゝ、浅井増太郎(長男は乙一氏)方に宿泊。根據とする。夕刻迄五味沢採集。8時すぎ、浅草岳、鬼ヶ面登山かへりの佐藤栄一氏(新潟)、佐藤(*空白あり)氏(亀田)、同宿
- 18日 五味沢國有林右沢湿地の調査
- 19日 全上。左沢湿地の調査。こゝは林道開墾中。午後は雨となり、林道開墾の小屋にて小憩の後、雨について川を遡行する
- 20日 五味沢を大白川駅に下る。駅前の岩山を採集。雨強くふり出し、駅に下る。3時半乗車、9時半新潟にかへる
- 22日、23日 標本整理。川びらき花火(市制施行六十周年記念)
- 25日 午後職員会。夕方、文久堂へ原寛書「種子植物集覧I」(定價850円)を買ひにゆき、更に内藤旅館に赴き、中等教育研究会ワークショップに出席のため滞在の山形市の結城嘉美氏を訪問
- 29日 標本整理調製。結城嘉美先生來訪(夕方)
- 30日 結城先生、朝、來訪。荷物をにおいて佐渡へ旅行さる
- 31日 結城先生、佐渡よりかへられて宿泊さる。標本研究

9月

- 1日 朝10時、結城先生を新潟駅に送る
- 2日 彌彦採集旅行。伊藤至氏宅に宿泊。伊藤氏御令弟シベリア抑留生活より本夕歸還され、祝宴あり
- 3日 伊藤至氏宅にて全氏の標本を研究。附近山中を少しく採集
- 4日 やひこ山裏海岸植物採集。間瀬鑛山あとの谷を遡行する。歸途は間瀬より樋曾に出、巻町まで歩く
- 8日 関屋小学校高見先生、腊葉をたずさえて來訪さる

- 18日 鳥屋野湯生態写真撮影。赤原、八木、佐藤、大谷、尾崎先生
- 22日 鳥屋野校富永氏、植物採集会（市内小学校教員）の件につき来校
- 23日 休日。午後、白馬岳の腊葉の整理に登校。八木、亀井、生物班の雑誌「とやの」№9植物目録の印刷に来る
- 22日 ワシントン大学フライ教授に苔類標本交換の依頼状を出す
- 25日 米国ミシガン大学ステア教授より藓苔標本交換の依頼状到着

10月

- 1日 山ノ下物見山の沼沢地へ採集行。生態写真撮影。大谷、福島、小黑、高田、亀井、大沢、赤原一（写真）。岩野俊逸氏来泊。北海道にて採集の藓苔を持参
- 2日 朝5時、岩野氏を新潟駅に送る
- 8日 小学校（市内）理科研究會の採集会指導。山ノ下物見山湿地。幹事富永家右エ門氏。朝一時間講演の後、出立。4時半終了
- 10日 夜、渡辺常彌君来訪。新聞紙をとめてくれる
- 15日 北蒲車野原湿地、川東村扉山一赤谷、植物採集。八木一男、佐藤忠司同伴。佐藤、クマノゴケをとる。日くれて赤谷に出、7時40分赤谷發。10時、新潟着
- （18日 一年、永松、白根、鶏の解剖をなす）
- 23日 日曜。登校。ステア教授行の標本を整理。大谷、大沢、生物班雑誌「とやの」印刷
- （26日 午後より十周年記念式典準備に入り、連日、生物研究室にて生徒は出品物の準備をなす）
- （28日 十周年記念式典に関するP.T.A.実行委員会（校長室、議長、安藤賛雄氏）あり。夜、河辺廣男、大坂森男両君来遊。3時まで思想問題を論じてゆく）
- （31日 十周年記念講演会「雪と生活—中川光男（積雪連合）」、「社会と学問—齋藤悟郎（新大）」）

11月

- 1日 十周年展覧会準備。米国ミシガン大学ステア教授へ交換用藓類標本200種212点を小包にて發送する
- （3日 創立十周年記念式典。祝賀會）
- （6日 運動会。雨のため、午前だけにて中止。午後、假裝コンクール。一等、池上ルーム「スネーク一座」、二等、河原ルームの「カップ」、その他「だるま」、「太郎さ」、「大名行列」等）
- 8日 東蒲、大蔵岳に採集に赴く。五泉より往復徒歩。明月
- 12日 尾崎先生と北蒲、赤谷の内倉川の奥へ採集にゆ

く。小雨。寒さはげし。7時半、赤谷をたち、10時帰宅

- 14日 理科施設講習会。島津その他出品、説明。夕方、胃癌手術にて大学病院に入院中の藤田先生を見舞う。本日、プラネタリウムの実演あり。帰途、学校により標本整理。米国ワシントン大学フライ教授より寄贈の苔類文献五冊（Hepaticae of North.America）とゞく
- （15日 理科講習会。堀久四郎先生の依頼により、出品軸物のことにて、新潟日報社（朝）、小林デパート（夕）を訪う）
- 16日 吉原正秀先生、植物研究に来訪さる（学校へ）
- （17日 一年箕輪、薄田、蛇の解剖をなす）
- 28日 ワシントン大学フライ教授に交換苔類標本200種250包を發送する
- 29日 屋久島採集旅行を企画し、服部氏、屋久島営林署長に連絡を出す

12月

- （12日 市高創立十周年記念植樹。いちょう雌雄一對）
- 13日 北大教授、雪の研究家「中谷宇吉郎博士」の米国視察講演が夜、イタリア軒にて開かる。米国ケンタッキーのリード教授より羊齒標本交換の依頼あり
- 21日 屋久島採集旅行の為、飯米移動證明をもらいに縣廳及び市役所へ赴き、帰路、十周年記念寄附金のことで馬場機械店にたちよる
- 25日 12時發。九州地方植物採集に出立
- 26日 朝、大阪着。六甲山の植物採集をなし、午後3時、三の宮より乗車、九州にむかう
- 27日 門司にて夜があけ、中津にて汽車を乗換えて耶馬溪に至る。柿坂からバスにて深耶馬溪に赴き、植物採集。ひきかえして羅漢寺を訪問。岩場を採集。月影をふんで青の洞門を下り、洞門駅から乗車、中津町にとまる
- 28日 中津を出立。別府にたちより、日豊線を下って南宮崎にてのりかえて、青島に到って青島館泊り。月夜の青島海岸を採集（ビラウ、ハマオモト等）
- 29日 青島の見学採集後、バスにて鵜戸神宮に赴き、裏山一帯の原始林を採集。10時近く飢肥町につき、服部植物研究所の服部新佐氏宅につく
- 30日 服部植物研究所にて植物研究
- 31日 宮崎縣南那珂郡酒谷村新村的原始林採集。途中、こぶぜ（古布施）の滝を採集、晝食

1950年(昭和25年)

1月

- 1日 飫肥町が日南市となり、旗行列などの祝賀があった。午後、服部氏と陽光をあびて飫肥町の楠原神社及び川畦の土手の採集(コマチゴケ等)をする
- 2日 服部研究所にて植物研究
- 3日 屋久島採集行出立。志布志線にて都城に出、汽車まちの時間に都城郊外を採集。この日は夕刻、鹿児島につき宿泊
- 4日 橋丸にて出帆(9時)。午後4時、種子ヶ島につき下船。附近を日ぐれまで採集。夜、南郊外まで採集。船中宿泊
- 5日 午前3時、西の表出帆。8時、屋久島宮ノ浦に船はたちより、11時安房につく。下船後營林署にたちより、徒歩にて採集しながら小杉谷にむかい、日くれて伐採事務所につき、主任徳川弘氏の接待をうけて宿泊
- 6日 營林署の泉氏の案内をうけて小杉谷の採集をする。この日、午前、吹雪。山奥は積雪あり
- 7日 花の江川、宮の浦岳が積雪のため採集困難につき、荒川の溪谷を採集する
- 8日 雪をおかして花の江川、宮の浦岳を採集。12時近くようよう、小杉谷にかえる
- 9日 採集品の荷づくりをすまして委託。小杉谷を下って安房に出、更に麦生を経て尾の間に至り、10時、日高マツ様方に泊り、温泉に入る
- 10日 尾の間奥の滝へ採集に赴いたが、路が不良のため滝まで行かずに帰る
- 11日 再び前日の谷へ採集に入り、密林を下って漸々滝に至る
- 12日 トラックにて安房に出、營林署の貯木場にて採集品の荷造をして之をかつぎ下し、丸通主人の助力を得て縄かけをする。この日、安房の營林署寮にとまる。夕方、署の(*空白)氏その他と共に海岸林の植物採集
- 13日 船が出ないため、船行の山おくへ採集に赴く。夕立あり
- 14日 雄島丸にて屋久島を離島。途中、颱風となり、難航。ようよう西の表につく。夜まで植物採集
- 15日 種子ヶ島採集。西の表—(山中の丘)—(海岸)—(*空白)。午後9時出帆
- 16日 午前4時半、鹿児島につく。西郷隆盛墓附近及び城山採集。正午、船にてに出、更にバスにて鹿ノ屋に出、附近採集。汽車にて志布志をへて夜おそく飫肥町の服部氏宅につく
- 17日 服部研究所にて植物研究。名古屋へ出張の服部氏が風邪のため夜中にトラックにて帰宅

- 18日 全上。標本研究
- 19日 全上。標本研究。猪八重行のトラックのことで、夜、堀徹氏を訪問
- 20日 快晴。飫肥町北方の猪八重溪谷の原始林の植物採集
- 21日 荷造り。營林署へ礼に行く。午後、飫肥城址採集
- 22日 飫肥出立。急行バスにて宮崎に出、準急にて大分に赴く。野口彰氏出迎えられ、大伴屋敷の野口氏宅に宿泊
- 23日 野口氏と電車にて大分大学教育学部(王子町)にゆき、植物(蘚苔)研究。3時半、大分を立って阿蘇登山口の坊中にとまる
- 24日 午前、阿蘇登山。快晴。午後、熊本に出、城址を採集。樓閣觀覽。午後4時半、鹿児島本線にて廣島にむかって出立
- 25日 未明、廣島につき、廣島大学に堀川教授、辰野博士、鈴木助手を訪問。終日、研究。夜汽車にて出立、京都に赴く
- 26日 京都下車。嵐山の植物採集。夜汽車にて出立
- 27日 夕方、新潟にかえる
- (28日 日直、宿直)

2月

- 1日 標本包紙のことにつき、活版屋、紙屋(富岡)へ交渉に赴く
- 4日 屋久島からの標本未着のため丸通へ照會にゆく。伊藤至氏、「彌彦の植物誌」の整理について來泊。ヤヒコザサの製図など
- 5日 終日、伊藤氏、植物研究。彌彦植物誌の修正
- 12日 伊藤至氏、「彌彦植物誌」修正について來訪。夜、河辺廣男君來訪
- 14日 研究中の蘚苔標本の包紙の形式を決定
- 19日 伊藤氏「彌彦植物誌」修正に來訪

3月

- 4日 伊藤至氏、「彌彦植物誌」修正に來訪
- (8日 理科教室増築につき、縣立工業、縣立高校參觀)
- (18日 長男「純一」誕生(午後8時))
- 30日 伊藤氏、「彌彦植物誌」修正に來訪

4月

- 3日 キクをつれ標本整理に登校
- 4日 全上。終日、学校にて標本整理
- 15日 伊藤氏、ヤヒコ植物誌の修正の為、研究に來校
- (18日 夜8時、台湾へかえられる姚榮坡先生を新潟駅に見送る)
- 23日 中蒲、菅名山の植物採集行。八木、渡辺、亀井、高田、小黑。馬下駅より徒歩。小山田の彼岸桜

の林（天然記念物）を見学、採集。午後、菅名
國有林を採集。日くれて五泉まで歩き（上弦の
月）、10時、新潟にかえる

- 28日 新大教育学部高田分校の大平正平君、植物研究
に來泊
29日 大平君と鳥屋野潟及び新潟海岸砂丘の植物採集
30日 大平君、午前中、植物研究。12時半の汽車で
かえる。駅まで見送る

5月

- 13日 指導要録研究会（三條市三條実業高校）。4時
半終了後、本成寺山中を植物採集。9時、東三
條發、10時半新潟帰着
(16日 夜、炭素同化作用の問題について上村、布施
両君來訪)
25日 午後3時、新津駅にて中井猛之進博士（國立科
学博物館長）、全助手丸山尚敏氏を出迎え、駅
前喫茶店にて休憩の上、16時7分磐越線にの
り津川に至り、津川温泉松仙閣に宿泊
26日 宿の主人、西脇總太郎氏をまじえ、きりん山の
植物を研究。主目的、ユキツバキの苗穂採集。
17時28分津川をたち、修学旅行の小学生と
同車。新潟に出、礎町の吉田屋旅館に中井先生
を案内
27日 朝、吉田屋旅館に中井先生を訪問。9時40分
の上野行急行にておたちの中井先生、丸山氏を
駅頭に見送る
29日 三年生、修学旅行。箱根、江の島、鎌倉方面。
夜8時25分、新潟駅發
30日 朝、上野着。雨模様。電車にのりかえ、11時、
箱根強羅着。観光旅館におちつく。午後、生物
班員をつれ強羅にて「まだけ」の花を採集。小
涌谷の千條滝附近一蘆ノ湯一元箱根まで採集を
つづけて、バスにて強羅にかえる。小黑良一を、
「祖母死す」の電報により1日早朝にかえす準
備をする
31日 5時15分、帰宅する小黑良一を強羅駅に見送
る。生物班員をつれ大涌谷より湖尻まで採集。
湖尻から元箱根まで急行軍をして1時半の集合
にまにあわす（生徒は船にて元箱根へ）。2時、
全員バスにて出立。十国峠を熱海に下る。附近
採集。17時11分の汽車にのり、江の島に至
る。江の島の二見旅館がせまいためと事情不明
のため、生徒は轉宿を希望したが、事情をき、
快く諒承して前の旅館の二階と二つにわかれて
とまる

6月

- 1日 雨。江の島、鎌倉（大仏と八幡宮）を見学して

午後1時、東京駅に下車、解散。佐藤忠司をつ
れ宮城附近をめぐり、上野に出、博物館に赴く。
中井館長及び学部訪問（佐竹、奥山、小林氏。
それに服部新佐氏が来合せて居った）。佐藤
は、事務員の案内で館内見学。服部氏をホーム
に見送り、夕方、佐藤と忍池から東京大学附近
をめぐって上野駅にかえる。9時40分の新潟
行に乗車

- 4日 朝、宮浦中学校へ投票に赴く。枡口一水氏のい
けばな會員の「ごまどう山植物研究会」にまね
かれて同道。午後は雨となり湯田上を下り、了
玄庵の「つなぎがや」を見て田上駅よりかえる
8日 大畑小学校の植物採集會を指導。関屋海岸砂丘
植物の研究
(21日 縣指導課、遠山憲夫主事、理科教室の設計の
件につき來校。校長室にて服部校長、牧野、
池上懇談)
(24日 理科教室増築案につき関係職員の會議)
(30日 東大助教授矢野健太郎氏（数学科）の講演（ピ
タゴラスの業績等について）

7月

- (4日 生物教室の設計図を仕上げる)
13日 伊藤至氏、植物研究に來校。白山駅まで見送る
15日 伊藤至氏の彌彦植物誌の校正をおわる
(18日 市役所にて校舎増築の打合せ)
27日 連日整理の蘚苔標本の處理おわる。通番号
17613。八木一男、注文の蘚類文献及び標
本集をとりに来る
31日 頸城アルプスの採集旅行に出立。三年、亀井、
大黒隨行。10時20分大坂行にて。5時、梶
屋敷に下車。附近採集の後、バスにて音坂に至
り、徒歩、夕刻、笹倉温泉につく

8月

- 1日 焼山登山。九合目の岩小屋にとまる（晴天）
2日 焼山に上り、火打山を経て高谷池の小屋にとま
る。晴天。火打山頂にて雷鳥にあう
3日 高谷池を出立。黒澤池、大正池を経て妙高山に
上る。途中、妙高山腹にて雷雨にあう。6時近
く頂上に上り、夕景を眺めて下り、南地ごく谷
の大谷ヒュッテにとまり、露天風呂に入る
4日 赤倉に上り、バスにて田口駅に出る。河辺広男
（妙高登山）にあう。10時半、新潟着
5日 連日、学校へ通って腊葉調製
13日 妙高三山の腊葉完成。T.C.Frye 教授より來信
17日 清水トンネル北口へ植物採集に出立。小黑一良
同伴。正午、上越線土樽駅下車。山の家に止宿。
午後、蓬沢、檜又沢の採集

- 18日 全右。土樽村、毛渡沢、仙之倉沢採集
 19日 土樽一中里採集。小黑帰宅。午後、大源太山採集。小坂、朝日旅館にとまる
 24日 午後は学校にて標本整理
 (29日 国立公園山岳映画観覧(公會堂)。生物班生徒と赴く。銀山平、尾瀬、飯豊山の熊狩、苗場のスキー、秋の上高地等)
 31日 山本完二郎氏より苔類標本全部の恵與をうく

9月

- 9日 午前、井口一水氏、植物研究に来訪
 (13日 日蝕あり。物理班生徒、校庭にて観測)
 18日 ワシントン大学フライ教授に藓類交換の返書をおくる。市内中学校、腊葉、昆虫標本展の審査に科学技術博物館に赴く
 22日 生物教室設計の参考に中央高校(女学校)の阿部先生を訪問。県立高校の松田先生(生物)みえらる。帰途、北見秀夫氏の佐渡植物誌校正のことについて青木印刷所を訪問
 23日 古志採集旅行出立。長岡悠久山の湿地を研究後、森立峠より軽井沢、一ノ貝をこえて栃尾に出、稲田豊八氏のお世話で栃尾高校の寄宿舎にとまる(吉原正秀、伊藤至、尾崎富衛、古川鉄一同行)
 24日 稲田氏の案内で栃尾郊外、平附近の湿地を研究。新大工学部小林先生、下塩谷の校長、栃尾高校の教官、生徒2、3参加。4時半バスにて見附に出てかえる

10月

- 3日 北見氏の「佐渡植物目録」の校正をおわり、校正原稿を青木印刷所にとりけにゆく
 6日 午後5時、新津駅に中井博士(丸山尚敏氏同伴)出迎。王子病院高橋女史も新発田への帰省の途次同道。日くれて津川、きりん山温泉、松仙閣にとまる。津川町長あいさつに来る
 7日 中井博士のきりん山採集の御案内をする。丸山氏及び松泉閣の主人西脇總太郎氏同道。他に津川町助役、高橋女史等もきりん山に登る
 8日 朝、高橋女史、新発田にかえる。中井先生、かのせの越戸峠まで採集。丸山氏、西脇氏とユキツバキの夜道をかえる。深戸の一中学生にあい、土民の採取状況などを知る
 9日 中井先生、きりん山の松坂峠を採集。ヤマツ、ジ、マタタビ、杉など研究
 10日 9時35分津川駅着。新津下車。郊外に出て中井博士、丸山氏と、トネリコの実をさがす。秋葉山に出て晝食。午後3時の汽車で新潟に出、礎町の吉田旅館に中井先生止宿。夜、訪問す
 11日 中井先生、丸山氏を大和デパートに案内。バス

にて駅に出、12時35分の急行にて出立の博士を見送る。午後は登校して採集品の整理をする

- (14日 玉井、小黑、腊葉箱を学校にはこんでくれる)
 25日 大野豊君、きのこの標本、保存、調査方法等につき来訪
 26日 藤島玄氏、「妙高、戸隠の自然」を一部持参、恵與さる

11月

- 5日 生物班全員、鳥屋野湯姥が山湿地へ採集に赴き、夕刻、ボートに乗り、日くれてかえる
 11日 12日、新潟大学にて開催の越佐昆虫同好会の虫談会に発表のため、坂井誠司、小黑一良、大谷亘等、夜11時までとうろ印刷を生物研究室で行う(坂井—ヌルデノオオミミフシの翅脈異常について)
 12日 伊藤至氏来訪予定のところ所用のため来られず、夕方、尾崎先生、ハヤトウリの標本を持って来遊さる
 16日 ワシントン大学フライ教授より寄贈の米国産藓類標本104点到着
 19日 鈴木正也(二年)、伊藤至氏と3人でやひこ山採集。時折、雨。繪馬殿で休憩。ミズバショウの自生地見学(發車前、尾崎先生に連絡のため、西堀の高田信君を訪問)
 24日 吉原正秀氏、腊葉研究、悠久山博物館建設のことなどについて来訪、一泊
 25日 吉原氏、学校にて植物研究。辯論大会
 26日 文化祭。生物班では生物班新聞、昆虫標本など出品。藝能祭—「音楽コンクール」、荒城の月、相川音頭、「劇」、交番夜話(飯島等)、寒鴨(吉田、齊藤等)、アルトハイデルベルグ(定時制生徒)

12月

- (2日 坂井誠司、高校生物研究発表会出場準備。「ヌルデノオオミミフシの翅脈異常」について)
 (23日 終業式。水戸部文雄、夕方まで「生物の発生」について、勉強していく)
 (30日 課外授業終了)

1951年(昭和26年)

1月

- 8日 ワシントン大学フライ教授に交換用藓苔標本100点を送る
 (17日 新潟日報社寫真部員、生物研究室をうつしに来る)

19日 水島町高校生クラブの講座に行く(感覚の話)

2月

- (3日 理科教室増築設計に関し、市役所本多建築課長と協議(石崎、牧野、池上))
- (16日 新潟署刑事横山君、種子の鑑定依頼に来る)
- 18日 通信教育週末考査(於新津高校)。青年心理受験。終了後、秋葉山採集(松田、高橋両先生同道)

3月

- (1日 第三回卒業式。写真帳に蛙の絵と署名を沢山にさせられる。生物班、亀井、高田、本野、玉井、渡辺、北沢等、蛙の絵を切りわかつてかえる)
- (15日 玉井、亀井は、連日、研究室に來り、生物論文の研究の仕上げに没頭(玉井—デスミッド、亀井—ペロニカ属種子の研究))
- 20日 吉原正秀先生、植物研究に御来泊。藤島玄氏、津川行のことについて来訪

4月

- 2日 尾崎先生と鳥屋野湯の植物採集。姥ヶ山校に立ちよりバスでかえる
- 3日 藤島玄氏、津川行のことについて来訪
- 5日 中井博士案内の下調査にきりん山に赴く。藤島氏、松泉閣主人西脇總太郎氏同道。松泉閣にとまる。夜、藤島氏は、飯豊山の原色撮影、山の草木(武田久吉氏)、捕鯨、星座等の幻燈を試寫
- 6日 藤島、西脇両氏と東蒲原郡西山日光寺まで採集に赴く。雪二尺ほどあり。早く帰って宿直
- 13日 佐渡の本間建一郎氏、蘚苔研究に來泊
- 14日 本間氏、午前、研究。午後、本間氏を八木君、小木商店等に案内。3時、中央埠頭に見送る
- 30日 中井猛之進博士、植物研究に來越(東京國立科学博物館)。中山道雄技官(寫真)、村田忠次事務官(庶務)同道。午後4時45分新津駅に出迎え(汽車待ちに秋葉山採集)。津川に赴き、きりん山松泉閣に投宿

5月

- 1日 松泉閣主人西脇總太郎氏及び津川町菓子屋主人の案内で、一行、津川丘陵のユキツバキ群落(中に白花品10数本)を撮影に赴く。午後は松坂峠、きりん山千疊岩附近採集
- 2日 9時半、津川出立。新津で1時間ほど汽車をまち、信越線で鉢崎に出、植物採集。5時半、再び汽車にのり直江津に出る。直江津で中井先生におわかれして青海町にとまる
- 3日 黒姫山植物採集。市振に至り、駅前旅館にとま

る。主人建部氏よりシャクナゲの話をきく

- 4日 市振—越中境—大平—荒沢—上路—市振と採集。上路村にて松沢正一氏(助役)の案内をきき、シャクナゲの生育地をみにゆき、松沢氏宅にたちよりシャクナゲの花をもらってかえる。2時半乗車。10時半新潟につく
- 5日 標本整理に登校。伊藤至氏、植物研究に來訪。夜、清水久雄君、チューリップの畸形花をもって來遊
- 14日 理科教室増築工事のため、臨時、教務室を校長室に合併。放課後、生物班員と砂丘植物の採集
- 15日 大畑小学校の植物採集會指導。関屋浜—寄居浜
- 20日 万代小学校へ中庭の植物鑑定に赴く
- 26日 刈羽砂丘の植物を採集。夜、新潟にかえる
- 27日 指導要録研究會(三條実業高校)。文部省事務官林部氏、小林指導主事の話等。4時半終了。後、大崎村山中へ植物採集に赴く

6月

- 3日 北蒲島坂山裏胎内川湿地へ植物採集に赴く
- 5日 栃尾の稲田豊八氏、長岡科学博物館のことについて來訪。夜は、新大理学部へ來講中の國立科学博物館佐竹義輔博士を新大の寮の杉山隆二教授(地質)の部屋に訪問
- 10日 蘚苔標本のレッテル形式研究。貼附式に改める
- 13日 榮小学校の職員の植物指導會に赴く(午後)。帰途、砂丘をめぐり、多くの外来帰化植物を採集してかえる(夕方、学校で整理する。佐藤忠司君來遊)。
- ハタザオガラシ、アマナズナ、カナリークサヨシ、クジラグサ、シナガワハギ、ウマノチヤヒキ、ホソムギ、カミツレモドキ、コシミノナズナ、ムラサキ科の一品等(本日、球技大会第二日目。卓球に出る)
- 17日 尾崎先生、定時制生徒高橋、池上の三名にて山之下、北蒲松ヶ崎方面採集。飛行場のジェット機二機離陸を見学(シロバナヒルガオ、イヌムギ、ムシクサ等採集)
- 20日 大平正平、八木一男、植物研究に來訪
- (22日 貞明皇后葬儀。教員組合新潟支部大會(於官公労會館。(議題、平和、講話運動等))

7月

- 1日 西蒲鋸湯、上堰湯、角田へデスミッド、一般植物の採集に赴く
- 10日 伊藤至氏、植物研究に來校さる
- 17日 大平正平君、本間、相馬両君(新潟大学)來訪。蘚苔鑑定
- 24日 北魚沼へ採集旅行。小出下車。大平正平君、出

迎。小出附近及び原虫野新田のザゼンソウ自生地を採集。大平君の家(平溝)によって晝食後、平溝山中を溪谷にそって夕方まで採集。大平君宅にとまる

- 25日 大平君と峠越に大倉に出、水無川の谷を深く、八海山頂直下まで採集。帰路、夕立のため川があふれ、炭焼の人々15人と共に3時間ほど小屋で減水をまち、8時半、ようよう川を渡ってかえる。大平君宅へ12時半につく
- 26日 干溝附近の湿地の研究をする。午後4時50分、小出駅で大平君とわかれ、途中、長岡に下車。10時、新潟にかえる
- 29日 標本整理に登校

8月

- 4日 秩父採集旅行出発
- 5日 高崎下車。信越線にのりかえ松井田に降り、徒歩妙義町に至り、玉屋旅館に荷をあずけて、白雲山、金洞山の採集。日くれて玉屋にかえり宿泊
- 6日 秩父、長瀬の秩父科学博物館訪問。主任新井(*空白)氏、植物部永野巖氏にあう。永野氏と長瀬峡までコケの採集に出る。夕方、秩父町に出、清水武甲氏(写真業。山岳会支部長)——(大典氏の兄)を訪問。武甲山その他の案内をうける。清水氏の紹介で梅の湯旅館にとまる。町には七夕まつりコンクールがあった
- 7日 武甲山植物採集。宇根から上って日野田に日くれて下る。前宿泊り
- 8日 三峰口まで電車、太陽寺口までバス。徒歩にて大血川の東大農学部演習林に赴く。3時まで事ム所の梅津故雄氏をまって附近採集。はげしい夕立があった。夕方、奥の谷へ採集にゆく。45cm位のヤマビルが出た。夜、演習林事務所で梅津氏と一しょに泊る
- 9日 太陽寺、お経平、白岩小屋をへて雲取山の小屋にとまる
- 10日 朝、雲取小屋の管理人、富田治三郎氏の案内で附近のコケの多いところを2時間ほど採集。10時、小屋を出て頂上を経、七ツ石山、鷹の巣山を下って氷川に出、氷川山荘にとまる。はげしい雷雨と降電があり、七ツ石山のほこらで3時間ほど雨やどりをする。9時、氷川を下る。氷川では羽黒神社の祭典で山車が出ていた
- 11日 混雑のバスにゆられて日原に赴く。鍾乳洞見学。東京、日野工業の戸田貞夫氏夫妻同道。夕立あり。後、鍾乳洞奥沢へコケの採集に赴く。かえり氷川まで徒歩。強雨があった
- 12日 氷川町あたご山採集後、御嶽に上る。青海(*

梅?)高校生2名、奥宮まで植物採集同道。生徒と別れて七代の滝、ロックガーデン奥へ採集に入り、日くれてみたけより立川を経て東京に出る。盆かえりのため、汽車混雑。荷物が多くて乗れず、駅前どまり

- 13日 午前、上野公園で標本を荷造りにして出す。博物館訪問一定休日。夜、混雑の汽車でかえる
- 14日 朝、新潟着。本日より一週間、毎日、学校にて腊葉整理にあたる

9月

- 3日 伊藤至氏、関東の植物標本をたずさえて研究に來校
- (9日 米国時間8日、対日講和條約調印。首席全権吉田茂氏(於サンフランシスコ))
- 12日 生物班員、天野稔、鈴木正也をつれて上所植物採集。中庭の植物園栽植用のものを採集
- (14日 生物班員、中庭の植物園を整地する)
- 15日 伊藤至氏と西蒲、赤塚方面植物採集(御手洗湯、佐潟、上堰潟)——(稲島)伊藤氏宅にとまる
- 16日 雨。朝、尾崎富衛氏、伊藤氏宅に來り採集に参加。午前は雨のため標本研究。午後は雨をおかして谷を採集
- 21日 植物学会出席のため山形縣鶴岡市に赴く。新津郊外採集。中井博士を新津駅にて待ちあわせ同車。前川、原、古沢、木村氏及び佐渡の北見氏同車。佐藤正巳氏の出迎あり。駅前の庄内ホテルにとまる。木村、古沢、古屋、池上、4人
- 22日 山形大学農学部における日本植物学会に出席。午前、結城、亘理、渡辺3氏の講演、午後、一般講演。琉球採集談、ウォーカー氏。一行、湯田川温泉に宿泊。楠氏と共に中井博士の部屋に同宿。夜、バス会社二階で分類学会があり、アメリカ、ワシントン博物館のウォーカー氏の琉球採集旅行の映寫觀覽。菊地政雄氏と語る
- 23日 朝、湯田川温泉附近(宮の森及び奥の沢)採集。武田久吉氏とバスに同車して会場にいたる。武田博士の稲田撮影のおともをする。晝食に市の招待宴があり。郷土藝術の披露、寫真撮影があった。北見氏と近郊採集。新大、相馬氏の気孔計の發表があった。夜、宿(御殿旅館)で形態学会が催された
- 24日 羽黒山見学、採集。中井先生のお伴をする。2時、バスにて大山町に下り(途中、鶴岡物産館見学)、酒造工場見学後、公園附近採集(菊地政雄氏、林彌榮氏と沼まで下る)。大山駅から乗車して温海に至り、万国屋にとまる。夜、分類学会があったが、秩父の前田氏、東京の内藤詳三氏(書店)と話して出席せず。同宿は他に

江本義数氏、印東弘玄氏、田中剛氏

- 25日 温海岳採集会。前川、原、古沢、木村、亘理氏等、途中からひきかえす。北見氏、森氏と頂上に登る。無電局にたちより、北見氏、新大の真保氏に通信をなす。夜汽車にて一行、帰途につく
- 28日 堀川芳雄博士を新潟駅に出迎え、田中旅館に案内する。堀川博士は29日、佐渡にむこう
- 29日 生物班員をつれ砂丘へ植込用の植物をとりに行く。鈴木、後藤、天野、太田、永松、箕輪
- 30日 枅口一水氏主催のいけばな同志會植物研究会の指導に中蒲、金津滝に赴く

10月

- 4日 縣種殖畜場（南蒲、森町）へ植物指導に赴く。場内外の植物採集指導。場長（小林恒治）官舎にとまる
- 5日 全上。牧場奥の沢及び尾根採集（高杉晋介、横大路作郎、阿部信光氏同行）
- 6日 五十嵐川河畔の採集及び腊葉鑑定（採集同行、上記3氏）
- 7日 運動会。標本整理
- 8日 西蒲原郡の湖沼ヘデスミッドの採集に赴く。赤塚ドンチ池、田潟、大潟、黒崎村一小新。生物班員天野、鈴木同行。日くれて平島より電鉄でかえる
- 16日 伊藤至氏、アザミ属植物研究に来泊
- 20日 岩船郡桑川へ植物採集行
- 26日 岩野俊逸氏来訪、二泊。植物研究

11月

- (1日 新校舎へ生物研究室を移轉する)
- (2日 顕微鏡映寫機到着。試寫。(定時制教務室にて服部校長、阿部主事、生物班員天野、鈴木、後藤、安沢、卒業生佐藤等)。中庭に水槽をつくることについて新潟市役所土木課長川上氏、来校。生物班員(天野、鈴木、後藤)と協議。新大生鈴木、佐藤、けんぴ鏡実習に来る)
- 3日 卒業生佐藤忠司、蘚苔研究に来訪
- 11日 伊藤至氏、植物研究に来訪(アザミの研究)
- 14日 津川のキリン山の天然記念物指定につき、新潟大学、真保一輔教授と共に津川に赴く。役場に立ち寄り、赤城源三郎氏(助役)、西脇總太郎氏(松泉閣)その他とキリン山に上る。松泉閣にとまる
- 15日 真保先生、西脇氏、中島良一氏(津川高校)、寫真屋とキリン山千疊岩(午前)、松坂峠(午後)をみて、4時12分の下りで新潟にかえる
- (17日、18日 生理、保健の單位認定講習。於縣立高校。講師、新潟大学醫學部生理学教室、高

木健太郎氏。神経の生理、生物電気等)

- 22日 大平正平氏、植物研究に来訪。宿直
- 23日 吉原正秀氏、植物研究に来訪。一泊さる。本日は学校にて植物研究
- 24日 吉原氏、植物研究。午後、2時48分、新潟駅まで見送り

12月

- 11日 伊藤至氏「アザミ」の研究に来訪(午後5時~8時)
- 20日 夕方、新大理学部真保先生を訪問(天然記念物申請用の津川きりん山の寫真について)
- (26日 新任の羽鳥先生(生物科)見えらる)

1952年(昭和27年)

1月

- (1日 元旦。祝賀に学校に赴く)
- 7日 登校。高田君の持参してくれた京都の植物(こけ)を整理。志賀君と卓球練習。5時16分、ナカ等を新潟駅に出迎える
- (26日 展覧会準備に12時迄かゝる。坂井、後藤、鈴木、玉井(卒業生))
- 29日 服部氏依頼の文献製本の件について、日くれて神田製本屋へ

2月

- 10日 伊藤至氏、アザミ属の研究に来訪
- 26日 大平正平君、八海山の植物調査の予報の原稿を持参、校正依頼。腊葉の分類、羊歯植物了

3月

- (1日 第四回卒業式。NHKの録音あり)
- 7日 羽鳥先生、金沢大学へ出張。佐藤忠司君来訪。標本整理を手つだってくれる。生物科生徒、ケンピ鏡レポート作製をおそくまでやる
- 13日 佐藤忠司君、学校に来訪。長々整理の腊葉分類一段落

4月

- 3日 白馬岳のコケの標本番号改定のため学校へ
- 11日 新潟大学、真保一輔教授来訪さる
- 19日 佐渡の本間建一郎氏、蘚類専攻決定(*Fissidens*)に来訪一泊
- (28日 講和條約発効)
- (30日 講和條約締結記念講演。松井敬氏(新潟日報主筆))

5月

- (6日 朝、新大理学部学生大森康正君来訪(友人一名と))
- 9日 南蒲、森町村の縣種畜場へ植物の指導に赴く。一泊。小林場長、高杉、横大路、近藤正夫、その他の諸氏、同道採集
- 10日 小雨。前日にひきつづいて野外植物指導。午前山地、午後は河原を採集。棚鮎に至る。9時、新潟にかえる
- 11日 新潟大学へ来講の佐竹義輔博士を真保先生の研究室に訪問。ヤブマオ、ホシクサ、牛類標本など研究
- 17日 福島潟採集行。牧野、佐藤平治同道
- 20日 中井博士、丸山尚敏助手を伴って津川へ採集に来る。新津に出迎え津川に至り、松泉閣に投宿。夜、赤城助役、天然記念物の件について来訪。新発田の田塚?氏投宿
- 21日 きりん山、千疊岩、松坂峠の採集。(松泉閣主人西脇總太郎氏は23日まで毎日同道)
- 22日 鹿の瀬の東の沢へ採集に赴く(中井、丸山、西脇、池上)
- 23日 写真屋を伴いきりん山に寄り、天然記念物指定申請用の写真をとらす
- 24日 鹿瀬村役場に天然記念物のことにより立ちより、鹿の瀬駅よりおかえりの中井先生を見送る(11時25分)。午後、同村、角神のおくへ採集にゆき、夜、新潟にかえる。午後は雨となる
- 28日 新潟砂丘へ帰化植物をみにゆく(佐藤忠司、佐藤平治、牧野、大平)
- 30日 西蒲坂井輪村の湖沼を午前、採集。午後は、五十嵐浜を採集。内野に出、バスにてかえる。大平氏、同道

6月

- 7日 午後、組合の大会(破防法粉碎抗議大会—宮浦町の全官会館)に出席。4時より埠頭へ帰化植物の調査に赴く
- 13日 本間建一郎氏、蘚類研究に來泊
- 14日 東蒲、馬下一熊渡採集行。本間、牧野、佐藤同道。6時の汽車におくれ、上りにて五十島に出、駅にて汽車をまち、10時、新潟にかえる
- 15日 本間建一郎氏、午前、蘚類研究

7月

- (16日 全校水泳。二年卒礼ルームの大滝学、水泳中、けいれんを起して水に沈み、行方不明となり、大さわぎとなり、職員は徹夜搜索にあたる)
- (17日 強雨。早朝(7時)、網にて大滝君の死体上る。葬儀委員として準校葬の準備に奔走)

- 18日 尾崎先生、イブリサシ山植物目録の校正依頼に来る。夜10時、帰宅
- 28日 岩船郡杖檜岳^{イブリサシ}採集旅行出立。関川村役場により、須藤長二氏に山のようすをきき、大石川の西岸を採集してのぼり、大石にて(午後3時)尾崎富衛先生を待ちあわせて沢をのぼり、日くれ、金山小屋に泊る
- 29日 金山小屋から大熊小屋まで採集。大熊小屋泊り
- 30日 岳登山。頂上の小屋つぶれ、修理してすみに泊る
- 31日 風雨はげし。池上だけ頂上採集。雨にうたれて下山。大熊小屋泊り

8月

- 1日 小屋下の大熊川が雨であふれて渡れず、いま一泊。終日、雨ふる。夕方、裏へ採集に出る
- 2日 難渋して川をわたって帰途につく
- 4日 縣科学技術博物館主催の小中学生の採集指導に新津秋葉山へ(金子、関根、富永)
- 5日 午前、博物館で整理、お話など。午後、中央高校の認定講習(植物、新大、田沢康夫教授)
- 7日 地衣の研究について佐渡高校の渡部貞吉氏来校
- (8日 認定講習終了)
- 9日 夜行にて秩父採集旅行に出立
- 10日 長瀨附近採集。秩父科学博物館の永野巖氏訪問。午後、全氏と裏の宝塔山を採集。永野氏のところ(秩父町、鉄道寮)にとまる
- 11日 武甲山、日野田の沢及び橋立鍾乳洞の見学、採集。夜、東京の永野氏の友人2名、來泊
- 12日 三峯採集後、徒歩、栃本に至り、大村旅館にとまる
- 13日 栃本より山を経て十文字小屋へ。途中、夕立あり
- 14日 十文字峠、大山、白岩、三宝山を経て甲武信岳へ。夕立あり。甲武信小屋泊り
- 15日 真の沢より柳小屋に下る。東大演習林の前田禎吉氏が金峰山より下りてくるのに邂逅。共に川又に下り、演習林事務所にとまる。東京の春田俊郎氏、蛾の採集に來泊。夜どおし室内で電燈にあつまる蛾の採集。発電工場の火薬盗難事件のため警官多数宿泊
- 16日 豆焼沢の採集を行う。刑事2名、山中捜査に来る。夜、前田氏の送別会(林業試験場へ)のため、事務所も寮も留守となる。11時半、隣村の青年、電燈を借りに立ちよる
- 17日 トラックにて秩父に下り、長瀨に出、博物館にて荷造。伊藤洋博士採集にこられる筈のところみえず、参加者の1人、永野氏宅に一しょにとまる。前田氏来訪

- 18日 清水武甲氏宅に清水大典氏（服部研究所）を訪問。午後、長瀬博物館に赴いて標本荷造発送。夕方、熊谷に下り、荒川畦を採集。夜汽車にて新潟へ
- 20日 村上町に於ける小中学校教員の植物採集会指導（臥牛山）。帰途、瀬波海岸を採集
- 22日 卒業生金塚博来訪。 標本整理

9月

- 6日 牧野恭次をつれて新津方面へ採集行（田家—小口—草水—新津）
- 11日 新大学生大森康正君、伊藤先生より依頼のキョスミウツボをとげに来校。夜、学校にて標本整理。
- 14日 村上町桜丘高校の伊藤先生、海藻標本鑑定依頼に来る
- (16日 生物教室内の陳列棚が完成し、標本の移転陳列をする。7月から工事中の書斎増築工事の大仕事、本日終了)
- 18日 亀田方面採集行。佐藤平治同道。稲葉、北山、丸山、駒込、西山の池をしらべ本所に出て、バスにてかえる
- 19日 午前、学校で標本整理。朝日新聞の記者来訪。「関屋小学校生徒の採集したグンバイナヅナ」について
- (21日 新しい書斎へ図書、標本をうつし、本夕より使用)
- 23日 佐藤平治をつれ蒲原遺留湿地の植物採集（鳥屋野—女池—鳥屋野—清五郎—早通—丸湯—須川—鳥屋野）
- 27日 純一をつれ、气象台わきへヤハズソウの研究に赴く。夕方、尾崎先生来訪
- 28日 華道教師の植物採集会（主催、枅口—水氏）の指導。東蒲五十島—岩谷の平等寺（薬師堂、將軍杉）—三川温泉—白崎（午前快晴、夕方から雨）

10月

- 4日 北蒲原の聖籠、紫雲寺村の湿地研究に赴く
- 6日 津川へ本田正次博士依頼のユキツバキの実をとりに赴く。松仙閣主人と津川町西の山及びきりん山を採集。主人、西脇總太郎氏の蛾類轉寫（鱗粉）の作品をみる。番頭、駅までツバキの実をはこびながら見送り
- (7日 新大高田分校の矢部孝二氏、大平君の案内にて研究室に来訪さる)
- 8日 日本遺傳学会に出席（新大医学部）。宿直。西脇氏への蛾類目録（天産誌）をタイプライト。夕方、尾崎先生を二葉中学に訪問。砂丘採集
- 9日 全上。辰野氏、矢野氏の発表あり。夜、染色体

学会（新大理学部）

電子顕微鏡でみた染色体の構造（幻燈）。阪大、安澄権八郎博士

バッタの精原細胞、癌細胞の細胞分裂（映画）。北大、牧野佐二郎博士編

- 11日 北蒲安田村、笹岡村方面の湿地調査。雨の中、五泉まで歩いて終列車でかえる
- 17日 尾崎先生と長岡行。悠久山の長岡科学博物館の標本をみてやる。吉原正秀先生出迎
- 18日 吉原、尾崎両先生と悠久山、成願寺池、乙吉（ミヅバショウ、ナリヒラの花等をみる）を採集。森立峠に上り、日くれて博物館にかえる。稲田豊八氏来泊。會食。本日も12時すぎまで腊葉をみる
- 19日 認定講習に出席（長岡高校。新大、高木健太郎博士の生理講座）。朝、積雪博物館見学。3時から又、博物館にて腊葉研究。終列車で新潟にかえる。吉原先生御見送り。尾崎先生、終始同道
- 24日 長岡東中学校に吉原正秀先生を訪問。植物標本研究。同校宿直室にとまる
- 25日 認定講習（長岡高校）。高木健太郎博士、「心臓の生理」。おわって前日にひきつづき、吉原先生の標本研究
- 26日 吉原、尾崎（湯沢より来らる）両先生と北谷村の池、八ヶ所ほど植物採集。名木野の池畔の宮内老人の小屋で晝食。桑探峠を大田に下る。栃尾鉄道にて長岡にかえり、吉原先生宅にて夕食を馳走になり、終列車で新潟へかえる
- 31日 新大、沢野十蔵博士来遊

11月

- 4日 代休。日本晴れ。岩船坂町近郊の湿地調査（平木田、いだ天山の池、中野の野地、山の用水、池等）
- 8日 白崎—津川、植物採集。佐藤平治同道。馬下にて下車採集。本尊岩の石灰地を主に研究。小雨。帰途、津川より石倉定君同車
- 12日 内野中学校郷土調査指導会。午前、五十嵐浜方面へ採集（武田克忠氏及理科教師2名）午後、講話。武田先生宅で内野中学、池田先生と共に夕食を馳走になり、終列車でかえる。樋口昇先生同車
- (20日 新潟大学医学部沢野十蔵博士来遊さる)
- (21日 三島郡西越高校の満沢匡教諭視察（生物）に来校)
- 29日 終日、学校にて腊葉整理。佐藤平治、佐藤忠司、研究に来る。服部校長、標本室増築について懇談

12月

- 9日 東京科学博物館長中井猛之進博士、脳血栓に肺炎を併発、6日御逝去の旨、新聞にみえ、香典をおくる
(12日 中井猛之進博士の博物館葬。弔電をおくる)
16日 宿直、腊葉の分類整理
(31日 29日より3日ほど風邪で寝こむ)

1953年(昭和28年)

1月

- 1日 伊藤至氏、千葉にて採集の標本を持って植物研究に来訪
2日 午後、学校へ標本、文献等の整理に赴く
8日 標本(ハギ)整理、手紙處理に登校

2月

- 10日 米国カンサス大学、マックグレゴール博士より苔類交換に関する書信あり
27日 第五回卒業式。午後、新潟大学理学部地質学教室訪問。「越後平野の地史について」、西田、杉山、茅原先生の御意見を承る
28日 気象台へ積雪の文献調査に赴く。市川氏、関清宣氏に面会

3月

- 8日 永井佐吉氏、真保一輔氏の紹介を持って来訪
(11日 教職員法案反対の一齋賜暇運動参加に就いて會議)
28日 佐渡の本間建一郎氏来泊。蘚苔研究(午後、本間氏同道で登校)

4月

- 5日 佐藤忠司君と間瀬採集行(往復バス)。帰途、岩室採集
9日 宇都宮図書館から借用の「栃木県植物誌」を朝の5時迄轉寫
10日 「栃木県植物誌」の轉寫をすませ、直に県立図書館へ返却に赴く
(28日 三年生、関西旅行出立(173名))
29日 京都着。遊覧バスにて市内見学。(夜、山本寛治郎氏に、京大の田川基二博士と共に招待さる)。旅館は菊岡屋に73名(稲村、池上)、奥田屋に100名)
30日 生徒は京都市内自由見学。午前雨。京大に田川博士訪問。フォーリー師採集の苔類標本研究。山本氏、午後来る。夜、山本氏宅を訪問

5月

- 1日 京都出立。奈良見学。紀の国屋泊り。自由時間に春日神社の森を採集
3日 早朝、東京着。金塚、小林、後藤、大谷等の諸君出迎。宮城前解散。金塚君と日比谷公園に小憩。生徒五十嵐、大井の両君を金塚君と2人で銀座に案内。あと、終日、博物館にて研究(佐竹、丸山、大井、奥山諸先生)
8日 全国専門店大会。牧野、佐藤をつれ白山まで見学に赴く(アイヌの踊、平の踊等)。白山公園の植物研究。夜、佐藤忠司君、津川採集行の打合せに来る
10日 東蒲、揚川村採集行(白崎—小花地—大谷石灰山—赤岩—津川)。玉井、亀井、佐藤同道
16日 桑野茂君、研究授業(植物採集)の件につき来訪
31日 尾崎、佐藤、池上、植物採集行。南蒲、七谷村小乙の谷

6月

- 1日 臨時考査。ミシガン大学より蘚苔標本到着
9日 木戸小学校にて、市内小学校理科主任の植物採集会指導。帰途、沼垂小学校の教材園をみる。丹呉先生案内。富永先生と2人で丹呉先生の御招待にあずかり9時半に失礼
10日 縣立高校、松田一郎先生来訪
14日 南蒲田上村植物採集行。佐藤平治。湿地—川ノ下—尾根—菅沢—田上温泉—田上
15日 米國の苔類交換クラブのマックラング氏より苔類標本100点到着
24日 沼垂小学校、植物研究会指導
26日 長岡の吉原正秀先生、植物研究に来泊。工業用水附近採集。牧野、佐藤参加
27日 吉原、尾崎、佐藤、牧野—女池湿地の植物採集
28日 池上、尾崎—北蒲、中村浜、村松浜の植物採集。帰途、雨となり、中條より汽車にてかえる

7月

- 3日 村上の工藤孝雄氏、植物研究に来校
8日 新潟大学植物教室(真保先生の研究室にて)に佐竹義輔博士訪問。依頼品の佐渡産シンパク及び越後のネズの標本をとる
18日 始業式。懇談会(柳水閣)。「蘚苔植物研究」について文部省の補助金交付決定
25日 西頸城地方採集旅行出立。新不知(歌川及び親不知の嶮)青海町泊り
26日 西頸城、黒姫山採集
27日 青海海岸及び福来口、田海川の沢採集。青海泊り

- 28日 青海出立、小滝下車。小滝川上流採集。小滝泊り
 29日 小滝、明星山採集
 30日 小滝発。糸魚川海岸及び中頸城湯町朝日池畔採集。終列車で新潟着
 (31日 認定講習(一般教養、醫大、高木健太郎博士の生理学—神経生理)。新潟商業高校)

8月

- 2日 県博物館の採集会(小中学生)指導。彌彦山
 3日 前日の整理。お話。於博物館(午前中)
 6日 岩手地方植物採集出立(5時半)。郡山経由、夜10時14分盛岡着。野呂和博君(岩手大医学部)出迎。野呂君の下宿先(中村賢三氏留守宅)に泊る。ここを本拠に調査実行
 7日 盛岡市郊外、岩山の採集。野呂君、途中まで案内。八幡宮のシダレカツラ見学
 8日 早池峯行。平津戸—御川。御川の営林署飯場にとまる
 9日 早池峯山頂迄。雨。山頂の小屋泊り
 10日 大迫下り。夜道を石鳥谷まで歩き、駅にて仮寝。朝3時の汽車で盛岡へかえる
 11日 標本整理
 12日 岩手山行。橋場線にて雫石に出、バスにて発電所まで。玄武洞見学、採集。網張温泉泊り
 13日 網張湯本から黒倉を経て大地獄山頂に至り、測候所(留守)に泊る
 14日 風雨。山頂採集。滝沢下り。盛岡へ
 15日 標本整理
 16日 八幡平行。松尾鉾山—茶臼山—八幡沼—藤七温泉
 17日 八幡沼(デスミッド採集)。強雨。小屋にて4時間雨宿り。3時、出立。蒸^{ツケ}の湯を経て後生掛温泉下り
 18日 大地獄。泥火山見学採集。つが森、もうせん峠をこえて焼山に出、玉川温泉下り
 19日 5時半、玉川出立。バスにて小豆沢に下り、花輪線で盛岡へ。12時着。標本整理。夜、大里俊一氏来訪。宿の親戚の浜田市貴氏来訪(宮古市)。岩泉採集行決定
 20日 山田線にて岩泉へ(茂市附近採集)。岩泉の佐和屋に宿泊。湧口(鍾乳洞)まで採集行
 21日 岩泉、ウレラ山及び鼠入川の谷を採集。夜汽車にて宮古を経て釜石に出る
 22日 釜石市、笹村禅二氏の腊葉館訪問。釜石線上有^ス住の石灰洞見学、附近の採集。10時14分、盛岡着。寒気つよし
 23日 日曜。野呂君、標本の荷造をしてくれる。夜、岩手大学の菊池政雄氏来訪

- 24日 岩手大学教養学部(上田町)に菊池政雄氏を訪問。学生、藤巻(*空白)君、スゲの研究。野呂君、夜の町を案内
 25日 朝、盛岡出立。水沢に下車。福原まで歩き、岩瀬初郎氏宅訪問。留守。駅前の書房(ヴェガ書房)にまわって面会。11時、バスにて平泉に立ちより、中尊寺に詣で、一の関に出て汽車にて狛鼻溪に至り採集。一の関にかえり夜行乗車
 26日 郡山めぐり、翁島に下車。猪苗代湖から赤井谷地に出て1日採集。終列車で新潟へ

9月

- 2日 借り本の返しに新大(真保先生)、二葉中学(尾崎先生)訪問
 6日 北蒲採集行(五十公野、月岡)(全部バスにて)。尾崎、牧野、佐藤、前田、鷺崎、二葉中学生3名
 9日 上所、工業用水附近採集。生物班
 10日 前日採集のハッカの精油など生徒は実験。舟栄中学生、腊葉鑑定依頼に来る
 19日 佐藤忠司君、バッハ氏へ送る苔類標本の整理手伝いに来校
 23日 北蒲原郡松塚村藤塚浜までバシクルモンの調査に赴く。尾崎先生同道。新発田廻りのバスにてかえる。雨

10月

- 3日 フィンランドのバッハ氏に苔類標本を送る(文献の返礼)。昭和20年6月以来整理の苔類文献票完了
 6日 カナダのトロント大学のカイン教授より標本交換の依頼来る。能登採集の打合せに尾崎先生来訪
 7日 野口彰氏の「こけの話」NHKの放送。午後7時30分〜8時
 佐藤、牧野、植物園の名札をたてる
 9日 中頸城郡有馬川植物採集。金沢市本願寺別院に泊まる。尾崎氏、同泊
 10日 金沢大学に於ける日本植物学会に出席(高木、野口、加崎、林、前川、原諸先生出席)
 11日 全上。佐藤正巳氏の紹介で分類学会に入会決定。尾崎先生と兼六公園をめぐり、2時40分の汽車で輪島に至り、重蔵神社の神主、能門政義氏宅に一泊
 12日 輪島高校を訪問。左伝善彦先生の好意で吉川純幹氏採集の植物標本を検討。午後、山を採集。終列車で穴水に出、バス2時間半、飯田(11時)に泊る
 13日 山伏山採集。穴水に出て泊る

- 14日 一の宮、気多神社の社叢を採集。金沢に出、急行でかえる。途中、長岡駅で3時間（5時半まで）まつ。朝、7時30分新潟へ
- 16日 山形大学農学部佐藤正巳氏来泊
- (23日 球技大会、卓球に出る)
(全上。ソフトボールに出る(三、二年女子と職員対抗))
- 25日 中蒲原郡川内^{イカヅチ}の雷山へ植物採集に赴く(尾崎、佐藤平治、鷺崎)

11月

- 4日 代休。カンサス大学のマックグレゴール教授に送る交換苔類224点の荷造りおわる。アーノルド樹木園の腊葉整理を開始
- (15日 夜、日教組作製の映画「ひろしま」の試寫会(於、公會堂)
- 22日 日曜。アーノルド行腊葉整理。佐藤忠司君、油体実験に来校
- 24日 島根県原貞吉氏を白山駅に見送る

12月

- (16日 新教組新潟支部大会。松川事件(列車でんぶく)の公判をひかえ被告(*空白)の父、全辯護士上村進氏の話がかった。 帰途、尾崎富衛氏を訪問)
- 20日 佐藤忠司君と神道寺、上所島ヘリクシア採集に赴く
- (22日 下痢にて休養、23日夜まで。夜おそく通知表づくり)
- 29日 妙法寺採集

1954年(昭和29年)

1月

- 2日 午前、純一をつれて学校から標本箱をはこぶ。伊藤至氏、植物研究に来訪
- 3日 腊葉の番号整理完了
- 5日 腊葉の分類。佐藤忠司君、應援。
- 6日 松田一郎氏(菌類研究)来訪
- 12日 東北地方の採集藓苔標本包装完了
- (20日 修学旅行をするかしないかについての會議(3時半~7時))

2月

- (1日 長岡高校の柳沢勉氏(地衣研究)、視察に来校)
- 14日 日曜。午後から夜10時まで、尾崎先生の宅にて腊葉研究

3月

- 6日 岩野俊逸氏依頼の羊齒標本目録の調製おわる
- (13日 夜11時まで羽鳥先生と成績調製)
- 21日 夜、尾崎先生、紀伊旅行について来訪
- (25日 入学考査集計。朝5時まで、生物教室にて。夜、川端町に火災あり)
- 28日 米進駐軍人、園藝植物のことについて来校(碓氷務通訳)。伊藤至氏来訪
- 29日 佐藤忠司、牧野恭次、植物研究

4月

- (4日 県立新潟高校焼失。見舞に赴く)
- 6日 暑休に採集の東北地方の藓苔植物標本の包装おわる
- 13日 関東地方教育視察(理科教育)、夜行で出立
- 14日 栃木市栃木高校視察。校長、野沢寅氏。生物、牛久於菟氏。10時半のバスにて出流山に赴く。鍋山より徒歩。夜、友部まわりで土浦に出て泊る
- 15日 茨城県土浦高校視察。校長、渡辺文弥氏。午後、筑波山採集。千葉市稲毛町富士見荘に伊藤至氏を訪問、宿泊。(住所さがしあて困難。海岸から登戸に出、交番に依頼。1時半、伊藤氏宅につく)
- 16日 千葉第一高校大網農業高校(校長、鶴岡善衛氏)視察。夕方、伊藤氏と稲毛を採集
- 17日 東京、文京区、竹早高校視察(五日制で休み)。小石川植物園に至り、前川文夫博士にあい、研究室で会談。4時、科学博物館訪問(佐竹先生、伊藤女史、法制局長官佐藤達夫氏、東大農学部助教授岩田二郎氏)
- 18日 伊藤氏、小山鉄夫氏と武蔵の「田島ヶ原」湿地で採集に行く予定のところ、雨で中止。伊藤氏宅で1日すごし、東京に出、夜汽車でかえる

5月

- 1日 東蒲諏訪峠採集。東大前川文夫氏、小野氏を津川駅に出迎。新大農学部平田幸治氏をまじえ、きりん山温泉で宿泊。(前川博士は、本日、岩代、野沢山中のコウヤマキ自生地を探索)。赤城源三郎氏来訪
- 2日 午前、前川氏はスミレの研究。午後、4人でキリン山を採集。4時17分の汽車でかえる。前川、小野氏は新津でわかれ、坂町、鷹ノ巣、瀬波に採集行
- 3日 雨。新潟砂丘のイソスミレを調査。関屋から山の下、河渡迄。本日、競馬あり
- 4日 法制局長官佐藤達夫氏に諏訪峠のテリハタチツボスミレをおくる

- 5日 前川文夫先生を山の下河渡の砂丘に案内（イソスミレの調査）。新大農学部平田幸治先生、丸山君、八木君同道。帰路、平田先生宅にて御馳走になり、前川先生は田沢先生訪問。10時の準急で帰京さる
- 15日 国立博物館、奥山春季氏、佐渡採集（入川、ドンデン、アオネバ越）の帰途、立よらる。夜10時、駅に見送る
- 16日 牧野恭次君をつれ、南蒲、権ノ神岳へ採集に赴く。帰途、加茂町明神の沢を採集
- 26日 上所島工業用水附近のクロアブラガヤをみにゆく。佐藤忠司同道
- 28日 大学で生徒のレントゲン撮影。砂丘植物採集。尾崎先生訪問
- (29日 湯川秀樹博士の講演。公会堂。7時～8時20分「科学と人間」。佐藤忠司、橋本圭一同席)
- 30日 東蒲、熊渡りおく沢へ佐藤忠司君と採集行。佐藤、石灰地採集後、腹痛でひきかえす。その後、菅名山の肩までのぼって、10時、新潟にかえる

6月

- 1日 新潟日報の依頼で海岸植物の写真撮影。原稿作製
- 3日 市内、鏡淵小学校の採集会指導。護国神社のまわり
- (4日 牧野、佐藤等、班員出勤。植物園の手入)
- 5日 佐藤平治他4名と鳥屋野潟及び女池湿地採集行
- 6日 京大、田川基二氏より恵投の苔類標本整理(学校)。夜、渡辺富雄君来訪
- 9日 大畑小学校の採集会指導。鳥屋野潟
- 19日 沼垂小学校生物クラブの採集指導(丹呉、大野先生)
- (21日 新潟大学人文学部、独文学助教授、守永敏夫氏を訪問(九州、飢肥町の人。服部新佐氏の親戚))
- 27日 南蒲、見附一長沢採集(二つ池及び赤坂の湿地他、五つの池)。佐藤平治、金子(*空白)同道。西吉田まわりで帰宅

7月

- 9日 代休。標本整理。北沢邦衛、コケをもって来訪。工業用水の沼へツルアブラガヤをみにいく
- 10日 佐竹義輔先生を新潟大学に訪問。帰途、お宿の北越旅館によってかえる
- 11日 佐竹先生と北蒲、松塚村藤塚浜へバシクルモンをみに赴く。写真撮影
- 18日 遠藤達夫、植物研究の相談に来る
- 21日 万代校中庭のリクシア採集にゆく。米山のリク

シア採集

- 23日 生物部採集旅行。清津峡。池上、渡辺、藤井、牧野、佐藤、伊藤、金子、小松原、鈴木(卒業生)。7時、新潟駅発。石打下車。十二峠を採集。小出鉱泉ふるや旅館泊り
- 24日 7時出立。清津峡採集。湯沢まで歩く(八木沢、芝原峠)。9時、湯沢着。音羽屋泊り。新潟へ電話及び電報連絡
- 25日 湯沢11時16分発(長岡行)、汽車待時間に昼食。2時23分長岡発。4時半、新潟着
- 26日 標本整理。飛岡怜君、生物研究に来る

8月

- 4日 阿武隈採集旅行出立。福島県霊山行。途中、掛田採集。霊山神社の山採集
- 5日 霊山採集。山頂の無電中継所見学。福島にバスで直行。夕方、白河市、鈴木貞次郎氏宅着
- 6日 鈴木氏の案内で白河市、南湖の湿地(午前)、泉崎の鳥峠(午後)採集
- 7日 白川発。汽車にて大滝根山にむこう。入水の鍾乳洞附近を採集。仙台平、鬼穴を経て大滝根に登る。平第二中学の近藤昌龍先生(社会科)にあい、夏井峠の案内をきく。神俣泊り
- 8日 夏井峠を採集。平に下り、バスにて江名に出て海岸を永崎まで採集。小名浜めぐりで平につく
- 9日 赤井岳採集。平附近採集。汽車で白河にかえる
- 10日 那須山(茶臼、朝日、三本槍)採集。殺生石附近採集。従業員、バスで下る
- 11日 標本荷造。鈴木氏奥様の御令弟来らる(芦野町の教育委員長)。八溝の案内をきく
- 12日 午前、標本整理。午後、白坂の湿地採集
- 13日 八溝山登山—芦野—伊王野までバス。頂上、雷雨あり。茨城がわに下り、宮本で泊る
- 14日 バスにて太子に出、袋田に赴き袋田滝採集。汽車で棚倉、バスで白河に出、更に汽車にて矢吹に至り湿地調査。泉崎まで歩く
- 15日 荷造り。清水傳吉氏来泊
- 16日 白河出立。雀宮に下り、磯川の湿地採集。夜道を雀宮にかえり、宇都宮泊り
- 17日 古川に出、赤麻沼採集。館林泊り
- 18日 館林、茂林寺附近採集。多々良沼調査。電車で浅草に出、上野駅で標本調製。11時5分、上野発
- 19日 上越線後閑におり、バスにて法師温泉に至り、三国峠をこす。貝掛(冷い温泉)泊り
- 20日 貝掛から湯沢まで歩いて、夜10時17分、新潟にかえる
- 23日 白河の鈴木貞次郎夫妻、八欧無線(ゼネラル・ラジオ)の招待で佐渡観光に来港。大野屋に泊

り、訪問。生物科認定講習会会場づくり（石崎、佐藤、羽鳥、池上、渡辺、藤井）

- 24日 生物科認定講習。三重大、岡田弥一郎氏（欧州旅行談）—動物学会議
- 25日 全上。両棲類の一班。長岡の柳沢勉氏、佐渡の渡辺氏、新高の松田氏、遊んでいく。佐渡がえりの鈴木貞次郎氏夫妻来泊
- 26日 鈴木貞次郎氏と天神尾、米山の竹笹採集後、学校にて標本研究
- 27日 鈴木氏を加茂市青海神社の森に案内。竹笹、研究
- 28日 10時3分、新潟発、鈴木夫妻かえらる

9月

- 4日 工業用水わきへクロアブラガヤの調査に赴く（佐藤平治、金子勝久、伊藤泰司）
- 12日 鳥屋野湯調査。舟二隻使用。尾崎、大高、佐藤、伊藤、金子、片桐（二葉中）、池上
- 16日 京都の山本寛二郎氏来訪。12時、西堀の俵屋旅館まで送る
- 17日 山本寛二郎氏、工場の人と共に学校へ来訪。県下高校体育大会出場選手をつれ清水謙三郎氏来る
- 26日 福島湯採集行。船頭、葛塚町、田村さん。島文二郎先生、牧野恭次、佐藤平治。午後、暴風雨（颱風15号）

10月

- 3日 西蒲原採集行（午後、岩室、樋曾、角田山）（午前、松野尾湿地）。上堰沼。往復バス。帰路、雨
- 6日 新潟日報西巻氏、秋の草のことで来訪。工業用水まで案内
- 11日 新潟日報の西巻氏、秋の雑草の原稿をとりに来る
- 16日 吉原正秀氏、植物研究に来泊。夜、尾崎先生来遊
- 17日 北蒲原郡月岡、荒川、山神社へ植物採集。帰途は新発田まわりのバス。池上、吉原、尾崎
- 28日 藤島玄氏、駒岳の連絡に来校。津川きりん山温泉の西脇總太郎氏逝去（（*空白）日）の趣、伝承
ときわ木工所の村松三郎氏来訪。生物部、伊藤泰二、金子勝久、ムササビの剥製をつくる
- 30日 県民体育祭。駒岳登山会。山麓の駒の湯に宿泊。日本山岳会新潟支部の総会を兼ねる（藤島玄、伊倉剛三、高波吾策、田原義治氏など見える）。植物講話（裏日本の山の植物相）
- 31日 雨のため登山はとりやめ、植物雑話。10時半解散。ふきぎの谷を採集。栃尾又に出てかえる

11月

- 21日 佐藤平治同伴、中蒲荳名山三五郎谷へ採集に赴く
- （27日 地方自治防衛委員会結成大会（議長 松井前代議士）。越佐自治会館。当番出席、羽鳥、池上）

12月

- 17日 苔類文献カードの調製完了
- （23日 別山小学校の卒業生、同級会に招待）
- 24日 腊葉整理完了
- （31日 大掃除手傳。夕方、神明山へ行く。ボタンザクラ二本を掘る）

1955年（昭和30年）

1月

- 1日 朝、新潟にかえる。登校。新年小宴。伊藤至氏来訪（千葉から）

2月

- 5日 腊葉の分類おわる
- （28日 卒業式。デズニーの「砂漠は生きている」観覧。謝恩会「小林デパート」）

3月

- （29日 残務整理に登校）

4月

- （8日 徳重英輔氏、熊本大学に赴任。挨拶に来校）
- 30日 東京の県人会、藤田美代氏来校。ユキツバキの標本をみていく

5月

- （7日 岡田要博士（国立科学博物館長）ら一行、学校視察に来る）
- 18日 新潟山岳聯盟（会長、渡辺浩太郎）の植物講演（高山植物）。生物教室。参会60名。7時～9時半
- 22日 岩船郡金屋村中野の湿地へ植物採集行。尾崎、八木（新大農学部）両氏同道

6月

- 2日 チェコスロバキアのピロウス氏より藓類標本交換の申越あり
- 8日 国立公園協会の講演会。茅原一也助教授（飯豊山の地質）、佐竹義輔博士（飯豊山の植物）、C.I.E.にて。飯豊の植物スライド及び米国国立公園の映画あり。終って佐竹先生と散歩

- 10日 新大学生、植物研究に来訪
 18日 岩野俊逸氏、立ちよって行かる
 19日 山の下採集行（中央埠頭、臨港、じゅんさい池）。
 牧野恭次、礼三郎両君同道。9時帰宅
 (20日 球技大会。卓球に出場。日蝕観測（地学班、
 大里先生指導）
 26日 万代小学校の中庭の植物の鑑定に赴く

7月

- (10日 壺井栄「廿四の瞳」をよむ)
 (11日 トヨタ自動車会社の山岳部、間俊君、かえる
 のバッチ、図案等をうけとりに来る)
 12日 新潟山の会主催、山の映画に招待さる。高橋照
 氏の作品公開。雪の穂高（二部）、越後三山及
 静岡鉄道局作の南アルプス。会長渡辺浩太郎氏
 の挨拶、新鉄森谷氏の司会
 24日 生物部採集旅行（米坂線小国一鷹之巣間）。新
 潟発5時5分、小国着8時10分。朴ノ木峠、
 萱野峠、大里峠をこえて、8時、鷹ノ巣温泉に
 つく。一行13名。池上、渡辺助手引率
 25日 河原にて飯をたき、前の鷹之巣に上り、午後、
 途中を採集して越後下関駅に出て乗車。7時、
 新潟着
 26日 学校で標本整理
 27日 博物館の採集会講師。採集法指導。鏡淵校
 28日 全上。实地指導。新津秋葉山。市役所教学課、
 山岸氏同道
 29日 全上。標本整理。鏡淵小学校

8月

- 2日 谷川連峯植物採集行。八木広男君前半参加。土
 樽山の家、高波吾策氏のもとを根據。茂倉谷採
 集
 3日 仙之倉沢より平標山に上る。上り口、晝食。雷
 雨（12時～2時）9時15分平標小屋着。小
 屋番二名熟睡
 4日 仙之倉岳を越し、万太郎山の毛渡の小屋でとま
 る
 5日 万太郎山をこし、大障子の小屋で飯をたき、
 谷川岳に登る。小屋の手前にて雨。途中、
Pleurozia 採集
 6日 一之倉から茂倉岳に上り、茂倉小屋泊り。雨と
 なる。六日町の人3名泊る
 7日 茂倉から土樽山の家へ下る。八木君は先に下山
 帰宅。麓で村上山岳会員に馳走になる
 8日 蓬峠を採集。土合に下って汽車で土樽にかえる
 9日 北魚沼郡大白川に出る。駅長及び島津助役の好
 意により駅にて標本整理、発送。その後、駅附
 近の溪谷及び河畔の石灰地を採集。大白川に泊

る

- 10日 河畔の石灰地を再採集。雑貨屋主人に未沢の石
 灰地をき、前の山の石灰地を採集後、未沢に
 入り六十里越に上る。にわか雨あり。夕沢に下
 り、9時、大白川につく
 11日 五味沢に至り営林署に泊る。猪俣事業課長、浅
 井保丸主任（代理）と機関車で上り、右沢採集。
 東西二ヶ所の谷地を小川づたいに探る
 12日 浅草岳採集
 13日 営林署員全員、お盆で下山。一しょにトラック
 で下る。新潟にかえる
 18日 伊藤至氏（東大、研究生に通学中）来遊
 19日 西山醫院にて歯の治療後、尾崎先生を訪問。能
 登の地図を拜借
 21日 能登方面採集旅行出立（5時）。雨。8時半、
 能登松波町につき、50分ほど歩いて寺下友三
 郎氏宅を訪問。当直のため引きかえし、松波中
 学校に至り宿泊
 22日 寺下氏の案内で古蔵の若山鉦山（石膏採掘、鉦
 山長案内）及び宝立山の採集。松波泊り
 23日 石動山採集。天平寺により、8時、吉川に下る
 24日 宝達山を採集。富山に出る
 25日 富山営林署を訪れ、黒部峡に入り、樺平から徒
 歩、トンネルをくぐり（1時間半）阿曾原温泉
 に出る
 26日 十字峡を採集。再びトンネルをくぐって鐘釣ま
 で歩く（8時すぎ到着）
 27日 鐘釣、西、東鐘釣山を採集して泊町に出る
 28日 宮崎の鹿島神社の社叢を採集。終列車で新潟に
 帰る

9月

- 6日 朝、東京都立大学の加藤英男氏来訪（大房剛氏
 同伴）（車軸藻類採集旅行）
 (7日 東大教授、藤田良雄氏の「最近の欧米事情と
 天文」と題する講話並に幻燈映寫)
 8日 村上の工藤孝雄氏、植物研究に来訪。 関屋小
 学校高見先生、腊葉鑑定依頼に来訪

10月

- (1日 午前3時半、教育庁より出火。大火となり日
 報社、小林、大和両デパート、郵便局など焼失。
 信濃河畔に及ぶ。臨時休業。火災見舞に赴く。
 前田と石川全焼。小林、野崎無事)
 5日 長岡の吉原正秀氏訪問一泊（土合町）
 6日 土倉へ植物採集に吉原氏と赴く。石打下車、
 十二峠を越え、中里村高道山小学校土倉分校に
 至り一泊（終日雨）。途中、十二峠まで児童が
 出迎え。分校は中里中学校分校を兼ね児童50

名。教師は河本猛夫妻と保坂慶松氏（中学校）の2名。河本氏の熱心な植物採集品を夜おそくまで拜見。種々珍品あり

- 7日 河本先生の案内で槍の山のミヤマツチトリモチの生態観察に赴く。児童20名同道（朝、吉原先生と全校生徒に話をする）。午後1時過ぎ生徒とわかれ、吉原先生と十二峠を下り、石打に出て、8時半、長岡の吉原先生宅にかえり、宿泊
- 8日 朝、長岡を出立。新潟にかえる
- 15日 理科教育研究会の相談に教育庁の當山主事来校。理科準備室で桑原校長、石崎、大里、池上相談。
- 千葉の伊藤至氏から生きたミジンコウキクサが送られて来た（武蔵、越ヶ谷産）
- 23日 生物部採集旅行。岩船郡今川（金子、伊藤、丸山、坂井、石田）

11月

- （5日 理科教育研究会「実験観察の指導」に関する研究発表。午後、協議会。公開授業「藻類の実習」。内川定七氏来室）
- （6日 全上。東京教育大学の藤岡由夫氏の講演（原子力について及び欧米視察談））
- 8日 吉原正秀氏、植物研究に来泊。夜、尾崎先生来遊
- 9日 吉原先生、午後2時まで学校で植物研究。研究会に来校の富川竜太氏（柏崎高）たちよる
- 20日 天神尾の線路ばたのヒメクズの果実を採集

12月

- 14日 （単位認定、進級等の実情視察に四高校訪問）。本日は、午後、巻高校へ（校長、阿部藤策）。3時から西蒲峰岡村竹野町の山を採集
[*Lepidozia vitrea* (Steph. (スギバゴケ) 等]
- 15日 考查。一時限終了後、越後線で出立。出雲崎まわりで刈羽郡石地町の御島石部神社のシイの樹相を調査。ウラボシノコギリシダその他を採集。石地峠をこえて別山に出、刈羽で一泊
- 16日 柏崎高等学校訪問（校長、山宮作市）。富川竜太氏、内川定七氏（柏農高）と標本研究。橋本圭一氏、柏崎駅まで見送りに来る。12時16分、直江津にむかう。直江津高校訪問（校長、久保田隆氏）・（教頭、本間敏雄氏）と懇談。後、一時間程校長と懇談。本間博君、ダットサンで直江津駅まで見送ってくれる。糸魚川泊り（駅前、おうぎ屋）
- 17日 糸魚川高校訪問（校長、加治千三朗）。林純雄氏の案内で郷土室見学（長者原の考古資料ひす

い等）。午後、青海に至り、電化工場から行幸坂に上り、カルスト地形を調べながら親不知駅に下り、夜道を青海まで歩く

- 18日 青海町の山すそぞいに採集。12時46分出立。新潟にかえる
- （29日 19日から本日まで生物補習授業）
- 31日 蘚苔標本整理（日中は学校にて）

1956年（昭和31年）

1月

- 1日 登校、祝賀。蘚苔整理
- 8日 蘚苔整理終了。八木広男氏、蘚苔鑑定依頼に来校。日直。雪（本日夕方まで雪なし）
- 28日 牧野恭次、羊歯植物の研究に来校。7時まで検鏡

2月

- 17日 理科、数学指導要領研究会（長岡高校）に出席。講師、遠山主事。山本泰蔵、本間建一郎、渡辺（*空白あり）、黒木義雄、内川定七、大平正平氏等出席。晝食後に柳沢勉氏の研究室訪問、地衣標本をみる。3時終了。悠久山に赴き、博物館の吉原正秀氏を訪問。川上潜館長より夕食の接待をうく。8時の汽車でかえる

3月

- （3日 金子彦三郎博士（学習院教授。国文学）の講演—（英語勉強の苦心談など））
- （13日 教育二法案反対署名運動。全職員。鉄道局前にて）
- 16日 「北陸の植物」に原稿を送る。「新潟植物雑記（一）」
- 28日 八木広男、牧野恭次、採集行の相談に来る。休暇中、学校にて標本整理。牧野恭次、羊歯勉強に来る

4月

- 3日 尾崎先生、八木広男、牧野恭次、渡辺助手と五名で、北蒲、月岡—荒川—山神社まで植物採集。二葉中学の木村先生同道。八木、牧野両君は新発田の牧野君の親類に泊り、八木君宅（長潟）まで渡辺助手と連絡に赴く。帰宅11時
- 7日 八木君、牧野君来校。植物研究

5月

- 3日 牧野恭次、八木広男君と農学部裏砂丘へスミレの調査に赴く
- 5日 北蒲菅谷村寺内川の沢へ採集に赴く。八木広男

、牧野恭次同道。白新線（4月15日開通）で新発田に出る。牧野の母、兄同車。新発田で新発田高校の鈴木俊夫氏にあう（生徒引率。菅谷奥へ採集行。途中、同道）。寺内川を6時に終了。徒歩。新発田着11時45分。牧野君の親戚、仁木正次郎氏宅にとまる

- 6日 五十公野採集。八木広男君同道。牧野君は足をいためて帰宅。来迎寺のキジノオシダ、榊形池ウラジロ採集
- 7日 国立博物館奥山春季氏の依頼品スナビキソウ（原色図鑑製作用）採集に関屋浜へ赴く。遠藤、吉田にあう
- 12日 新大理学部、真保先生訪問（植物研究雑誌拜覧に）
- 13日 日曜。牧野恭次君、羊歯の文献をみに来る
- （18日 教育二法案反対抗議集会（地教委法、教科書国定法案））
- 20日 馬下駅構内のヤシダゲと羽生田のミズバショウをみに行く

6月

- 4日 午後、長岡博物館訪問。悠久山植物採集。吉原正秀氏宅に泊る
- 5日 北魚沼郡広神村採集行。汽車にて小出に赴き、バス並柳下車。広神村吉原一腰又一兎畑一山一滝又と植物採集。吉原正秀氏同道。途中、腰又まで滝の又の山屋茂作氏出迎。外山の渡渉点で金井敏氏参加。ザゼンソウ、ミズバショウ採集。山家氏宅泊り（農業）。夜、広瀬中学、蕪澤武氏来訪
- 6日 滝の又ニケ池採集（山尾氏案内。金井氏姉弟参加）。午後出立。種苧原小学校に立ちより蓬平に出、バスにて長岡にかえり、吉原氏宅に泊る
- 7日 吉原氏宅を朝、出立。新潟にかえる
- 18日 チェッコスロバキアのユダ氏より苔類標本がとく（226点）
- 20日 八木広男君来る。渡辺助手と尾崎先生のモミジ、牟礼先生の谷川、穂高スライド試寫
- 21日 マクグレゴール氏（米国）より苔類標本来る（60点）
- 24日 午後、牧野恭次君来り、二人で青山（オオアカウキクサ採集）、小新、寺尾（神社のシダ）採集。寺尾から自動車にかえる
- 25日 亀井良成君来訪（長岡、第四銀行支店）。ネツカヤナギの枝をさし木用にもってかえる
- 30日 植物採集行（八木広男、牧野恭次、渡辺照子、蛸谷正男、栗林三津男、池上）白新線にて10時半出立。赤谷線の米倉下車。車野原の湿地を採集。南俣の二王子神社で蛸谷、栗林合流。

神社の小屋で泊る

7月

- 1日 二王子登山。帰途は大雨となる。頂上に2時着。下山六時。石喜まで歩き、トラックを利用。新発田に出てかえる
- 10日 東京都立小山台高校の矢野佐教諭、修学旅行の下調査に新潟、佐渡に来られ、夜8時半～10時来校。植物研究
- 12日 小中学校の採集会につき、博物館の前田氏来校
- 13日 採集旅行の件につき、藤島玄氏来校（飯豊登山講習会）
- 21日 牧野恭次君、羊歯標本整理に来校
- 24日 県高体連登山講習会の植物指導に参加。新潟発、新発田経由、赤谷湯の平温泉泊り。参加、新大地質学教室（杉山隆二、茅原一也）、山岳会、藤島玄、杉原八百樹、井上栄橘、山岸栄三郎氏等
- 25日 赤谷道オーエンの尾根上り、山岳会の平田（*空白）氏随伴。与四太郎の池泊り（キャンプ）。大石口からの生徒は7時過ぎ、実川口上りの生徒は10時半、キャンプにつく。南校では牟礼先生、蛸谷、山田、米田参加
- 26日 午前、植物（池上）、地質（杉山）の話。道刈、グリセード練習あり。午後、牟礼先生と北股から地神山まで採集
- 27日 西岳、文平の池、大日岳を経て実川に下る。途中、山都高校の田崎、斉藤両氏（植物採集）にあう。文平の池から単独下山。夜となり、山岸氏、渡河点でまつ。実川の小屋で泊る。キャンプファイア。山岸氏、踊る
- 28日 実川の小屋から日出谷駅に下る。実川部落下で藤島、杉山氏等の自動車にのる。10時17分、新潟着

8月

- 2日 市内小中学校の採集会指導。南蒲、護摩堂山。牧野恭次君同道
- 3日 全上。標本整理。午後、理科講習会打合せ
- 6日 北陸地区理科機械修理技術講習会準備。講師等来る
- 野村正二郎（文部省視学官）理科機械自作に必要な基礎知識、古谷健太郎（金沢大学教育学部）入手し易い材料による物理実験の工夫、森本常吉（元、一高講師）理科実験の工夫とその実験要領、鈴木純一（大妻女子大、東京工大講師）スンプレパラートの製作、高井信（カルニユー光学会社）顕微鏡の扱方および修理、木下義夫（木下化学機械製作所長）ガラス細工。役員、

岡島指導課長、遠山、長谷川視学、小林文部省
事務官等

- 7日 上記講習会。ガラス細工受講
- 8日 全。スンプ受講
- 9日 全。顕微鏡受講
- 10日 全。物理実験受講。午後、水産研究所見学
- 11日 標本整理。牧野恭次君、羊歯標本研究に来る
- 15日 尾崎先生訪問。安行農園にて採集のモミジの標本拝見
- 18日 新潟鉄道管理局山岳部の登山講習会に招聘され、小出に赴く。スキーロッジ泊り。講演、高山植物について(池上)、マナスル登山談及びスライド映写(明大、大塚博美氏)、諸感(交通新聞編輯長渡辺公平氏)。司会、森谷氏、佐々木氏、伊倉剛三氏、高波吾策氏。参加約60名
- 19日 3時半起床。バスにて枝折峠に上り、駒岳登山。小雨、時々。帰途は大倉山より駒の湯に下る。大湯温泉にて解散
- 29日 岩船、蒲萄採集旅行。同行、尾崎富衛氏。5時20分新潟発。7時村上下車。工藤孝雄氏出迎。バスにて蒲萄へ。3人にて蒲萄山採集。蒲萄小学校泊り。尾崎氏はカエデの研究
- 30日 蒲萄、池の平採集。池上、尾崎、工藤。夜、中学校の神田氏来遊
- 31日 尾崎先生と寒川まで採集

9月

- 2日 新大理学部の実保一輔氏邸の調査に赴く。一行、真保先生、江村重雄、宮栄二(文化財委員)、池上。中蒲原郡庄瀬の旧家。邸内の蘚苔を調査
- (5日 火星近づき、学校にて観測(大里先生)。(7日、最も近距離))
- (6日 「日本はかく戦えり」観覧)
- (8日 火星観測。校庭にて(大里先生))
- 15日 八木広男、牧野恭次両君、植物研究に来訪。尾崎先生の北海道標本研究。蘚苔植物短報(一)、原稿発送
- 21日 教生、バクテリア染色の指導

10月

- 8日 福島県台倉山(大山祇神社)採集旅行(生物部)。蛭谷、石田、高木、小熊、橋本、栗林、寺島、渡辺、池上
- (13日 動物博覧会団体見学。ゴリラ、アフリカゾウ等及び猛獣ショウ)
- 14日 谷川岳のプレウロチアの論文作製
- 16日 大森康正君、スゲの鑑定依頼に来る
- 27日 *Pleurozia purpurea* (ミズゴケモドキ)の原稿を服部研究所に送付

11月

- 3日 三、四日連休。腊葉整理。牧野、蛭谷も標本整理並びに研究
- 24日 長岡博物館の吉原正秀氏、植物研究に来校。一泊。悠久山フロラの研究の原稿校正。ニュージーランドのホジソン氏、米国のコッホ氏から研究別刷寄贈を受ける
- 25日 吉原正秀氏、尾崎富衛氏、植物研究に来校。尾崎氏の北海道の採集品を研究

12月

- (5日 夜、鉄道局用品試験所火事。火の粉をかぶる)
- 8日 吉原正秀氏来訪さる
- 28日 長岡博物館の腊葉検定。31日午後まで(吉原正秀氏と同泊)
- 31日 夕方、長岡博物館から帰宅

1957年(昭和32年)

1月

- 1日 新年祝賀に登校。標本整理。牧野恭次君来遊
- 8日 標本箱6ヶ到着(ときわ木工、村松三郎君の作)
- (14日 卒業式に国歌を歌わせることについて、審議会)
- 28日 工藤孝雄氏来訪
- (28日教員組合デモ提灯行列、首切反対)
- 31日 オリンパス光学会社員三名、顕微鏡修理に来る。服部新佐氏行の標本包(*Riccardia* 及び標本集標本)荷造り

2月

- 3日 村上の工藤孝雄氏、植物研究に来訪。登校して終日、標本研究(宿泊)
- 4日 工藤氏、午後5時まで植物研究
- 18日 新津公民館、新津山の会主催の山の会に「植物の話」で招かれる(夜6時~9時半)

3月

- 1日 新大理学部の真保先生を訪問
- 3日 吉原正秀氏、植物研究に来訪。午後2時56分新潟駅見送り
- 9日 職員会議。入学考査準備の件。2時56分発で長岡行。長岡博物館の標本検討。吉原先生と宿直室で泊る
- 10日 前日に引き続き標本検討。昆虫部の嘱託、樋熊清治氏出勤。終列車で帰宅
- 20日 農学部平田教授来遊
- 22日 新潟大学真保先生及び地質教室杉山、西田先生

訪問（文献及び地図調査）

4月

- 3日 岩野俊逸氏来訪。しだ標本研究。牧野恭次君来校。
- （3日 農学部火災）
- （15日 修学旅行出立。長野善光寺下車、名古屋泊り（弁天閣））
- （16日 伊勢神宮、志麻国立公園、賢島—英虞湾—和具。鳥羽泊り（丸栄旅館））
- （17日 真珠湾、鳥羽湾、日和山。草津乗換、京都泊り（中京区御池通、八雲荘））
- （18日 比叡山、三井寺、石山寺、祇園（都おどり））
- （19日 奈良（西の京、奈良市内）。宇治平等院見学）
- （20日 京都市内、大阪市内見学）
- （21日 朝食、糸魚川駅弁。1時40分、新潟駅着。2時解散）

5月

- 5日 八木広男君と岩船郡関川村湯沢温泉の裏谷へ蘚苔調査に赴く。雨。夜、牧野恭次君来訪。腊葉手つだい
- 19日 馬下のヤシャダケ調査。菱ヶ岳裏谷の採集。八木広男、牧野恭次両君同道。白崎まで夜道徒歩。八木と連絡がそごして池上だけ白崎泊り（駅前小川屋）。20日朝、新潟へかえる
- 26日 標本棚整理
- （27日 遠足（三年生）、五頭山。隊長、牟礼悦也先生。朝、バス中、上村盲腸炎発病、水原の病院入院）

6月

- 5日 夜、尾崎富衛氏来訪
- 9日 生物部採集行。中蒲金津滝。朝、雨のため、池上、丸山、バスにて8時出立。他は、羽鳥先生引率、汽車7時46分出立。（石田、小熊、藤井、大竹、林、他一年生3名）。6時半、新潟にかえる。（金津峠でヤシャダケの花採集）
- 16日 岩船採集行（平林の湿地、岩船潟趾、瀬波）
- 23日 中蒲原郡村松、早出峡採集旅行。八木広男君同道。帰路は五泉からバス
- 28日 新大農学部学生ユキツバキの研究に来訪

7月

- 2日 宿直。尾崎富衛氏来校。「モミジ」のスライド、試寫、研究
- 7日 福島潟採集調査（北沢邦衛君の案内で尾崎先生同道。湖畔の稲垣喜一氏のおかみさんが船をこいでくれた）。帰途、渡辺照子助手の急逝を知り、参詣に行く

- 11日 避難演習。国鉄ストのためバスにて彌彦へ。松明登山祭の講師として登山。5時半より講習会。池上、藤島玄、花井馨三人の話。8時、松明点火下山。9時半、神社に到着。公民館でスライド映寫。とうろう押し観覧。11時45分の臨時列車で立ち、1時半帰宅。山岸映彩山岳会長主催
- 13日 入舟小学校の植物採集会指導（郊外小張方面）
- 23日 生物部採集旅行。中魚沼郡中津溪谷（池上、羽鳥）。石田、小熊、勝井、林、加藤、本間、近藤、熊倉、碓谷（卒業生）、八木（八木益男君は、大割野からわかれて藤木の宿に宿泊）。越後外丸下車。大割野附近採集。1時50分のバスで見玉に赴き、徒歩（雨）、逆巻温泉に至り宿泊
- 24日 中津溪谷採集。風穴から大赤沢まで（途中、飯ごう炊さん）。逆巻泊り
- 25日 見玉一口採集。湖畔で晝食。1時24分バスにて大割野に下る。外丸駅附近採集。3時51分出立。8時50分新潟駅着（川口—長岡、昆虫の樋熊清治氏同車）

8月

- 2日 NHKへ「県内の植物と植物採集」の録音に行く
- 3日 右放送。NHK第二。午前10時40分～11時
- 6日 教員互助会登山講習の植物指導。苗場山。[講師は他に、三俣小学校長、宮下培策氏（案内）、日本山岳会の横山雪男氏（リーダー）]。本部、小川盛策氏、竹内秀子さん。和田ヒュッテ泊り。植物の話
- 7日 雨。苗場登山。頂上、晴。帰路、雨。湯沢駅で解散。土樽の山の家（高波吾策氏経営）に泊る
- 8日 谷川岳植物採集。巖剛新道一頂上一谷川温泉下り。土樽にかえる
- 9日 万太郎山植物採集。雨。8時半下山。土樽泊り（吾策新道）
- 10日 水上町鹿野沢入植物採集。終列車で新潟へかえる
- 12日 中頸城郡吉川町郷土研究会の採集指導。青海川—鉢崎（幹事、滝沢竹治、柳沢喜三治）
- （13日 地図を買いに町に出る。宿直）
- 17日 福井方面採集旅行に出立。青海町黒姫山福来口採集。金沢市泊り
- 18日 石川県白山下一中宮温泉採集。8時半、中宮着
- 19日 中宮附近採集。小松市の代崎良丸氏にあう。白山下駅にて標本調製発送。鶴木経由。小松まで代崎氏同車。4時～7時、鹿島の森の植物採集。

- 高浜泊り
20日 足羽山アスハの市立博物館に堀芳孝氏を訪問。午後、永平寺の山を採集。永平寺見学。大野泊り
21日 岐阜県境近くの箱ヶ瀬の白馬洞植物採集。雨。大野にて標本調製発送。三国町泊り
22日 東尋坊、雄島の採集。炎天。敦賀に出、金ヶ崎附近採集。敦賀泊り
23日 敦賀山中の池、河内の谷地の植物採集。高浜泊り
24日 青郷より青葉山に上り、松尾寺に下り、舞鶴泊り。夕立
25日 橋立、成相山採集。豊岡泊り。天ノ橋立駅にて、午前中、標本調製
26日 武洞及び城ノ崎温泉採集。加悦泊り
27日 大江山に上り鬼岳稲荷に出、神主と共に下山。元伊勢内宮に出て宿泊（かめ屋）
28日 元伊勢内宮の原始林採集。午前、河守高校四本寿一氏が案内。綾部泊り
29日 下山駅下車。三ノ宮に出、質志の石灰洞の植物採集後、京都に出、夜汽車で帰途につく
30日 中頸城郡湯町に下車。蜘蛛ヶ池、岩戸の池、岩野の池、鶴ノ池採集。終列車でかえる
31日 登校。教務部会。標本整理

9月

- 1日 標本整理。夜、牧野恭次、小学生の腊葉の鑑定依頼に来訪
2日 チェコスロバキアのジョセフ、ユーダ氏からの苔類標本到着
15日 北蒲原郡菅谷村植物採集。水谷一猿ヶ城岩一新発田。牧野恭次同道
22日 岩船郡湯沢植物採集旅行。山の下中学、小幡定七氏同道

10月

- 7日 生物部採集会。津川キリン山行。羽鳥、池上、近藤、石田、林、八木、勝井、東理。松仙閣に立ちより、蛾の標本をみる（朝、故渡辺照子助手宅訪問。焼香）
13日 北蒲原郡菅谷村寺内川の谷の植物採集（池上、牧野、近藤）。近藤先生は、地質の調査
19日 吉原正秀、尾崎富衛両氏、「カエデ展」の準備に来訪
27日 午前、学校で標本整理

11月

- 3日 長岡科学博物館へ尾崎先生の楓特別展を見に行く
10日 菅谷村小出、小出川の沢（北蒲原）へ植物採集

行。近藤公氏同道。キジノオシダ群落調査

- 22日 吉原正秀氏、植物研究に来泊
23日 登校。吉原先生の植物を鑑定
24日 岩船郡湯沢及び保内方面植物採集

12月

- （1日 新聞部、池田秀明、川住純一両君、書斎の寫真をとりに来る。宿直。本日から夜警員、鈴木十吉氏、巡回に勤務）
（勤務評定反対抗議集会（県庁前））
12日 新津山の会に招かれ、飯豊山の高山植物映寫（夜7時～9時）
24日 終業式。午後から夕刻まで、近藤公氏、羊歯の研究

1958年（昭和33年）

1月

- 3日 標本整理に登校
（5日 宮浦中学校火災あとをみて登校。）
Riccardia 標本の整理（プレウロチア論文別刷発送。牧野恭次君、来訪）
7日 6日宿直。6日、7日にかけて工藤孝雄氏採集標本の整理

2月

- （5日 新潟日報主筆、松井敬氏の講演、世界の情勢、米ソ訪問談）
9日 スゲ標本の整理
10日 吉川純幹氏、スゲ標本の研究に来校、来宅
11日 吉川純幹氏、スゲ標本研究に来校

3月

- 4日 吉原正秀氏、植物研究に来訪（長岡科学博物館のカード、台帳等の整備について）
18日 近藤公氏、連日、シダ標本の研究に来校。本日、一段落。長岡科学博物館行標本調製
29日 長岡科学博物館の標本整理に招かる。吉原正秀先生と宿直室で泊る
30日 全上。夜、新潟へかえる

4月

- 13日 日曜。近藤公氏、来訪
（19日 日蝕。午後1時22分蝕甚）
（22日 水島公衆市場火災（朝6時半～8時）。勤評反対新教組大会（教育庁前））
29日 ヒメカンアオイの調査に南蒲、八木鼻、笠堀採集行。六日町高校近藤公氏、同道。（新潟駅新駅、

本日開業)

5月

- 3日 3日、4日、文献整理
5日 純一をつれ中蒲、馬下へ採集旅行
11日 生物部採集旅行。北蒲原郡大日ガ原。参加16名
(15日 勤務評定実施決定(教育委員会。会長、玉井潤次))

6月

- 2日 フィンランドからアルネルの著書「Wust.Moss Flora Fennoscand.」がとゞく
9日 六日町高校の近藤公氏、羊歯植物研究に來泊(高尾山、神武寺の標本検討)
18日 大畑小学校の植物採集会(護摩堂山)、雨のため中止。新潟駅へ福原先生が連絡に來る
(19日 中庭植物園の除草終了(農夫、小林さん、5日間))
23日 東山ノ下小学校採集会(校長塚野、主任落合)。山ノ下じゅんさい池
(27日 当直。朝3時半、水島町新鉄寮火災。1時帰宅。青池使丁來援)

7月

- 1日 北米、テネシー大学シャープ教授よりの蘚苔標本109点到着
5日 南魚沼郡六日町坂戸山植物採集。塩沢町の近藤公氏の下宿(岩田屋、鈴木清治)にとまる
6日 近藤公氏と金城山の植物採集。雲洞庵の沢道から登山。雨
7日 午前4時、塩沢駅発。新潟着7時45分、登校
21日 生物部三国峠採集旅行、雨のため中止。駅で解散
22日 生物部三国峠採集行。南魚沼沢町貝掛温泉泊り。苗場山道採集(羽鳥、池上、勝井、本間、八木、羽田、古田、松本、田村、石田満(卒))
23日 午前中、雨。元橋一浅貝、バス。浅貝の学校で晝食。午後、晴れ。三国峠、三国山登山。8時、法師温泉につく
24日 法師温泉附近採集。11時40分、バスにて帰途につく。途中、清水トンネル附近から雨。越後は大雨。6時40分、新潟駅につく。水島町方面は床下浸水
26日 宿直。尾崎先生來訪

8月

- 9日 黒部峡谷採集旅行出立。樺平—祖母谷、祖母谷温泉どまり(温泉主人、山本常造氏は、以前、

黒部峡谷採集の折、世話になった人。72才)。(新潟発5時。ナカは、5時10分の越後線で妙法寺の母見舞)

- 10日 清水岳から白馬岳にのぼり、下の小屋でとまる。(途中、大阪の人2名、前後しながらのぼり同宿)7時半着
11日 朝、本校の小島孝、広沢功両先生に小屋前であう。白馬雪渓まで下り、更に頂上をかけて清水岳に下る。不帰岳で雷雨となる。日暮れ、途中、難波の東京大田区畑田静子他七名のパーティーを輔けて、夜11時、祖母谷着(小島、広沢両先生、採集品を学校までかついで下さる—8時出立)
12日 中背山採集。麓で白馬から前夜10時に下山したという夫婦の登山家にあう。午後、雷雨
13日 南越(ナンゴシ)から餓鬼ノ田圃おくまで採集行(雨)
14日 祖母谷—猿飛採集(雨)
15日 猿飛から樺平に出、水平道路を採集。志合谷、折居谷を経て阿曾原に至る。途中、南高卒業生の小泉広佐久君一行來る。阿曾原泊り
16日 朝、百米ほど下の川原の温泉に入り、後、水平道路の *Lophocolea fryei* の調査を行い、午後から池ノ平登山。池ノ平泊り(晴天)
17日 池ノ平から仙人池をまわり阿曾原に下り(午後4時)、猿飛にかえる(9時半)
18日 採集標本を発送に宇奈月を下る。午後3時、猿飛から鐘釣に下る。新鐘釣温泉泊り(客人なし)
19日 西鐘釣山採集。錦繡温泉泊り
20日 西鐘釣山、東鐘釣山、不帰谷採集。錦繡温泉泊り(前夜豪雨あり、増水著し。客人なし)
21日 鐘釣から黒部を下る(雨)
22日 黒部の沢を採集(晴)。午後、電車にて宇奈月に下って宿泊(住友電気工員の朝倉長作氏(32)、本日3時、猫又で右手両足離断。黒部病院で6時10分死亡)
23日 宇奈月のヤサゾウ谷を採集。午後1時15分の電車で黒部に赴き、黒部から宇奈月まで軌道ぞいに採集。7時、宇奈月につき、途中、電車、徒歩(愛本橋—中谷—舟見入口)、バスにて、舟見鉱泉につく(雨)
24日 舟見町のおく、舟川の上流の石灰岩の採集(雨)。バスにて泊に出、新潟へ夜8時帰着
28日 銀山平採集行。5時出立。長岡乗換、小出下車。昭和石油会社の出張所に渡辺常弥氏を訪問(留守)。更に伊倉剛三氏のところに立ちより、12時のバスで須原口に赴く。雨で途中の橋がおち(清水)、3時半につく。渡辺氏、トンネル経由にて須原口に待っておられ、ダム地点を

- 案内して小出にかえらる。浪拜の銀山荘泊り
- 29日 須原口一中ノ岐—清水—石抱を採集。バスにて須原口にかえり銀山荘泊り
- 30日 渡辺氏、トラックで銀山荘に来られ、大津岐まで案内。水白沢、ぶどう平、鷹巣、とろ平、砂子平、小沢平採集
- 31日 浪拜、助洲、片貝谷採集。午後4時、渡辺氏、三輪車にて来られ、奥只見ダム工事場を案内。工事用トンネルを通過して小出駅まで見送り。夜10時すぎ、新潟帰着

9月

- 7日 新大教育学部学生、河合三喜男氏、苗場山の植物をもって来訪。渡辺常弥氏、銀山平の採集標本をとぎけに来校
- (13日 佐渡金沢高校の伊藤邦男氏、生物研究室訪問)
- 21日 吉原正秀氏、来訪。純一をつれ、先生と小林デパートの小中学校夏季理科作品展に参考出品の尾崎富衛氏のモミジ展をみに行く。工藤孝雄、鈴木俊夫、相馬悌介、馬場金太郎、桜井圭夫、牧野恭次、八木広男の諸氏来場。午後3時、吉原先生を新潟駅で見送り、純一を万代校の「公民館運動会場」に送って帰宅
- (23日 ナカと春日劇場の「二十四の瞳・・・主演、高峰秀子」、「雑居生活・・・主演、轟夕起子」観覧)
- 28日 生物部採集会。南蒲護摩堂山。時々、驟雨。8時出立。4時帰着。新津—矢代田間バス(参加。勝井、八木、羽田、古田、松本、坂井)

10月

- 6日 高校理科教育研究会(於中央高校)研究授業。小林先生(一年生物、神経、スライド映写)。協議会。映画—下重重吉氏監修の「動物の冬眠」。午後、下重重吉氏(東京教育大)の生態学講演
- 7日 全上第2日。午前、下重氏の「冬眠の話」。午後、見学「電子顕微鏡」、「アイソトープ研究室」(新大医学部)。佐渡金沢高校の本間建一郎氏に「トノサマガエル」をとぎける
- 12日 純一をつれ、西新発田及び聖竜村蓮野の湿地へ植物採集に赴く
- 13日 夜、尾崎富衛氏を訪問。朝日岳の標本閲覧
- 18日 縣下中等教育研究会生物部会司会(池上、富川、高橋、田辺)。長岡高校。當山主事出席。終了後、近藤公氏(地学部会に出席)と長岡博物館に吉原正秀氏を訪問。池上宿泊

11月

- (1日 刈羽の兄玄龍の葬儀。夜9時、骨拾いをすます)

- 3日 葬儀のあとしまつ。夕方、神明山の植物採集
- (5日 警察官職務執行法改悪反対大会(教育庁前、午後3時から)に出席。妙法寺の母の見舞いに行ったナカを6時46分、新潟駅に出迎える)
- 18日 警察の鑑識課から盗難にかゝったツ、ジの根の鑑定依頼に来校
- 27日 吉原正秀氏、植物研究に来訪、一泊
- (27日(皇太子妃(正田美智子)決定報道)
- 28日 吉原正秀氏、学校にて植物研究。4時45分の汽車で帰宅さる

12月

- (5日 勤評反対・統一行動。正午、授業打切。教育庁前にて大会)
- (10日 勤評反対・統一行動。正午、授業打切(三年、正常授業。高教組の先生担当。一、二年、畔上教授(新大教育学部))
- 14日 服部研究所へ蘚苔標本発送
- 30日 純一をつれ、山ノ下河渡のジュンサイ池へ植物採集に赴く(*Cephalozia*の調査)

1959年(昭和34年)

1月

- 1日 1日～3日、黒部峡の植物標本整理。4～6日、銀山平植物整理
- 8日 始業式。午後3時、尾崎富衛氏、九州旅行及び朝日岳のスライドをもって来訪
- 18日 尾崎富衛氏、カエデの文献転寫に来宅

2月

- 2日 村上の工藤孝雄氏、植物研究に来校
- 27日 卒業式。午後、米国へ学会費送金に関し、新潟郵便局へ相談にゆき、後、新大理学部へ「イカリソウ」の文献をみに行く(本間義治助手訪問)

3月

- 3日 吉原正秀氏、植物研究に来校
- 16日 生物部採集旅行(大沢鍾乳洞、護摩堂山)。羽鳥先生、二年主任会議のため、午前でかえる。参加(林、羽田、田村、古田、山田、伊藤、渡辺、坂井、本間、高山)
- (29日 純一をつれ弥彦山にのぼり、刈羽で一泊)
- 30日 墓参。神明山植物採集。妙法寺へよって、夕方、新潟へかえる

4月

- (1日 純一、キク、槇坂さん(キクの学友)をつれ、北蒲、鳥坂山へ植物採集に行く)
- (10日 皇太子、正田美智子結婚式。宿直。テレビをみる(鈴木、青池))
- 26日 新発田市上石川植物採集
- 29日 純一をつれ、北蒲、金塚の大峰山へ植物採集に赴く。菅谷下り、8時、新潟帰着

5月

- 10日 純一をつれ、馬下駅のヤシャダケの花をとりに行く。保田からバスで水原に出、瓢湖をみて、8時、新潟にかえる
- 31日 生物部採集旅行。東蒲上川村広瀬、小瀬谷洞穴(羽鳥、池上、木村、生徒8名)

6月

- 8日 津川高校赤城源三郎氏、キリン山植物の原稿依頼に来訪
- 12日 オリンパス会社技師3名、顕微鏡修理に来校。生物講習会の協議会。厚生財団にて(当山、菅原、松田、池上)
- 14日 純一をつれ、白根の風合戦見物(午前、植物採集)
- 16日 松田一郎氏、蘚苔研究希望の内藤秀樹氏を紹介
- (25日 組合大会(安全保障条約改正反対。於新潟小学校。講演、憲法と安保条約…菅野新大講師))

7月

- (19日 原水爆禁止署名及び募金、大和デパート前(鏡淵小、浜浦小、南高(池上、羽鳥)午後4時半~6時))
- 24日 粟生島植物採集行。9時、粟島丸にて柳島出帆。金子忠君の母、見送りに来る。途中、強雨。12時半、粟生島内浦につく。金子忠君出迎。本保旅館に投宿。粟島浦中学校訪問。2時から牧平へ採集に赴く。8時、帰る。夜、金子忠君、生徒2人をつれて来訪
- 25日 小柴山(灯台あり)釜石採集。途中、新潟工業高校のパーティーにあう。釜石分校の宮田正三氏を訪問。2人で八幡鼻まで採集。夕食を馳走になり、標本、スライドをみて、8時出立。9時半、背中峠をこして内浦にかえる
- 26日 大坂山採集。午前、中学校の渡辺宏氏と生徒2名同道。はじめ、前浜採集。宮田氏、裏海岸へ船をもって出迎う。藪から川に下りて海岸に出る。立島をまわり釜田にて下船。宮田氏と採集。峠でわかれ、前浜に下り内浦にかえり、学校に金子忠君を訪れる
- 27日 8時半、内浦を出帆。粟島丸で岩船港に10時

半上陸。岩船神社の社叢を採集し、バスにて新潟にかえる

- 29日 朝5時出発。生物部採集旅行(池上、羽鳥、木村一朝妻、羽田、田村、古田、松本、渡辺、伊藤、大湊、早福一勝井)。12時、小滝下車。瀬野田の石灰洞をさがしたが不明。4時出立。大峰峠をこす。勝井、落伍し、8時に蒲原温泉につく
- 30日 汽車にて根知に下り、バスで山口に至り、途中採集しながら、梶山新湯に至り、宿泊
- 31日 梶山温泉7時半発、帰路につく。6時、新潟駅着

8月

- 3日 県庁商業観光課に佐竹恭一、上村秀夫両氏を訪問。雨飾山植物採集許可申請
- 5日 二葉中学校に尾崎先生を訪問。県庁へ右申請書提出に行く
- 6日 純一をつれて金津滝一五泉、採集旅行
- 10日 南魚沼郡塩沢町巻機山の植物採集旅行出立。二葉中学校生徒と同道。(尾崎富衛、木下広喜、江口直禎)。清水小学校に宿泊。附近採集
- 11日 天候を気遣い、予定を入れかえて清水峠へ行く。七ツ小屋山、蓬峠、白樺小屋をめぐって清水峠を下り、9時すぎ清水小学校にかえる
- 12日 巻機登山。小雨。4時下山。バスにて六日町に出、新潟にかえる
- 19日 キクをつれて雨飾山(糸魚川市)へ採集。尾崎富衛氏同道。梶山温泉泊り
- 20日 雨飾山登山。頂上着四時。4時半から下山。9時、温泉着
- 21日 梶山温泉を出立。新潟へかえる
- 24日 22日の雨で、川祭の花火、今晚に延期。御神楽岳登山の打合せに河合三喜男、内藤秀樹氏来訪
- 25日 御神楽岳採集行。河合、内藤両君同道。津川附近採集。一バスおくれ、下川村役場により、徒歩、八田蟹を経て蟬平に至る。熊倉栄太郎氏宅に泊る。鉾山跡まで広谷川の沢を採集
- 26日 御神楽登山行。雨のため、終日、鉾山跡の炭焼小屋で休む
- 27日 御神楽岳登山。栄太郎道を上り、4時、頂上着。4時半から下山。笹倉山下の渡渉点に9時下山。道が見えず、川岸で野宿
- 28日 川岸出立。途中、熊倉氏、朝食を携えて来る。同氏の炭焼小屋で小憩、下山。蟬平に帰り、トラックにて八田蟹に出てかえる
- 30日 純一をつれ、古志、鋸山、花立峠へ登る。長岡博物館により、吉原正秀氏同道

9月

- 1日 尾崎先生を訪れ、帰りに新潟眼鏡院でルーペを購入
- 2日 夜、河合三喜男氏、ゼミナルのため生態雑誌を借りに来る
- 5日 中央高校の小林敬先生、生徒をつれて来訪（佐渡の竹林植物、ヤダケの花をとらけてもらう）
- 11日 新大教育部学生、毛島亮照、近藤治隆の両君、佐渡ドンデンの植物をもって来訪
- 18日 昨秋の生物教育研究発表会の原稿を再検。遠山主事にかえし、各人に返送再検
- 19日 佐渡の金沢高の伊藤邦男氏、籠球選手をつれて来訪。羊歯標本を研究
- 20日 赤谷、焼峯採集行。生物部
- 24日 柏崎地区高校の生物研究会に招かれて参会（会場、西越高）。小木城山の採集。富川竜太、岡田勇作、藍沢直文、本山久敬氏、他生徒職員60余名。おひころ雨あり、神社で昼食。小木駅から汽車で帰校。講演。（朝、別山の教え子、三富睦子、寺沢ヨリ子にあう）
- 28日 村上の工藤孝雄氏、腊葉をもって来訪
- 29日 浜浦小学校三年生母の会の海浜植物の採集会に招かる（中遠先生、蛭谷芳蔵会長案内）

10月

- (2日 西ドイツの大学生（シュミット君とクリカハイム君）来校。有志にお話とスライド映寫）
- 5日 茨城大学、佐藤正巳氏（佐渡行）を新潟駅に出迎える（午後7時9分）
- 16日 生物教室建築視察。猪田技師同道。与板高校（太田源衛氏）、柏崎高校（富川竜太、岡田勇作）。吉田まで三條東高校の大黒山平氏同車。与板—（電車）—脇野町—（バス）—出雲崎—（ガスカ—）—柏崎。八時、高田市着。本町5、植木屋旅館に宿泊（猪田氏は郊外の自宅に泊る）
- 17日 午前、高田北城高校視察（春山武氏、星野女史）。猪田氏をかえし、高田高校に高橋節也、河原正美両氏を訪問。午後、新大教育学部の吉川純幹氏を訪問。城址の植物を採集し、南城町一丁目の吉川氏宅にとまる。腊葉及びスゲの原図等拜見
- 18日 吉川氏と高田市外の金谷山へ植物採集に行く。午後、雨となる。5時半の汽車で新潟にかえる
- 24日 河合三喜男君、植物の学名をしらべに来校。8時半から「牧野博士のドラマ」（テレビ）があり、夜警の鈴木氏と3人で観覧。9時半、帰宅。生物教室の設計図をひく

11月

- 8日 日曜。家庭訪問。駒込の池の植物をみる
- 10日 吉原正秀氏、来泊。尾崎富衛氏、来遊
- 11日 吉原先生、午後2時半まで学校にて植物研究
- (12日 佐藤事務官と2人で県庁建築課に猪田技師を訪問。生物教室の設計について協議)
- 17日 暑休以来の腊葉3267点の整理を終る

12月

- (10日 安保条約改定反対（組合大会）。鏡淵小学校。5時半からデモ行進。（4時、工藤孝雄氏来訪）
- 14日 工藤孝雄氏及び卒業生、曾根惇、五月女隆両君来訪

1960年（昭和35年）

1月

- 6日 生物部懇親会（生物教室）
- 24日 加茂町狭口の坪谷富男氏、植物研究に来校。吹雪。宿直
- 30日 生物教室建築工事着手。佐藤正巳氏より大阪市立大学採集のタイ国蘚苔標本を贈らる

2月

- 28日 終日、尾崎先生宅にて腊葉研究

3月

- 6日 加茂植物採集。坪谷富男氏の案内にて、午前、明神の森、午後、腊葉をみ、後、猿毛の谷の採集
- (10日 組合大会（教育庁前）。帰途、早福印刷所へより雑誌出版の見積り)
- 12日 農学部平田幸治教授（植物病理）、牧野恭次、内藤秀樹氏来遊
- 18日 農学部園芸教室の石沢進氏来訪
- 29日 純一をつれて刈羽へ。途中、吉田、小島谷下車、植物採集。夕方、神明山採集
- 30日 純一と妙法寺へ（途中、刈羽の見日神社、大塚の刈羽貝塚による）。妙法寺のお宮前でナガハシスミレ採集。西山まで歩いて汽車で新潟へかえる。ナカ出迎
- 31日 内藤秀樹、松田一郎両氏、来訪

4月

- (1日 「13階段への道」観覧)
- 4日 内藤秀樹氏、秋葉山の蘚苔検鏡に来訪。武田宏（教育大）君来訪
- 22日 工藤孝雄氏「村上臥牛山植物目録（稿）を携え

て来校

- 27日 NHKの根本一之君、放送資料（新潟の春・・・動物・植物界）をもらいに来校
- 28日 午後6時15分、大高先生とラジオ放送「新潟の春」をきく

5月

- 3日 純一をつれ馬下（ヤシダケの花調査）五十島へ植物採集行
- 28日 吉川純幹、吉原正秀氏来校。吉川、須田氏、宿泊
- 29日 東蒲、三川村中ノ沢採集行（内川定七、須田久蔵、平田幸治、牧野恭次、石沢進、丸山幸平、西山邦夫、八木広男、尾崎富衛、松田一郎、小林敬、中央高校生3名、前沢吉雄、坪谷富男、吉原正秀、吉川純幹、佐久間瑛二、内藤秀樹、池上計22名）
- 30日 午前、吉原正秀、須田久蔵両氏来校

6月

- 11日 新潟鉄道局山岳部指導者講習会講師として午後3時の急行「越路」で南魚、清水へ。午後5時半、塩沢で下車。鉄道の自動車にて清水へ。阿部義兼氏宅に泊る。森谷周也氏、石井（*空白）氏が世話役。マナスル登山の清水氏来あわす。立教の山岳部OB（*空白）が技術講師。夜、座談会。植物の話
- 12日 巻機山登山。割引沢にてグリセード訓練。割引山頂で植物講話。午後6時の急行「越路」でかえる
- 15日 新津市小学校理科研究会、秋葉山の植物指導。E. H. Ketchledge 氏（北米）へ交換蘇類282点を送る
- (19日 午前0時、安保条約自然承認となり、安保反対合同デモ。新潟局前一白山)
- 26日 日本平植物採集行。尾崎、木下、八木、坪谷、木村、池上。汽車におくれ、ハイヤーにて新発田に出てかえる

7月

- 5日 浜浦小学校四年生の「海浜植物」の指導
- (18日 二年五組石田勝彦、寄居浜にてボートに乗り水死。職員、生徒、捜索に赴く)
- (20日 終業式。石田勝彦君の葬儀。火葬場まで会葬。(池上、児玉、生徒数名))
- 21日 燕市東小学校の植物研究会に赴く。中ノ口川堤防採集及び講演
- 22日 県主催の中学校理科実験指導講座の打合会に出席のために佐渡に渡る。8時半、新潟出帆。採集行の打合せに新大農学部平田教授、中央埠

頭に来らる。途中、金沢高校の本間建一郎氏を訪問。午後1時、佐和田中学校の打合会に出席。終了後、佐渡（*?）高校の渡辺貞吉氏、本間与一郎氏を訪問。地衣標本をみて、千種の本間氏宅に泊る

- 23日 中興の農事試験場の信田敬氏を訪問。吉井の須田久蔵氏、半日同道。研究会の实地指導地の検分に佐和田海岸から佐高校庭、だんげしょうの丘を採集。午後は中興の出、信田氏案内でサドユリの実験圃を見学。後、上野口の中ノ入堤まで採集にいく。平田氏、来渡。本間氏宅に同宿
- 24日 新穂の清水寺越、植物採集（池上、平田、本間、須田、渡辺、信田、その他農業高校職員若干）
- 25日 平田先生と2人で真野へ植物採集にいく
- 26日 妙見山植物採集（平田、本間、渡辺、須田）真光寺道を上り、金沢下り。9時に本間氏宅につく
- 27日 午後の船で平田先生と帰る
- 30日 登校。天神尾でアゼテンツキ類採集
- 31日 生物部採集行。中魚、中津峡、逆巻温泉泊り（付添、池上、羽鳥、木村）

8月

- 1日 風穴、金城山の裾採集。夕方、羽鳥先生と高野山道採集
- 2日 高野山を経、相吉に出てバスにのり、外丸に出て帰る
- 4日 佐渡行。両津で土屋繁雄君出迎。通運の二階で昼食。相川に赴く。山本嘉作様方に泊る。広間から山之神、相川高校を訪れ、小林将雄校長の案内で校舎見学。夜、同窓生の歓迎宴に出席（くばた旅館）
- 5日 県主催、理科実験講習会講師として佐和田中学校にいく。助手本間与郎（佐高）、中野敏郎（佐和田中学）。午前实地研究（佐高校庭とだんげしょうの丘）、午後講義。朝、田村義雄君、巻貝の標本をバス会社まで持ってきてくれる
- 6日 達者の佐渡臨海実験所（新大）訪問。岩沢久彰主任、北見健彦所員にあう。相高生物部員、首藤馨教諭引率にて研究中（トビウオのスケッチ）。北見氏の案内で尖閣湾、揚島を船でまわる。午後、達者川上流の植物採集
- 7日 元相中使丁の川村松蔵氏及び山本さと子夫婦を石柘町に訪問。後、千畳敷の植物採集。山本嘉作夫妻、山本俊三君の見送をうけ、1時半出立。午後の船で新潟にかえる
- 9日 静岡へ出立（夜行）
- 10日 国府津採集。御殿場に至り、「竹笹の会」に出席。室井卓、杉本順一、笹村祥二、浅野貞夫氏等に

あう。自然真道本部（前島氏）に泊る。竹笹植物園見学

- 1 1 日 竹笹研究発表会（同本部講堂にて）。夜、招待宴。竹笹園にて採集
- 1 2 日 雨のため、富士山の採集会は中止。座談会を開き、日野巖氏（菌類）の話などあり。午後、竹類園及び付近にて採集
- 1 3 日 一同出立。御殿場にて標本発送。笹村氏と別れ、焼津にて室井、岡村はた女史とわかれ、伊豆に向う。浄蓮の滝採集。天城峠下まで夜道を歩き、トラックを拾って梨本、大滝の天城荘に泊る
- 1 4 日 雨。天城荘滞在。付近採集
- 1 5 日 天城峠、八丁池採集。天城荘泊り
- 1 6 日 下田に出、下田公園の山を採集
- 1 7 日 教育大学の下田実験場見学。石廊崎、下賀茂採集（東大植物園見学）
- 1 8 日 下賀茂の厚生省有用樹木園温室見学。バスにて西海岸をめぐり、土肥—修善寺—伊東に出、東京目黒の秀雄兄宅にとまる
- 1 9 日 都立大学、加藤英男、大房剛氏を訪問。牧野標本館見学。午後、東大植物学教室へ（金井弘夫氏、原寛氏）（インド旅行より帰国）
- 2 0 日 国立科学博物館（奥山氏訪問）。午前、標本荷造。政弘（*甥）君が目黒駅まで送る。夜行で新潟へ
- 2 4 日 キクをつれ谷川岳へ（途中、長岡下車、長生橋まで散歩）。土合、山の家により、南魚、大和村の赤石小学校の山県智恵子女史同道。小雨。8時半、肩の小屋につく
- 2 5 日 谷川岳頂上にのぼり天神尾根に下る。谷川温泉に下り、徒歩、水上に出る。終列車でかえる。湯沢から尾崎富衛氏乗車。12時すぎ、新潟につく
- 2 8 日 純一の遠足。平木田下車。山田泰造氏宅により、韋駄天山、中野湿地をみ、坂町まで歩く。鷹巣温泉泊り。小山研二氏（館主）来遊
- 2 9 日 鷹ノ巣山に上る。下関駅で駅の坂井厚氏、新発田の山岳人、貴船継雄氏にあう。村上に出、城山を採集。更に瀬波温泉をめぐってかえる。本間日生（車掌）さんにあう

9月

- 3 日 農学部石沢進氏来訪
- 8 日 中蒲、小須戸小学校の植物指導会に赴く
- 1 2 日 新潟大学理学部の教生実習開始
- 1 6 日 オリンパス会社の顕微鏡修理（馬場機械店援助）
- 1 8 日 生物部、赤谷の俎倉山採集行。横山教生同道。沢道で浅妻、五十嵐、島本、榎谷ら、ハチにさされ、五十嵐、島本、榎谷を帰宅さす。午後、

雨となり、途中より引きかえす

- 2 3 日 加茂の坪谷富男君を伴い、別山へ竹笹の株をほりにいく（富士竹類植物園へ送るため）。途中、大河津で乗換時間に付近採集。後谷で池田喜平治君にあう

10月

- 1 1 日 広島大学、堀川芳男教授、研究旅行に佐渡より新潟へ。夜、新大教育学部の相馬悌介教授宅に堀川教授を訪問、採集行の打合せをする
- 1 2 日 堀川教授を新潟の秋葉山に案内する（10時15分新潟発、午後2時47分急行日本海にてかえらる）
- （1 5 日 組合早退大会。白新中学。東大、持田栄一氏講演（教育基本法の問題点））
- 1 5 日 尾崎富衛氏、来校（ラジオ放送、モミジの話の原稿について）
- 3 1 日 本間建一郎氏のチャボサヤゴケの原稿校正終了発送

11月

- 2 2 日 吉原正秀氏、植物研究に来校
- 2 3 日 休日。吉原正秀、尾崎富衛両氏、植物研究に来校。尾崎先生の四国旅行スライド映寫。吉原先生とまり
- 2 4 日 工藤孝雄氏、腊葉をもって来校

12月

- 1 6 日 長岡科学博物館昆虫部の樋熊清治氏、栗島の植物のことについて来訪
- 2 8 日 秋田県矢島高校、佐々木準次氏来訪（生物教室へ）
- 2 9 日 純一をつれて登校。標本分類
- 3 1 日 全上。大雪

1961年（昭和36年）

1月

- 2 日 純一をつれて登校。標本整理
- 4 日 純一をつれて標本整理
- 5 日 登校。標本整理。
- 6 日 純一をつれて登校。標本整理。大雪で列車不通、来訪予定の加茂の坪谷氏来らず
- 7 日 全上。
- （1 4 日 新潟鉄道局（国鉄新潟支社）火災。羽鳥、八木、桑野、火事見舞いにこらる）
- （1 8 日 60年来の大雪で列車、バス、混乱）
- 2 4 日 プランチェン、ファミリーエン、蘚苔（1）

(14,100円)到着

2月

- 1日 工藤孝雄氏、植物研究に来訪
- 11日 農学部石沢進氏、腊葉をもって来訪
- 26日 坪谷富男(加茂)、尾崎富衛両氏、植物研究に来校。宿直
- 27日 卒業式。松田一郎氏、来校
- (28日 キクの受験付添、10時半の準急で東京へ)

3月

- 1日 女子大行バス中で、卒業生山崎幸治君(バイオリニスト)に会い、彼の下宿で休憩。2時半、田村屋にかえり、後、小石川植物園見学
- 2日 午前、目黒の林業試験場に今関六也氏(保護部長)を訪問
- 3日 午前、東大前の考古堂書店へ。午後、上野の科学博物館に奥山氏訪問。渡嘉敷氏、研究に来館中
- 4日 午後、科学博物館にて笹岡久彦氏の黒部峡の蘚類標本を点検。館では、腊葉展の準備中(小林、奥山、丸山)
- 5日 午前、小石川植物園の温室見学
- 6日 浅川に赴き、林業試験場訪問(林弥栄(場長)、小林義雄)。午後2時半から多摩陵及び試験場裏山の植物採集。5時半、宿にかえり、キクと夕食。7時半、出立。準急で新潟へ(往復ともに美しい雪の月夜)
- (8日 職員数名で「我が闘争」(東映)を観覧)
- (28日—31日 文明堂のストライキにて生徒名票の印刷が出来ず、奔走)

4月

- 12日 ドイツより Fedde Repertorium がとゞく
- 13日 Pflanzen-Flammilien(蘚類その二、15,970円)とゞく
- 16日 5時から、小林デパートで新旧職員、歓送迎会。帰路、尾崎富衛氏を訪問。本間氏、居合わす
- (25日 ILO 条約批准に伴う国内法改正反対職場大会)
- 26日 尾崎富衛先生、6時半来校。上京についての相談
- 27日 工藤孝雄氏来校
- 29日 純一をつれ、馬下駅のヤシダケの花を調査。小山田の桜山に登り、猿和田に出て帰る

5月

- 2日 中央高校小林敬先生、天産誌のことで来校
- (13日 北信越高校野球、純一をつれて観覧。午後4時～7時、金沢(4):南高(2))

- (17日 理科教育センター設計協議(教育研究所))
- (18日 大里先生と气象台にゆき、大沢課長に会い、雑誌「雪氷」をみる)
- (25日 I. L. O条約即時批准、国内法改悪反対、組合大会)
- 28日 公会堂の舞踊大会(石井小浪、こばと会合同)に学級の島倉記美代が出演するので観覧にゆく。帰途、尾崎富衛氏を訪問

6月

- 4日 五泉市橋田中学校の西海士寿郎氏、腊葉をもって夕刻、来校
- 10日 吉原正秀氏、来泊
- 11日 植物採集会、北蒲、魚止滝行。尾崎、吉原、工藤、松田、丸山、石沢、牧野、田中、福原、羽鳥、水沢、内藤、坪谷、北沢、小幡(上越では、八石山採集会あり。吉川氏等)
- 17日 石沢進氏、ユキツバキの原稿をもって来訪
- (18日 上杉謙信。武田信玄の武将展(小林百貨店)に純一をつれていく)
- (22日 中庭植物園の測量(生物部))
- 25日 生物部採集行。間瀬、弥彦山行。羽鳥、池上、五十嵐、児玉、他数名
- 28日 新津市教育研究会の採集会(小学校)。秋葉山

7月

- 7日 浜浦小学校三年母の会、「植物の話」にいく
- 11日 関屋小学校の校庭の植物研究会にいく。午前、長岡高校の中川洋吉氏(生物)視察に来校
- 12日 丸山小学校の植物研究会にいく。「学校の庭の植物」。帰途、亀田、北山の植物を採集
- 16日 村松町早出峡へムシトリスミレの自生を見にいく。坪谷、西海士両氏同道
- 21日 尾崎富衛氏を訪問(カエデの論文作製について)
- 24日 理科部会
- (26日 純一をつれて高校野球大会を見に白山球場へ。金子忠君みえる。南高は、村上桜丘、中條、十日町を破り県大会に出たが、新発田農に3対2で惜敗)
- 30日 山岳部の佐藤哲夫ら、飯豊山から、依頼のスギカズラなどをもって来てくれる
- 31日 高橋満先生、「雪国の植物」の英文原稿をとゞけに来て下さる

8月

- 1日 石沢進氏、ユキツバキの原稿をもって来訪
- 4日 夜、尾崎富衛氏、モミジの原稿のことで来訪
- 5日 三面採集行のことで打合せ
- 大雨、中越に出入。大雨注意報により8時より

羽鳥先生と新潟駅、新潟気象台にて情報を確認の上登校し、三面行、一日延期の電話、電報連絡をする。水沢助手（東掘）へは自転車で連絡。帰宅11時45分

- 7日 三面採集行（生物部、一年、細川正毅、風間裕二、二年、木村徳衛、五十嵐進、一年女子、宮内節子、結城清子、卒業生、羽田俊雄）。付添、池上、羽鳥、水沢。雨。三面ダム付近採集。新大農学部林学科の山田昌一教授、丸山幸平氏らの三面ブナ林調査行の船に便乗。猿田下船。三面に至り、小池巧之介氏を訪ね、竜音寺（唐津淳司）に泊る
- 8日 赤滝の沢、朝日登山口の地藏小屋まで採集（晴）
- 9日 午前、雨。小国峠採集。バスにて小国に下り、小国の裏山を採集。9時、新潟着
- 10日 江村教授、東蒲原総合調査（きりん山の植物）のことで来校
- 11日 松田一郎氏、原稿をもって来訪
- 12日 純一をつれて、大日ヶ原へ採集に行く
- 17日 タカキアの採集を服部新佐氏に依頼されて白馬岳へ。キク同伴。黒部峡に入り、祖母谷の名剣温泉に泊る
- 18日 白馬岳登山。清水岳（午後5時）を経て、8時、山頂ホテルにつく
- 19日 朝、キクと山頂へ。蓮華山を下り、白馬大池泊り。白馬乗鞍岳うらの雪渓でタカキアをとる。雷雨。（午後3時、大池小屋に入った時、地震あり）
- 20日 蓮華温泉に下り、ヒワ平に出、バスにて糸魚川に出る。夜行青森行が途中、集中豪雨出水のため、来迎寺で立往生。車中一泊
- 21日 朝8時になるも線路の復旧見込みたゞず、長鉄にて西長岡をめぐり、10時半、長岡発。新潟に1時ころつく。長岡市中の出水はげし。井上氏にタカキア小包速達
- 22日 服部氏にタカキア生品を航空便にて送る。登校。夜、尾崎、中村行雄、本間建一郎氏来訪
- 23日 中村行雄氏、シダ標本を見に来り、登校
- 25日 純一をつれて寺泊へ採集に行く。分水口から大河津橋をめぐり地藏堂に出て、8時半帰宅。夜、尾崎富衛氏、福島旅行のことで来宅
- 26日 本間建一郎氏、渡部貞次氏と新大（農）の平田幸治先生を訪問。農学部内見学。萩屋教授のユキツバキ、加治氏のイモチ病毒素の研究など参観の後、ジュンサイ池をめぐり、平田先生宅で晝食の馳走にあずかる
- 29日 牧野恭次君来訪
- 30日 石沢進氏、苗場山で採集の蘚苔標本をもってきてくれる

9月

- (16日 午後8時半～10時、第二室戸台風通過。庭のイチバクが倒れた)
- 17日 庭のイチバクをおこす。石沢進氏、腊葉をもって来訪
- (19日 新大理学部、吉田助教授来校)
- (20日 新大教育学部、相馬教授来校)
- 24日 二葉中学に尾崎氏訪問。文献複写依頼

10月

- 1日 長岡市立科学博物館開館十周年式典に参加。大和百貨店で祝賀会。古賀上野動物園長の祝辞あり。鯖石小学校の教え子片桐丸子（真貝）、長鳥能満寺の持田（大宗）美代子たずねてくる
- 3日 一、三年生遠足。鳥屋野湯。11時半解散。後、湯を一周、植物採集
- 15日 夜、尾崎氏、モミジの文献複写に来る
- 20日 雨。万代小学校の校庭の植物鑑定に招かる。（根津貞六校長）
- 22日 生物部採集旅行。松平山行。（五十嵐、児玉、木村、細川、諏訪間、宮内、結城、水沢助手）

11月

- 18日 胎内峡植物採集行。尾崎富衛氏、自動車運転。同行、石沢進、牧野恭次、坪谷富男。築地を廻り、黒川病院にたちより、胎内第二発電所にて自動車内宿泊。全発電所見学。
- 20日 自動車にて飯豊登山口の椿平に赴き、椿、ブナ原始林を採集。葉上苔あり。新発田経由、8時半新潟帰着
- 26日 文化祭。吉原正秀氏、来校。演劇「シガマの嫁」、英語劇「コゼット」、三年一組合唱、音楽部合奏等。午後は、映画「無法松の一生」
- 27日 純一をつれ、吉原正秀先生と学校へ植物研究に行く

12月

- (8日 理科センター予算会議。駅前、青年の家。小林正直、羽二生主事、柳沢主事、木村、有本、林、大里、松田、他数名)
- 11日 石沢進氏、秋田のツバキの葉上苔を持参
- 25日 生物補習。松田一郎、佐藤力夫、桜井精、来訪（蛾の研究について）

1962年（昭和37年）

1月

- 6日 石沢進、関省吾両氏、植物研究に来訪

- 20日 工藤孝雄氏、植物研究に来訪
28日 純一と学校へ。国立科学博物館の標本をつくる

2月

- 4日 純一をつれて学校へ。里見信生氏よりの標本を整理する
(7日 9時半、水島町の笠井自動車修理工場出火。生徒(高柳、家井、松沢)と現場に赴く)
11日 純一をつれて登校。標本の整理
18日 純一をつれて登校。標本の整理
25日 純一と登校。標本整理

3月

- (11日 純一と登校。日直代理)
(13日 植物園移転)
(14日 理科センター就任の依頼に小林正直氏、藤田暉輔氏(村松高)を伴って来校)
18日 吉原正秀氏からの標本500点の整理
21日 標本整理に登校。新大農学部石沢進氏、砂田氏と来校。加茂のユキツバキの葉上苔持参。尾崎富衛氏来校。プランチェン、ライヒのカエデ科がドイツからとゞき、手渡しする
(31日 生物講師の件につき新潟大学理学部生物教室の吉田氏来訪)

4月

- 1日 大沢鍾乳洞—宮古—護摩堂山植物採集。菅沢の *Riccardia pelioides* 採集。護摩堂頂上で日没。田上に下り、一同、中華そばをたべ、8時22分の汽車でかえる(同行。純一、尾崎、石沢、砂田、坪谷、番場)
26日 石沢進氏、米山のコケをもって来校
29日 生物部、採集旅行。角田山行。朝、雨のため一汽車おくれて出立(五十嵐、木村、児玉、細川、波多野、小野、結城、宮内、池上、青柳)
30日 服部静夫氏講演「生物教育のあり方」。柳水閣にて(下越植物同好会の主催)

5月

- 3日 馬下、諏訪峠、きりん山の植物採集。純一同道。五泉まで稲村先生同車
12日 白山小学校の校庭の植物の鑑定(村川厚司先生の案内)。寄居浜の砂丘植物巡回
19日 新大教育学部学生、小島紀男、加藤慎一両君、「鳥屋野湯植物調査」のことで来校
20日 生物部採集旅行。赤谷の組倉山。(三年、五十嵐、二年、細川、安達、大野、諏訪間、結城、一年、中野、内堀、小野)。付添(池上、羽鳥、青柳)

- 26日 刈羽へ母の病気見舞にいく。西山駅下車、窓ヶ坂より宮川に至る。宮川神社の社叢の植物調査の後、大湊へ出、砂山越えに刈羽へ。一泊
27日 標本整理、邸内の植物採集。午後、雨となり、4時36分の汽車で新潟へ

6月

- 5日 関矢定雄氏、校庭の柳の種名をきゝに来校
17日 柏崎地区生物同好会、小木城山採集会(幹事、本山久敬、藍沢直文)講師
24日 植物採集会。北蒲、藤塚浜—村松浜—中村浜—築地。松田、小林、尾崎、田中、小幡、北沢、工藤、斉藤、内川、平野、紺太、坪谷、中央高校生四名。(バシクルモン、ミゾハコベ、ミズハコベ、タチモ、ムシャリンドウ、ミズニラ、ヒメコウガイゼキショウ、ムシカサなど採集)

7月

- 3日 新発田高校、杉浦英午氏、高体連、飯豊登山指導の依頼に来校
浜浦小学校、海岸植物研究会(世話役、斎藤先生)。海岸砂丘植物をみてかえる
4日 吉原正秀氏、来校。植物研究
(24日 湯川秀樹博士の講演があり、ナカ、キク、公会堂へ)
(25日 テレビ取材)

- 26日 午前、石沢進氏、植物研究に来校。午後、生物部採集旅行の荷造り。羽田俊夫君来校
27日 関屋小学校の研修会(海岸植物の現地指導)

8月

- 3日 高体連、登山講習「飯豊山」。新大、茅原一也氏と湯ノ平行(新発田高校の自動車にて)。当番幹事は、新発田高校の杉浦英午氏。宿泊、食事は新発田高校山岳部の世話になる。夜、湯の平小屋で茅原先生の講演
4日 暴風雨のため湯の平に1日滞在。飯豊の植物について講演
5日 オウエンの尾根を北股岳に登り、与四太郎池でキャンプ。自衛隊、通信、衛生隊参加。解散式
6日 強風のため二班にわかれ、一班は文平池、二班は門内を経て飯豊温泉に下る。池上は新発田高校山岳部と共に門内小屋泊り
7日 一行とわかれ、地神、大石を経て、杵差岳に登り、関川村の固定テントに一人で泊る
8日 杵差岳を大熊に下り、唐(*空白)沢下で野営
9日 小雨。大石を経て、下関駅に出てかえる
10日 登校。生物部、栗ヶ岳旅行打合せ
11日 生物部採集旅行、栗ヶ岳ゆき。卒業生羽田俊夫

君参加。加茂下車、岩野から登山。山蛭におそわれ、頂上着6時。笠掘着11時。(池上、羽鳥、羽田三人だけ。生徒は先の下る)

- 12日 笠掘附近採集
- 13日 光明山登山。午後3時下山。4時のバスでかえる
- 16日 母の葬儀。神明山をめぐり植物をとる
- 17日 早朝、骨拾い。7時15分の汽車で新潟へ。尾崎先生来宅。午後4時の急行で南アルプスへ。途中、小出駅で石沢進氏合流。池上、尾崎と一行3名。新宿で中央線にのりかえ、車中泊
- 18日 伊那北駅下車。バスで戸台へ。戸台―丹溪荘、植物採集。8時、小屋につく
- 19日 仙丈岳、馬ノ背尾根道を登る。8時、馬ノ背小屋につく
- 20日 仙丈岳に登り、馬鹿尾根を両俣小屋に下る
- 21日 北岳に登る。山頂の避難小屋(無人)に泊る
- 22日 御来光を仰ぎ、お花畑採集。蓮華小屋に下って泊る。途中、雷鳥母子5羽
- 23日 北岳下り、広河原に出、林道工事(野呂川)のトラックで夜叉神峠をこえ(トンネル)、芦安に出、バスにて甲府駅につく。荷物をまとめて発送。急行で新宿に出、上野11時50分発、新潟にかえる
- 25日 チッキの標本とゞき、腊葉整理
- 27日 夕方、石沢氏、夜、尾崎先生来宅
- 28日 純一をつれ角田採集行。間瀬―角田浜(晝食)―五ヶ浜―角田浜―松山。(往復ともバス)

9月

- 2日 日曜。新津園芸試験場の桜井精、池田幸弘両氏、ヒメサユリの品種改良のことで来宅
- 11日 明訓高生物部員、鳥海山の腊葉持参
- 21日 新大生物教室の吉田先生来校
- 22日 吉原正秀氏、植物研究に來泊。夜、尾崎富衛氏来遊
- 23日 午前、吉原先生と鳥屋野潟(長潟附近)の植物採集。午後1時42分、新潟駅に吉原先生見送り
- 30日 石沢進氏と鳥屋野潟一周。植物の採集と撮影

10月

- 5日 六日町高校の近藤公氏、塩沢町の洪積層中の植物遺体の鑑定依頼に來校
- 6日 津川高校の渡辺弘雄氏、腊葉を持って來校
- (23日 労組共斗、日韓会談反対など)
- 28日 生物部採集旅行。西山、日光寺行(雨)。細川、安達、伊藤、結城、羽鳥、池上、青柳、渡辺弘雄(津川高)

11月

- 11日 日曜。学校で腊葉整理。吉原正秀氏、家へ寄り、鳩時計をとゞけて下さる
- 14日 工藤孝雄氏、腊葉をもって來校
- 22日 夕方、木村良成、石沢進両氏來校
- 23日 学校で標本整理
- (24日 県立教育研究所並びに理科教育センター落成式に参列(所長、小林正直)。内藤文部次官など参列)

12月

- 2日 吉原正秀氏と服部新佐氏へ標本発送
- 20日 石沢進氏、仙丈岳の腊葉をもって來訪
- 27日 石沢氏、腊葉持参
- 28日 外国小包四ヶ発送(村尾使丁助力)(ピラウス、カイン、ユードー=プレスル)

1963年(昭和38年)

1月

- 3日 石沢氏、植物研究に來訪
- 10日 生物同好会のことで高橋節也氏(理科センター)來訪
- 14日 石沢進氏、植物研究に來校
- 15日 登校。標本整理。宿直

2月

- (2日 大雪で汽車不通のため、9時始業)
- 6日 平田幸治教授來遊
- 15日 組合大会。大畑小学校。終了後、二葉中学校に尾崎富衛氏を訪問
- 17日 新潟県生物教育研究会設立準備委員会(午後1時より理科センターにて)(平松義尚、佐久間、吉崎、岡田、新井、山本、松田、小林、内川、福田、中山、田中、小幡、伏木、柳沢、高橋、藤田、北見、本間、原田、木ノ内)。議長、松田

3月

- 3日 石沢進氏と尾崎富衛氏を訪問。植物標本をみる
- 9日 新潟県生物教育研究会準備委員会(於中央高校。松田、小林、柳沢、内川、小幡、高橋、中川、福田)
- 20日 終業式。県天然記念物候補(北蒲のミズバショウ、佐渡、乙和池、津川、きりん山)について意見書を県教委へ
- 21日 標本整理に登校

4月

- 15日 創立記念日。山ノ下河渡のジュンサイ池付近採集。新大農学部により、石沢氏と平田教授を訪問
- 16日 夜、石沢氏と尾崎先生宅へ、佐渡の植物標本（コモシダ、ノコギリシダなど）を見にいく
- 21日 生物部採集旅行。箱岩峠—菅谷—加治（ムサビの子、マムシなどをとる）
- 28日 純一をつれて見附—大面の植物採集。シロバナエチゴリソウ（大面）をとる

5月

- 3日 馬下駅のヤシダゲの花を見に行き、大蔵の谷（南と北の両谷）の植物調査（大蔵にミヤマフユイチゴあり）。猿和田駅まで歩いて7時の汽車で帰る。五泉から稲村先生乗車）
- 6日 審議会、予算の審議、7時15分まで。腊葉の紙かえをして9時半帰宅
- 11日 工藤孝雄氏、アリアケスミレ、オ・バタチツボスミレの生品をもって来遊
- (12日 純一をつれて鳥屋野潟一周。ナカ、妙法寺へ。8時半、新潟駅へ迎えにいく)
- 26日 植物採集会。北蒲、加治川村、大峰山。一行29名
- 27日 朝、吉川純幹氏来校。植物標本研究
- 29日 岩野俊逸氏来訪。 黒黒一朗君来校

6月

- 2日 村上市柏尾—猿沢、植物採集行。工藤孝雄、石沢進、池上
- 6日 津川高校渡辺弘雄氏、きりん山の植物をもって来校（高松宮案内のため）
黒崎中学校の理科主任と黒黒一朗君来校。弥彦採集会の打合せ
- 8日 津川の渡辺弘雄氏、きりん山の植物持参
- 9日 西蒲、黒崎中学校理科部の採集会（弥彦山）。弥彦軒で休憩。5時24分の汽車でかえる。
南高生物部、細川、結城ほか、角田山採集行
- (12日 大倉流、能楽教室。狂言、千鳥、蝸牛。能の解説、羽衣)
- 15日 午後2時～5時、内野海岸植物採集（下越生物同好会）。小林、松田、本間義治、本間信一、田中虎雄、近田、尾崎、平田、内藤、柳沢、加藤、福田・・・以下約30名
- 19日 佐渡の本間建一郎氏、蘚苔標本をもって来訪
- 23日 生物部採集旅行。赤谷内ノ倉溪谷。細川正毅以下22名。付添。池上、羽鳥、本間、青柳、丸田（沼垂高）
- 30日 新潟県生物教育研究会発会式。於理科センター。

会長、平松義尚氏。「雪国の植物の問題点」（池上話）
午前、吉原正秀氏、内川定七氏、帰りに坪谷富男氏、石沢進氏来校、植物研究

7月

- 3日 新津市教育研究会理科部門の植物指導。金津滝、金津小学校の庭園等
- (12日 日展観覧（小林、大和デパート）。新潟眼鏡院にて、ルーペを購入（1600円。カルトン）)
- (18日 能力開発研究所の進学テストについて会議（見送りに決定）)
- 27日 妙法寺へ病気見舞いに赴く。帰途、長峯、後谷、鎌田の植物採集
- 30日 生物部旅行準備。五十嵐、早福来校。 中央高校、小林敬氏、村松浜のシャジクモをもって来校。新牧野図鑑を文信堂より購入
- 31日 生物部採集旅行、準備

8月

- 1日 生物部採集旅行出立。学校キャンプ（大白川。浅草岳登山）と往復同車。北魚沼郡湯之谷村駒ノ湯で設営。キャンプ。部長、細川。付添、池上、羽鳥、青柳。卒業生、羽田、五十嵐、早福。（26名）
- 2日 バスにて枝折峠に上り、小倉山に登る。駒ノ湯下り
- 3日 午前、谷川ぞいに採集。午後1時半、出立。大湯まで徒歩。バス、汽車で新潟へかえる（6時半）
- 6日 会津採集旅行。5時20分発、若松、9時4分着。齋藤慧氏、出迎。同氏宅に7泊。馬場義仲氏も同道。東山の背炙山の採集。全期間中、齋藤氏付添、案内
- 7日 駒止湿地の採集。齋藤慧、折笠常松、馬場義仲氏同道
- 8日 中山風穴の採集。夜、馬場氏、キノコ図鑑をもって来遊（テングノメシガイの研究）
- 9日 雄国沼行。小型四輪車にて登る。朝、黒崎勝蔵君訪問
- 10日 磐梯山登山。押立から上り、猪苗代に下る
- 11日 午前、腊葉整理。黒崎君宅へ古新聞をいただきに行く。午後、若松女子高校の標本をみる。
折笠、馬場氏、飯豊山のスライドをみる
- 12日 赤井谷地行（折笠、馬場、齋藤、池上）。帰途。雁通谷のオニアカバナ自生地をみる。若松城址をめぐる。黒崎君を勤先のマロニューに訪問。3時半まで標本荷造
- 13日 若松出立。山都に下車。榛木原の植物採集。帰途、農家に立ちよる。5時半、駅にて齋藤氏を

- 見送り、6時半下りで新潟へかえる
- 14日 県山岳協会の招きで、北蒲、黒川村の知新寮へ(国体飯豊登山の打合せ)。飯豊の植物について講演とスライド上映。夜、映写会(飯豊山と黒川発電工事)。筑木先生も参列。藤島玄父子も
- 15日 朝、藤島玄氏の講演をきき、知新寮を出、黒川第二発電所まで行き、ひきかえして宮久のミズバショウを見、黒川に出て、タケの花をとり、更に徒歩にて地本のミズバショウを見、押切からバスでかえる
- (16日 白新中学校の先生、浸透圧の実験のことで来宅)
- 26日 夜、二王子山採集行の打合せ、尾崎、石沢両氏、来宅
- 27日 農学部育種教室、石井幸夫氏来校(染色体研究の話)
- 28日 尾崎先生、二王子山行の連絡に来宅
- 29日 新教育課程研究会、理科下越部会。於商業高校。議長、松田一郎氏。帰途、松田先生と中央高校に寄り、シャジクモ(築地産)をもらって帰る。雷雨。新潟駅で雨宿り
- 30日 全前。午後、二王子山採集行。バスにて新発田経由、板山に至り、徒歩、峠をこえて南俣へ。二王子神社の作業小屋に泊る。尾崎、石田、池上。他に山木戸の青年(小田氏)宿泊
- 31日 午前中、雨。小屋で足止めとなる。新大教育学部の女子学生、二王子山頂で前夜野宿して下山(植物調査)。採集品の鑑定。午後、雨がやみ、妹背滝の谷の植物採集

9月

- 1日 二王子山植物採集。約1000米の高所のユキツバキに葉上苔を発見。頂上着4時。下山6時半。一本杉へ下り、尾崎先生のバイクの荷台に乗って新発田に出、新津廻り新潟行で11時半帰宅
- 3日 石沢進氏、近田文弘氏(京大、大学院志望)の推薦依頼に来校
- 5日 第一回全国理科教育センター研究発表会出席の篠原尚文(栃木)、牧野潔(岐阜)、足立義夫(茨城)、本多啓七(富山)、岩淵弘(岩手)の五氏、藤田暉輔の案内で来校
- 6日 第一回全国理科教育センター研究発表会(理科センター)
- 14日 下越生物同好会採集行(幹事、松田一郎)。東蒲上川村棒目貫、佐藤与一氏宅に宿泊。新潟発12時50分、津川一太田バス、栗瀬までトラック。徒歩7名を径て棒目貫着7時(松田一郎、小林敬、田中虎雄、石沢進、蓮池(*空白)、

- 坪谷富男、中島良一、渡辺弘雄、教育学部女子学生2名)
- 15日 御前ヶ遊登山。宿の佐藤一郎氏案内。8時出発、下山3時半。徒歩、栗瀬に出、トラックで津川駅へ
- 23日 理学部野田光蔵教授来校
- 24日 休日。萩川(マダケの花)―阿賀川鉄橋―柄目木―新津秋葉山植物採集
- 25日 新大教育学部相馬悌介教授来校
羽田勗氏重患の報せが淑子夫人より来る
- 26日 桃山小学校の校庭の植物の鑑定に招かる。
- 28日 夜、10時の急行で羽田勗氏の病氣見舞に上京
- 29日 朝6時、上野着。芝公園で朝食。赤坂葵町の虎の門病院七階713号室に入院の羽田勗氏を見舞う。淑子夫人付添。11時辞去。白金の自然教育園、神代植物園、井の頭公園の植物を見。10時半の急行で帰宅
- 30日 午前1時、羽田氏逝去の来電あり。ナカ、電話で知らせる

10月

- 7日 鉄道局、気象台間の堀へオ、フサモをとりに行く。渡辺助手同伴
- 9日 一、二年生遠足。バスにて弥彦へ。公園、駅、上泉、植部園と植物採集
- (15日 文化祭講演。宇都宮大学、松田武夫博士、「古典のおもしろさ」源氏物語について)
- (21日 三條第二中学校の笠原増永氏、研究テーマ選定に来校)
- 23日 村上の工藤孝雄氏、植物標本をもって来訪
- 29日 石沢進氏来訪(京大留学のことなど)
実験用のクロモとりに渡辺助手を伴って気象台側の堀へ。雨となり、森国男宅で傘をかり、横田様に立ちよって帰る
- (31日 L.H.R.に教育放送を取り入れる。「親の立場、子の立場」)

11月

- 4日 鳥屋野小学校の今井幹子先生、校区内植物調査について来訪
(L.H.R、教育放送、「男性より女性へ。女性より男性へ」)
- 26日 近田文弘氏来訪。東大、倉田悟氏訪問、清澄山採集等の立計
- 29日 中央高校の伊藤タツ子、佐藤妙子、東蒲鹿瀬、土倉山のコケをもって来訪
- 30日 石沢進氏、来訪

12月

- 3日 清水久雄君（海陸運送）の案内でソ連ワニノから入港のソ連船の木材のコケを採集
- 6日 近田文弘氏、関東旅行から帰って来訪
- 7日 新大教育学部、曾我、滝沢喜佐子、全綾子の三名、二王子岳の植物標本をもって来訪
- 31日 標本整理に登校。大里、青池、池上三人で、生物資料室の助手机中のネズミを捕る

1964年（昭和39年）

1月

- 3日 会津若松市の斉藤慧氏、植物研究に来訪、宿泊
- 4日 植物同好者の集り（南高校生物資料室）。平田幸治、石沢進、関省吾、尾崎富衛、坪谷富男、斉藤慧。宿泊一斉藤、坪谷。夜、尾崎先生来訪
- 5日 植物研究に登校。斉藤、坪谷
- 6日 斉藤、坪谷両氏帰宅。7時50分、駅で見送る
- 15日 藓類標本分類
- 29日 羽田昂先生の遺品、藓苔植物標本（伊豆産）4箱、到着

2月

- 15日 県生物教育研究会新潟支部集会。砂丘の生物について（中央高校。スライド上映。井上、小林、松田、大森、斉藤、帆莉）
- 24日 関省吾氏（小千谷）、飯豊山、苗場山の植物標本をもって来校

3月

- 27日 会津若松市の斉藤慧、馬場義仲両氏、植物研究に来泊。学校で植物研究
- 28日 全上。両君、学校で植物研究。帰途、下所島一天神尾一水島町と庭木をみてかえる（ゴモジュあり）
- 29日 斉藤、馬場、牧野恭次、池上、4人で、五泉市馬下へ採集に行く。葉上苔あり。1時50分、斉藤、馬場両氏、会津へかえる。牧野君と咲花温泉まで植物採集。バスで馬下にかえり、汽車で帰宅

4月

- 26日 生物採集旅行、鳥坂山行。下り路から雨。中條まで歩いて3時5分の汽車で帰る（池上、羽鳥）

5月

- 9日 巻町、小中学校の植物採集会（巻小学校）。4時半終了後、教育委員会により銚子の標本、寫

真などを見（教育長、江端一郎）、後、郊外を採集。7時の汽車でかえる

- 28日 吉原正秀氏の標本包5個とゞく
- 30日 生物教材園の植物名札書き

6月

- 2日 植物教材園、名札立て
- 5日 国体臨休。教務視察（福島県。喜多方、全女子、会津若松女子高校）。斉藤慧氏（会津若松）、喜多方まで出迎。郊外採集。若松女子校の折笠常松氏訪問
- 6日 小雨。南会津郡下郷町中山風穴の植物採集。帰途、塔の岩採集。（斉藤、馬場氏同道）
- 7日 南会津郡下郷町和田山風穴の植物採集（斉藤、折笠、馬場、池上）（ナンプソウあり）
- 8日 会津若松市背炙山から赤井谷地の植物採集（折笠常松氏同道）。葉上苔あり
- 9日 午前、会津坂下町坂下高校視察。午後、斉藤慧氏と高田町の蓋沼へ。帰途、雨。夜、折笠、馬場両氏、斉藤氏宅に参集
- 10日 斉藤慧氏と背炙山植物採集。オ、カワズスゲ群落あり。採集品をまとめ、ハイヤーで駅へ。午後5時36分、馬場、斉藤両氏の見おくりをうけて帰宅9時35分
- （16日 午後1時2分、激震。昭和橋が落ち、関屋大川前のアパート転覆。昭和石油（山ノ下）タンク爆発。地われと共に泥水をふき上げて街は水びたし。くりかえして津浪が来襲。付属まで純一を迎えにいく。（書斎傾斜））
- （17日 余震やまず、夜、尾崎先生見舞に来宅。学校は臨休）
- （18日 生徒召集。坪谷、金子、村尾氏来宅。関屋大川前、相馬悌介氏を見舞う
- （19日 会津若松市斉藤慧氏、見舞に来宅。藤下義趣氏、見舞に来宅。キク、帰郷。小山氏来宅、撮影）
- （20日 渡辺校長来宅）
- （21日 夜八時半、キク、仮駅から出立。岩野、石本、須田氏来宅）
- （22日 生徒登校。玉野組へ行き、片桐輝久君、検分に来宅）
- （23日 山の下方面みまい。平田幸治氏、旭和英氏を見舞う。小屋火事あり）
- 24日 10時、始業。授業2時間。本と標本を連日、学校へ移転
- （28日 はじめて入浴（みどり湯）。市内、当分、ガス、水道なし。給水車で配水）

7月

- 2日 市役所、新大理学部（本間義治氏に原稿提出）、

玉野組をまわる

- 8日 新津小、中学校理科研究会、大水のため列車が運休となり、おくれて2時半、新津第一小学校に到着。雨のため採集をとりやめて講演にきりかえる
- 15日 柏崎の富川竜太氏、自動車を運転、宮川神社の植物を携えて来訪
- 26日 理科センター、生物実験講習。アカパンカビ、ショウジョウバエの遺伝（藤田暉輔）
- 27日 全上。酵素、発酵（高橋節也）
- 28日 全上。生物の系統、分類（前川文夫）。座談会司会。終了後、平田幸治、柳沢勉先生と三人で前川先生を震災現地案内（川岸町一山ノ下）。平田先生宅で会食
- 29日 全右。B. S. C. S（文部省、森川久雄）
- 30日 巻町理科教育研究会。稲島小学校。角田山麓採集。ミズバショウ自生地見学。教育長、江端一郎氏の招待
- 31日 25日以降、工事の準備に、夜、標本箱を学校へ運ぶ

8月

- 1日 生物部採集旅行。東蒲原郡上川村室谷行。羽鳥、田村、池上、他生徒男五名、女子七名。八田蟹、室谷徒歩。大沼採集
- 2日 室谷奥谷へ採集行
- 3日 室谷—八田蟹徒歩、採集。バス、汽車で帰宅
- 6日 南魚沼郡大和町教育委員会の招きで駒岳植物調査。平田、尾崎、牧野、坪谷、和田、石村、本間、（西山）、水無溪谷、金山橋の小屋に泊る
- 7日 金山橋小屋—十二平小屋採集
- 8日 裏の尾根から駒岳山頂の小屋まで（午後9時、小屋につく）
- 9日 駒岳山頂部—中ノ岳道肩まで（牧野、尾崎、平田、下山帰宅）。朝、雷雨
- 10日 下山。牧野宅に宿泊
- 11日 大和町、大倉、蓬平採集。帰宅
- （15日 自宅、復旧工事再開）
- 17日 東新中学校、酒井昭治氏、砂丘植物のスライドをもって来訪
- 18日 秋葉山植物採集（新津市理科研究会）。鷺尾、沢田
- 24日 植物標本箱を学校から自宅へかえす
- 29日 新潟県生物教育研究会（理科センター）。研究発表、実験装置講習（相馬悌介）
- 30日 全上。採集会（角田山。新大、野田、本間先生参加）。小浜上り、灯台下り、往復バス

9月

- 13日 秋葉山植物調査（新津市理科研究会）
- 23日 標本箱運搬。下水工事やりなおし
- 25日 駒岳、映寫会（宮浦中。尾崎、牧野、本間、和田、平田）

10月

- 3日 東蒲三川、植物採集行。（平田、和田、関、西山、浅見）。白崎ダムまで採集。三川温泉、三越ホテルに投宿
- 4日 三川村行地—新谷採集（自然生会）
- 18日 新津市理科研究会、金津滝植物調査（鷺尾、沢田、品田他3名と日報記者同道）
- （23日 オリンピック、日紡対ソ連のバレー決勝）
- 24日 オリンピック閉会式。駒岳、水無溪谷採集行。池上、尾崎、牧野、坪谷、本間は、水無溪谷十二平小屋泊り。平田、和田、内藤は、八海山里宮泊りで別行動
- 25日 駒岳、水無溪谷の植物調査。トラックで浦佐に出、午後12時、新潟帰着
- 28日 朝、千葉県東葛飾高校伊藤至氏、他1名（社会科）と本校視察

11月

- 2日 雨のため、生物部採集旅行中止（岩船、湯沢溪谷）。学校で標本整理。羽鳥先生、岩船関川村沢より、イモリ200匹をとらえて登校
- 3日 家で標本整理
- （8日 市役所職員卓球大会。能研テスト）
- （14日 二年修学旅行第一隊、出立。第二隊は15日出立）
- （15日 京都着。銀閣入口でバスの床下から湯気をふき上げ、松田優子、白倉美子、足に火傷。左京区田中飛鳥島井町の安井医院にて手当（鈴木先生付添）。夜、渡辺校長来泊。火傷のことで、新聞記者殺到）
- （16日 比叡山、石山寺。中京区六角通りの松井別館泊り。第二隊の石山における遭難事故（樋之浦義明君のボート水死）を知り、第二隊の宿舎、中京区河原町通りの「石長」旅館にうつり、対策本部を設置。渡辺校長、東京から引きかえし到着）
- （17日 生徒は旅行をつづけ、池上、中俣は大津へ。11時、樋之浦君の遺体があがり、午後4時火葬。8時半京都発、遺骨は新潟へ。大高文雄氏、昨夕と本日午後、来援）
- （18日 万福寺、平等院、奈良公園見学。武蔵野旅館泊り。夜、集会）
- （19日 西の京、法隆寺を見学。大阪城へ。夜、西田

幸子ショウ観覧。夜行で新潟へ)

- (20日 15時17分新潟駅着、解散)
(21日 登校、事後処理)
(23日 事故報告書作成委員会。中央高校の市内高校演劇部の合同公演会に、ナカと南高の「夕鶴」の観賞に行く)
(24日 樋之浦義明君のお通夜に参列)
(25日 樋之浦義明君の葬儀。二年生会葬。沼垂、淨徳寺)

12月

- (4日 風邪、発熱、下痢をおして授業)
(5日 文化講演会、「日本人の国民性」、東京教育大学、和歌森太郎博士)

1965年(昭和40年)

1月

- 4日 駒ヶ岳植物調査資料編輯会(宮浦中学校)。平田、関、牧野、石村、尾崎、池上
15日 全上。尾崎、牧野、関、本間、池上
24日 全上。尾崎、牧野、池上

2月

- 7日 全上。(※1月24日に同じ)
14日 加茂の坪谷富男氏来校。植物研究
21日 駒ヶ岳植物調査報告書作製の集会(宮浦中学校)。尾崎、牧野、坪谷

3月

- (1日 日紡貝塚バレー試合(オリンピック優勝までの天然色映画上映(講堂))
7日 日曜。登校、標本整理。夜、松谷写真館へ植物写真依頼に(フキの花、キタゴヨウの毬果、オ、ネコヤナギ)
20日 午後、京大大学院の近田文弘君、羊歯の研究に来校
(29日 オリンピック映画観覧、生徒付添(新潟日報ホール))
31日 生物部、弥彦山採集旅行(池上、羽鳥、田村、稲生、白井、小沢、石黒)。雪、多し。下り、ケーブル

4月

- 4日 会津若松市の斎藤慧氏、植物研究に来泊。学校で研究
5日 斎藤氏、学校で植物研究。3時50分の準急で帰る

- 22日 佐藤猛(新大、医学部)、佐藤完三、イタチ持参(剥製にする)
25日 生物部採集旅行。村松仙見峡(暮坪—杉川—栗山—門原—仙見谷—河内)。稲生、石坂、石黒、田中、小沢、佐藤、野上他。全員22人。(羽鳥、田村、池上)

5月

- 9日 ナカと馬下へ植物採集に行く
(19日 PTA会長との打合せ(佐伯、敦井、米倉)。北ベトナム爆撃反対デモ)
23日 新津市理科教育研究会植物調査。金津滝(鷺尾、沢田、品田、小川、斎藤他)

6月

- 6日 ナカと菅谷へ植物採集に行く。箱岩峠をこえ、加治に出てかえる
9日 新津市の植物調査、秋葉山

7月

- 9日 南魚、大和町、水無溪谷の植物調査。平田、尾崎、坪谷、関、本間、西山、石沢。東中学校宿泊。夜、スライド映写(尾崎)
10日 水無溪谷、十二平おく(デトノアイソメ)まで植物調査。残雪多し。下の(魚止滝付近)小屋泊り
11日 魚止滝—見返橋の上の道の植物採集。7時、谷を出て浦佐から乗車、帰宅10時30分
17日 坪谷、尾崎両氏来校
(18日 眼鏡とりかえ(野上眼鏡店)。日展観覧(両デパート))
22日 高体連夏季登山の植物指導。中央アルプス駒岳(引率、筑木、岡村、医師、田子元(新大))。山岳部生徒(3押木信一、3金子清一、2佐藤公紀、2野村秋一、2阿部正樹、1高橋幸夫、1熊倉信義、1清野栄一、1新田見則夫)。8時45分急行赤倉で出立。夕刻、木曾福島、駒の湯の木曾駒山荘に宿泊。講演参加、十四校、106名
23日 雨のため停滞。午前、講演。午後、営林署の小屋に移宿
24日 駒ヶ岳登山。山頂、宮田小屋下で幕営。宮田小屋で打ち合わせ会
25日 宝剣岳から菅の台に下る。菅の台幕営。キャンプファイア
26日 解散式。南高生は、和田峠に出て幕営。(黒曜石採掘場見学)
27日 尾根づたい、茶臼山を経て美ヶ原に上って幕営
28日 美ヶ原からバスで上田に出て帰宅。新潟着6時30分

30日 駒ヶ岳登山反省会

31日 生物部採集旅行打合せ

8月

- 1日 生物部採集旅行（小黒、石坂、稲尾、五十嵐、田中、小沢、石黒、佐藤、他）（池上、羽鳥）越後湯沢—（バス）—三国峠—三国山—三国峠—（バス）湯宿、金田屋泊り。前の丘へ採集に行く（夜、前の丘へ昆虫採集に行く）
- 2日 大峰山（浮島あり）に上り、上牧へ下る。金田屋の（*空白）さんが沼まで案内。上牧（*空白）泊り。夜、雷雨
- 3日 汽車で水上に出、水上—湯檜曾採集。バスで水上にかえって、急行で帰宅6時30分
- （4日 登校。3日、一の10、笹川隆一、岩船鷹ノ巣で水死。緊急審議会）
- （6日 笹川君の葬式）
- 7日 小林敬氏、佐渡の植物を持参
- 9日 教務主任研修会。津川高校。（午前、阿賀川畔植物採集）
- 10日 全上。（午後、津川—赤岩—小花地—白崎、植物採集）
- 12日 純一をつれて尾瀬旅行。沼田から入り、三平峠をこして長蔵小屋泊り
- 13日 燧岳に登り、尾瀬原をとおって、山の鼻小屋泊り
- 14日 至仏山に登り、鳩待峠—山の鼻—尾瀬ヶ原—東電小屋—温泉小屋泊り（東京の会社員六名、同宿）
- 15日 平滑滝、三條滝—鷹巣泊り
- 16日 銀山湖—奥只見（発電所見学）—銀山湖—石抱。バスで小出に出てかえる
- 21日 会津若松行。9時着。午前、飯盛山、松平墓地。午後、御薬園めぐり（斎藤、折笠）。夜、市の公民館で講演（雪国植物の問題点）
- 22日 田島町萩野の風穴の植物調査（斎藤慧、馬場義伸、馬場篤他）。帰途は、馬場篤氏の自動車で。（雨となる）
- 23日 雨のため、停滞。斎藤氏の腊葉、同定
- 24日 吾妻山へ。鎌沼まで（斎藤、池上）。夜、馬場氏夫妻来訪。スライド映寫
- 25日 午前、湯川—若松城。午後、高瀬の大ケヤキ付近採集。斎藤、馬場（夫妻）の見送りをうけて（5時）帰る
- 29日 金津の長谷川（*空白あり）氏、植物研究に来校
- 30日 秋葉山植物調査（鷺尾、沢田、品田、小川、斎藤、長谷川）

9月

- 16日 駒ヶ岳（木曾）、和田峠、美ヶ原のスライド映寫（山岳部、視聴覚教室）。（岡村芳男先生作品）
- 17日 本間建一郎氏来る（高教研理科部会（本校）に出席）
- （18日 午前3時半、台風25号通過。風速37.5米）
- （19日 台風でとんだ屋根瓦の修理。純一の手伝いで）
- 25日 東新中学校の酒井昭治氏、海岸植物のスライドを携えて来訪
- 26日 新津理科学会の金津植物調査。村人の案内で菩提寺山に登る（沢田、品田、斎藤、長谷川他）

10月

- 10日 新津理科学会。秋葉山採集会（鷺尾、沢田、品田、小川、斎藤、長谷川）。解散後、ゴルフ場裏山、田家奥谷採集
- （12日 文化講演会。東京大学教授、宇野精一博士（中国哲学）の講演「人間の見方」）
- 13日 中越高校生物部、井上善司君ほか三名、こけ、おしばの標本をもって来訪
- 28日 農学部平田教授と和田久美子さん来訪
- 31日 生物部採集行（胎内峡）、雨で不参。バスステーションで見送り（羽鳥、本間、田村付添）

11月

- 6日 「自然生の会」の採集会。小千谷市山本山、1時25分新湯発。山本山の市民の家、公民館泊り。標本同定。スライド映寫（尾崎）。（平田、石沢、尾崎、石村、本間、河野、和田、西山、関、坪谷、柳田、池上）
- 7日 山本山の山すそ採集。和田さん宅で夕食。急行で帰宅
- 8日 尾崎、牧野両氏、駒ヶ岳植物の原稿のことで来校
- 12日 長嶺小学校へ校庭の植物の記名に行く（係、桑野茂）
- 13日 工藤孝雄氏（村上）、来訪。おしばと種子標本持参
- （14日 ハバロフスクアマチュア芸能団親善公演（公会堂。6時～9時）。ナカと参会）
- 24日 化学教室から用具棚をもらって標本棚整備。朝、井上真一氏来校（岩船）。キノコ持参
- 28日 午後、尾崎富衛氏訪問。牧野恭次君も駒ヶ岳植物の原稿整理で参上。高田信君の尾瀬と苗場山の標本（尾崎氏採集分）照合。斎藤慧氏のスゲ原稿、校正返送

12月

- 7日 村上の工藤孝雄氏、植物研究に来訪

- (11日 補助眼鏡をおとして家までかえる)
 14日 理科センターの新田(*空白)氏、花粉研究に来訪
 16日 理科センターの新田氏、花粉研究に来訪
 20日 村上の工藤孝雄氏、植物研究に来訪
 (29日 吉原正秀氏、逝去)
 31日 尾崎富衛氏、駒岳の原稿をとげに来宅

1966年(昭和41年)

1月

- 3日 学校で標本整理
 5日 市中一、二回同級会に出席(東京、品川の専売会館にて。夜7時より)(杉山正雄、大橋寛、大久保昭二、黒崎栄蔵、栗山雄幸)。午後、国立科学博物館の奥山、井上両氏を訪問
 6日 小石川植物園、考古堂書店、国立科学博物館(奥山、井上、大井氏)訪問。夜12時58分発、帰宅
 9日 同好者のつどい(南高)。尾崎、石沢、関、牧野、本間、坪谷。駒岳の資料整理
 12日 工藤孝雄氏、植物研究に来校
 (21日 妙法寺の父(藤下正義師)逝去)
 22日 新潟県生物教育研究会の例会(中央高校)。新大農学部(山田昌一教授の森樹形に関する講演)
 30日 尾崎富衛、牧野恭次、駒岳の原稿整理に来校

2月

- (5日 宿直。日航機、東京湾に墜落(午後7時)。卒業生、三浦正夫君遭難)

3月

- 6日 小千谷の関省吾、柳田宏光両君、山本山の植物を携えて来訪
 13日 日本山岳会新潟県支部県境縦走登山研修会(駅前福祉センター)。委員長、藤島玄、講師、茅原(地質)、動物(槌熊)、鳥(本間)、植物(池上)、他民族、気象、登山技術、雪崩対策等

4月

- 3日 小林敬氏来訪(理科センター就任)
 (14日 どころぶら(新制作座演劇)観覧。全校生徒(公会堂))

5月

- 5日 ナカと馬下へ植物採集(竹の花)
 25日 新大医学部公衆衛生教室滝沢行雄助教授、北沢邦衛君の案内で来宅。水銀中毒事件関係で鹿瀬

の昭和電工、下のコケの水銀検出について

- 27日 新潟高校のPTA総会に出席。海岸植物採集。夜、尾崎氏、来宅
 28日 工藤孝雄氏、植物研究に来校
 29日 生物部採集旅行。東蒲、上川村、西山日光寺(羽鳥、田村、池上、本間、佐久間、河野、金塚、高橋、藤田、山崎、佐藤)

6月

- (4日 赤、黒の子猫2匹、親にはなれて死ぬ)
 (5日 死んだ子猫を裏に埋める)
 8日 新津市理科研究会に招かれ、秋葉山の植物指導
 19日 滝沢行雄助教授の依頼で鹿瀬の昭和電工、工場下のコケの種類を鑑定(水銀中毒—水俣病関係)
 20日 新大医学部公衆衛生教室へ、前記のコケをとげに行く
 (24日 映写会「遭難」(講堂)、「坊ちゃん」(視聴覚教室))

7月

- 2日 駒岳、水無溪谷植物調査。石沢進氏の自動車で往復(尾崎、関、牧野、坪谷、(*空白)、石沢、池上)。大和町東中学泊り
 3日 全上。夜道、新潟へ帰る
 11日 新大理学部学生、本間政栄君来訪。上所島の路傍のウマノスズクサをさがす
 15日 防衛博覧会(新潟市小針)見学。小針湿地の植物採集
 (18日 集中豪雨で加治川出水)
 26日 実川溪谷植物調査(石沢、渡辺、高村、池上)。湯の島小屋泊り
 27日 湯ノ島付近植物調査
 28日 実川溪谷下り。坪安沢でスギラン採集。トラックで日出谷に下る
 31日 生物部採集旅行。東頸城郡松之山温泉行。(池上、羽鳥、高橋、中静、洪野、金塚、丸山、渡辺、佐久間。(女子)、山崎、加藤、藤田)。小雨。温泉の裏山植物採集(役場の樋口(*空白)氏と女子高校生2名参加)。凌雲閣泊り

8月

- 1日 バスで清津峡に向う(外丸—大割野—山崎経由)。西田尻のユースホテルに泊り、牧畑方面採集
 2日 清津峡植物採集。十日町高校に立ちよって帰る
 3日 飯豊山植物採集行(池上、石沢、関、名畑、和田)。実川溪谷。湯ノ島小屋泊り
 4日 湯ノ島一月心清水(キャンプ)
 5日 大日岳—西岳(キャンプ)

- 6日 飯豊本山往復(西岳キャンプ)
 7日 文平ノ池—大日岳—月心清水(キャンプ)
 8日 月心清水—湯ノ島—ダム。トラックで日出谷に下って帰宅
 14日 北海道行。夜行白雪14時35分。ナカ、新発田までいく。出水のため、大鰐—川部バス連絡(夜)
 15日 朝、札幌着。北海道大学の日本植物学会大会に出席。午後、札幌植物園、定山溪、植物研究
 16日 午前、北大の植物学会に出席。午後、旭川へ。大雪山ユコマンベツ温泉泊り
 17日 大雪山に登り、黒岳小屋に泊る
 18日 層雲峡に下り、バスにて石北峠をこえ、「るべしべ」に至り、汽車で網走に行く
 19日 網走、天都山、大観山、と一ふつ湖原生花園、斜里、一美幌泊り
 20日 バス。美幌峠、屈斜路湖、硫黄山、摩周湖、弟子屈、阿寒湖、アイヌ部落
 21日 雌阿寒岳に登り、バスにて釧路に下る。鶴公園に下車
 22日 根室ノーサップ岬、厚床、中標津、根室標津。バスにて羅臼へ。羅臼温泉泊り
 23日 羅臼岳に登る。羅臼温泉泊り
 24日 帯広に出る。標本荷物発送
 25日 襟裳岬をめぐるアポイ山に登り、中腹の監視小屋に泊る
 26日 アポイ山植物研究。様似に出、苫小牧泊り
 27日 支笏湖に行き、樽前岳登山。千歳に下り、白老泊り
 28日 白老ボロト湖畔のアイヌ部落参観。洞爺湖、昭和新山付近植物採集。夜行で函館に出て乗船
 29日 早朝、青森着。浅虫の東北大学臨海実験所、水族館見学。付近植物採集。急行、日本海で帰宅

9月

- 13日 理科センターの実験講習。生物電気(広野)、群落調査(小林)、ヒトの染色体(藤田)。尾崎、石沢氏来訪
 14日 全上。ウドンコ病菌(平田、代、内藤)、超切片法(藤田)
 24日 新大農学部山口賢俊教授のところの青海町の土器と共に出土した古種子から発芽した植物をみにいく。石沢進氏案内(シソ、シラゲヒメジソ、イヌタデ、アキノエノコログサ)

10月

- (16日 ナカ、学校の教材園の手入にくる)
 19日 工藤孝雄氏来校
 22日 自然生会の植物採集会。長岡市八方台。栖吉よ

り上る

- 23日 全上。八方台裏、柳市の池畔付近の植物採集。バスで下山
 (30日 ナカ、学校の教材園の手入にくる)

11月

- 4日 代休。生物部、赤谷の組倉山の谷へ植物採集にいく(羽鳥、池上、田村、河野、佐久間、山崎、佐藤、加藤、高橋)
 (5日 文化講演会。前埼玉大学長藤田由夫氏、「原子力の平和的利用について」)
 (6日 ナカ、学校の教材園の手入(ムラサキツユクサの植込み))

12月

- 1日 西山邦夫氏(長岡科学博物館)、福島潟調査の原稿持参。夜、尾崎富衛氏、来宅(水無調査)
 4日 尾崎富衛氏宅、訪問。牧野恭次君と三人で、駒岳、水無溪谷の植物調査の原稿校正
 23日 西山邦夫氏、「福島潟の植物」の原稿をもって来校
 24日 石沢進氏、飯豊山の植物を持って来訪
 27日 吉原正秀氏の標本整理
 30日 28、29、30日登校。標本整理。細野助博(三年)、高橋準(一年)、生物研究室で勉強

1967年(昭和42年)

1月

- 5日 登校。石沢進、関省吾、藤田(*空白)、近田文弘、高橋準、来校
 7日 始業式準備に登校。高橋準来校
 22日 「自然生会」の会合。「水無溪谷の植物(牧野、尾崎)」出版納本。タイプライターの寄贈を受ける
 28日 牧野、尾崎、「水無溪谷の植物」正誤に来校

2月

- 5日 夜、国鉄新潟支社長片岡博氏を国鉄の森谷周野氏と訪問(山菜、高山植物等の話。スライド映写)
 (11日 初の「建国記念の日」(休日)。日直。柔道、型の講習)
 24日 西山邦夫氏、渋海川の植物化石を持参。本間信一先生と研究。上所島、バナナ会社火災。八木一男、尾崎富衛両氏、来校

3月

- 26日 会津若松の斎藤慧氏、植物研究に来泊。学校で

標本研究

- 27日 植物同好者の集会(南高校)。斎藤、工藤、石沢、西山、名畑、坪谷、高橋(石沢氏、台湾で採集のコケ持参)
- 28日 斎藤氏を駅に見送る

4月

- (16日 ナカと観劇。「野盗風の中を走る」新制作座。演出、羽根井昭夫(南高卒業生)。公会堂。1時~4時30分)
- 19日 石沢氏出品のユキツバキをみに、新潟駅へ
- 24日 国鉄支社長(片岡博)訪問。森谷周野、池上(植物研究)

5月

- 2日 西山邦夫氏来訪(八方台の植物の原稿をとりに)
- 6日 高橋準と苗床づくり
- 14日 生物部採集旅行。岩船関川村大石方面(羽鳥、池上)。午後、雨。帰りは、バス
- 28日 会津若松の斎藤慧氏の案内で、福島県耶麻郡熱塩加納村の大平沼(風穴)一黒岩、植物調査(池上、尾崎、石沢参加)。自動車は、橋本七郎氏(若松)

6月

- 9日 宿直。国鉄新潟支社長片岡博、新津運輸事務局長森谷周野の両氏、山草研究に、夜、来校。小林校長来室
- 14日 新津市小中学校の理科研究会、秋葉山植物採集会。沢田、品田、他4名。品田先生宅で休憩
- 17日 小林敬、牛木博、一行5名、聖籠湿地と藤塚浜(バシクルモン)の植物調査(運転、牛木)。市川弘(水草)(高田)、山岸秀夫(松代)(笹ヶ峰)、牛木博(昆虫、帰化植物)(糸魚川)
- 24日 午後、越後線で柏崎に行き、大久保(極楽寺付近)採集(石沢、百瀬、池上) じねんじょ会員、合宿(佐渡五旅館)。平田、石沢、関、西山、牧野、内藤、藤田、浅見、柳田、百瀬、和田、他女子二。富川竜太氏来遊
- 25日 谷根までバス。米山登山路植物調査。午後、雨。高橋準、朝到着、参加

7月

- 4日 国鉄新潟支社長片岡博氏と、森谷周野氏を訪問。(山草研究)
- (10日 朝、妙法寺の母死亡、受報(学校で))
- 24日 理科センターの実験講習会。たんぱく質の生合成、緒方規矩雄(新潟大学)。植物の環境とその実験(蒸散)、相見霊三(新潟大学)。

植物群落の調査(大日ヶ原)、小林敬(理科センター)。神経伝導、広野(*空白)樹。神経分泌、(藤田渾輔)(理科センター)。炭酸同化(プロダクト、メーター)、小林博(横浜大学)。菌類の世界、生物学の領域、伊東弘玄(東京教育大学)

- 31日 生物部採集旅行。外丸、小赤沢一屋敷一和山。(鳥甲荘(男)、和山荘(女))。(羽鳥、池上、村山)。(一年)稲生武徳、武藤信男、榎並、永井、(二年)大野、小畑、渡辺、浜田、保刈、高橋行雄、高橋準、佐藤、江川、(三年)佐久間、加藤、洪野、(卒業生)、田中美樹子

8月

- 1日 全上。切明(風穴、発電所)採集 小赤沢に下り、バスで逆巻にきて泊り、付近採集。館主、吉野正夫
- 2日 見倉の風穴、見学。午後、バスで外丸に出て、新潟へ
- 4日 飯豊山、蒜場山植物調査(蒜場班)、石沢、内藤、名畑、小林、花井、浅見、笹岡、関、坪谷、和田、荒川、池上)、(長走川班)、西山、牧野、渡辺、藤田、百瀬、佐藤。石沢さんの自動車で(内藤、小林、池上)、上ノ峠採集。長走、作業小屋で全員宿泊。(先発は、黒沢テント場泊り。石沢、内藤、名畑)
- 5日 黒沢テント場まで。雷雨あり
- 6日 日ノ出清水まで。先発隊との交信できず
- 7日 山頂まで。日ノ出清水に下ってテント泊り
- 8日 日ノ出清水より黒沢テント場を経て、作業小屋に下る
- 9日 長走川釣梅付近調査。上ノ峠まで徒歩、採集。石沢さんの迎え車で日出谷に下り、更に新潟まで
- 17日 八海山植物調査。牧野恭次君同道。大和町大倉、上村健一君(新大農学部学生)宅に泊る。裏山を川ぞいに上り、オニヒカゲワラビ自生地をみる。雷雨あり
- 18日 八海山に登る(池上、牧野、上田)。千本松小屋泊り
- 19日 五竜ノ池、オカメノゾキを経て、中ノ岳御月山前で野宿
- 20日 祓川で炊事。中ノ岳に上り、松廊下往復。中ノ岳小屋泊り
- 21日 五十沢下り。生姜畑で昼食。日向山、千本松原を下り、十字峡で発電所工事セメント小屋で泊る
- 22日 十字峡より野中まで採集。バスで六日町に出て新潟へ

(27日 大雨。加治川、胎内川、荒川、三面方面、大水害。
死者多数)

(31日 新潟博覧会観覧)

9月

22日 池田幸弘氏、原稿(ヒメサユリ)持参。石沢進氏来校。夜、相川中学校同窓会(小林)

23日 尾崎、小林両氏、来校

24日 生物部採集旅行。国上山。(野積より麓へ越し、
弥彦御殿山すそから弥彦駅へ)

10月

25日 小林敬氏と昭和橋一八千代橋間、植物採集

(26日 新教組抗議集会(人事院勧告完全実施)。7時
~7時40分福祉センター。ハイヤーで登校)

(28日 蛇展(大和))

29日 日曜。高橋準、高橋行雄と、昭和橋一八千代橋
間、植物採集

11月

3日 文化祭準備。「江風日記」(四季漫画)を描く

11日 新津園芸試験場の浜田幸弘氏、ヒメサユリの原
稿校訂に来校。坪谷富男氏、小林敬氏、来校

(16日 朝日の記者来校)

17日 小林敬氏、来訪。「新潟植生研究会」創設につ
いて

24日 会津若松の馬場義仲氏、来校

12月

5日 関屋小学校石垣のアレチノギク(開花)採集。
尾崎富衛氏訪問(中央高校)

8日 新大教育部学生、植物標本(角田山)持参

1968年(昭和43年)

1月

4日 7日まで学校で標本整理

19日 柏崎の岩野幸平氏、コシダの標本を持参。平田、
石沢両氏、来校

2月

9日 羽田昂氏腊葉、No整理完了。7989点

3月

9日 石沢、尾崎、牧野氏、来校

16日 国鉄新潟支社長片岡博氏、「山菜記」出版。森
谷周野氏と和香杉(西大畑)に招待さる

23日 14時50分、小千谷、山本山行。市民の家泊

り。平田、石沢、名畑、関、西山、浅見、小林、
渡辺、柳田、山屋、藤田

24日 山本山、雪中植物調査。310センチの雪穴3
つを掘って、ユキツバキの生態調査。和田さん、
参会

27日 同好のあつまり。「石沢、西山、牧野、尾崎、和田、
柳田、百瀬、工藤、高橋行雄、高橋準」

4月

4日 国鉄新潟支社長片岡博氏、「山菜記」出版祝。
守谷周野、山口賢俊、池上(東堀、に(*?)
志久似)

21日 ナカと鳥屋野湯へ。桜満開。ナカは、マクリ、
ヨモギ、セリをとる

29日 休日。会津若松の斉藤慧氏、植物研究に来泊。
学校で標本研究。高橋準、高橋行雄登校。小雨。
工業用水裏、信濃川畔の植物採集

30日 斉藤慧氏、午前中、学校で標本研究。12時
40分の汽車でかえる

5月

12日 ナカと赤谷へ植物、山菜、採集に。(米倉一小
戸一内/倉一赤谷)

19日 生物部採集旅行。東蒲、上川村、大田、「月山」。
浜田信子、高橋準、高橋行雄、大野甲子郎、榎
並晃、武藤信夫、永井正樹、川瀬徹、計良隆、
小島英彰、吉田一光、島田茂、細野幸雄、佐藤
元之、稲生武徳、村山裕子助手

25日 国鉄新潟支社長片岡博氏、全支社長森谷周野
両氏の招きで、山形県温海町関川へ(金沢屋泊
り。山菜料理)。新潟放送、三堀正純君参加

26日 全上。支社長は、朝、支社長会議で東京へ。森
谷氏は、シナ機研修に岩船の雷部落へ。他一同、
10数名で、摩耶登山。越沢に下り、温海に出
て、「日本海」でかえる

6月

1日 日本平山植物調査。東蒲、三川村谷沢、公民館
に本拠。かたがり山風穴をさぐる。平田、石沢、
尾崎、浅見、関、坪谷、牧野、柳田、花井、農
学部学生2名、津川高校(女)1名、全太田分
校1名、南高校生徒(高橋準、高橋行雄)

2日 日本平山植物調査(大池下まで)

3日 伊藤文吉(吉彦)来校。夜、森谷周野氏宅へ(片
岡支社長の招き)

10日 映画「あゝ、予科練」(東映)。八千代橋一昭和
橋、植物採集

11日 昭和橋一八千代橋、植物採集(高橋準、高橋行
雄大勢)

- 28日 じねんじょ会。黒姫山植物調査。青海町、橋立
小学校に宿泊（平田、石沢、関、西山、和田、
小林、百瀬、佐藤、笠原、水沢、高橋、坪谷）
29日 黒姫山、さわがに新道を登る。中腹で日没。黒
姫小屋泊り
30日 黒姫山頂。調査後、登りと同じさわがに新道を
下山、新潟へかえる

7月

- (19日 図書館にクーラーが入る)
20日 無記帳腊葉のえり出し、一段落。
22日 下所島信濃川畔植物採集。(石沢進、高橋準、
高橋行雄同道)
24日 岩手大学の菊池政雄氏来泊。ハナヒリノキの研
究。佐渡からの帰途
27日 菊池政雄氏、黒部峡谷のハナヒリノキの調査を
すませて来泊
28日 菊池氏を新潟駅で見送る8時20分
29日 生物部、採集旅行準備集会
31日 生物部採集旅行。会津若松行。東山温泉、おと
わ荘泊り。(池上、村山助手、武藤信男(責任)、
永井正樹、小池重人、計良隆、吉田一光、山田
文夫、小島英彦、今泉和彦、佐藤正之、小池悌
二郎)。(卒業生、高橋準、高橋行雄、大野甲子
郎参加)。羽鳥先生は、三重大学留学中。若松
の斎藤慧氏の案内で、羽黒山の植物調査

8月

- 1日 生物部採集行。東山、蛇沢より背あぶり山へ上
る。山頂近く、道なし。院内へ下山。斎藤氏、
案内
2日 同上。東山、松平墓地採集。午後、新潟へ帰る。
斎藤氏、案内
3日 生物部、集会。採集旅行の後始末
4日 じねんじょ会、飯豊山植物調査。胎内小屋泊り
(石沢、尾崎、浅見、荒川、井出、上村、関、土屋、
西山、花井、藤田、水沢、柳田、和田、渡辺、
池上)
5日 胎内尾根上り、池の平峰、大鍋泊り
6日 全上。滝沢峰、小桜の池泊り
7日 全上。一ツ峰、二ツ峰、藤七ノ池、門内岳、門
内の池泊り
8日 胎内尾根下山。小桜の池泊り
9日 胎内小屋まで下る
10日 胎内峡下り、菅平橋まで自動車下り、途中、
採集(石沢、尾崎、池上)
12日 16日まで登校。標本整理
31日 石沢進、西山邦夫両氏、来訪

9月

- 1日 羽田勲氏コケ標本整理終了。3528点
10日 じねんじょ会、柏崎海岸植物調査。番神岬—東
之輪—鯨波(平田、石沢、関、坪谷、山谷、西
山夫妻、義妹、藤田、小林、神田、佐藤)
20日 若松の斎藤慧氏注文のブーツのスケ図譜(3万
円)、ドイツのクラメルより到着
22日 生物部採集会。北蒲原郡金塚の大峰山。高橋準、
高橋行雄、大野甲子郎等。浜田信子、蜂にささ
れる
23日 新潟大学理学部学生植物野外研究指導。津川き
りん山(野田光蔵先生引率)
28日 じねんじょ会、西頸城黒姫山植物調査(平田、
石沢、関、西山、佐藤、小林、笠原、百瀬、和田、
井出、水沢、池上)。青海町大沢の公民館に泊る。
水源地の小沢の植物調査
29日 黒姫山登山。大沢道。中腹で日没。黒姫小屋泊
り
30日 黒姫山山頂。田海下り。日暮れ、雨降る。明星
セメント事務所で休憩。会社のバスで糸魚川に
出て、新潟へ

10月

- 19日 19、20、石沢進氏の蒜場山の原稿校訂
(23日 メキシコオリンピック、テレビ観覧。図書館(加
藤沢男、体操優勝(22日)、チャフラスカ(チ
ェコ)、クチンスカヤ(ソ連)、体操))
26日 新潟高校生物部生徒、鳥屋野湯調査で来校
30日 日本植物学会熊本大会出席のため出立。東京—
(新幹線)—新大阪—福岡
31日 福岡に下車。野河内溪谷の植物調査。熊本に出、
熊本観光ホテルに宿泊

11月

- 1日 日本植物学会熊本大会。熊本大学、理学部にて。
大会委員長、野口彰氏。午後、医学部整形外科
に行き、故徳重英助教授の御遺骨標本対面。水
前寺の植物、動物園、水族館を見る。夜、コケ
の会(岩月氏のアリューシャン採集行、吉村氏
のメキシコ旅行)
2日 学会第二日。熊本城、立田山自然植物園見学(昼
食休)。夜、分類学会
3日 学会第三日。朝、監物台樹木園(*1952開園)
見学。夜、映画「積木の家と女高生の生態映画」
4日 植物学会エクスカージョン。関太郎、井木長治
両氏と組み、各地点、コケ採集。天草、雲仙行。
雲仙地獄谷見学。大洋ホテル泊り
5日 学会エクスカージョン第二日。諫早、長崎
6日 人吉の前原勘治郎氏を訪問。人吉城址植物採集。

下間下町の作曲家、故犬童球溪先生の旧宅訪問。
墓参。午後、神瀬方面植物採集。往き、(*空白)
まで汽車、かえり、(*空白) からバス。人吉
泊り

- 7日 人吉ループ、都城に下車。郊外植物採集。バス
にて鉄肥に至り、服部植物研究所を訪問。夜、
研究所の倉田辰二氏を訪問。研究所の施設参観
- 8日 服部植物研究所の猪之谷実験林を参観。岩月、
水谷両氏、観測機の取付作業。夕方、岩月善之
助氏の案内で虚空藏島植物観覧。岩月氏宅に泊
る
- 9日 岩月氏の案内で鶴戸神社社叢、シャボテン公園、
野島のヤッコソウ自生地を見学。バスにて宮崎
に出、乗車
- 10日 途中下車。出雲大社裏の森、鳥取砂丘の植物見
学。京都に出て、夜行でかえる
- 11日 午後2時14分、新潟駅につく
- (15日 国鉄本社工作部長に栄転の前国鉄新潟支社長
片岡博氏を、新潟駅頭で見送る。英国劇団
のシェークスピア劇抄演観覧(県民会館))

12月

- (27日 アポロ11号、月着陸テレビ(夜12時~2
時半)。月着陸人工衛星、アポロ11号、地球
にかえる)

1969年(昭和44年)

1月

- (11日 山二つの河辺広男医院にいき、肩のいぼ切除
(往復、河辺君の車で))

2月

- 14日 県総合調査資料「頸南」等の入手につき、県庁
社会教育課の伊藤正一氏を訪問。後、富士波地
図店、西大畑の北方文化博物館別館、旭光社(出
版)をまわる
- 23日 小千谷市二俣の柳田宏光君、アザミの研究に来
校

3月

- 6日 石沢進、西山邦夫両氏、来校
- (8日 停年退職の書類提出)
- 21日 小千谷の関省吾氏、来訪
- (28日 ナカと関西旅行。夜行にて出立)
- (29日 京都(西本願寺、清水寺)、天の橋立、豊岡へ
出て、福知山に泊る)
- (30日 大阪城、吉野山、高野山泊り)

(31日 和歌山(城址)、白浜泊り)

4月

- 1日 白浜(千畳、三段壁、植物採集。植物園見学、
鉛山、水族館、植物園、南方記念館、海岸めぐ
り)、串本に至り、夕刻、橋杭岩まで徒歩往復、
串本泊り
- 2日 潮岬(灯台、海岸植物)、那智妙法山、那智滝、
新宮泊り
- 3日 瀬八丁、伊勢外宮、内宮、伊勢泊り
- 4日 名古屋に出、中央線で長野途中下車。善光寺参
詣。夜、新潟着
- 5日 じねんじょ会、山本山採集会。市民の家泊り。
池上退職慰労会。記念アルバムをいただく。(平
田、石沢、関、西山夫妻、尾崎、佐藤、藤田、
山谷、上村、和田、牧野、柳田、佐々木、高橋
準、高橋行雄)
- 13日 村松山草の会の採集会(笠原藤七氏)。権現堂
山
- 19日 会津若松の斎藤慧氏、植物研究に來泊(二泊)。
夜、河辺広男、渡辺徳明両君、来遊
- 23日 宿直。河辺広男、渡辺徳明の両君、コケ標本箱
寄贈のことで寸法ききに來訪
- 25日 高田信君、コケ標本箱の規格について來校。市
内庭球大会
- 29日 岩船郡関川村大石、東俣へ植物採集に。石沢さ
んの自動車で往復(石沢、尾崎、高橋庄一、高
橋準)

5月

- 3日 3~5日、自宅で標本整理
- (11日 ナカと笠掘ダム行。往き、八木鼻、帰り、燕
まわり。電鉄で。午前、小雨)
- 19日 生物部採集旅行。三島郡与板一小島谷。大坂山
で昼食。電降る(池上、羽鳥、村山、計良、吉
田等・・・)
- 25日 岩船郡関川村大石、東俣、杖差岳道、植物調査
(石沢、尾崎、小林、高橋、佐藤、池上)。河畔
キャンプ
- 26日 終日強雨。テント内で過す
- 27日 杖差岳カモス尾根に上る。大石跳石橋でキャン
プ(池上、石沢、佐藤)
- 28日 西俣川植物採集。滝倉沢まで。雨。帰途、佐藤
信弥氏を岩船駅までおくる(石沢氏の車で)

6月

- 7日 旧生物部員があつまり、私の退職慰労会を開い
てくれる。発起、河辺広男君。夜、田中ホテル。
コケ標本箱十個を贈らる。(河辺広男、渡辺徳明、

高田信、八木一男、清水久雄、吉沢一、赤原輝一（欠）、坂井典夫、荻部富男、北沢邦衛（欠）、大沢英一郎、佐藤忠司、大谷敏夫（欠）、木村良成、坂井清司、水戸部文雄、小黒一良、玉井忠衛、牧野恭次（欠）、伊藤泰司（欠）、碓谷義尚、武田宏、本間隆平（欠）、高見良作（欠）、前田政男、鷺沢紘次郎（欠）、金子勝久、風間正也、尾崎富衛（欠）、渡辺常弥

- 8日 東赤谷、俎倉山植物採集。新大農学部、学生実習。汽車におくれ、一部は石沢氏の自動車で。ヤマグルマの研究
- 14日 じねんじょ会採集会。村上、柏尾行。間島一柏尾。山北中学校に宿舎。校長、歌吾朗氏（相川中学校卒業生）と宿直室に泊る。石沢、西山、藤田、小林、柳田、和田、井出、（山谷、花井）＝15日朝参加、尾崎、佐藤信弥（幹事）
- 15日 全上。猿沢峠道採集行。朝日村上野に下り、バスで村上へ。西高校で休憩、帰宅
- （20日 テレビ「みんなの科学」（コケの話）に高木典雄、孫福正両氏出演）
- 24日 小千谷の柳田宏光君から大形のヒロハテンナンショウの生品がとどく
- 25日 右のテンナンショウの写真撮影。松谷写真館（夜）

7月

- （21日 アポロ13号月面到着テレビ（到着は午前5時17分40秒））
- 23日 12,000番以下の台帳無記入標本の整理、一段落（八木一男分約（*空白）点、吉原正秀氏分（*空白）点も並行に整理）。台帳原稿に記入開始。
石沢進氏、植物研究に夜、来訪
- 30日 生物部採集会。六日町、八箇峠。坂戸温泉（坂戸城）に泊る。（羽鳥、池上、村山、計良（責任者）、遠藤、山田、川瀬、今泉、小島、吉田、島田、白柏、真下、田中、長谷川、永井、武藤 8月1日より、卒業生高橋行雄。案内、牧野恭次君（3日間）
- 31日 雨。坂戸山に登る。裏道を下り、道なく、池上、転落。眼部、負傷。表道に引きかえして下山。羽鳥先生、牧野君付添で、六日町桑野整形外科にて縫合手術

8月

- 1日 六日町、五十沢溪谷の植物、昆虫採集。午後3時、帰途につく
- 2日 山二つの河辺広男医院で眼部負傷の治療。じねんじょ会飯豊登山参加とりやめ。石沢進氏、来

訪

- 3日 尾崎先生来訪（怪我の見舞）
- 4日 河辺医院行。じねんじょ会、飯豊山調査、出立。9日まで、杵差岳。連日、強雨
- 12日 岩野巖氏、月岡、荒川のシダをもって来校
- （13日 12日、加茂方面集中豪雨で出水。坪谷富男氏宅を見舞う）
- 19日 海岸植物採集（突堤付近（附船町）から関屋分水一有明まで）。高橋準、高橋行雄同道
- 25日 じねんじょ会、守門岳植物調査。東三條一長野一吉ヶ平まで長岡科学博物館の車で。守門川を遡行。途中、幕営。（石沢、関、西山、牧野、土屋、柳田）
- 26日 守門岳に登る。天狗の田、田の蔵、網張の上で幕営
- 27日 守門岳頂上。大白川下り。夜汽車で帰る

9月

- 12日 長岡科学博物館の西山邦夫、小柴阿栗両氏、展示用のオニバス等をもらいに来校
- 13日 石沢進氏と車で、山形県小国町長塚山のヤマグルマ調査に行く。途中、岩船関川村の猿ヶ城山の植物採集。小国に8時ころ着き、神社で幕営。花井清晴君同道
- 14日 長塚山に登る。日暮れて神社に下り、車で新潟へ
- 15日 生物部採集旅行。米山海岸、大清水観音一胞姫一笠島（池上、羽鳥、村山、武藤）
- 26日 じねんじょ会、黒姫山まいこみ平植物調査（石沢、西山、和田、百瀬）。石沢氏、汽車におくれ車で青海まで。青海町役場で石沢氏を待ち、高橋氏（青海町教委）の案内でマイコミ平へ。日暮れて着き、幕営。高橋さん、下山
- 27日 千里洞のドリネの植物調査。夕方、上流の植物調査
- 28日 下山。途中、田海の涸沢のドリネに下る。石沢氏の車で、県道富山線（刈羽、大河津経由）で新潟へ

10月

- 3日 関省吾氏来校。家により夕食。コマツヨイグサの苗をもってお帰り
- （5日 ナカと笹川流、村上（堆朱、城山）、瀬波をめぐる）
- （11日 市歌、市民歌、発表会（県民会館。立川澄人氏、独唱））
- 12日 石沢進氏、ヤマグルマの原稿作製に来宅
- 18日 村上の工藤孝雄氏、植物標本を持参。石沢氏、ヤマグルマの原稿作製に来校

- 20日 石沢氏、原稿メ切日。8時まで学校で原稿推敲
 25日 じねんじょ会、中魚沼仙田、採集行（石沢、関、藤田、笠原（当番）、上村、三井、池上）。学校に泊る
 26日 室島城山に登る。石沢氏の車で新潟へ

11月

- （4日 ナカとキリン山、鹿瀬方面をまわる）
 （8日 創立三十周年記念式典。深田久弥氏講演「日本の山、世界の山」。藤島玄氏、聴講に来校）
 9日 屋久島植物調査旅行出立（新大農学部、石沢進、横内忠紀、佐々木茂、小林好雄、上村健一、坪川藤雄、池上）
 10日 大阪一博多、急行寝台。12時、西鹿児島着。鹿児島大学の新敏夫氏、出迎え。鹿児島大学訪問。城山の植物採集。頂上、夜景。鶴鳴荘に宿泊
 11日 朝、石沢氏、根堀りさがしに城山山頂まで。池上、同道。屋久島行乗船。夕刻、屋久島安房着。鶴屋旅館に泊る
 12日 午前、安房裏山、午後、安房海岸植物採集。鶴屋泊り
 13日 小杉谷行。途中まで植物採集後、気動車にて小杉谷へ。営林署宿舍泊り
 14日 雨。小杉岳に登る。日暮れて下山
 15日 小杉谷下、見本林まで一人で下る。見本林奥、河畔で日暮
 16日 朝、小杉谷下のヤマグルマの大木を見にいく。石沢氏、写真。安房川を上って、サザンカ調査。楠川林道に登る。峠で日没。雨。夜道を宮之浦へ下る。末尾は、石沢、横内、池上。宮之浦、長迫旅館に泊る
 17日 宮之浦、牛床自然園下植物採集。夜、安房にかえり鶴屋に泊る
 18日 早朝、バスで栗生に至る。大迫旅館に泊る。川口のマングローブを見、海岸植物（ツキイゲ等）採集。（町長選挙運動）
 19日 栗生の大滝へ。終日、植物採集。往きは車、帰りは徒歩（夜道）
 20日 栗生、小楊子林道おくの植物調査。朝、台風、強雨。往きは車、帰りは夜道を徒歩。大迫旅館泊り
 21日 鯛ノ川おくの滝まで植物採集。日暮れてかえる。尾之間
 22日 尾之間の鈴川の谷の植物採集。夜、安房に出、鶴屋泊り
 23日 解散。一行は安房から乗船。池上、石沢は永田へ。途中、一湊の港の岡の植物採集。永田の小谷へ宿の車で。葉上苔をとり、日暮れてかえる

- 24日 永田（*空白）の山麓の谷へ行く。犬二匹、ついてくる。小雨。葉上苔多し。日暮れる
 25日 永田の燈台へ。宿の車でいく。ノジギク満開。日暮れて宿まで歩く。海岸松原を通る
 26日 一湊に出、港の岡の植物採集。11時、乗船。船の甲板上で永田の葉上苔標本整理。5時、鹿児島に上り、夜行に乗る
 27日 山口県小郡下車。一番バスで秋吉台へ。長者森まで行き、終バスで小郡へ。夜行乗車
 28日 明石に下車。明石城址の植物採集。午後、大阪に出、急行で夜8時半、新潟につく

12月

- 5日 長岡科学博物館の西山邦夫氏、一ヶ月研修に長岡から通学。ノガリヤス属植物の研究
 （28日 テレビ演劇「天と地」終幕（上杉謙信＝石坂浩二、武田信玄＝高橋幸治、乃美＝榎山文枝））
 29日 西山邦夫氏、研修終了

1970年（昭和45年）

1月

- （4日 テレビ演劇「樅の木は残った」開幕）
 （13日 テレビ演劇「朱鷺（とき）の墓」開幕（染乃＝浅岡ルリ子、イワーノフ＝高橋幸治、笛木驥一郎＝小山田宗徳）
 15日 屋久島腊葉紙かえ
 23日 江村重雄氏来訪（カエデの県天然記念物候補（黒崎）について）
 （30日 テレビ演劇「朱鷺の墓」終幕）

2月

- 7日 新潟大学理学部野田光蔵先生、来校（越後植物誌＝蘚苔。新大講師招聘の件）
 8日 小千谷の関省吾氏、チャボガヤ研究に来校

3月

- （10日 卒業式（県民会館）。ゲバ学生四名の挙式妨害あり）
 22日 柳田宏光君、腊葉持参。高橋準、石沢進氏来校
 30日 小千谷市関省吾氏、腊葉持参

4月

- 2日 会津若松市の斎藤慧氏、腊葉持参。工藤孝雄、坪谷富男、高橋準、高橋行雄の諸氏、来校。6時59分斎藤氏帰る
 （3日 ゲバ学生の一団、本館に乱入）
 5日 植物採集行。長岡市栖吉。大雪。（自然生会）。

- 石沢、西山、関、尾崎、藤田、渡辺、柳田、小林、西山、高橋準、和田、井出、池上。帰途は尾崎先生の車で（石沢、高橋、池上）
- 16日 夜、石沢進氏、黒姫山の植物研究に來宅（オクヤマガラシ、ハマハタザオなど）
- 17日 新大教育学部、高橋宏君、「ゼニゴケの発生段階の研究」について來校。シユスターの「北米苔類・II」到着
- 18日 青海町、勝山の植物調査（石沢、三井、池上）
- 19日 青海町、黒姫山、田海の植物調査（全上）
- （20日 時計がちがい、一時間早く登校）

5月

- 3日 ユースホステル活動研修会。西蒲原郡巻町竹野町「金仙寺」。講師「筑木力、池上」。高橋準君、参加
- 4日 同右。角田山登山（間道で道悪し）。角田浜にて豚汁、角田山妙光寺で夕食。夜、新潟へかえる。（平川富雄氏の車で）。山頂、浜、寺で講話
- （9日 ナカと山菜とり。金津裏山—金津滝—橋田—五泉）
- （16日 ナカと山菜取。加茂、青海神社—加茂山—狭口（坪谷富男氏宅による）—猿毛山（坪谷君同道）—蒲原鉄道—村松、愛宕山）
- 18日 生物部採集旅行「東蒲、三川村、西山日光寺」。羽鳥、関口、村木、武藤（卒業生）
- 20日 ユースホステル新潟会、研修会。新潟駅前、青年の家。幹事、平川富雄
- （23日 ナカと山菜とり。南蒲、田上、護摩堂山—大沢鍾乳洞—羽生田（9時の汽車でかえる））
- 24日 新大農学部野外実習（石沢、和田、池上、学生四名）。東蒲、菅名岳の谷と花見山
- （27日 ナカと五頭登山。出湯から登り、村杉下り）
- 30日 西頸城郡青海町、田海のマイコミ平の植物調査（石沢、土屋、三井、佐々木、西山）。青海町教委、渡辺紀一氏案内

6月

- 1日 同上（千里洞）
- 2日 同上（マイコミ奥）
- 4日 新潟大学理学部、野田光蔵教授訪問（夏季野外実習のことなど）（上五十嵐）。帰途、海岸の植物採集
- 7日 中蒲、村松山草会（笠原藤七）の研修会。白山の谷（慈光寺おく）
- 13日 東頸、安塚行。途中（頸鉄下車）、青野十文字—大池、植物調査。安塚町、小見旅館泊り
- 14日 安塚地区、理科センター研修会（山岸秀夫）。菱ヶ岳登山（馬場の上まで）。小林巳癸彦、百

瀬美代（共に農学部卒）参加

- 15日 安塚、城山の植物調査。午前、雨。（山岸、池上、百瀬）
- 20日 山形、小国、玉川の谷の植物調査（石沢、坪谷、池上）。飯豊山荘泊り
- 21日 同上。温身平小屋泊り
- 22日 飯豊山、ダイクラ尾根登山口（吊橋）までの植物調査
- 27日 東頸城郡、菱ヶ岳の植物調査（じねんじょ会）。途中＝柏崎大洲、鉢崎、青野十文字、菖蒲（車で。石沢、佐々木、青柳、池上）。菖蒲小学校泊り
- 28日 同上。菱ヶ岳菖蒲道。ドンドン清水キャンプ
- 29日 同上。菱ヶ岳山頂—新道（急峻）—ドンドン清水—菖蒲

7月

- （9日 沢海の北方博物館の紹介（テレビ））
- 16日 新大理学部、野外実習指導。事前講義
- 17日 同上。苗場山。和田小屋泊り（付添、小林）
- 18日 同上。苗場山。山頂、苗場山荘泊り。夜、ミーティングとスライド映写—山荘主人
- 19日 同上。苗場山頂の湿原の植物の観察。ウサギ出現。ハイマツ、オオシラビソの果実研究
- 20日 同上。下山。新潟へ。太田、田村他数人は、巻機山へ向う
- 24日 粟島植物調査（県教委委託）。同行、石沢進。シヨウノミヤまでの海岸調査。民宿「脇川源十郎」（内浦）
- 25日 同。牧平方面
- 26日 同。裏海岸。（船頭（*空白））北まわり
- 27日 同。内浦、宮ノ口、背中平、大坂山、（*空白）、福田
- 28日 同。釜谷方面（ゆき汽船。かえり徒歩、旧道）。村裏の山へ上る。キャンプ付添の市村和雄氏（南高）に釜谷であう
- 29日 同。内浦水田と前浜の調査。午後、帰帆
- 31日 南高校生物部の植物採集行。中頸城郡平九峠。（新井—（バス）—上平九—平九峠—戸狩—（バス）。野沢温泉、民宿まつや）

8月

- 1日 同。野沢、毛無山。牧場までバス。風穴下り（同行卒業生、高橋行雄、武藤。付添、羽鳥、関口、池上）
- 2日 同。野沢、北竜湖一周。飯山線（戸狩までバス）でかえる。途中、十日町高場山トンネル崩壊のため、バス中継、こみあう
- 4日 飯豊山（ダイクラ尾根）植物調査（じねんじょ会）。玉川、温身平小屋泊り。（石沢、池上、車

- で)。高橋行雄(卒)参加
- 5日 同。観測計の下尾根でキャンプ
- 6日 同。雨。宝珠山下の草地でキャンプ
- 7日 同。宝珠山—飯豊本山—宝珠山キャンプ地
- 8日 同。宝珠山—観測所下キャンプ地
- 9日 同。下山。飯豊山荘(温泉)の庭でキャンプ
- 10日 同。飯豊温泉—長者ヶ原。(新大農学部のマイクロバスで全員帰宅)。朝、坪谷氏の尺八。湯治客、賞讃
- 18日 卒業生、高田信君、ササ標本(*以下、空白)
- 20日 野田光蔵教授、石沢進氏と来校。(越後の植物の原稿(蘚苔)校正依頼)
- 25日 北魚沼郡荒沢岳植物調査(じねんじょ会)。中荒沢の川畔でキャンプ
- 26日 荒沢岳(くさり場まで)植物採集
- 27日 中荒沢の谷、シロウマイタチシダなどをとる

9月

- 5日 新潟県植生図(文化庁委嘱)の打合せ。小林敬、尾崎、石沢、池上(中央高校)
- 20日 新潟大学理学部、野外実習。中条、鳥坂山(野田、石沢、池上)。黒川の八反榎、傘松見学(馬場金太郎氏案内)
- 22日 コウヤマキ自生地(福島県、安座)植物調査。安座の田辺俊江氏宅に泊る。(小林、尾崎、石沢、関、坪谷、渡辺弘雄、斎藤(若松)、津川高校—渡辺、本田)
- 23日 安座、裏山のコウヤマキ自生地をめぐり、(*以下、空白)
- 27日 新潟市教委、火曜青年文化講座、一般市民大日原ハイキング(幹事、反町幸男)の野外植物指導
- 29日 講演会。八方台植物観察会の連絡に西山邦夫氏(長岡市立科博)来校

10月

- 3日 科学講演「新潟県の植物」(長岡市、中越青少年文化センター)、(新潟県生物教育研究会、長岡市理科教育研究会、長岡市立科学博物館の共催)。岩野俊逸氏も見える。(午前、悠久山にて資料あつめ。西山邦夫氏協力)。夜、八方台の国民宿舎にて、映写(八方台—西山)、録音テープ(鳥—島田卯八氏(長岡))。朝、西山氏と毎日新聞長岡支局長森田和也氏邸の盆栽、山草を見学
- 4日 長岡市、八方台の植物観察(柳市の池、森立峠—旧道—成願寺)。坪谷、関、樋熊、佐藤力夫、栃倉、田中英夫、高沢盛(直江津高校)、山谷正喜、島田卯八、藍沢直文、他。一行20数名

- 15日 粟島植物採集行。民宿、脇川源十郎。内浦の畑と水田雑草調査
- 16日 同。牧平
- 17日 同。背中平—小柴山—釜谷。トラックで内浦へかえる
- 18日 同。大坂山。エゾノハマで役場の本保良広君(魚つり)にあう
- 19日 同。朝、ミズナラをとりに、シヨウノミヤ上へ。風波で休航。前浜から釜谷へ出、観音鼻に上り、夜道、7時すぎ、徒歩、内浦へ。宿の人、親類の人と2人で前浜へむかえに出たとのことで、後をおう。にわか雨あり。月夜
- 20日 朝9時の船で粟島をたち、岩船港に上がり、岩船神社の社叢で粟島の標本を整理。コケをほして荷造り。標本の大荷をかついで、徒歩、夜道を村上に出てかえる
- 23日 福島県平地方の植物採集行。会津若松、米代一、斎藤慧氏宅に泊る
- 24日 福島県石城郡夏井の植物調査(湯沢陽一、仁木貢、川島(*空白)、斎藤慧、池上)。いわき市の湯沢氏宅にとまる
- 25日 朝、平駅で石沢進氏を出迎う
- 28日 磐越西線の磐梯熱海に途中下車。付近、植物採集。平慎三君(東北大)、猪苗代まで同車(磐梯山の植生調査)。車中に雨具を忘れ、あとで郵送

11月

- 1日 ユースホステル指導者研修会(本間重雄、飯塚正雄)。妙高山、池ノ平。講話、「妙高の自然」
- 2日 同。野尻—戸隠—(*以下、空白)
- 3日 池ノ平—杉野沢—苗名滝植物採集。バスにて杉野浦—妙高々原駅。鈍行5時間、新潟へ(11時すぎ)
- 21日 西頸城郡青海方面植物調査(石沢、西山)。役場により公民館長、猪又徳治氏に植物誌刊行について相談。町裏の谷の植物調査。田海の旅館泊り
- 22日 上路ヘシクナゲの調査に赴く。途中、市振の社叢調査。上路の(*以下空白)
- 23日 午前、田海の池、午後、福来ヶ口の下東谷へ調査に行く(オオバノハチヂョウシダなど)
- 29日 護摩堂山植物調査(じねんじょ会)。雪。(尾崎、石沢、柳田、関、坪谷、佐藤、浅見、渡辺、笠原、牧野、西山邦夫、西山昇一、藤田、井出、山谷)。下山後、湯田上温泉湯元館で懇親会(石沢氏、理学部への転任祝をかねて)

12月

- 6日 片岡博氏（日通本社）の「続山菜記」の原稿校正（宮浦町の砂山荘、片岡、堀、森谷、伊藤、坪谷、池上）
 （20日 NHK テレビ「縦の木は残った」最終回）

1971年（昭和46年）

1月

- 5日 石沢進、坪谷富男両君来訪
 30日 新潟県植生図作製についての集会（教育センター）

2月

- 7日 石沢進、関省吾両氏、来宅
 12日 新潟市教委、新成人文化講演会、「自然の観照」

3月

- 7日 柳田宏光君（小千谷）来宅。植物研究
 21日 植物の観察会（長岡科学博物館）。栖吉にて、雪中の植物観察。西山邦夫技官の積雪についての説明。毎日新聞長岡支局長森田和也氏も参加。夕方、浅見賢氏夫人の寺で懇親会
 22（*空白）日 新潟県植生図（文化庁）作製についての打合せ。「白山会館」（菊地、江村、小林、尾崎、石沢他）

4月

- （19日 ナカと鳥坂山に登る。黒川に下り、胎内観音、樽ヶ橋、八反樞、傘松を見、平木田まで歩く）
 （26日 ナカと弥彦山に登る。多宝山—弥彦山頂—野積（弘智法印）—（バス）寺泊—（汽車）—大河津—新潟）
 28日 巻町公民館の文化講演会（夜）。「角田山の自然」

5月

- 9日 村松山草会の研修会（笠原藤七）。五泉市小山田の花見山
 （10日 ナカと鋸山にのぼる。悠久山見学。西山邦夫氏の車で鋸山山麓まで。西山氏、山頂まで同道。途中、コゴメ多し。八方台から栖吉に下り、バスで長岡駅に出る）
 12日 新大理学部、野外実習講義（二年）。夕方、五十嵐浜の植生巡検（石沢、高橋ヒロ子）
 16日 同上。野外実習。東蒲原郡鹿瀬町、日出谷—越戸峠—鹿瀬駅で解散。石沢、池上は、車で福島県耶麻郡一ノ木の川入に至り、部落下で車中泊
 17日 飯豊山麓、川入、御沢の植物採集

- 22日 長岡市滝谷、浄土川の谷の植物採集。小千谷山本山に至り、じねんじょ会に合同。山本山の小谷の調査。山本山キャンプ（車中泊）
 23日 小千谷市山本山の植物調査（じねんじょ会）オオタヌキランなど
 24日 南高校の生物部採集旅行。東蒲、諏訪峠（白崎—（バス）—三川温泉—（*空白）—（老人、山菜とり禁止）—行地—諏訪峠—津川）
 28日 粟島植物調査。民宿、脇川源十郎。同行、石沢進氏、松本史郎（新大、理、三年）。内浦、大坂山—エゾノ浜
 29日 同。釜谷（ゆきは、同宿の電々公社電線工事主任の車で）
 30日 同。内浦基地—海岸—畑地—宮ノ口—背中平下水場（松本君かえる）—背中平—小柴山
 31日 粟島植物調査。ツノラ浜、トチノキの谷、牧平、舟かくし

6月

- 1日 同。内浦、宮ノ口のチャボガヤ林を調査。午後3時、出帆。岩船港に上り、岩船神社の社叢（ミチノクホンモンジスゲなど）をみて新潟へ
 6日 新潟大学理学部、野外実習（石沢）。北蒲、胎内峡。椿平ダム下流植物研究。徒歩参加（大学院、太田、田村、荒木、樋浦、他）。胎内キャンプ場で自炊。小屋泊り
 7日 二王子岳登山（黒川道、（*空白）m（水場下）まで）。徒歩組は、山頂を経て南俣へ下る
 19日 西頸城郡青海町植物採集。途中、西越一別山（小学校、校歌の件、校長広川正男）、打越—柏崎米山大橋東—糸魚川（*空白）—根知—小滝。小滝、前川で車中泊。（石沢、田村、（*空白）、池上）
 20日 明星山の植物調査。表道—山頂—新道（急峻）—避難道—表道。下りは雨となる。十一時、車につく
 21日 小滝川をさかのぼる。午後、田海の池を調査。田村君、直江津で下車、長野へ帰省

7月

- 1日 小林敬氏（教育センター）、六日町清水の河岸で遭難死。（センターの地区中学校研修会出張中）
 2日 小林敬氏の遭難に関して、長岡科学博物館の樋熊清治、西山邦夫の両氏来校
 4日 小林敬氏葬儀。寺尾のご自宅弔問。上五十嵐のノートルダム教会での葬儀に参列。寺尾の社で昼食をとってかえる
 8日 工藤孝雄、坪谷富男の両氏（小林敬氏の教育セ

- ンター葬に参列) たちよる
- 1 2 日 新潟大学理学部、野外実習、講義(火打山)。五十嵐植物調査(海岸。石沢、高橋、池上)
- 1 3 日 同。上五十嵐旧湿地調査(高橋ヒロ子、松本史郎、石沢、池上)。ヒメコウガイゼキショウ、アズマツメクサ、共になし。帰途、寺尾新町の永野巖氏を訪問。シダ園見学
- 1 4 日 弥彦山タイマツ下山について、峡彩山岳会の山岸、油本、高橋庄一の諸氏来宅
- 1 5 日 新潟大学理学部、野外実習(二年)。大学院、荒木、樋浦、中西(三年)参加。笹ヶ峰牧場管理小屋に泊り、自炊。笹ヶ峰の牧場の植物観察
- 1 6 日 火打山登り。高谷池ヒュッテ泊り(自炊)
- 1 7 日 火打山頂往復。夕立あり。高谷池ヒュッテ泊り
- 1 8 日 黒沢池一大倉乗越一長助池往復。希望者十名ほど、妙高山頂往復。石沢、高橋、池上は、黒沢ヒュッテから富士見平をまわって高谷池へかえる
- 1 9 日 下山。笹ヶ峰国民休暇村でテント泊り。夜、茶話会。(火星接近)
- 2 0 日 笹ヶ峰牧場内の植物採集。下山。急行赤倉で新潟へ
- (2 1 日 幸西4丁目の山本為親氏邸が売物に出ており、住宅下検分。2 2 日、同)
- 2 5 日 ヤヒコ松明登山会。山上講演(弥彦の植物)。日本山岳会副会長吉沢一郎氏参会。往復、高橋庄一氏の車で。往きに赤塚のドンジノ池の植物調査。尾崎富衛氏、同道。弥彦山頂部の植物採集(講演資料)
- 3 1 日 新潟南高校生物部採集旅行(付添、羽鳥、関口、村木、池上。卒業生、高橋準、武藤、永井、小池、大野(途中参加))。両津一(バス) - 鷺崎一弾崎一藻浦一願。願の福助屋泊り。故細川一郎氏宅を訪れる

8 月

- 1 日 願一北鶴島一(マムシ)一大ざれの滝上ー真更川一(会員バス)一岩谷口ー入川(のりかえ)一達者。新大理学部佐渡臨海実験所泊り。所長、本間義治、主任、北見健彦氏在勤
- 2 日 午前、実験所でウニの受精実験。午後、姫津の岩礁で磯採集。1時半、関口、村木、池上、出立、帰途につく。相川にて旧下宿先の山本サト子様訪問。満員バスで両津に出、5時半の汽船でかえる
- 4 日 飯豊山植物調査(じねんじょ会)。山都一川入、ハイヤー。御沢でキャンプ。高橋行雄(南高卒)参加。全行程幕営

- 5 日 御沢一地蔵岳
- 6 日 地蔵岳一種蒔山
- 7 日 種蒔山一飯豊本山
- 8 日 飯豊本山一西ヶ岳。山頂の神社の神主、テント代を徴収に巡回
- 9 日 飯豊本山一三国岳浅草
- 1 0 日 浅草一川入一新潟(石沢氏の車で。和田、池上)
- (1 9 日 かえる展(大和))
- 2 1 日 新大理学部植物調査。北魚沼郡浅草岳(石沢、高橋ヒロ子、荒木勉、樋浦明夫、池上)。汽車にて只見線会津蒲生にいき、徒歩、入叶津に至り、浅草岳登山口で幕営
- 2 2 日 浅草岳登山。沼ノ平上で幕営
- 2 3 日 沼ノ平一山頂。池の草原で幕営
- 2 4 日 鬼面山から六十里越に下る。先行の学生3名、道を誤って送電線にそって下り夕沢に出、車にあつて五味沢の宿に泊る。石沢、池上は、六十里越下でトラックに便乗し、大白川駅に出たが、学生の行先がわからず、末沢の住安武夫様方に宿泊。夜、住安様の車で六十里新道、夕沢からの旧道を11時まで捜査
- 2 5 日 早朝、石沢氏は住安様の車に便乗して六十里新道へ捜査に赴く。7時頃、学生3名、宿へ出頭。荒木、樋浦が宿の車で石沢氏を迎えにいく。10時の汽車で立ち、小出で学生は新潟へ。石沢、池上は、六日町の清水へ。清水の民宿「おのづか」には、樋熊清治、故小林敬氏夫人千鶴子、馬場機械店主(中野)が滞在(前夜、故小林敬先生の追悼会あり)。樋熊、小林、石沢、池上で小林敬先生遭難現場に赴いて追悼。尾崎富衛氏、巻機山中退下山(浅草岳の荷を託す)、木村義男氏と車で新潟へかえらる。夕方、樋熊、石沢、池上で、清水の小谷、河原の採集。樋熊氏、砂防ダム上で低木中をくぐる熊の音らしいものをきく
- 2 6 日 石沢氏と巻機山に登る。途中、サクラ坂まで故小林敬氏夫人と長女、長男の3名同道。割引沢をのぼり、残雪をさけて天狗岩のすそかべをまく。割引岳の池塘上で日没近くなり、山頂は夜となる。8時すぎ、巻機山のキャンプ地につき、じねんじょ会に合流(関、柳田、坪谷、西山、牧野、和田、他新人一)
- 2 7 日 6時半、石沢、池上、下山。柳田君、偽巻機山頂上までリュックを背負ってくれる。11時、清水につき、宿の車で六日町に出、汽車で新潟へ。夜。野田光蔵先生の満洲植物誌出版祝賀会に参列(イタリア軒)(司会、太田)

9月

- (7日 高橋準、幸西住宅へ寄り、植木鉢台をつくっていく)
- 13日 石沢進氏、夜、自動車にて図書運搬に来援
- 17日 石沢進氏、荷物運搬(たんす)に来援
- 19日 市教委の青年研修会(胎内スポーツセンター)の植物指導。係、小島孝。英文学講師、横瀬功
- 20日 尾崎富衛氏、図書運搬に来援
- (23日 一応、幸西住宅の改装工事終了)
- 25日 石沢氏、午後、荷物運搬に来援
- 26日 全上(午前中)。9月中、連日、幸西の住宅の工事と荷物の搬入
- 30日 夜、尾崎富衛氏、「新潟県の天然記念物」の修正について来宅

10月

- (1日 テレビドラマ「男は度胸」(徳川天一坊)の最終回)
- (3日 書斎の大机搬入。清野組、遠藤様応援)
- 4日 学校から標本棚運搬(用務員、加藤喜代治氏助力)
- 7日 広沢氏、ヒマラヤのアルバム持参、来校
- (8日 幸西住宅初泊り)
- 10日 県、生物教育研究会にて赤塚の佐潟の植物調査。幹事、尾崎。参加、石沢、関、坪谷、山谷、小

林。(赤塚中学校にユースホステルのオリエンテーリング講習あり。南高生徒3名参加)。帰途、石沢氏の車で、関、坪谷氏、立よる

- 12日 市立工業高等学校創立二十五周年記念講演「自然の観照」。初代美旗
- 15日 石沢氏、来校。コケ標本を幸西住宅へ運搬
- (16日 庭の草花を幸西へ移植)
- 17日 新大理学部教授野田光蔵氏、石沢進氏の研究、東北大学留学について、来宅
- (18日 午後、水島町から庭木の移植。マツ、モクセイ、ユキツバキ、コマユミ、ツツジ)
- (19日 幸西宅 庭木植込)
- (25日 夜、水島から幸西へ土運び(三回))

11月

- (2日 文化祭。元助手、田村菊江さん来校。生物部、長谷川宗一の父、越郎氏(市中卒)、宗一の植物スライド(乗鞍、蓼科など)上映を見に来校)
- 7日 鳥坂山麓植物調査(石沢、松本史郎、高橋ヒロ子)。テレビ、「春の坂道」荒木又エ門、伊賀越快挙
- 12日 14日まで、栗島植物整理
- (16日 水島町旧宅へ堀口照之助氏引越し。夕方、ナカと挨拶にいく)

(*)了